

厚生労働科学研究費補助金  
エイズ対策政策研究事業

男性同性間の  
HIV感染予防対策とその介入効果の評価に関する研究

- 平成26年度 総括・分担研究報告書 -

研究代表者  
市川 誠一

名古屋市立大学

平成27(2015)年3月

## 目 次

### ・ 総括研究報告

- 男性同性間の HIV 感染予防対策とその介入効果の評価に関する研究…………… 1  
研究代表者 市川誠一（名古屋市立大学看護学部）

### ・ 分担研究報告

1. CBO の予防啓発活動と商業施設および自治体との連携に関する研究…………… 17  
研究代表者 市川誠一（名古屋市立大学看護学部）、他
2. 男性同性間性的接触による HIV 陽性者における  
予防啓発との接点と感染リスク行動に関する調査…………… 34  
研究分担者 健山正男（琉球大学大学院医学研究科）、他
3. MSM 及びゲイ・バイセクシュアル男性を対象とした地域間比較（1）  
- 東海地域のゲイ・バイセクシュアル男性を対象とする無料 HIV 検査会の  
受検者質問紙調査 -…………… 41  
研究分担者 金子典代（名古屋市立大学看護学部）、他
4. MSM 及びゲイ・バイセクシュアル男性を対象とした地域間比較（2）  
- Community-Based Organization による HIV 予防啓発活動のプログラム評価 -…………… 52  
研究分担者 本間隆之（山梨県立大学看護学部）、他
5. 商業施設を利用しはじめる若年層 MSM を対象とした予防啓発介入の開発と効果評価  
- 初性交時周辺に焦点をあてた予防介入 -…………… 61  
研究分担者 鬼塚哲郎（京都産業大学 / MASH 大阪）、他

- ・ 研究成果の刊行に関する一覧表・刊行物…………… 117

男性同性間のHIV感染予防対策とその介入効果の評価に関する研究

研究代表者：市川 誠一(名古屋市立大学看護学部 教授)

研究要旨

本研究では、商業施設ベースの啓発が可能となった7地域について、CBOが展開する予防啓発と商業施設や自治体との連携状況を把握する(研究1)、HIV陽性者の感染判明前の予防啓発や行政施策への接点および予防行動に影響した要因等を把握し、従来の啓発の課題を探る(研究2)、各地域のMSMの予防行動、検査行動、地域間移動と性行動等を把握し、地域別に評価する(研究3)、MSMが商業施設を利用し始める時期に焦点をあてた予防行動を促進する啓発介入モデルを開発しその効果を実証する(研究4)を実施した。

研究1：CBOの予防啓発活動と商業施設および自治体との連携に関する研究

7地域のCBOに対してMSMが利用する商業施設との連携、啓発資材配布等の活動、行政・保健所との連携について質問票で調査し、2014年11月時点の状況を把握した。1)ゲイバーとの連携率(連携店舗数/全店舗数)は、東北93%、東京42%、東海88%、大阪66%、福岡97%、沖縄100%、中・四国100%で、全地域で620店舗(59%)に啓発資材を配布していた。また、商業系有料ハッテン場にも全地域のCBOは協力関係を構築しており、東海、近畿、福岡、沖縄、中・四国地域のCBOは、比較的若年層MSMが利用するゲイナイトでも啓発資材等の配布を行っていた。2)厚生労働省コミュニティセンター事業による6地域のセンター利用状況はほぼ前年度並みの来場者数であった。3)7地域のCBOは自治体・保健所と連携し、MSM向けの検査促進の広報資材作成や配布、HIV検査担当者へのMSM理解を促進する研修会の実施などに協力していた。

研究2：男性同性間性的接触によるHIV陽性者における予防啓発との接点と感染リスク行動に関する調査

回答者属性、感染告知以前の受療環境、感染告知以前の予防知識・認識・行動、感染告知以前の情報入手経路、予防情報への暴露状況の構成による質問項目について予備調査を行い、次年度に本調査を行う準備を進めた。この調査により、1)感染した時期や地域、2)セックスパートナーと出会うために利用する手段(ハッテン場やゲイバー、ゲイ専用掲示板など)、3)感染が判明する前のHIV受検歴と現行のHIV検査体制の利便性について、4)HIV感染判明前に最後に病院に行った理由とHIVに関連した疾患の状況について、5)受診した医療機関でのHIV検査の勧奨の有無、6)急性HIV感染症についての記憶と医療機関受診、7)HIV関連情報の入手経路などを把握する。

研究3：MSM及びゲイ・バイセクシュアル男性を対象とした地域間比較(本年度は2地域)

1.東海地域のゲイ・バイセクシュアル男性を対象とする無料HIV検査会の受検者質問紙調査

2001年から毎年6月頃に実施してきた無料HIV検査会において、受検者(481名)への質問紙調査を行い有効回答471件を得た。生涯受検経験率は全体では78.8%で、MSM受検者は80.2%と非MSM受検者53.8%に比して有意に高かった( $p < 0.001$ )。その一方で、初めてHIV検査を受検する割合は検査会を重ねるごとに低くなる傾向にあり、HIVの感染リスクがありながら定期的な検査経験がない受検者を増やす広報や介入が必要と考えられる。MSM受検者(445件)について相手別のコンドーム使用ステージ分類を分析したところ、行動・維持期にあるものの割合は、特定相手とで

は 39.4%で、その場限りの相手との 50.4%に比して低い結果であった。

## 2. Community-Based Organization による HIV 予防啓発活動のプログラム評価 ~ akta アウトリーチ活動のプロセス評価 ~

新宿二丁目地域において、20代を中心とする若年ゲイバー顧客を対象に、HIV 感染予防行動の実態、地域間移動と移動先での性行動の実態、CBO による HIV 予防啓発プログラムの認知と受け入れ、コミュニティに対する感覚を把握するインターネット質問紙調査(GCQ アンケート)を実施した。CBO がアウトリーチしている介入店舗利用者と、現在までアウトリーチを実施していない未介入店舗利用者の回答を比較した。HIV 感染予防行動に有意な差はみられなかったが、介入実施店舗利用者は、啓発資料の認知が有意に高く、友達や知り合いに HIV に感染している人がいると回答する者やコミュニティに関する安心感や愛着を有する回答が有意に高かった。

### 研究 4：商業施設を利用しはじめる若年層 MSM を対象とした予防啓発介入の開発と効果評価

初めて性行為を行う時期に商業施設を利用しはじめる若年層 MSM を対象とする新たな啓発介入を CBO・MASH 大阪と協働で開発し、その効果を MSM 対象のインターネット質問紙調査(GCQ アンケート)と大阪市・大阪府協力による保健所等の HIV 抗体検査受検者対象の質問紙調査で評価する研究デザインとした。初年度は啓発介入プロジェクトを発足し、従来型の紙媒体手法の啓発を行い、次年度の新型啓発介入の基礎資料を得るために上記の 2 つの調査を実施し、以下の結果を得た。

1) 第 1 回目調査(8 月実施の GCQ アンケート)による分析結果：近畿在住の MSM602 人のうち、過去 6 カ月の性行経験を有する 484 人の分析から、初めての性行時および最近の性交時の予防行動との関連要因として、最近の性交時のコンドーム使用意図(4.68 倍、95%CI：2.10-10.44)、初めての性交時のコンドーム使用意図(4.06 倍、95%CI：1.97-8.37)が強く関連していた。また、初めて話したゲイ男性との性交割合は 78.4%-86.7%と極めて高く、初性交時周辺に焦点をあてた介入は妥当であった。コンドーム使用は、コンドーム使用意図があると使用割合も高く(初性交時の使用割合：意図あり 61.1%、意図なし 15.3%)、使用意図を醸成することが有用と考えられた。

2) 初年度の介入(従来型の紙媒体による啓発)：MASH 大阪、HaaT えひめと協働して「やる! プロジェクト」を企画した。初性交をする MSM に必要な知識(HIV 感染症の動向や感染経路、コンドームの保存法や着け方、セーファーセックス情報)を掲載したポストカードをコンドームやローションとセットにして、若年層 MSM が利用する施設等に配布した(平成 26 年 8 月～1 月まで)。

3) 介入後の第 2 回目調査(2014 年 12 月～翌年 1 月)の結果：近畿在住の MSM236 人は第 1 回目調査とほぼ同じ属性集団であった。資料認知割合は 2.7%から 10.2%に上昇した(p<0.01)。先行研究に比べてやや浸透度が低かったが、次年度の啓発介入のベースラインとなった。

研究分担者(50 音順) 鬼塚哲郎(京都産業大学文化学部) 金子典代(名古屋市立大学看護学部) 健山正男(琉球大学大学院医学研究科) 本間隆之(山梨県立大学看護学部)	金城 健(CBO・nankr 沖縄/公財エイズ予防財団) 塩野徳史(名古屋市立大学看護学部) 永井仁美(大阪府健康医療部保健医療室医療対策課) 新山 賢(CBO・HaaT えひめ) 半羽宏之(大阪市健康局医務監兼保健所感染症対策課) 細井舞子(大阪市保健所感染症対策課) 牧園祐也(CBO・Love Act Fukuoka/公財エイズ予防財団) 町登志雄(CBO・MASH 大阪/公財エイズ予防財団) 松本健二(大阪市保健所感染症対策課) 安井典子(大阪市保健所感染症対策課) 山本政弘(独・国立病院機構九州医療センター)
研究協力者(50 音順) 荒木順子(NPO 法人・akta/公財エイズ予防財団) 石田敏彦(CBO・ANGEL LIFE NAGOYA) 伊藤俊広(独・国立病院機構仙台医療センター) 岩橋恒太(NPO 法人・akta) 太田 貴(CBO・やるっこ)	

## A. 研究目的

厚生労働省エイズ発生動向年報によれば、わが国のエイズ患者及び未発症 HIV 感染者(以下、HIV 感染者)の報告は、サーベイランスが開始されて以来、増加が続いてきた。しかし、この数年間の報告は1,500人前後で推移し、横ばいの傾向となっている。これは、1990年代半ばから増加が続いた男性同性間性的接触(以下、MSM)による HIV 感染者の報告が2009年から横ばいとなったことが要因となっている。

2013年の報告では HIV 感染者(1,106件)の70.5%、エイズ患者(484件)の56.4%をMSMによる感染が占め、報告地域としては、東京を中心とした関東地域、大阪を中心とした近畿地域、愛知県を中心とした東海地域などの大都市地域に加え、近年では九州地域や中・四国地域からの報告も目立ってきている。これらのことは、感染者・患者の報告数が横ばいになったとはいえ、わが国の HIV 感染対策において、MSM に向けた取り組みは最重要課題であることを示している。

20歳～59歳までの日本人成人男性を対象とした質問紙調査からMSMは4.6%で、その内ゲイ・バイセクシュアル男性向けの商業施設を利用する者は34.6%、そしてこれら利用者は性感染症既往歴が高く、予防行動が低いことを前身の研究班(厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「MSMのHIV感染対策の企画、実施、評価の体制整備に関する研究」、2012年度報告書)で報告した。このことは、商業施設を介したMSMへの予防啓発の必要性を示唆している。

また、前身の研究班では、MSMにおけるHIV感染は1970年代、1960年代出生層で増加が抑制されつつあるが1980年代出生層(20代)で広がりがみられていることを示した。性行動が活発化する時期に商業施設を利用する若年層MSMに対しては新たな介入手法が必要と考える。またエイズ患者報告が多くを占める

地域では、MSMへの啓発や施策における課題を探りその対策を構築する必要がある。

本研究では、1)商業施設ベースの啓発が可能となった7地域について、CBOが展開する予防啓発と商業施設や自治体との連携状況を把握する、2)MSMの予防行動、検査行動、規範等を観察し、地域のMSMへの対策を評価する、3)HIV陽性者の感染判明前の予防啓発や行政施策への接点、および予防行動に影響した要因等を把握し、従来の啓発の課題を探る、4)MSMが商業施設を利用し始める時期に焦点をあて、予防行動を促進する啓発介入モデルを開発し効果を実証することとした。

## B. 研究方法

研究1: CBOの予防啓発活動と商業施設および自治体との連携に関する研究

分担: 市川誠一、協力: 岩橋恒太(NPO 法人 akta)、他

地域でMSMに向けて啓発活動を行っているCBOを対象に、商業施設との連携、実施している啓発活動および自治体・保健所との事業連携に関する調査票を配布し、2014年度の活動状況を把握した。対象としたCBOは、東北地域のCBO・やろっこ、東京地域のNPO・akta、東海地域のCBO・ANGEL LIFE NAGOYA (ALN)、近畿地域のCBO/MASH 大阪、中・四国地域のCBO・HaaT えひめ、九州地域のCBO・Love Act Fukuoka(LAF)、沖縄地域のCBO・nankr 沖縄である。

研究2: 男性同性間性的接触によるHIV陽性者における予防啓発との接点と感染リスク行動に関する調査

分担: 健山正男、金子典代、協力: 山本政弘/九州医療センター、伊藤俊広/仙台医療センター)、他

拠点病院等に受診するHIV陽性者を対象に、予防行動に影響した要因、受検のきっかけ、検査機関と選択理由、感染判明前の予防啓発

との接点等の質問紙調査を行う。初年度は沖縄地域で予備調査を含めた研究を開始した。

### 研究3: MSM 及びゲイ・バイセクシュアル男性を対象とした地域間比較

初年度は東京および東海地域で実施し、東北、福岡、沖縄、中・四国地域は2年度以降に行う予定である(大阪地域は研究4)。

#### 1. 東海地域のゲイ・バイセクシュアル男性を対象とする無料HIV検査会の受検者質問紙調査

分担：金子典代、協力：石田敏彦(ALN)、他  
東海地域において実施されているゲイ・バイセクシュアル男性を対象とする啓発イベント NLGR+の来場者及び同日に開催された無料HIV検査会の受検者を対象に行動調査を実施した。無料HIV検査会では、検査のオリエンテーションにおいて無記名自記式質問紙への協力を口頭にて依頼し、検査会場(採血前)にて質問紙を手渡しで配布した。採血後に各自がアンケートブースにて筆記で回答を行った。

#### 2. Community-Based Organization による HIV 予防啓発活動のプログラム評価～akta アウトリーチ活動のプロセス評価～

分担：本間隆之、金子典代、協力：荒木順子、岩橋恒太、木南拓也、他(NPO・akta)  
東京地域でCBO・aktaが啓発資材を配布しているゲイバー(介入実施店舗)と未だ資材配布が行われていない同店舗(未介入実施店舗)の利用者のうち、主に若年層のゲイ・バイセクシュアル男性を対象に、前身の研究班で開発したインターネットを活用したアンケート調査(GCQ アンケート)を行った。回答は対象が保有する携帯端末等からインターネット上の質問サイトへアクセスしてもらい、回答するものとし、トップページにおいて回答することにより調査趣旨を理解し、参加することに同意したものとみなす旨、説明を行った。

調査期間は2015年2月から3月末とした。従来の横断調査で実施してきた予防行動、検査行動に加え、2014年度に展開した介入プログラムやメッセージのコンセプトの受け止め、コミュニティ内での規範、コミュニティ感覚、国内外の移動について評価した。

#### 研究4: 商業施設を利用しはじめる若年層 MSM を対象とした予防啓発介入の開発と効果評価

分担：鬼塚哲郎、協力：塩野徳史(名古屋市立大学)、町登志雄(MASH 大阪)、新山賢(HaaT えひめ)、他

大阪を介入モデルの開発地域とし、商業施設を利用しはじめる若年層 MSM を対象とする介入モデル「やる！プロジェクト」を企画した。初年度は、紙資材を中心とした従来型予防啓発を6ヶ月間実施し、その前後に、予防意識、知識、性行動、初性交時の環境、相手との関係性、商業施設利用状況、予防行動、受検行動等の基礎調査を実施した。

男性との初性交時の相手との関係性や予防に関する状況とその後の性行為における予防行動や意図との関連を明らかにし、若年層 MSM を対象とする新規介入モデルを検討した。

また、受検行動は大阪府、大阪市の協力を得て定点保健所を設け、HIV 抗体検査受検者を対象とする質問紙調査により経時的な MSM 受検者動向を把握することとした。

#### (倫理面への配慮)

当事者やCBOと調査、啓発等の内容を検討し、対象者への倫理的配慮を持ちつつ研究を行う。啓発介入では商業施設の協力が必須で、研究主旨を経営者等に説明し、相互理解、信頼関係を構築する。

調査実施にあたっての研究倫理に関しては、研究者の所属施設等で倫理委員会の審査承認を受けている。

## C. 研究結果

### 研究 1: CBO の予防啓発活動と商業施設および自治体との連携に関する研究

#### 1) 背景と目的

20 歳～59 歳までの日本人成人男性を対象とした質問紙調査によれば MSM は 4.6%であり、その内ゲイ・バイセクシュアル男性向けの商業施設を利用する者は性感染症既往歴が高く、予防行動が低いことを前身の研究班で報告した(厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「MSM の HIV 感染対策の企画、実施、評価の体制整備に関する研究」、2012 年度報告書)。このことは、商業施設を介した MSM への予防啓発の必要性を示唆している。本研究では、地域の MSM に向けて商業施設を介して啓発活動を行っている CBO(東北地域の CBO・やろっこ、東京地域の NPO・akta、東海地域の CBO・ANGEL LIFE NAGOYA (ALN)、近畿地域の CBO/MASH 大阪、中・四国地域の CBO・HaaT えひめ、九州地域の CBO・Love Act Fukuoka(LAF)、沖縄地域の CBO・nankr 沖縄)

を対象に、商業施設との連携、実施している啓発活動、および自治体・保健所との事業連携に関する調査票を配布し、2014 年度の活動状況を把握した。

#### 2) 結果の概要

ゲイバーとの連携率(連携店舗数/全店舗数)は、東北 93%、東京 42%、東海 88%、大阪 66%、福岡 97%、沖縄 100%、中・四国 100%であった。全地域で 1051 店舗の 620 店舗(59%)に、CBO は MSM 向けの啓発資材を配布していた(表 1)。この他、CBO は商業系ハッテン場と関係を構築し、福岡、沖縄、四国地域では地域の全店舗と協力関係を有していた。また、比較的若年層 MSM が利用するクラブ系のゲイナイトにおいても、東海、近畿、福岡、沖縄、中・四国地域では啓発資材等の配布を行っていた。

中・四国を除く 6 地域のコミュニティセンターの利用状況は、11 月末時点の来場者数ではあるが、ほぼ前年度並みの利用状況であった。大阪の dista は、将来的なセンター運営

表1 地域CBOの商業施設等との連携

地域	施設等	ゲイバー	有料ハッテン場	ゲイナイト	ウリ専	ショップ	*その他の施設
東北	店舗数	28	4		2	2	1)セクシュアルマイノリティサークル
	連携数	26	2		2	1	
	連携率	93%	67%		100%	50%	
東京	店舗数	591	50		18	37	1)サウナ・ホテル 4)ゲイマガジン 2)ウェブサイト G-CLICK掲載数 3)スマホ・アプリ
	連携数	247	73		2	12	
	連携率	42%	132%		11%	32%	
東海	店舗数	43	5	5	3		1)ダイニングバー (ポスター等のみ)
	連携数	38	3	5	1		
	連携率	88%	60%	100%	33%		
近畿	店舗数	227	20	4	31	12	1)ヘアカット 2)ご飯処
	連携数	149	18	4	1	10	
	連携率	66%	90%	100%	3%	83%	
福岡	店舗数	70	12	6	3	4*1)	1)マッサージ店
	連携数	68	12	3	0	4	
	連携率	97%	100%	50%	0%	100%	
沖縄	店舗数	42	3	3			1)スポーツ大会 2)ピンクドット沖縄(LT) 3)ゲイの老後を考える会
	連携数	42	3	3			
	連携率	100%	100%	100%			
中四国	店舗数	49	7	9	5		1)ゲイ吹奏楽団演奏会 2)地域ゲイ情報サイト 3)一部郵送対応を含む
	連携数	49	6*3)	9	0		
	連携率	100%	86%	100%	0%		

を考慮して、11月からスペース面積を大幅に縮小(およそ1/3)した。福岡のhacoでは、アジア圏(中国、韓国、台湾)からの来場者が増加傾向にあることが報告されていた。

自治体・保健所との関係では、全地域のCBOは地域の関係機関の事業と連携し、MSM向けの検査促進の広報資材作成や配布、HIV検査担当者研修会への協力を行っていた。一部の地域では、自治体との連携が進んできたことで、MSMに対するHIV感染対策として、MSM向けのHIV検査の実施、啓発用チラシや情報誌の作成のために自治体が予算化するなどの変化が見られている。その一方で、東北、中・四国、福岡では啓発プログラムや資材作成の縮小や中断が見られた。

2014年12月の研究会議で、MSMにおけるHIV感染対策への取り組みについて、7地域のCBOと意見交換を行った。その中で挙げられた課題は以下の様であった。コミュニティセンター事業の継続については、2016年度以降の事業継続の見通しが不明であること、センター運営にあたる専従スタッフや非常勤スタッフの雇用やセンターの賃貸等の運営費用が継続されない場合は現状のコミュニティセンター活動を継続することが困難であることが挙げられた。また一部の地域ではコミュニティに配布する情報紙やコンドームなどの啓発資材の作成が縮小や中断をしなければならない現状であることが示された。

### 3)まとめ

当事者によるCBOの啓発活動およびその拠点となるコミュニティセンター事業が本格的な事業となって4年が経過した。MSMにおける発生動向が横ばいとなっている現状をさらに減少させるためにも、これらの活動を維持していくことが必要と考える。

## 研究2：男性同性間性的接触によるHIV陽性者における予防啓発との接点と感染リスク行動に関する調査

### 1)目的

沖縄県における男性同性間性的接触によるHIV陽性者を対象に調査をおこない、従来の予防啓発の評価および受検・受診に関連する要因を明らかにすることを目的とした。

初年度は、2015年度より開始するHIV陽性者アンケート調査の基礎資料とすべく、パイロット調査を行った。次年度は本調査を実施し、これまでの予防啓発の課題を探り、新たな視点の予防介入方法の開発を図ることとしたい(3年度)。

### 2)結果の概要

パイロット調査の趣旨、本人の不利益にならないこと、無記名自記式で本人を特定しないことなどの説明に同意が得られた15名のうち回答があった12名から結果を得た。質問項目は回答者属性、感染告知以前の受療環境、感染告知以前の予防知識・認識・行動、感染告知以前の情報入手経路、予防情報への暴露状況に関連した25問である。

感染時期は20代が半数(50%)で、感染した地域は1/3が不詳であった。セックスパートナーと出会うために利用した手段はハッテン場(33.3%)、ゲイバー(50.0%)、ゲイ専用掲示板(33.3%)であった。

感染が判明する前のHIV受検歴では8人(66.7%)が検査歴無しで、7人(58.3%)が現在のHIV検査は受けにくいと回答していた。HIV感染が判明する前に最後に病院に行った理由に、HIVと関連した疾患と回答したものは8人(66.7%)であった。受診した医療機関でHIV検査を勧められたのは7人(58.3%)で、33.3%は勧められていなかった。4人がAIDS指標疾患ではなく性感染症などを理由として受診していた。



急性 HIV 感染症の記憶があるかの問いでは 7 人(58.3%)が覚えており、5 人が実際に医療機関に受診していた。

自分が HIV に感染する可能性について、全く心配していなかったのは 41.7%であった。HIV 関連情報の入手経路に関する質問群ではネットや掲示板と MSM の商業施設・イベントが多く、両方で過半数を占める一方、テレビ・新聞・ポスターは訴求効果に乏しい結果であった。

### 3)まとめ

回答者属性、感染告知以前の受療環境、感染告知以前の予防知識・認識・行動、感染告知以前の情報入手経路、予防情報への暴露状況の構成による質問項目について予備調査を行い、次年度に本調査を行う準備を進めた。この調査により、1)感染した時期や地域、2)セックスパートナーと出会うために利用する手段(ハッテン場やゲイバー、ゲイ専用掲示板など)、3)感染が判明する前の HIV 受検歴と現行の HIV 検査体制の利便性について、4)HIV 感染判明前に最後に病院に行った理由と HIV と関連した疾患の状況について、5)受診した医療機関での HIV 検査の勧奨の有無、6)急性 HIV 感染症についての記憶と医療機関受診、7) HIV 関連情報の入手経路などを把握する。

今回の予備調査では、HIV 感染者早期発見のために、感染リスクの高い患者に対する医療機関の対応について、初めて質問項目を作成した。特に急性 HIV 感染症時期では予想以上の受診歴があり、これらの症状に対する医療機関の啓蒙が必要と思われた。急性 HIV 感染症を自覚して受診した際に、担当医より HIV 検査を勧められたかを問う質問を追加すべきと思われた。

以上のことを踏まえ、次年度には本調査を実施して、HIV 陽性者から得られた情報を今後のエイズ対策に活かしたいと考える。

研究 3: MSM 及びゲイ・バイセクシュアル男性を対象とした地域間比較

## 1. 東海地域のゲイ・バイセクシュアル男性を対象とする無料 HIV 検査会の受検者質問紙査

### 1)目的

東海地域のゲイ・バイセクシュアル男性を対象とした啓発イベント来場者および同時期に開催される無料 HIV 検査受検者における受検行動や性行動を把握することを目的とした。

無料 HIV 検査会受検者を対象に、基礎属性、過去の受検経験、今回の検査会の情報の入手、性行動、東海地域の MSM を対象に活動する CBO・ANGEL LIFE NAGOYA(以下、ALN)の資材の認知、コミュニティセンターの認知や来訪経験の有無について自記式質問紙調査を行った。491 件の有効回答があり、その内 MSM は 445 件であった。同時に開催されたゲイ・バイセクシュアル男性を対象とする啓発イベント NLGR においては来場者から 282 件の有効回答を得た。

### 2)結果の概要

無料 HIV 検査会受検者は、20-30 歳代が 71% を占め、名古屋市・愛知県在住者が 64%、ゲイ、バイセクシュアルが 94%であった。生涯に HIV 検査を受けたことがあるものは全体の 78%であった。検査を受ける理由は、「他の人に感染させたくないから」が 44%と最も高く、次いで「ただ単に知りたいから」(33%)であった。検査日と同日に検査会場近くで開催されたゲイ・バイセクシュアル男性向けの啓発イベント来場者 282 名に「無料 HIV 検査会を受検するか」を尋ねたところ、「受けない」が 31%、「受けるか未定」が 23%であった。

### (1)MSM 受検者における相手別のコンドーム使用行動ステージ分布

MSM に限定し、特定相手、セクフレ、その場限りの相手別にコンドーム使用行動について無関心期、関心期、準備期、行動・維持期

の4ステージのグループに分類した。ステージ分類には、過去6か月の当該相手とのコンドーム使用行動、と当該相手との今後のコンドーム使用の意図を用いた。

特定相手との行動ステージで行動・維持期にあるものは、該当者(330名)のうち39.4%、セクフレ(287名)とは維持期にあるものが46%、その場限りの相手(274名)とは50.4%であった。また無関心期の割合は、特定相手とのステージにおいて15.2%とセクフレとの無関心期の割合(7.0%)、その場限り相手との無関心期の割合(5.5%)より高かった。

(2)MSM の受検者における相手別のコンドーム

使用行動ステージ分布と関連要因の検討  
特定相手とのコンドーム使用のステージでは、検査受検の理由の「他の人に感染させたくないから」、「恋人と一緒に受けることにしたから」、「コンドームを使わないアナルセックスをしたから」、および「過去6か月の性感染症罹患の不安」、「過去6か月のゲイショップの利用」に関連が見られた。また、その場限りの相手とのコンドーム使用のステージでは、検査受検の理由の「定期的に検査を受けているから」、「友達と一緒に受けるから」、「コンドームを使わないオーラルセックスをしたから」、「コンドームを使わないアナルセックスをしたから」、および「特定相手とのコンドーム使用ステージ」、「セクフレとのコンドーム使用のステージ」との間に関連が見られた。

### 3)まとめ

東海地域の無料HIV検査会の受検者では生涯受検経験が78%と高い一方で、検査会の回数を重ねるごとに生涯で初めてHIV検査を受検するものの割合が減少している傾向にある。今後は、HIV感染リスクがありながら定期的な検査経験がない受検者が増加するような広報や介入が必要である。また、コンドーム使用ステージで維持期の割合は特定相手との場合が低い結果であった。

## 2.Community-Based Organization による HIV 予防啓発活動のプログラム評価～akta アウトリーチ活動のプロセス評価～

### 1)目的

新宿二丁目のある首都圏地域において、20代を中心とする若年ゲイバー顧客のHIV感染予防行動の実態、地域間移動と移動先での性行動の実態を明らかにするとともに、CBOによるHIV予防啓発プログラムの認知と受け入れ、コミュニティ感覚に関する評価をGCQアンケートにより行った。

新宿二丁目のCBOであるaktaがアウトリーチにより関係性が構築できている介入店舗利用者(116名)と、現在までアウトリーチを実施していない店舗利用者(32名)を比較した。

### 2)結果の概要

#### (1)調査参加者の属性

調査参加者は20歳代が64.9%であり、20歳代を中心とした調査目的に沿った参加者であった若い層をとらえることができた。過去6か月以内に利用した施設では、男性限定のクラブ(38.5%)や有料のハッテン場(31.1%)の利用は4割以下であり、商業施設の種類によって異なる利用者の特性や価値観に合わせた介入を展開する必要性が示唆された。

#### (2)新宿二丁目に対するコミュニティ感覚

CBOが介入の基盤とする新宿二丁目というコミュニティに関するコミュニティ意識を尋ねたところ、安心感のようなものを感じる(68.3%)、誇りや愛着のようなものを感じる(61.5%)、ここでしか得られないものがあると思う(79.1%)と感じている人が多くおり、新宿二丁目という一つのコミュニティを持っていることがわかった。

これにより、コミュニティをより良くしたい大切にしたいという意識のもと、仲間に対する信頼や価値観に基づきCBOがそのコミュニティの一員としてふるまうことにより信頼を得て、公共的な目的での活動を支援する感

情が起こると考えられる。CBO がアウトリーチ活動を行っている店舗と未実施店舗の間では、コミュニティセンターakta の認知や啓発資材の認知、Web サイトの認知に有意な差が見られ、また友人・知人に HIV 陽性者がいるの回答も有意な差異が見られ、前者が高い結果であった。

しかし、新宿二丁目のために何かできることがあれば参加したい、HIV や性感染症の予防活動に、何らかの形で参加や協力をしたいと思う、新宿二丁目に HIV や性感染症の予防活動は必要だと思ふといった、態度に関する質問について、介入実施店舗と未実施店舗の利用者の回答に有意差は認められなかった。今回の調査では、協力が得られた未実施店舗は 2 店舗で、そのため調査参加者数が少なかった。今後、サンプルサイズを増やす工夫をして、検証を重ねる必要がある。

### 3)まとめ

今回の調査では、先行研究においてアウトリーチ活動のプログラム評価を実施し、活動をモデル化した研究の結果を活用して質問紙調査での測定項目を起案した。このことによって、コミュニティを基盤とした活動評価について、アウトカム評価にプロセス評価を加えることが可能となった。また、CBO がアウトリーチしているゲイバーに加え、これまでにアウトリーチ活動を行っていない店舗の協力を得ることが出来たことで、介入実施店舗と介入未実施店舗の利用者を比較することが可能となった。

これまでの啓発活動がコミュニティに及ぼした効果と課題について、さらに検討を加え、新たな啓発普及に資するものとしたい。

## 研究 4：商業施設を利用しはじめる若年層 MSM を対象とした予防啓発介入の開発と効果評価

### 1)目的

本研究では大阪地域の MSM を対象とするエイズ対策としての予防介入に活かすため、男性との初性交時の状況とその後の性行動との関連)を明らかにし、商業施設を利用しはじめる若年層 MSM を対象とする新規介入方法を開発、試行し、それを連続横断研究デザインを用いて評価することを目的とした。

初年度は初性交時の状況を明らかにし、若年層 MSM を対象とした従来型啓発介入を実施し、得られたデータを基に評価指標を確立することを目的とした。得られたデータを基に 2015 年度に新規介入を開発・実施し効果を従来型啓発介入と比較し検証し、2016 年度には新規開発介入の持続性評価と他地域への応用を図る予定である。

### 2)結果の概要

#### (1)初性交時周辺に焦点をあてた予防介入

##### 「やる!プロジェクト」の開発と試行

商業施設を利用しはじめる若年層 MSM を 24 歳以下の若年層と仮定し、予防や性感染症の情報を普及して予防ネットワークを形成することを目的とする「やる!プロジェクト」を展開した。

情報を掲載したポストカード・コンドーム(1~2 個)・ローション(40 g)をセットに、総数 6,548 セットを、若年層 MSM が集まるゲイ向けイベント(3 イベント)やゲイ向け商業施設(178 軒、内ハッテン場 4 軒にある個別ロッカー 998 箇所)に配布した。中国・四国地域では 750 セット配布した。

ポストカードには、初性交時期の対象者に必要な知識として、HIV 感染症の動向や感染経路、コンドームの持ち運び(保存法)、コンドームの付け方、フェラチオやアナルセックス時のセーフターセックスの情報を簡易なテキストとイラストで掲載した(従来型啓発介

入)。2014年8月から2015年1月までの6ヶ月間、全てのセットにプロジェクトのロゴマークを貼り、その認知で訴求力を測った。

なお、ポストカードの情報を検査情報などに変更することで、大阪府や大阪市、岡山県などの地方行政との連携が可能となった。

## (2) コミュニティベース調査

初性交時の状況を明らかにし、展開した従来型啓発介入における訴求性を示すベースラインを得るために、先行研究で開発したコミュニティベース質問紙調査(GCQ アンケート)を実施した(分析目的は表2)。

表2 本研究における分析目的一覧

分析	分析の目的
近畿地域における調査回答者の比較	横断調査回答者となった集団を比較し、集団の特性の差異を明らかにし、研究デザインの妥当性を検討する
初性交時のコンドーム使用状況と初性交時の状況	初性交時の状況を明らかにする
初および一番最近の性交時のコンドーム使用状況と性交時の状況	初性交時の状況とその後、の性交時のコンドーム使用状況と性交時の状況を明らかにする
初性交の時期(10年以上前・10年未満)別の性交時の状況	近畿地域のMSMにおける性交時の状況に関する動向を把握する

表3 コミュニティベース調査の概要

	地域 (協働CBO)	実施期間	回答者数
調査1	近畿 (MASH 大阪)	2014年 7月31日～ 8月17日	991人
調査2	近畿 (MASH 大阪)	2014年 12月12日～ 2015年 1月13日	478人
調査3	中国・四国 (HaaT えひめ)	2014年 7月31日～ 9月30日	239人

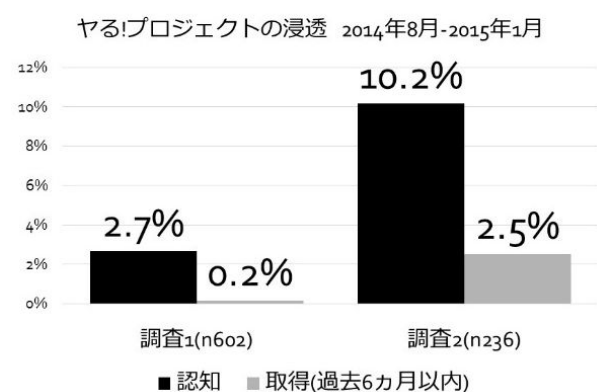
質問は基本属性、検査行動、性交行動(初性交時、一番最近の性交時、過去6ヶ月間の性交時)、性感染症既往歴、HIVに関する対話経験、啓発介入への接触状況など60問で、大阪地域では従来型啓発介入前と資材配布終了時期に実施した(表3)。なお中国・四国地域ではHaaTえひめと協働し、地域差の動向を把握する目的で同様の調査を2014年7月31日～9月30日まで実施した。

## 近畿地域における2回の調査の比較

近畿地域在住MSMについて、調査1(602人)と調査2(236人)の基本属性に有意差はなかった。また生涯受検割合も62.8%と67.8%で有意差はなかった( $p=0.17$ )。一方で、コンドーム使用意図については調査1(67.1%)に比べ調査2(50.0%)では低かった( $p<0.01$ )。またコンドームをいつも持っている割合は調査1(41.5%)に比べ調査2(50.0%)では高かった( $p=0.04$ )。

「やる!プロジェクト」の認知割合は調査1(2.7%)に比べ調査2(10.2%)では高かった( $p<0.01$ )。また取得割合も調査1(0.2%)に比べ調査2(2.5%)では高かった( $p<0.01$ )(図1)。

図1 啓発介入の効果評価-base line data-



## 性交時の予防行動の関連要因

1回目調査から近畿在住MSMの初めておよび最近の性交時の予防行動の関連要因を分析した。最近の性交時のコンドーム使用意図(4.68倍、95%CI: 2.10-10.44)が最も強く、

次いで初性交時のコンドーム使用意図(4.06倍、95%CI : 1.97-8.37)が関連していた(表4)。また初めて話したゲイ男性との性交割合は78.4%-86.7%と極めて高いことから、初性交時周辺に焦点をあてた介入が妥当であると考えられた。

コンドーム使用に影響する要因としては、

コンドーム使用意図があると使用割合も高く(初性交時の使用割合：意図あり 61.1%、意図なし 15.3%)、使用意図を醸成する啓発が有用と考えられた。

また初性交の時期別分析から10年未満群でコンドーム使用割合や使用意図が有意に高く、近畿地域のMSMで予防意識が醸成されて

表4 近畿地域在住の過去6ヵ月間に性交経験をもつゲイ・バイ男性及びMSM(n=484)セックス時のコンドーム使用状況に関連する要因-ロジスティック回帰分析結果-

	初セックス時のコンドーム使用状況*1				初および最近のセックス時のコンドーム使用状況*2			
	調整odds	95%信頼区間		有意確率	調整odds	95%信頼区間		有意確率
		下限	上限			下限	上限	
年齢層								
24歳以下	ref.				ref.			
25-29歳	1.10	0.62	1.96	0.75	1.19	0.62	2.28	0.60
30-34歳	0.77	0.40	1.48	0.44	1.16	0.56	2.39	0.70
35-39歳	0.47	0.21	1.02	0.06	0.54	0.22	1.31	0.17
40-44歳	0.37	0.12	1.12	0.08	0.50	0.14	1.79	0.29
45歳以上	0.63	0.16	2.52	0.52	1.05	0.22	5.10	0.95
初めて男性とセックスした時、コンドームについてどのように思っていましたか?								
意図なし	ref.				ref.			
意図あり	<b>4.37</b>	<b>2.54</b>	<b>7.50</b>	<b>&lt;0.01</b>	<b>4.06</b>	<b>1.97</b>	<b>8.37</b>	<b>&lt;0.01</b>
初めて男性とセックスした時、コンドームをつけられる自信はありましたか?								
自信なし	ref.				ref.			
やや自信あり	<b>2.21</b>	<b>1.19</b>	<b>4.10</b>	<b>0.01</b>	1.90	0.90	4.02	0.09
自信あり	<b>3.52</b>	<b>2.01</b>	<b>6.18</b>	<b>&lt;0.01</b>	<b>3.40</b>	<b>1.71</b>	<b>6.73</b>	<b>&lt;0.01</b>
初めてセックスした男性とはどこで出会いましたか?								
ゲイバー・ゲイナイト	ref.				ref.			0.94
ハッテン場	1.98	0.64	6.15	0.24	1.05	0.32	3.47	0.94
HP	1.10	0.37	3.22	0.87	1.00	0.32	3.10	1.00
アプリ・その他ネット	1.18	0.34	4.11	0.80	0.85	0.23	3.19	0.81
その他/覚えていない	0.97	0.32	3.00	0.96	0.76	0.22	2.57	0.66
初めて男性とセックスした時、複数の人とセックス(乱交や3Pなど)をしましたか?								
いいえ・覚えていない	ref.				ref.			
はい	2.95	0.82	10.69	0.10	3.54	0.97	12.89	0.05
一番最近にセックスした相手は、初めてセックスした男性と同じ人ですか?								
はい					ref.			
いいえ					0.68	0.20	2.31	0.54
一番最近にセックスした時、コンドームについてどのように思っていましたか?								
意図なし					ref.			
意図あり					<b>4.68</b>	<b>2.10</b>	<b>10.44</b>	<b>&lt;0.01</b>
一番最近にセックスした時、コンドームをつけられる自信はありましたか?								
自信なし					ref.			0.93
やや自信あり					1.00	0.40	2.52	1.00
自信あり					1.12	0.49	2.55	0.78

\*1 初セックス時のコンドーム使用を1 不使用を0として、単回帰分析で有意差のあった項目と年齢を強制投入した。

\*2 初セックス時および一番最近のセックス時の両方でコンドーム使用を1 両方不使用、またはいずれかで不使用であった人を0として、単回帰分析で有意差のあった項目と年齢を強制投入した。

いる可能性が示唆された。一方で複数性交や飲酒は 10 年未満群の方が高いことも示されており、MSM における感染リスクは依然高いと言える。

### (3) HIV 抗体検査受検者を対象とした調査

大阪市・大阪府が実施する HIV 抗体検査受検者を対象とする無記名自記式質問紙調査を行い、MSM 受検者の動向を把握した。

啓発介入の副次的指標となる MSM 受検者の動向については、大阪市 3 保健福祉センターは 33 人～54 人、大阪府 13(4 月以降 12)保健所 15 人～35 人、chot CAST なんば 90 人～144 人で、概ね減少傾向であった。次年度以降、新型啓発介入としてインターネットを活用した「やる!プロジェクト」が浸透した場合には MSM における受検行動が促進され、MSM 受検者数の増加が期待される。

### 3)まとめ

本年度実施したコミュニティベース調査から次年度の新型啓発介入を構築するために必要な基礎資料を得ることができた。初めておよび最近の性交時の出会い方やコンドーム使用に影響する要因として使用意図が関与していたことを踏まえて、次年度はインターネットを活用した介入を実施する予定である。

## D. 考察

### 1. CBO の啓発活動と商業施設との連携

CBO による商業施設等を介した啓発活動の実績、自治体・保健所と連携した MSM への HIV 感染対策の実施状況を経年的に調査することで、従来の研究班で構築した CBO - 商業施設、CBO - 行政の連携による HIV 感染対策の進展状況を評価するとともに、7 地域における MSM の HIV 感染に対する CBO 活動や CBO - 行政連携による施策に資するものとしたいと考えている。各地域の CBO は商業施設を介した啓発活動を継続し、自治体との事業連携も進めていた。これらの効果は研究 3 の調査で観察す

る予定である。

本年度の厚労省エイズ対策研究推進事業・海外研究者招へい事業により欧州で MSM への HIV 感染対策に関する研究をしているナイジェル・スチュアート・シェリフ博士を招へいし、また同時期に名古屋市立大学海外研究者招へい事業によりベルギー国で MSM を対象に商業施設ベースでアウトリーチを行っているウィム・ヴァンデン・ベルジュ博士を招へいし、両氏を交えた研究者と CBO との意見交換会を大阪と東京で行った。欧州では CBO の啓発活動に協力する店舗に共通シールを貼付する“Everywhere Project”が国を越えて行われている。セックスベニューを対象とした啓発プログラム“Everywhere”は、国境を越えた MSM のセクシュアルネットワークによる HIV 感染防止を進めるために開発されたもので、イギリスをはじめフランス、スペイン、イタリア、ポーランド、ハンガリー、スロベニアなどの国・地域で統一して実施されている HIV 予防介入プロジェクトである。

“Everywhere”に関する意見交換会は今年度が 2 度目であり、これを参考に、CBO の間では日本全地域で共通した啓発活動を行うことについて検討が行われている。研究 4 の「やる!プロジェクト」や首都圏で行われている「Safer Sex キャンペーン」などを含め、コミュニティセンターや当事者 CBO が存在しない地域の MSM へのエイズ対策を進める方法として今後の展開を期待したい。

一方で、CBO 活動を計画的に進めていくためには、活動基盤がしっかりしている必要がありそれを支援する体制も大切である。欧州では CBO 活動への支援財源が縮減されたため、地域によっては活動自体が縮小・中止されていることが問題点となっていた。わが国では国の予算でコミュニティセンターが維持されてきたが、地域自治体においても CBO と連携した対策基盤を構築することが望まれる。

2. 男性同性間性的接触による HIV 陽性者における予防啓発と早期検査・受診について  
拠点病院等に受診する HIV 陽性者を対象に、予防行動に影響した要因、受検のきっかけ、検査機関と選択理由、感染判明前の予防啓発との接点等の質問紙調査を行う。初年度は沖縄地域で予備調査を含めた研究を開始した。今回の予備調査では、HIV 感染者早期発見のために、感染リスクの高い患者に対する医療機関の対応についての質問項目を作成した。急性 HIV 感染症時期では予想以上の受診歴があり、これらの症状に対する医療機関での対応について周知していくことが必要と思われた。今後の調査では急性 HIV 感染症を自覚して受診した際に、担当医より HIV 検査を勧められたかについての質問を追加すべきと思われる。次年度には沖縄で本調査を実施し、HIV 陽性者から得られる情報を今後のエイズ対策に活かせるようにしたいと考える。

### 3. MSM 及びゲイ・バイセクシュアル男性を対象とした行動調査

各地域の MSM を対象とした横断調査により、従来の横断調査で観察してきた予防行動、受検行動を継続して観察し、また CBO 活動の効果を観察したいと考えている。さらに MSM の地域間移動と移動先での性行動に関する質問を加え、MSM の移動に伴うリスク行動や啓発への接点を把握することを期待している。

予算規模を考慮し、年度内に全地域を対象とする調査を行うことはせずに、初年度は東京および東海地域、次年度以降に東北、福岡、沖縄、中・四国地域について行う予定とした(大阪地域は研究 4)。

なお、東海地域の無料 HIV 検査会や啓発イベント NLGR は 2001 年から継続されてきており、継続的な検査会の効果や課題を把握し、今後の MSM を対象とする検査体制等に資する情報が得られると考えられることから、次年度も名古屋医療センターや CBO・ALN の協力を

得て受検者対象の調査を継続する予定である。

本年度の首都圏での質問紙調査は、「akta アウトリーチ活動のプロセス評価」として実施した。東京地域で CBO・akta が啓発資材を配布しているゲイバーと未だ資材配布が行われていない同店舗の利用者で、主に若年層のゲイ・バイセクシュアル男性を対象に実施した。またアウトリーチ活動のプログラム評価等の先行研究の結果を活用して新たに質問紙にアウトリーチ活動を測定する項目を起案した。このことによって、コミュニティを基盤とした活動評価について、アウトカム評価にプロセス評価を加えることが可能となった。

アウトリーチ活動のコミュニティ内での訴求性に加えコミュニティ規範の形成などがみられており、これまでの啓発活動がコミュニティに及ぼした効果と課題について、さらに検討を加え、新たな啓発普及に資するものとしていきたいと考える。

### 4. 商業施設を利用しはじめる若年層 MSM を対象とした予防啓発介入

大阪を介入モデルの開発地域とし、商業施設を利用しはじめる若年層 MSM を対象とする介入モデル「やる！プロジェクト」を企画した。初年度は、紙資材を中心とした従来型予防啓発を 6 ヶ月間実施し、その前後に、予防意識、知識、性行動、初性交時の環境、相手との関係性、商業施設利用状況、予防行動、受検行動等の基礎調査を実施した。

男性との初性交時の相手との関係性や予防に関する状況とその後の性行為における予防行動や意図との関連を明らかにし、若年層 MSM を対象とする新規介入モデルを検討した。また、受検行動は大阪府、大阪市の協力を得て定点保健所を設け、HIV 抗体検査受検者を対象とする質問紙調査により経時的な MSM 受検者動向を把握することとした。

2 年度にはインターネットを活用し、配布物と連動させた啓発介入を構築し、前後の評

価調査で効果を観察する予定である。商業施設を利用し始める年齢層を対象にした予防行動、受検行動を促進する新たな予防啓発プログラムの構築は、モデル化することにより他地域への活用が期待される。

研究4では、CBO・MASH 大阪および CBO・HaaT えひめのこれまでの啓発活動の経験と当研究班が行ってきた質問紙調査の経験を生かして、介入のニーズアセスメントをし、介入の手法を開発し、コミュニティベースに展開し、新たな介入視点を評価する質問項目を加えた調査で評価しようとしている。こうした協働体制は、常にコミュニティのニーズを感じて啓発を進めていくうえで大切なことであると考える。

#### E. 結論

7 地域の CBO による啓発活動と自治体との協働を把握し、その評価となる予防行動、検査行動、規範等を研究3、4で調査し、前身の研究班で得てきた情報と比較できるように計画した。初年度の研究計画はほぼ達成された。研究1、3、4はCBOの活動状況にあわせて計画した。研究3は調査規模を縮小したため地域が限定され、また十分な回答数が得られていないが、MSMにおけるエイズ対策を進めていく上で貴重なデータとなる。調査規模の課題を解決する工夫が必要と考える。研究2は、HIV陽性者への調査の負担を考慮しつつ取り組む予定である。

研究4の商業施設を利用し始めるMSMへの取り組みを含め、感染リスクの高いMSMへの研究は、HIV感染対策を進めるうえで社会的意義が高いと考える。また、モデル化することにより他地域への活用が期待される。

#### F. 健康危険情報

なし

#### G. 発表論文等

##### 研究代表者

市川誠一

##### 論文等

- 1) Mayumi Imahashi, Taisuke Izumi, Dai Watanabe, Junji Imamura, Kazuhiro Matsuoka, Hirotaka Ode, Takashi Masaoka, Kei Sato, Noriyo Kaneko, Seiichi Ichikawa, Yoshio Koyanagi, Akifumi Takaori-Kondo, Makoto Utsumi, Yoshiyuki Yokomaku, Takuma Shirasaka, Wataru Sugiura, Yasumasa Iwatani, Tomoki Naoe: Lack of Association between Intact/Deletion Polymorphisms of the APOBEC3B Gene and HIV-1 Risk, *PLoS One*, 2014 Mar 25;9(3):e92861. doi: 10.1371/journal.pone.0092861, eCollection 2014.
- 2) Yasuharu Hidaka, Don Operario, Hiroyuki Tsuji, Mie Takenaka, Hirokazu Kimura, Mitsuhiro Kamakura, Seiichi Ichikawa: Prevalence of Sexual Victimization and Correlates of Forced Sex in Japanese Men Who Have Sex with Men, *PLoS ONE* 9(5): e95675. doi:10.1371/journal.pone.0095675, May 2014
- 3) 纈纈ゆき, 金子典代, 市川誠一: 若年女性における過去と現在の性感染症予防行動と情報入手状況の比較, *日本ウーマンズヘルス学会誌*, 13 (1), 53-62, 2014.
- 4) 松下修三, 市川誠一, 生島嗣, 木村哲, 荒木順子: 治療が予防になる時代のコミュニティセンター事業(座談会), *HIV感染症とAIDSの治療*, 5 (2), 4-19, 2014.



## 学会発表

- 1) 荒木順子, 佐久間久弘, 木南拓也, 岩橋恒太, 大島岳, 柴田恵, 阿部甚兵, 金子典代, 塩野徳史, 市川誠一: MSM を対象とした情報の集約・発信のハブ的装置としてのコミュニティセンターakta, 第28回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪市, 2014.
- 2) 岩橋恒太, 高野操, 大島岳, 阿部甚兵, 柴田恵, 矢島嵩, 加藤悠二, 佐久間久弘, 大木幸子, 塩野徳史, 金子典代, 市川誠一, 生島嗣, 荒木順子: 首都圏居住のMSMを対象とした、HIV 抗体検査普及のためのウェブコンテンツ「あんしん HIV 検査リサーチ」の構成とその検討, 第28回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪市, 2014.
- 3) 大畑泰次郎, 判仲昭彦, 田中信雄, 後藤大輔, 尾崎拓治, 野崎丈晴, 塩野徳史, 市川誠一, 鬼塚哲郎: 地方自治体とNGOの協働による中高年MSM層を対象としたHIV予防啓発定期刊行物の発行および発行を促進した要因, 第28回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪市, 2014.
- 4) 宮田良, 塩野徳史, 市川誠一, 金子典代: セックスワーカー女性の実態調査 - インターネットを用いた全国規模のアンケート調査より-, 第28回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪市, 2014.
- 5) 矢島嵩, 岩橋恒太, 柴田恵, 阿部甚兵, 加藤悠二, 大島岳, 佐久間久弘, 市川誠一, 生島嗣, 荒木順子: HIV マップ - 「HIV お役立ちナビ」の改訂に関する考察 -, 第28回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪市, 2014.
- 6) 市川誠一: 「個別施策層に見られる層を越えた取り組みへのニーズ」, シンポジウム4(社会)個別施策層へのエイズ対策~層を超えた取り組み, 第28回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪市, 2014.12.3
- 7) J. Koerner, S. Ichikawa, N. Kaneko, S. Shiono, I. Kai: An internet survey

investigating the HIV information needs and travel related risk behaviors of English speaking foreign gay and bisexual men in Japan, the 20th International AIDS Conference, Melbourne, Australia, July 2014

- 8) K. Iwahashi, S. Ichikawa, S. Shiono, N. Kaneko, J. Koerner, Y. Ikushima, J. Araki, K. Shibata, T. Kinami, M. Takano, S. Oka, S. Kimura: The strategic research 'We can do it! 2010' campaign to promote testing behaviour among MSM in the Tokyo region, the 20th International AIDS Conference, Melbourne, Australia, July, 2014

## 研究分担者

健山正男

論文等

- 1) 健山正男, 比嘉太, 藤田次郎: 我が国におけるAIDS発症動向 - 「いきなりAIDS」の問題, 日本医事新報, 4676, 25-30, 2013

金子典代

論文等

- 1) Mayumi Imahashi, Taisuke Izumi, Dai Watanabe, Junji Imamura, Kazuhiro Matsuoka, Hirotaka Ode, Takashi Masaoka, Kei Sato, Noriyo Kaneko, Seiichi Ichikawa, Yoshio Koyanagi, Akifumi Takaori-Kondo, Makoto Utsumi, Yoshiyuki Yokomaku, Takuma Shirasaka, Wataru Sugiura, Yasumasa Iwatani, Tomoki Naoe: Lack of Association between Intact/Deletion Polymorphisms of the APOBEC3B Gene and HIV-1 Risk, PLoS One, 2014 Mar 25;9(3):e92861. doi: 10.1371/journal.pone.0092861, eCollection 2014.

- 2) 纈纈ゆき, 金子典代, 市川誠一: 若年女性における過去と現在の性感染症予防行動と

情報入手状況の比較，日本ウーマンズヘル  
ス学会誌，13（1），53-62，2014．

#### 学会発表

- 1) 荒木順子，佐久間久弘，木南拓也，岩橋恒  
太，大島岳，柴田恵，阿部甚兵，金子典代，  
塩野徳史，市川誠一：MSM を対象とした情  
報の集約・発信のハブ的装置としてのコミ  
ュニティセンターakta，第28回日本エイズ  
学会学術集会・総会，大阪市，2014．
- 2) 岩橋恒太，高野操，大島岳，阿部甚兵，柴  
田恵，矢島嵩，加藤悠二，佐久間久弘，大  
木幸子，塩野徳史，金子典代，市川誠一，  
生島嗣，荒木順子：首都圏居住のMSM を対  
象とした、HIV 抗体検査普及のためのウェ  
ブコンテンツ「あんしん HIV 検査リサーチ」  
の構成とその検討，第28回日本エイズ学会  
学術集会・総会，大阪市，2014．
- 3) 宮田良，塩野徳史，市川誠一，金子典代：  
セックスワーカー女性の実態調査 - イン  
ターネットを用いた全国規模のアンケート  
調査より-，第28回日本エイズ学会学術集  
会・総会，大阪市，2014．
- 4) J. Koerner, S. Ichikawa, N. Kaneko, S.  
Shiono, I. Kai: An internet survey  
investigating the HIV information needs  
and travel related risk behaviors of  
English speaking foreign gay and  
bisexual men in Japan, the 20th  
International AIDS Conference,  
Melbourne, Australia, July 2014
- 5) K. Iwahashi, S. Ichikawa, S. Shiono, N.  
Kaneko, J. Koerner, Y. Ikushima, J. Araki,  
K. Shibata, T. Kinami, M. Takano, S. Oka,  
S. Kimura: The strategic research 'We  
can do it! 2010' campaign to promote  
testing behaviour among MSM in the Tokyo  
region, the 20th International AIDS  
Conference, Melbourne, Australia, July,  
2014

#### 本間隆之 論文等

- 1) 松高由佳，古谷野淳子，桑野真澄，橋本充  
代，本間隆之，山崎浩司，横山葉子，日高  
庸晴：Men who have Sex with Men (MSM)  
における感染予防行動を妨げる認知に関す  
る検討，日本エイズ学会誌，15(2)，  
134-140,2013

#### 鬼塚哲郎 論文等

- 1) 塩野徳史，金子典代，市川誠一，山本政弘，  
健山正男，内海眞，木村哲，生島嗣，鬼塚  
哲郎：MSM(Men who have sex with men) に  
おける HIV 抗体検査受検行動と受検意図の  
促進要因に関する研究，日本公衆衛生学雑  
誌，60 巻(10 号)，639-650，2013.

#### 学会発表

- 1) 大畑泰次郎，判仲昭彦，田中信雄，後藤大  
輔，尾崎拓治，野崎丈晴，塩野徳史，市川  
誠一，鬼塚哲郎：地方自治体と NGO の協働  
による中高年 MSM 層を対象とした HIV 予防  
啓発定期刊行物の発行および発行を促進し  
た要因，第28回日本エイズ学会学術集会・  
総会，大阪市，2014．

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得  
無し
2. 実用新案登録  
無し

厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策政策研究事業  
男性同性間のHIV感染予防対策とその介入効果の評価に関する研究

CBOの予防啓発活動と商業施設および自治体との連携に関する研究

研究分担者：市川 誠一（名古屋市立大学看護学部 教授）

研究協力者：太田 貴(やろっこ)、伊藤俊広(独立行政法人国立病院機構仙台医療センター)、荒木順子、岩橋恒太(NPO法人akta)、石田敏彦(ANGEL LIFE NAGOYA)、鬼塚哲郎、町登志雄、後藤大輔(MASH大阪)、新山 賢(HaaT えひめ)、牧園祐也(Love Act Fukuoka)、山本政弘(独立行政法人国立病院機構九州医療センター)、金城 健(nankr 沖縄)、健山正男(琉球大学大学院医学研究科)

研究要旨

7地域でMSMに向けて啓発活動を行っている地域ボランティア団体(CBO)を対象に、商業施設との連携、実施している啓発活動、および自治体・保健所との事業連携に関する調査票を配布し、2014年度の活動状況を把握した。対象としたCBOは、東北地域のCBO・やろっこ、東京地域のNPO・akta、東海地域のCBO・ANGEL LIFE NAGOYA(ALN)、近畿地域のCBO・MASH大阪、中・四国地域のCBO・HaaT えひめ、九州地域のCBO・Love Act Fukuoka(LAF)、沖縄地域のCBO・nankr 沖縄である。

ゲイバーとの連携率(連携店舗数/全店舗数)は、東北93%、東京42%、東海88%、大阪66%、中・四国100%、福岡97%、沖縄100%であった。全地域では、1,051店舗の内の620店舗(59%)に、CBOは作成した啓発資材を配布していた。この他、商業系有料ハッテン場にも全地域のCBOは関係を構築し、四国、福岡、沖縄地域では地域にある全店舗と協力関係を有していた。また、若年層MSMの利用が多いクラブ系のゲイナイトにおいても、東海、近畿、中・四国、福岡、沖縄の各地域のCBOは啓発資材等の配布を行っていた。

6地域にあるコミュニティセンターの利用状況は、11月末時点の来場者数ではあるが、ほぼ前年度並みの来場者数であった。大阪のdistaはセンター運営の継続を考慮して、11月からスペース面積を縮小(およそ1/3)した。福岡のhacoでは、アジア圏(中国、韓国、台湾)からの来場者が増加傾向にあることが報告された。

7地域のCBOは、自治体・保健所の事業と連携し、MSM向けの検査促進の広報資材作成や配布、HIV検査担当者研修会への協力を行っていた。CBOと自治体の連携が進んできたことで、MSM向けのHIV検査の実施、啓発用チラシや情報誌作成など、MSMに対するHIV感染対策の予算を設ける自治体も見られている。その一方で、啓発資材作成などに要する予算が不足していることから、東北、中・四国、福岡のCBOでは一部のプログラムを縮小、中断していた。

A. 研究目的

厚生労働省エイズ発生動向年報によれば、わが国のエイズ患者及び未発症HIV感染者(以下、HIV感染者)は、サーベイランスを開始してから報告数の増加が続いたが、この数年間は1,500人前後の報告総数となり、横ば

いの傾向となっている。その背景として、1990年代半ばから増加が続いた男性同性間性的接触(以下、MSM)による感染者・患者の報告で、HIV感染者が2009年以降に横ばいとなったことにある。しかし、2013年の報告ではHIV感染者(1,106件)の70.5%、エイズ患者(484件)

の56.4%をMSMによる感染が占めており、報告地域としては、東京を中心とした関東地域、大阪を中心とした近畿地域、愛知県を中心とした東海地域などの大都市地域に加え、近年では九州地域や中・四国地域からの報告も目立ってきており、MSMに向けた取り組みは最重要課題であると言える。

20歳～59歳までの日本人成人男性を対象とした質問紙調査からMSMは4.6%で、その内ゲイ・バイセクシュアル男性向けの商業施設を利用する者は34.6%、そしてこれら利用者は性感染症既往歴が高く、予防行動が低いことを前身の研究班（厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「MSMのHIV感染対策の企画、実施、評価の体制整備に関する研究」、2012年度報告書）で報告した。このことは、商業施設を介したMSMへの予防啓発の必要性を示唆している。

2002年、厚生労働省はHIV感染者の半数以上をMSMが占めたことを鑑み、東京、大阪、名古屋の同性愛者等で構成するNGO/NPOメンバーを委員とする「同性間性的接触におけるエイズ予防対策に関する検討会」を設置し、2003年3月には、男性同性愛者等に訴求性のある啓発や当事者の事情に詳しいNGO等との協力関係の必要性などを示す中間報告を発表した。2003年度には厚生労働省委託エイズ予防対策事業エイズ知識啓発普及事業の一環として、現在の公益財団法人エイズ予防財団を通じて男性同性愛者等への啓発を促進するNGO活動拠点としてのコミュニティセンターが東京と大阪に設置された。コミュニティセンター事業は、当初、エイズ予防対策事業の一環として取り組まれ、2008年度までに東京（akta）大阪（dista）名古屋（rise）、福岡（haco）の4地域に設置され、2009年度からは、厚生労働省委託事業「同性愛者等に対するHIV/エイズ予防対策事業」として、仙台（ZEL）沖縄（mabui）を加えた6地域となった。2011年度からは厚生労働省委託事業「同

性愛者等のHIVに関する相談・支援事業」（コミュニティセンター事業）として、施設運営費、運営に係る人件費、啓発資材作成等の費用などを含む事業となった。公益財団法人エイズ予防財団が6カ所のコミュニティセンター事業を受託し、センター運営を担う各地域のCBO（CBO・やろっこ、NPO・akta、CBO・ANGEL LIFE NAGOYA（ALN）、CBO・MASH 大阪、CBO・Love Act Fukuoka（LAF）、CBO・nankr）と共に、商業施設を介した予防啓発、自治体等と連携したHIV検査促進の啓発活動を進めている。また、中・四国地域では、HaaT えひめが、独自の活動を展開し、ゲイ・バイセクシュアル男性が利用する商業施設を介したアウトリーチ、自治体・保健所と連携した取り組みを行っている。

本研究では、これらの7地域において、MSMを対象に商業施設を介した啓発普及活動、地域の自治体・保健所等、他の関連機関との連携したCBOの取り組みについて調査し、その現状を把握することとした。

## B. 研究方法

地域でMSMに向けて啓発活動を行っているCBOを対象に、商業施設との連携、実施している啓発活動、および自治体・保健所との事業連携に関する調査票を配布し、2014年度の活動状況について回答を得た。対象としたCBOは、東北地域のCBO・やろっこ、東京地域のNPO・akta、東海地域のCBO・ALN、近畿地域のCBO・MASH 大阪、中・四国地域のCBO・HaaT えひめ、九州地域のCBO・LAF、沖縄地域のCBO・nankr 沖縄である。

なお、回答は11月末時点の状況であり、年度内に予定していることも含めた内容とした。また、2014年12月20日（土）21日（日）に行った研究会議において各CBO代表から回答した調査票を基に報告してもらい、CBO同士の情報共有の機会とした。

## C. 研究結果

### 1. CBO の商業施設等との連携状況

7 地域の CBO は、それぞれの地域でゲイ・バイセクシュアル男性が利用する商業施設やサークルなどとコンタクトをとり、それらを介したアウトリーチ活動を実施していた。施設については、ゲイバー、ハッテン場、ゲイナイト、ウリ専、ショップ、サウナ・ホテル、サークル、ゲイメディアとさまざまであった。

CBO が把握する商業施設やサークル等について、地域での施設数(店舗数)、アウトリーチ活動等の協力を得ている数(連携数)、およびその連携率を表 1 に示した。ゲイバーとの連携率(連携店舗数/全店舗数)は、東北 93%、東京 42%、東海 88%、大阪 66%、中・四国 100%、福岡 97%、沖縄 100%であった。全地域では、1,051 店舗の内の 620 店舗(59%)に、CBO が作成した啓発資材を配布していた。この他、商業系有料ハッテン場にも全地域の CBO が関係を構築し、四国、福岡、沖縄地域では地域の全店舗と協力関係を有していた。また、若年層 MSM の利用が多いクラブ系のゲイナイトにおいても、東海、近畿、中・四国、福岡、沖縄の各地域の CBO は、イベントとして開催されるゲイナイトと連携し、啓発資材等の配布を行っていた。

### 2. MSM への啓発普及活動拠点・コミュニティセンターの状況

厚生労働省は、エイズ予防のための戦略研究が終了した翌年度(2011 年度)から、委託事業「同性愛者等の HIV に関する相談・支援事業(コミュニティセンター事業)」を開始した。公益財団法人エイズ予防財団は、全国 6 地域のコミュニティセンター(ZEL、akta、rise、dista、haco、mabui)を軸に事業を受託し、当研究で調査を依頼した CBO(やろっこ、akta、ALN、MASH 大阪、LAF、nankr)がコミュニティセンターの運営と啓発資材作成とアウトリーチ活動を行っている。

コミュニティセンターは、ゲイ・バイセクシュアル男性が利用する商業施設が集積する地域にあり、CBO はセンターを軸にゲイバー、ハッテン場、ゲイショップ、メディア、サークルなどのネットワークを介したコミュニティベースの啓発活動を進めている。また、CBO は、センターを当事者が集う「場」、予防活動の「拠点」、関係機関との連携の「ハブ」としての機能を持たせている。

6 地域のコミュニティセンターの利用状況を表 2 に示した。11 月末時点の来場者数ではあるが、ほぼ前年度並みの利用状況であることが伺える。大阪の dista は、将来的なセンター運営を考慮して、11 月からスペース面積を大幅に縮小(およそ 1/3)した。また、福岡の haco では、アジア圏(中国、韓国、台湾)からの来場者が増加傾向にあることが報告されている。

専従で運営にかかわるスタッフ数や、アウトリーチ活動に関わるボランティアスタッフ数は地域によって異なるが、いずれのセンターも主に 4 時以降の夜間に閉館し、MSM が利用しやすい環境を整えて運営している。

### 3. CBO による啓発普及活動と自治体との連携

7 地域の CBO が商業施設を介して実施している啓発活動を地域別に表 3~9 に示した。活動は、商業施設等を介したコミュニティベースの予防啓発活動、MSM の HIV 検査を促進するための啓発普及活動、自治体や保健所と連携した HIV 感染対策の取り組みに大別された。

#### 1) 東北地域の CBO・やろっこ

おおむね前年度の啓発プログラムを継続していた。東北地域では発症後のエイズ患者の報告数が見られることから中高年層向けの啓発プログラム、2011 年度の震災後の復興需要から転入者が増えていることに対応したプログラムなどが特徴としてあげられる(表 3)。また、仙台市と他の自治体(岩手県保健所)に協力して MSM 対象の HIV 検査会を継続し、こ

こでも中高年層向けに HIV 検査促進の資材作成と配布を行っている。

#### 2) 東京地域の CBO・akta

2003 年から継続している新宿二丁目のゲイバー等を介したアウトリーチ活動を中心に、コミュニティペーパーやコンドーム配布、HIV 陽性者の手記を用いた Living Together プログラム、ハッテン場等への Safer Sex キャンペーン 2014 など、コミュニティベースの予防啓発が行われている(表 4-1)。

日本の HIV 感染者において多くを占める首都圏地域において、MSM の HIV 検査促進は重要であり、エイズ予防のための戦略研究においてはエイズ患者の増加を止めるために「エイズ発症予防『できる!』キャンペーン」を展開した。東京ではその後も、NPO 法人・ぶれいす東京、NPO 法人・akta、そして当研究班の協働体制(首都圏グループ)を継続し、MSM 対策のための行政・自治体・NGO の意見交換会、検査担当者向け MSM 対応の研修会、MSM に向けた HIV 検査の広報、そして MSM 向けの HIV 検査・相談・医療等に関する総合情報サイト HIV マップが継続されている(表 4-2)。

#### 3) 東海地域の CBO・ANGEL LIFE NAGOYA(ALN)

コミュニティセンター rise を軸に ALN は、啓発用コンドームの配布、コミュニティペーパー HANA の制作と配布(年 4 回)を名古屋市のゲイ向け商業施設等に配布した(表 5)。2001 年から ALN が中心となって行ってきた啓発イベント NLGR+ (Nagoya Lesbian & Gay Revolution Plus) は毎年 6 月に実施され、ゲイ向け無料 HIV 検査会が併設して行われた。この無料 HIV 検査会は 2008 年に研究班から名古屋市の事業となり、名古屋医療センターが受託して継続しており、12 月にも M 検 in 名古屋として実施されている。さらに ALN は岐阜県とも協力して MSM 向けの無料 HIV 検査会 M 検 in 岐阜を継続した。

#### 4) 近畿地域の CBO・MASH 大阪

MASH 大阪は、主に堂山、新世界、ミナミの

地域にあるゲイ向け商業施設を介した啓発活動を継続した。中高年層の MSM に向けたプログラムとして、HIV 関連のコミュニティ情報紙「南界堂通信」を開発し、これを厚労省・男性同性愛者等の HIV に関する相談・支援事業費と大阪府、大阪市のエイズ対策予算によって発行している(表 6)。エイズ予防のための戦略研究では、クリニック検査キャンペーンを開発し、MASH 大阪のコミュニティとの連携によって、HIV 陽性率がおよそ 5% といった成果を収めた。このクリニック検査キャンペーンは、戦略研究終了後は大阪府の事業として継続され、本年度はワンコイン検査キャンペーンとして、MSM への広報を行っている。

若年層 MSM において HIV 感染が拡大していることが前身の研究班で示されたことから、MASH 大阪は HaaT えひめ、当研究班と協働して、商業施設を利用し始める年齢層を対象に予防行動、受検行動を促進する啓発プログラム「やる! プロジェクト」を企画し、実施した。このプロジェクトは次年度に新規の介入プログラムを開発し、その効果を評価する予定である。

MSM の HIV 検査受検のハードルを下げることを目標に、「dista でちえっくん(新規)」を開発した。コミュニティセンター dista の閉館時間を利用して、HIV 検査を行うプログラムで、大阪市保健所が MASH 大阪と共同して検査を実施する内容となっている。コミュニティセンター内で HIV 検査を実施したのは、全国でも初めての試みである。

#### 5) 中・四国地域の CBO・HaaT えひめ

商業施設等を介した啓発として、ゲイコミュニティペーパーの発行・配布、コンドームアウトリーチ、10 代 MSM 支援予防介入「+ TALK10」(愛媛地域)、Living Together イベント(愛媛地域)、10 代 MSM 向けネット環境整備、MASH 大阪との連携(新規)を企画し、一部は郵送による配布方法によりアウトリーチ活動が行われている(表 7)。10 代の MSM を対象

とした企画などはスタッフや資金源の不足から計画を縮小して実施していた。なお、MASH大阪、当研究班と協働して、商業施設を利用し始める年齢層を対象に予防行動、受検行動を促進する啓発プログラム「やる！プロジェクト」に参画している。

中・四国地域の広範囲なエリアにも関わらず、MSMのHIV感染対策ネットワークを構築するために自治体を訪問し(出張懇談、新規)、中・四国地域のMSMのHIV対策の試行(新規)としてHIV検査情報ガイドの発行・配布を行っている。また、MSMのHIV検査環境を構築するために、松山市保健所MSM限定HIV検査会、四国4県連携事業(HIV検査担当者研修会；エイズ予防のための戦略研究で開発された研修会)、岡山県のHIV検査情報を広報している。

#### 6)福岡地域のCBO・Love act Fukuoka(LAF)

コミュニティペーパーseasonをリニューアルして発行を継続した(表8)。ゲイコミュニティ受けを狙ったスタイルから、行政との連携や専門性を高めた情報紙に変更している。また、次年度からは商業施設に賛助金を募り発行する計画を検討していることが報告された。

「うえるはこ(若年層向け)」、「HIV陽性者交流会」などはCBOが独自の予算で計画し、ゲイのライフプランを考える会(中高年向け)は、会の開催は中断し、中高年向け資料開発(新規)を厚生労働省エイズ対策研究・医療体制班との協働により製作している。

保健所特例検査広報(コースター)では、商業施設等への設置に関する検討段階での廃案、代案としてのseason作成も裏面MAPやコンドーム紹介が広告にあたるなどの理由から行政の理解が得られないなどの経緯と共に、最終的な福岡県、市との取り組みが紹介された。

#### 7)沖縄地域のCBO・nankr

沖縄本島に加え、離島にある商業施設にもコンタクトを取り、コミュニティペーパー「nankr」や啓発ポスター、フライヤー等のア

ウトリーチを行っている(表9)。また、コミュニティセンターを活用し、HIV陽性者との交流会、Living Togetherプログラムなどを実施している。中高年向けの啓発資料となる情報誌作成の新規企画も計画(1月発行)している。また、MSMが受検するためのHIV検査環境の構築として、HIV検査担当者向け研修会を継続している。沖縄県によるMSM対象のHIV検査会では、MSMへの広報をはかっている。

幾つかのプログラムは、資金源として、厚生労働省・同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業に加え、沖縄県委託費を受けて実施されていた。

#### 4.CBOによる啓発活動の課題

2014年12月に実施した研究班会議では、MSMにおけるHIV感染対策への取り組みについて、7地域のCBOと意見交換を行った。課題の一つとして、コミュニティセンター事業の継続が挙げられた。これは1昨年度から議論されてきたことでもある。コミュニティセンター事業は2015年度で5年目になるが2016年度以降の継続の見通しが見えないことから、センター運営にあたる専従スタッフや非常勤スタッフの雇用、センターの賃貸等の運営費用が継続されない場合は現状のコミュニティセンター活動の継続が困難となることである。さらに、コミュニティに配布する情報紙などの啓発資料作成や啓発プログラム実施は事業費の縮減が続いているため縮小や中断をしなければならない現状にあった。地域によっては、自治体との連携が進んできたことで、MSMに対するHIV感染対策としてMSM向けのHIV検査を実施したり、啓発用チラシや情報誌作成などの予算を自治体が設けるなどの変化が見られている。しかし、東北、中・四国、福岡のCBOは、いくつかのプログラムを縮小、中断せざるを得ない状況であることが報告された。

#### D. 考察

各地域の CBO は商業施設を介した啓発活動を継続し、自治体との事業連携も進めていた。ゲイバーとの連携では、全 CBO が把握している店舗数 1,051 店舗の内 620 店舗(59%)にアウトリーチ活動を行っている。ハッテン場等の商業施設を合わせると 790 店舗に及んでいる。ゲイ・バイセクシュアル男性を対象としたサイト G-CLICK に掲載されているバー、ハッテン場、サウナ等の商業施設は、NPO 法人 akta の 2013 年度報告によれば、全国で 1,824 施設であり、7 地域の CBO はその 43% にアウトリーチしていることになる。商業施設を利用する MSM においては、性感染症既往の割合が高く、予防行動をとらない割合が高いことが示されており、ここに示した CBO によるコミュニティベースの啓発活動はエイズ対策において大切な役割を担っている。1999 年に MASH 大阪が近畿地域の MSM を対象に実施したアンケート調査では、過去 1 年間の HIV 検査受検割合は 19% であったが、その後の啓発活動により受検行動は上昇し、ゲイバー顧客調査でも 30% を超える状況となっている。このことは他の地域でも同様の傾向が示されている。

ハッテン場等の施設との協力関係は、MSM のセクシュアルヘルスを向上する上で大切な取り組みである。本年度のエイズ対策研究推進事業・海外研究者招聘事業により欧州の MSM に向けた HIV 感染対策に取り組んでいる英国の研究者を招聘した。同時に名古屋市立大学の海外研究者招聘事業によりベルギーの研究者も招聘し、欧州における MSM への HIV 感染動向と対策についての情報を得る機会を得た。両国とも近年になって再び MSM の間で HIV 感染が増加している。欧州では、MSM への HIV 感染対策として、啓発協力店舗に共通シールを貼付する “Everywhere Project” が国を越えて行われている。このプログラムについて、大阪と東京で CBO との意見交換会を開

催した。この意見交換を受けて、日本でも同様のプログラムを企画する提案が CBO から研究班会議において出された。7 地域の CBO はそれぞれの地域のゲイバーやハッテン場と協力関係を構築していることから、日本版 “Everywhere Project” を行うことも可能と考えられる。このことによって MSM における HIV 感染予防が全国的に共通した取り組みとして普及していくことが期待される。しかし、このためには、各地域の CBO によるコミュニティベースの啓発活動を継続していく必要がある。

前述したように、コミュニティセンター事業は、当初、エイズ予防対策事業の一環として取り組まれ、2008 年度までに東京(akta)、大阪(dista)、名古屋(rise)、福岡(haco)の 4 地域に設置され、2009 年度からの厚生労働省委託事業「同性愛者等に対する HIV/エイズ予防対策事業」により仙台(ZEL)、沖縄(mabui)が追加された。この間、CBO の啓発介入プログラムは、厚生労働省エイズ対策研究事業による MSM の HIV 感染対策に関する研究班との協働により実施されてきた。2011 年度からは厚生労働省委託事業「同性愛者等の HIV に関する相談・支援事業(コミュニティセンター事業)」となり、施設運営費、運営に係る人件費、啓発資材作成等の費用などを含む事業となった。この事業は、公益財団法人エイズ予防財団が受託し、各地域の CBO と共に男性同性間の HIV 感染予防啓発を進めており、2015 年度で 5 年目となる。2016 年度以降の事業継続はまだ明らかとなっていない。このため今回の調査と研究班会議での意見交換では、コミュニティセンター事業と CBO による MSM に向けた啓発活動の継続が課題としてあげられた。地方自治体からは男性同性愛者等を対象とするエイズ対策推進においてコミュニティセンター事業の有効性が評価され、いくつかの自治体は CBO と連携した MSM への取り組みについて予算化するなどの変化が見られて



いる。地域の実情に詳しい自治体と共にコミュニティセンター事業やCBOによる普及活動が継続されることが望まれるが、エイズ対策予算が厳しい現状にあっては、エイズ担当者がCBO連携の必要性を理解はしても、あらたにこの事業を維持する予算を設けることは困難な状況にある。

英国、ベルギーなどの欧州の国々では再び若いMSMにおいてHIV感染が拡大している。このことは、MSMへのHIV感染対策として恒常的な取り組みが必要であることを示唆している。わが国においては、MSMにおけるHIV/AIDS報告数はやっと横ばいとなった状況にある。頭打ちになってきたかに見える新規HIV感染者数、エイズ発症者数が再び急増してくることがないように、わが国のMSMへのHIV感染対策として、CBOによる啓発活動を継続することは重要と考える。

## E. 結論

CBOは商業施設を介した啓発活動を継続し、自治体との事業連携も進めていた。ゲイバーとの連携率(連携店舗数/全店舗数)は、東北93%、東京42%、東海88%、大阪66%、福岡97%、沖縄100%、中・四国100%であった。全地域で、1,051店舗の内の620店舗(59%)に向けて、作成した啓発資材を配布していた。この他、商業系有料ハッテン場とも全地域のCBOが関係を構築し、福岡、沖縄、四国地域では全店舗と協力関係を有していた。また、CBOは、自治体・保健所と連携し、MSM向けの検査促進の広報資材作成や配布、HIV検査担当者研修会への協力を行っていた。

## F. 発表論文等

### 1. 論文

1) 松下修三, 市川誠一, 生島嗣, 木村哲, 荒木順子: 治療が予防になる時代のコミュニティセンター事業(座談会), HIV感染症とAIDSの治療, 5(2), 4-19, 2014.

## 2. 学会発表(国内)

- 1) 荒木順子, 佐久間久弘, 木南拓也, 岩橋恒太, 大島岳, 柴田恵, 阿部甚兵, 金子典代, 塩野徳史, 市川誠一: MSMを対象とした情報の集約・発信のハブ的装置としてのコミュニティセンターakta, 第28回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪市, 2014年12月.
- 2) 岩橋恒太, 高野操, 大島岳, 阿部甚兵, 柴田恵, 矢島嵩, 加藤悠二, 佐久間久弘, 大木幸子, 塩野徳史, 金子典代, 市川誠一, 生島嗣, 荒木順子: 首都圏居住のMSMを対象とした、HIV抗体検査普及のためのウェブコンテンツ「あんしん HIV 検査リサーチ」の構成とその検討, 第28回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪市, 2014年12月.
- 3) 大畑泰次郎, 判仲昭彦, 田中信雄, 後藤大輔, 尾崎拓治, 野崎丈晴, 塩野徳史, 市川誠一, 鬼塚哲郎: 地方自治体とNGOの協働による中高年MSM層を対象としたHIV予防啓発定期刊行物の発行および発行を促進した要因, 第28回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪市, 2014年12月.
- 4) 宮田良, 塩野徳史, 市川誠一, 金子典代: セックスワーカー女性の実態調査 - インターネットを用いた全国規模のアンケート調査より-, 第28回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪市, 2014年12月.
- 5) 矢島嵩, 岩橋恒太, 柴田恵, 阿部甚兵, 加藤悠二, 大島岳, 佐久間久弘, 市川誠一, 生島嗣, 荒木順子: HIVマップ - 「HIVお役立ちナビ」の改訂に関する考察 -, 第28回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪市, 2014年12月.
- 6) 市川誠一: 「個別施策層に見られる層を越えた取り組みへのニーズ」, シンポジウム4(社会)個別施策層へのエイズ対策~層を超えた取り組み, 第28回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪市, 2014年12月.

### 3.学会発表(国外)

1) J. Koerner, S. Ichikawa, N. Kaneko, S. Shiono, I. Kai: An internet survey investigating the HIV information needs and travel related risk behaviors of English speaking foreign gay and bisexual men in Japan, the 20th International AIDS Conference, Melbourne, Australia, July, 2014

2) K. Iwahashi, S. Ichikawa, S. Shiono, N. Kaneko, J. Koerner, Y. Ikushima, J. Araki, K. Shibata, T. Kinami, M. Takano, S. Oka, S. Kimura: The strategic research 'We can do it! 2010' campaign to promote testing behaviour among MSM in the Tokyo region, the 20th International AIDS Conference, Melbourne, Australia, July, 2014

表 1 地域 CBO の商業施設等との連携

地域 施設等	東北			東京			東海			近畿			福岡			沖縄			中四国							
	店舗数	連携数	連携率	店舗数	連携数	連携率	店舗数	連携数	連携率	店舗数	連携数	連携率	店舗数	連携数	連携率	店舗数	連携数	連携率	店舗数	連携数	連携率					
ゲイバー	28	26	93%	591	247	42%	栄	32	100%	227	149	66%	博多	61	59	96%	42	42	100%	愛媛	5	5	100%			
							伏見	6	4				66%	小倉	9	9				100%	四国	13	13 <sup>*3)</sup>	100%		
							名駅	4	1				25%	計70		68				97%	中国	32	32 <sup>*3)</sup>	100%		
							岐阜	1	1				100%	計49		49				100%						
							計43						38	88%												
有料ハッテン場	4	2	67%	50	73	132%	5	3	60%	20	18	90%	博多	10	10	100%	3	3	100%	四国	2	2 <sup>*3)</sup>	100%			
													小倉	2	2	100%				中国	5	4 <sup>*3)</sup>	80%			
													計12		12	100%				計 7		6 <sup>*3)</sup>	86%			
ゲイナイト							5	5	100%	4	4	100%	6	3	50%	3	3	100%	四国	3	3	100%				
																							中国	6	6	100%
							計 9		9	100%																
ウリ専	2	2	100%	18	2	11%	3	1	33%	31	1	3%	3	0	0%				5	0	0%					
ショップ	2	1	50%	37	12	32%				12	10	83%	4 <sup>*1)</sup>	4	100%											
その他*	1 <sup>*1)</sup>	1		12 <sup>*1)</sup>	4	33%	2 <sup>*1)</sup>	2	100%	4 <sup>*1)</sup>	1	25%				7 <sup>*1)</sup>	6	85%	1 <sup>*1)</sup>	1	100%					
				不明 <sup>*2)</sup>	3				6 <sup>*2)</sup>			1 <sup>*2)</sup>	1							1 <sup>*2)</sup>	1	100%				
				4 <sup>*3)</sup>	2	50%																				
				3 <sup>*4)</sup>	1	33%																				

\* その他の施設 1)セクシュアルマイノリティサークル 2)ウェブサイトを G-CLICKから算出  
 1)サウナ・ホテル 2)ウェブサイトを G-CLICKから算出  
 1)ダイニングバー (ポスター等のみ) 2)ご飯処  
 1)ヘアカット 2)ご飯処  
 1)マッサージ店  
 1)スポーツ大会 2)ピンクドット沖縄 (LT) 3)ゲイの老後を考える会  
 1)ゲイ吹奏楽団演奏会 2)地域ゲイ情報サイト 3)一部郵送対応を含む

表2 MSMへの啓発普及活動の拠点・コミュニティセンターの状況（情報の集約と発信やスペース利用による周知・拡散・相談対応）

（2014年11月末時点の集計）

センター	財源	連携	実施内容(来場者数、状況等)
コミュニティセンターZEL	厚生労働省 同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業 (コミュニティセンター事業)	ゲイ向け商業施設等 厚労省、エイズ予防財団 自治体・保健所等、関連団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総来場者数 1,146名(前年比92%)</li> <li>・初来場者数 76名(前年比84%)</li> <li>・相談件数 8件</li> </ul>
コミュニティセンターakta		ゲイ向け商業施設等キーパーソン、各種HIV関連団体 厚労省、エイズ予防財団 自治体・保健所、教育機関 メディアなど	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総来場者数：4,347人(昨年度：5,185人)</li> <li>・初来場者数：1,096人(昨年度：1,142人)</li> <li>1日あたりの来場者数：27.1人(昨年度：29.4人)</li> </ul>
コミュニティセンターrise		ゲイ向け商業施設等 各種HIV関連団体 厚労省、エイズ予防財団 自治体・保健所、教育機関 メディアなど	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来場者数 2,263名(前年 2,051名 前年比 110%)</li> <li>・初来場者数 115名(前年 107名 前年比 107%)</li> <li>・相談件数 17件</li> <li>*誘致プログラム(手話など)による来場者以外に、NLGR+、虹色どまんなかパレード関連での来場者が増加</li> </ul>
コミュニティセンターdista		ゲイ向け商業施設等・キーパーソン、各種HIV関連団体 厚労省、エイズ予防財団 自治体・保健所、教育機関、 メディアなど	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総来場者数 5,838人</li> <li>・新規来場者数 377人(月平均 729人)</li> <li>*11月よりスペースを縮小して運営(10月13日-10月30日改装休館)、昨年に比べ平均来場者数は増加傾向、新規来場者割合は減少傾向</li> </ul>
コミュニティセンターhaco		ゲイ向け商業施設等 HIV関連団体 厚労省、エイズ予防財団、 自治体・保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来場者数 1,540名(前年比 103%)</li> <li>・初来場者数 201名(前年比 139%)</li> <li>・相談件数 10件</li> <li>*ほぼ毎月の個展開催や、haco貸し出し利用者が来場者数に影響。また観光目的のアジア圏(中国、韓国、台湾)からの来場者が増加傾向。</li> </ul>
コミュニティセンターmabui		ゲイ向け商業施設等 関連団体 厚労省、エイズ予防財団 自治体・保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来場者 1,282人(前年比 61.4%) 11月末まで</li> <li>・初来場者 64人(前年比 38.7%)</li> <li>*貸しスペースの利用状況の減少。一昨年とはほぼ同数で推移。</li> </ul>

表3 CBOによる啓発普及活動 - 東北地域のCBO(やろっこ)活動状況 (2014年11月末時点、進行中を含む)

プログラム名	財源	連携	実施内容(時期、進捗状況等)
予防行動促進資材作成・配布	同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業	ゲイ向け商業施設等 エイズ予防財団/行政	・セクシュアルヘルスの促進を図る啓発普及プログラム 「生を卒業しよう」フライヤー1,000部作成、配布
転入者向け啓発プログラム 「仙台デビュー」	同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業	ゲイ向け商業施設等 エイズ予防財団/行政	・震災後、復興需要から流入人口が増加、転入者を対象にZELの周知とHIVの情報提供
中高年向け啓発プログラム「R-35」	同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業	ゲイ向け商業施設等 エイズ予防財団/行政	・中高年層のMSMを対象とした啓発、ZEL来場とセクシュアルヘルス促進を図るイベント 6月実施(参加8名、初来場1名)、9月実施(参加7名)
若年層向け啓発プログラム	同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業	ゲイ向け商業施設等 エイズ予防財団/行政	・若年層MSMを対象とした啓発イベント 7月実施(参加7名、初来場2名)、11月実施(参加3名)
コンドームの配布	同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業	ゲイ向け商業施設等 エイズ予防財団/行政	・ゲイバー・ハッテン場への定期的なコンドーム配布 11月末まで800個配布
HIV検査促進資材の作成・配布	同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業 (一部、行政費用負担)	ゲイ向け商業施設等 エイズ予防財団/行政	・仙台市や他の自治体等のMSM対象のHIV検査会の周知を図る 仙台市エイズ検査会(6月) ポスター作成15部 仙台市エイズ検査会(12月) ポスター30部 フライヤー300部 岩手県保健所検査 ポスター30部 フライヤー300部 仙台市エイズ検査会については来年度、仙台市協働事業提案制度を利用し、アプリ等へのバナー広告掲載を実施する
中高年向け検査促進資材作成・配布	同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業	ゲイ向け商業施設等 エイズ予防財団/行政	・中高年MSM層を対象としたHIV検査促進 「生涯現役ガイド」フライヤー600部作成と配布

表 4-1 東京地域における CBO (akta) の活動内容 - 予防啓発普及関連 (2014 年 11 月末時点、進行中を含む)

プログラム名	財源	連携	実施内容(時期、進捗状況等)
商業施設等を介したコミュニティベースの予防啓発活動			
デリバリーヘルスプロジェクト	同性愛者等の HIV に関する相談・支援事業 東京都委託事業	ゲイ向け商業施設等 厚労省、エイズ予防財団 東京都福祉保健局、	・アウトリーチ活動/毎週金曜日(第三週目を除く) 20~22 時 DELIVERY BOYS (2 丁目バーの訪問) ADULT(新宿中心にハッテンバ訪問)1 回/月 発送
コミュニティペーパーの作成と配布	同性愛者等の HIV に関する相談・支援事業	ゲイ向け商業施設等、ゲイコミュニティのキーパーソン、NGO 厚労省、エイズ予防財団 自治体・保健所、各種関連機関	・フリーペーパーの制作・配付 1)community center akta monthly paper 5,000 部/月 2)ポスター 500 部/月
TAKE FREE コンドームの作成と配布	同性愛者等の HIV に関する相談・支援事業 デリバリーボーイズ 協力店舗募金 ファンドレイジング	ゲイ向け商業施設、ゲイコミュニティのキーパーソン、メディア、企業ほか	・コンドームの制作・配付 年間で 6 万 6,000 個随時作成・配布 SS キャンペーンと連動したコンドーム作成予定
予防行動促進プログラム Safer Sex Campaign 2014	同性愛者等の HIV に関する相談・支援事業	ゲイ向け商業施設、各種関連機関、ゲイコミュニティのキーパーソン、メディア、企業ほか 厚労省、エイズ予防財団	・ハッテンバオーナー等との意見交換会、啓発資材の開発、トークイベント、広報、キャンペーン、 「EVERYWHERE」意見交換会 12/8 ハッテンバを中心としたキャンペーン 2 月実施予定 ハッテンバオーナー、スタッフとの関係性を構築・継続
Living Together	東京都福祉保健局	東京都福祉保健局、新宿・浅草・上野・渋谷のゲイ向け商業施設、ぶれいす東京、LivingTogether 計画、行政・自治体他関連機関、多様なキーパーソンほか	・HIV 陽性者の手記をベースとした啓発 akta TAG TOUR(年 2 回) Living Together のど自慢(年 6 回、新宿、浅草、渋谷等)
HIV/エイズのトークイベント	東京都福祉保健局	東京都福祉保健局 HIV 関連機関(相談、支援、医療、教育、当事者団体、自助グループ、ゲイコミュニティのキーパーソン、企業他	・akta Talk Show HIV/エイズの今を知る! として年 4 回 「ぼくらの暮らしとセーフターセックス」などのテーマ

表 4-2 東京地域における CBO (akta) の活動内容 - HIV 検査の普及活動関連 (2014 年 11 月末時点、実施計画を含む)

プログラム名	財源	連携	実施内容(時期、進捗状況等)
HIV 検査の啓発普及活動(自治体との協働を含む)			
検査普及プログラム	同性愛者等の HIV に関する相談・支援事業	エイズ予防財団、行政、自治体、ゲイ向け商業施設、メディア、キーパーソンほか	・検査情報、ゲイスポットガイド、MAP 掲載冊子等の作成配布 ヤローページ: HIV マップのあんしん検査サーチと連動 ヤローページ号外・浅草・上野特集の作成と配布
MSM 対策のための行政・自治体・NGO の意見交換会	NPO 法人 akta 他	厚生労働省、エイズ予防財団、東京都福祉保健局、神奈川県保健福祉局、千葉県健康福祉部、埼玉県保健医療部疾病対策課、MSM 研究班、ぷれいす東京、各保健所、関連機関	・第 6 回意見交換会/11 月 30 日(金) 東京都健康安全研究センターにて実施、参加者 30 人 オブザーバー: 厚生労働省、エイズ予防財団、東京都健康安全研究センター
検査対応者向け研修会	同性愛者等の HIV に関する相談・支援事業 東京都福祉保健局 神奈川県保健福祉局 千葉県健康福祉部ほか	東京都福祉保健局、神奈川県保健福祉局、千葉県健康福祉部疾病対策課、ぷれいす東京、MSM 研究班ほか	・東京都福祉保健局/6 月 24 日(既に予算化) 千葉県保健福祉部/11 月 7 日(初予算化) 神奈川県保健福祉局/1 月 19 日(既に予算化)
行政機関による無料匿名検査の広報(一部新規)	港区みなと保健所 新宿区保健所 多摩川病院(東京都福祉保健局) 千葉県保健福祉部	港区みなと保健所、新宿区保健所、多摩川病院、千葉県健康福祉部、ゲイ向け商業施設、風俗店、ゲイ向けアプリ、デアイ系 web サイト、メディア、ゲイコミュニティのキーパーソン、NGO、医療機関	・港区 AI チェック・フライヤー制作(6 9 月、11~2 月) ・新橋あんしん検査(7 月、12 月)フライヤー配布、バナー広報 ・ゲイのためのエイズ・性感染症検査(6 月、12 月) ・多摩地域検査・相談室(10 月、1 月~3 月) バナー広報 10 月、1 月 バナー制作・広報 2 月、3 月 ・千葉県休日検査会 成田市、松戸市、浦安実施予定
セクシュアリティに配慮した資料開発(一部新規)	東京都福祉保健局 多摩川病院 厚生労働省	行政、医療機関、他 NPO・CBO、ゲイ向け商業施設、ゲイコミュニティキーパーソン、各地センター	MSM に向けた東京都保健所マップの作成・配布 梅毒 啓発資料の作成・配布(新規)
HIV マップ	厚生労働省委託事業	厚生労働省、行政、自治体、保健所、ぷれいす東京、関連機関ほか	・MSM 向け HIV 検査・相談・医療等に関する総合情報サイト 検索機能強化、アプリ向け広報、フライヤー制作配布
研究・評価	MSM 研究班 NPO 法人 akta	新宿 2 丁目を中心とした商業施設、連携した保健所、akta 利用者、MSM 研究班ほか	・アンケート調査とフィードバック 2 丁目のバーを基点に実施 ・第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会参加/口演、ポスター展示

表5 CBOによる啓発普及活動 - 東海地域のCBO(ANGEL LIFE NAGOYA)活動状況 (2014年11月末時点、進行中を含む)

プログラム名	財源	連携	実施内容(時期、進捗状況等)
コミュニティペーパー-HANA	同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業	エイズ予防財団	・フリーペーパーの制作・配付 Vol. 6とVol. 7発行済 1月中にVol. 8を予定(各号2,500部) 文字サイズを大きくして、中高年層にも読みやすくした アウトリーチ以外に、クラブイベント、MSM向け検査会でも配布
JOINT (若者向け)	同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業 + 独自予算	エイズ予防財団	・毎月第3土曜日に開催、最後にSTI関連情報を提供 イベント形式では、参加者の参加費により賅っている 参加者数55名 初参加8名
HOW TO(勉強会、新規)	同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業	エイズ予防財団	・HIVの基礎知識、検査の必要性、Safer SEX、HIV以外のSTI、月替わり(HIVの現状など)の5テーマを1サイクルとして実施 毎月第4土曜日に開催
ライフプランニング (若者~中高年層、新規)	独自予算		・将来の生活費や医療費の確保の話題を通じて自己の老後(ライブプラン)を積極的に考えることで、結果として自己肯定感を高める企画 毎月第2土曜日に開催
啓発コンドーム	同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業	エイズ予防財団	・ゲイバー等へのアウトリーチ活動 aktaのデザインによるコンドームも含む ゲイバー4,900+ハッテン場6,900+検査会1,200個
ハッテン場ロッカー告知マグネット	名古屋市	行政	・試行の交渉をしたが、ハッテン場側から拒否され、対策を検討中
キーパーソン向け冊子新規	名古屋市	行政	・現在校正中で、1月以降に発行予定、500部
MSM向け検査会 NLGR+検査、M検査 in 名古屋	名古屋市	行政	・NLGR+検査会 5月30日採血、6月1日結果通知 受検者481名 M検査 in 名古屋 11月29日即日通知 受検者131名 広報はゲイ雑誌3社、ポスター、フライヤー、ゲイ向けSNSのバナー 広告 事前に検査会クイズに全問正解すると認定が受けられ、検査前オリエンテーションが短縮されるシステムを導入 検査項目はHIV(必須)、梅毒・B型肝炎・C型肝炎(希望者のみ)
愛知県内保健所案内	愛知県	行政	・愛知県内の保健所の検査日程案内3,000部発行 毎月のアウトリーチ、クラブイベント、MSM向け検査会にて配布 愛知県内の保健所でも常設
MSM向け検査会 M検 in 岐阜	岐阜県	行政	・2015年1月9日HIV検査担当者への研修会、1月31日実施予定 前年受検者数36名
WADN実行委員会	独自予算	各HIV関連団体	・名古屋所在であるHIV関連の11団体と共催で、高校生向けの講座や講演会、世界エイズデーのパレードを実施



表6 CBOによる啓発普及活動 - 近畿地域のCBO(MASH大阪)活動状況 (2014年11月末時点、進行中を含む)

プログラム名	財源	連携	実施内容(時期、進捗状況等)
中高年 MSM 向け資材 -南界堂通信-	大阪府/市 MSM エイズ対策予算  同性愛者等の HIV に関する相談・支援事業	行政(府・市) 商業施設等	<ul style="list-style-type: none"> <li>中高年 MSM を対象とした HIV 関連のコミュニティ情報紙</li> <li>第7号(5月配布): 商業施設 197 / 他団体 40 件に 3,033 部配布</li> <li>第8号(8月配布): 商業施設 200 / 他団体 39 件に 2,966 部配布</li> <li>第9号(11月配布): 商業施設 189 / 他団体 39 件に 2,772 部配布</li> <li>* セクシュアルマイノリティの全国大会(10/11・12)、エイズ学会(12/3・4・5)で成果を発表</li> <li>* 動く南界堂企画として茶会を実施(12/4、参加者 43 人、参加者の平均年齢は高く、dista 来場の新規割合も通常に比べ高かった)</li> </ul>
コンドーム使用促進プログラム -「やる！」プロジェクト- (新規)	男性同性間の HIV 感染予防対策とその介入効果の評価に関する研究・分担研究費  同性愛者等の HIV に関する相談・支援事業	MSM 研究班 HaaT えひめ nankr 商業施設等 クラブイベントオーガナイザー 岡山県	<ul style="list-style-type: none"> <li>「やる！」プロジェクトを HaaT えひめと協働開発、後に nankr とも協働</li> <li>【ゲイクラブ(2 イベント)】【ハッテン場(サウナ系商業施設 4 店舗)】</li> <li>岡山県との協働、県を通じて岡山県 NGO が岡山の商業施設に配布</li> <li>MASH 大阪と HaaT えひめで疫学動向の情報を掲載したポストカードを作成、岡山県が印刷、MASH 大阪に納品、寄付のコンドームやローション、ポストカード、HaaT えひめデザインの岡山県の検査情報フライヤー(名刺サイズ)をボランティアが封入。配布は以下の通り</li> <li>岡山県から岡山県 NGO にアウトリーチ依頼、HaaT えひめからイベントオーガナイザーに依頼、配布総数は 5,252 個</li> </ul>
コンドーム使用促進プログラム ハッテン場利用者に向けた介入 (新規)	大阪府/市 MSM エイズ対策予算	行政 商業施設等	<ul style="list-style-type: none"> <li>MSM 向け臨時検査の広報の一環として、11 月に実施</li> <li>「やる！」プロジェクトに吸収し、コンドームなどをハッテン場ロッカーに配布。検査広報資材の取得率は以前の資材と比べて高い</li> </ul>
ワンコイン検査キャンペーン広報	大阪府事業費	大阪府・クリニック 府公衆衛生研究所 商業施設等 NPO・CHARM	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 戦略研究のクリニック検査キャンペーンをモデルに大阪府が事業化</li> <li>* 他の検査イベントや検査会との広報期間の調整が課題</li> <li>夏季: 8 月~9 月、冬季: 12 月~2 月に実施</li> </ul>
dista でちえっくん(新規) dista 利用者アンケート	大阪市研究費	財団、大阪市 商業施設等 NPO・CHARM NPO・ぶれいす東京	<ul style="list-style-type: none"> <li>dista で HIV 検査を実施、大阪市保健所との協働</li> <li>2015 年 1 月に実施予定</li> <li>dista 来場者アンケート(目標 400 人)</li> </ul>

表7 CBOによる啓発普及活動 - 中・四国地域のCBO(HaaT えひめ)活動状況 (2014年11月末時点、進行中を含む)

プログラム名	財源	連携	実施内容(時期、進捗状況等)
ゲイコミュニティペーパーの発行・配布	同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業研究費	ゲイ商業施設	・四国地域版 年間4回発行 5号、6号発行済み、12月、3月に発行予定
コンドームアウトリーチ	在庫のコンドーム	ゲイ商業施設	・愛媛地域と中四国のゲイクラブイベントにて配布(随) 松山市内6回、中四国クラブイベント7回
10代MSM支援予防介入「+TALK10」(愛媛地域)	参加者負担/寄付金	ネット/教育関係	・10代の若いMSMを対象とした啓発 月1回を予定したが、人材・予算不足から年8回に縮小
Living Together イベント(愛媛地域)	松山市委託事業	ゲイ商業施設/行政	・HIV検査普及週間・世界エイズデー前後に開催 5月18日(参加者35名)、11月23日(参加者25名)に実施
10代MSM向けネット環境整備	活動費(寄付金など)	ゲイCBOなど	・10代同性愛者向け支援サイト「10スタート」の運営 予算不足のためドメインとサーバーの維持のみ
MASH大阪との連携(新規)	同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業	MASH大阪など	・「やる！」プロジェクトと共同でコミュニティペーパーFight!!発行
中四国地域のMSMのHIV対策ネットワークの構築(出張懇談)(新規)	エイズ予防財団助成	行政	・中四国地域の行政と連携したMSMのHIV感染対策の構築 愛媛県・松山市(随時)、岡山県・岡山市・倉敷市(5/27)、広島県(7/11)、香川県・高松市(8/1)、徳島県・高知県・高知市を年度内に予定
中四国地域のMSMのHIV対策の実際の試行(新規)	エイズ予防財団助成	行政/ゲイ商業施設	・中四国地方のHIV検査情報ガイド発行・配布(7月発行) 中四国地方のゲイ商業施設・クラブイベント・保健所検査場で配布
松山市保健所MSM限定HIV検査会	活動費(寄付金など)	行政	・MSM対象のHIV検査会のゲイコミュニティへの告知およびネット予約サイトの運営、6月8日(日)16~17時半に15迷惑で検査実施 ネット予約13件、TEL2件
中四国の自治体・保健所との連携(新規)	四国4県連携推進費適用事業	1)徳島県・香川県・愛媛県・高知県	・四国4県連携事業(個別施策層へのエイズ予防対策)新規 ・四国HIV検査促進リーフレット ・四国4県HIV検査担当者研修会 ・MSM向けコンドーム製作
	岡山県	岡山県	・岡山県第2回エイズ対策研究会(MSM検査対応向上研修)新規 岡山県・岡山市・倉敷市HIV検査担当者向け研修、1月実施予定
	山口県	山口県	・山口県エイズ研修会(新規)8月
映画トークバック松山上映会(新規)	実行委員会、松山大学	地域	・上映会実行委員会に参加、11月30日、松山大学にて実施

表8 CBOによる啓発普及活動 - 福岡地域のCBO(Love Act Fukuoka)活動状況 (2014年11月末時点、進行中を含む)

プログラム名	財源	連携	実施内容(時期、進捗状況等)
コミュニティペーパー-season	同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業	エイズ予防財団 商業施設等	・35号からリニューアル発行、配布数は変わらず。 *デザイン、内容ともにコミュニティ受けを狙ったスタイルから、行政と連携し、情報の専門性も高めたニュートラルな情報誌に改変 *次年度から、商業施設から賛助金を募り発行する計画を検討
うえるはこ(若年層向け)	独自の予算		・若年層を対象とした企画で、月1回開催。 *参加者数はばらつきがあり、来場者数41名、初来場者7名
HIV陽性者交流会	独自の予算	関係団体・機関	
ゲイのライフプランを考える会 (中高年向け) →中高年向け資料の開発 (新規)	厚生労働省エイズ対策研究・医療体制班	医療体制班	・「考える会」の定期開催はマンパワー不足により中断、再開は未定。 ・中高年向け資料は、九州医療センターおよび医療体制班との協働により製作。2月発行予定
保健所特例検査広報 (コースター)	同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業  福岡県/市	福岡県/市 財団	・福岡における保健所等のHIV検査情報の普及啓発を企画 *コースター案は商業施設等の設置協力が得られるかという点で検討した結果、廃案。次いで、市予算によるseason作成を提案したが、裏面MAPや Condom 紹介が広告にあたるとの理由から却下。 最終的に福岡県、市が特例(夜間・休日)検査広報フライヤーを作成し、hacoで主に初来場者を中心に配布している Condom (オカモト)とローション(ジェクス)のセットパックを市予算で増産し、2月の中央区保健所特例検査広報のミニフライヤーを制作し、封入、配布

表9 CBOによる啓発普及活動 - 沖縄地域のCBO(nankr)活動状況 (2014年11月末時点、進行中を含む)

プログラム名	財源	連携	実施内容(時期、進捗状況等)
コミュニティペーパー作成・配布	同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業	商業施設等、エイズ予防財団/自治体	・コミュニティ情報紙nankrの発行、年に4回(3回発行済)
啓発ポスターフライヤー作成・配布	同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業	商業施設等 エイズ予防財団	・MSM対象の予防啓発資料として作成(2月作成予定)
陽性者との交流会	県委託費	自治体/NGO	・9月7日実施
Living Together	県委託費	自治体/NGO	・12月20日実施
中高年向け資料作成新規	県委託費	商業施設等 ハッテン場/サークル	・発展場に配布(「やる!」プロジェクト) ・中高年向けHIV関連・コミュニティ情報掲載の新聞(1月発行予定)
HIV検査担当者向け研修会	同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業	エイズ予防財団 自治体・保健所	・保健所等のHIV検査担当者に向けた研修会(7/22)
検査促進に向けた広報	市・県委託費	自治体	・MSM検査会(12/6)の広報(県)



厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策政策研究事業  
男性同性間のHIV感染予防対策とその介入効果の評価に関する研究

男性同性間性的接触による  
HIV陽性者における予防啓発との接点と感染リスク行動に関する調査

研究分担者： 健山正男（琉球大学大学院 感染症・呼吸器・消化器内科学講座 准教授）  
研究協力者： 仲村秀太、原永修作、比嘉 太、藤田次郎（琉球大学大学院 感染症・呼吸器・消化器内科学） 宮城京子、前田サオリ（琉球大学医学部附属病院看護部）

研究要旨

沖縄県における男性同性間性的接触によるHIV陽性者を対象に感染リスク行動に関する調査を実施し、従来の予防啓発の評価を行うことを目的とした。

初年度に平成27年度より開始する多施設によるHIV陽性者アンケート調査の資料とすべく、パイロット調査を行った。これらを踏まえて、規模を拡大し、従来の予防啓発の課題を探り、新たな視点の予防介入方法の開発を図る(3年度)。

**調査対象：** 当院に通院するHIV陽性者で、セクシャリティをMSMと自ら明らかにした者の中で、アンケート調査に協力を得られた15人に配布し、回収された12人を対象とした。(有効回収率71.4%)。調査期間は2014年10月1日～12月20日までとした。アンケート項目は全25問で下記の5群で行った。

1. 回答者属性に関する質問群、2. 感染告知以前の受療環境に関する質問群、3. 感染告知以前の予防知識・認識・行動に関する質問群、4. 感染告知以前の情報入手経路に関する質問群、5. 予防情報への暴露状況に関連した質問群とした。

**結果：** 感染した時期は20代が最多であった。感染した地域は不詳が33.3%であった。セックスパートナーと出会うために利用した手段はハッテン場(33.3%)、ゲイバー(50.0%)、ゲイ専用掲示板(33.3%)であった。感染が判明する前のHIV受検歴では8人(66.7%)が検査歴無しで7人(58.3%)が現在のHIV検査は受けにくいと回答していた。HIV感染が判明する前に最後に病院に行った理由に、HIVと関連した疾患と回答したものは8人(66.7%)であった。受診した医療機関でHIV検査を勧められたのは7人(58.3%)で、4人(33.3%)は勧められていなかった。4人がAIDS指標疾患ではなく性感染症などを理由として受診していた。急性HIV感染症の記憶があるかの問いでは7人(58.3%)が覚えており、5人が実際に医療機関を受診していた。自分がHIVに感染する可能性について、全く心配していなかったのは5人(41.7%)であった。HIV関連情報の入手経路に関する質問群ではネットや掲示板とMSMの商業施設・イベントが多く、両方で過半数を占める一方、テレビ・新聞・ポスターは訴求効果に乏しい結果であった。

A. 研究目的

沖縄県におけるHIV感染者の増加は1999年より顕著となり、2007年の人口10万人あたりの新規感染者は2.58人と全国で2番目に高い陽性率となった。2014年には、新規感染者数は過去最多となり、その93%をMSMが占

める。

MSM集団は個別施策層としてこれまで数々のHIV予防啓発に関する研究および事業が行われてきたが、大都市を中心としたモデル事業であり、本県のような地域の予防啓発モデルとして適切なのかは不明である。またこれ

までの予防モデルの基礎データとなった対象群は HIV 陽性者をわずかな部分集合とする、殆どが非 HIV 陽性である MSM 集団であり、これらから得られた解析情報を HIV 陽性者におけるリスク行動に当てはめられるかは不明である。このことから HIV 陽性者に絞った調査を行い、これまでのプログラムでは情報が届きにくい、いわゆる hard-to-reach population にあたるのか否かを検討する必要があると思われる。これらは一次予防対策であるが、二次予防対策として、早期発見が重要であり、感染後に医療機関で診断または検査の機会がなかったのかを質問項目に設定した。

HIV 陽性者の MSM は感染する前にどのようなソーシャルネットワークを持ち、どのように予防の情報に接していたのか、そうしたネットワークに、予防の主体（公的機関、研究者、CBO など）はどう介入したらよいかをフォーカスし、クライアント像を見極め、本県における今後の MSM 向け予防戦略の方向性を検証した。

## B. 研究方法

1. 調査対象は当院に通院する HIV 陽性者で、感染経路が MSM と自ら明らかにした者の中で、アンケート調査に協力を得られた 20 人に配布し、回収された 12 人を対象とした。（回収率 60.0%）。
2. 調査期間は 2014 年 10 月 1 日～12 月 20 日までとした。
3. アンケート配布および回収法
  - 1) 事前に口頭でアンケート調査の趣旨説明を行った。
  - 2) 参加の同意を得られた者に、アンケートを手渡した。
  - 3) 無記名の自記式質問紙調査法
  - 4) 回収法は無記名の封筒による郵送で匿名性を担保した。
4. アンケート概要
  - 1) 本研究班にて独自に作成した。

- 2) 原則として 5 段階スケール評価を採用した。アンケートは下記の 5 群より構成した。
  - a) 回答者属性に関する質問群
  - b) 感染告知以前の性行動に関する質問群
  - c) 受療機会と HIV 受検に関する質問群
  - d) 感染告知以前の予防意識・認識・行動に関する質問群
  - e) 感染告知以前の情報入手経路に関する質問群

## C. 研究結果

### 1. 回答者の属性に関する質問群

セクシャリティではゲイを自認する解答が 100%であった。感染した時期は 20 代が最多で 60%を占め、30 代( 33.3%)、40 代( 16.7%)であった（図 1）。

感染した地域は沖縄県が 41.7%と最多だが、不詳が 33.3%であった。HIV 感染が判明した時の病期( ステージ)は HIV が 6 人、AIDS が 5 人であった（図 2）。

図 1. 感染した時の年代（回答者数 12 名）

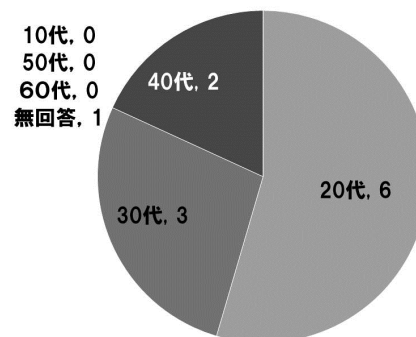
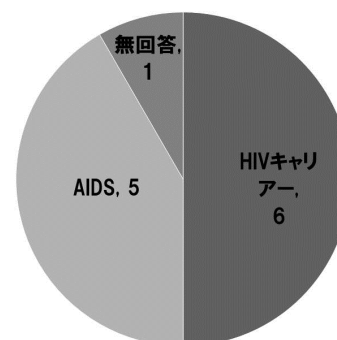


図 2. HIV感染の病期（回答者数 12 名）



2. 感染告知以前の性行動に関する質問群
  - セックスパートナーと出会うために最も利

用する手段はハッテン場(33.3%)、ゲイバー(50.0%)、ゲイ専用掲示板(33.3%)であった(図3)。

### 3. 受療機会とHIV受検に関する質問群

感染が判明する前のHIV受検歴では、8人が検査歴無しで(図4)7人(58.3%)が現在のHIV検査は受けにくいと回答していた(図5)。検査歴無しの者では6人(75%)が受けにくいと回答した。

HIV感染が判明する前に最後に病院に行った理由に、HIVと関連した疾患と回答したものは8人(66.7%)であった(図6)。受診した医療機関でHIV検査を勧められたのは7人(58.3%)で、4人(33.3%)は勧められなかった(図7)。4人がAIDS指標疾患ではなく性感染症などを理由として受診していた。

急性HIV感染症の記憶があるかの問いでは7人(58.3%)が覚えており(図8)、5人が実際に医療機関に受診していた(図9)。

図3. セックスパートナーとの出会う為の方法

(回答者数12名 複数回答)

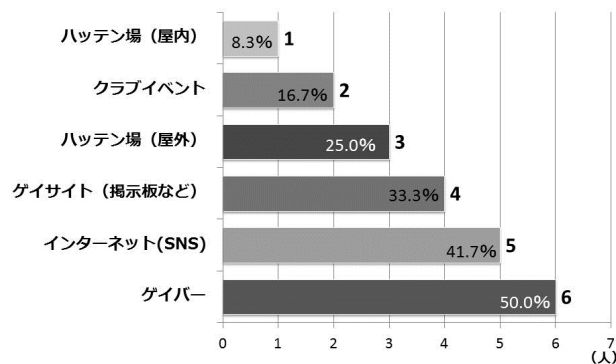


図4. HIV感染が判明する前のHIV検査の受検歴

(回答者数12名)

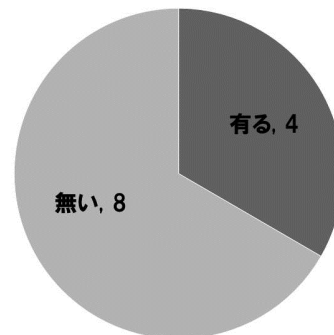


図5. 現状のHIV検査は受けやすかったか

(回答者数12名)

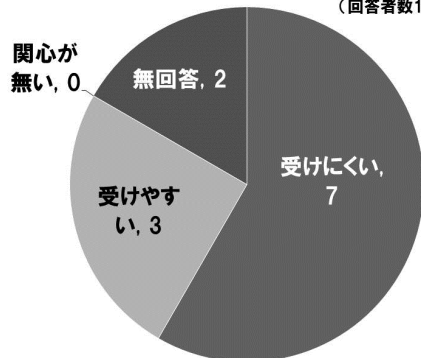


図6. HIV感染告知前の最後に病院に行った理由

(回答者数12名)

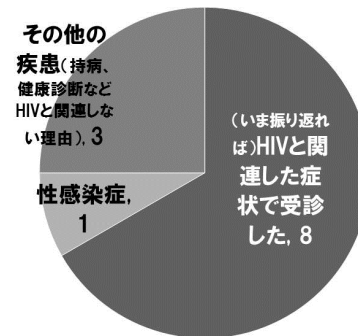


図7. HIVに関する疾患で受診した際、病院はHIV検査を勧めたか

(回答者数12名)

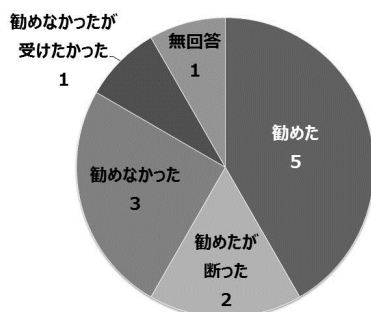
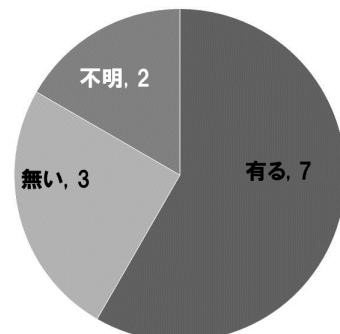


図8. 急性HIV感染症の記憶の有無

(回答者数12名)



#### 4. 感染告知以前の予防意識・認識・行動

感染告知以前の予防意識・認識・行動に関する質問群では、自分が HIV に感染する可能性について、5 人 (41.7%) が全く心配していなかったと回答していた (図 10)。

#### 5. 感染告知以前の HIV 関連情報の入手経路

感染告知以前の HIV 関連情報の入手経路に関する質問群ではネットや掲示板と MSM の商業施設・イベントが多く、両者で過半数を占める一方、テレビ・新聞・ポスターなどは訴求効果に乏しい結果であった (図 11)。

図9. 急性HIV感染症時に病院受診の有無  
(回答者数12名)

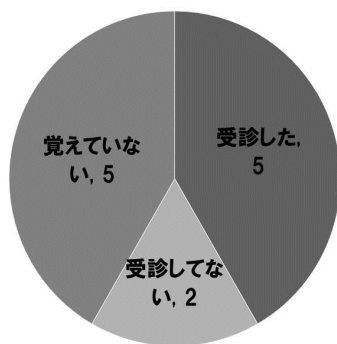


図10. 自分がHIVに感染する可能性について  
(回答者数12名)

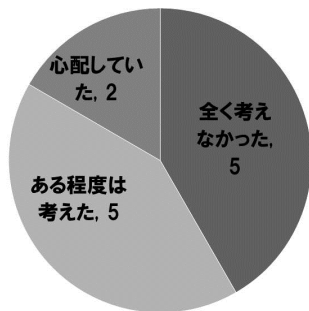
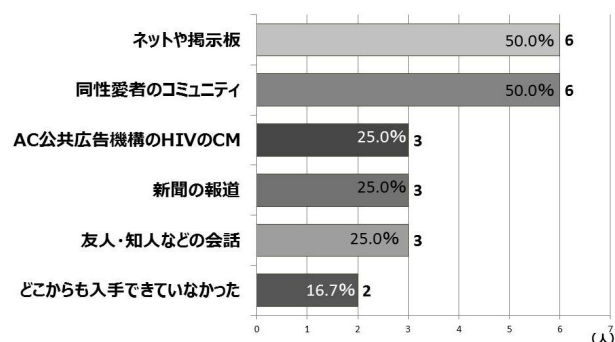


図11. HIV陽性を知る前に認知していたHIV関連情報の入手先  
(回答者数12名 複数回答)



#### D. 考察

1. 男性同性愛者で HIV に感染した群は、感染しなかった群と特徴的な行動様式があるかについては、HIV 受検率が低い、心因的な検査のハードルが高い、情報の入手の量と質が足りないなどの傾向がみられたが、統計的に有意であるかは、今後アンケート数を増加し、これまで本研究班が蓄積してきたクラブイベント・バー調査、インターネットアンケート調査との比較検討が必要である。

2. MSM への HIV 関連情報の伝達は、行政が主導している個別施策層を意識しない、画一的な方法では訴求性が低いことが示唆された。

3. 今回は、HIV 感染者早期発見のために、感染リスクの高い患者に対する医療機関の対応について、初めて質問項目を作成した。特に急性 HIV 感染症時期では予想以上の受診歴があり、これらの症状に対する医療機関の啓発が必要と思われた。

4. 急性 HIV 感染症を自覚して受診した際に、担当医より HIV 検査を勧められたかを問う、質問を追加すべきと思われた。

#### E. 結語

HIV感染者の行動様式を理解することは、一次および二次予防に有用であると推察された。

#### F. 個人情報の管理について

1. 個人情報の紛失、流出、改ざんおよび漏洩などを防ぐため、個人情報を保有するのは本研究の代表者 (研究分担者) のみとし、情報管理上問題は発生しなかった。

2. 法令等の順守については、個人情報保護に関して適用される法令、国のガイドラインを熟読し順守した。



## G. 発表論文等

(○印は当研究班に関連した発表)

( 研究論文 )

1. Nakamura H, Tateyama M, Tasato D, Haranaga S, Ishimine T, Higa F, Kaneshima H, Fujita J. The prevalence of airway obstruction among Japanese HIV-positive male patients compared with general population; a case-control study of single center analysis. *J Infect Chemother.*20(6):361-4. 2014
2. Nakamura K, Tateyama M, Tasato D, Haranaga S, Tamayose M, Yara S, Higa F, Fujita J. Pure red cell aplasia induced by lamivudine without the influence of zidovudine in a patient infected with human immunodeficiency virus. *Intern Med.*53(15):1705-8.2014
3. Hibiya K, Tateyama M, Teruya K, Mochizuki M, Nakamura H, Tasato D, Furugen M, Higa F, Endo H, Kikuchi Y, Oka S, Fujita J. Depression of local cell-mediated immunity and histological characteristics of disseminated AIDS-related Mycobacterium avium infection after the initiation of antiretroviral therapy. *Intern Med.*52(16):1793-803.2013.
4. Hibiya K, Teruya K, Tateyama M, Oka S, Fujita J, Enteral entrance of Mycobacterium avium in patients with disseminated mycobacterial disease. *International Journal of Mycobacteriology.*2:121- 122.2013
5. Hibiya K, Teruya K, Tateyama M, Oka S, Fujita J, Enteral entrance of Mycobacterium avium in patients with disseminated mycobacterial disease. *International Journal of Mycobacteriology.* 121-122. 2013
6. Hibiya K, Tateyama M, Teruya K, Mochizuki M, Nakamura H, Tasato D, Furugen M, Higa F, Endo H, Kikuchi Y, Oka S, Fujita J. Depression of Local Cell-mediated Immunity and Histological Characteristics of Disseminated AIDS-related Mycobacterium avium Infection after the Initiation of Antiretroviral Therapy. *Intern Med .* 52(16):1793-1803.2013
7. ○塩野徳史, 金子典代, 市川誠一, 山本政弘, 健山正男, 内海眞, 木村哲, 生島嗣, 鬼塚哲郎: MSM (Men who have sex with men) における HIV 抗体検査受検行動と受検意図の促進要因に関する研究, *日本公衆衛生雑誌*, 60(10), 639-650, 2013
8. Hibiya K, Tateyama M, Niimi M, Teruya H, Karimata Y, Hirai J, Tokeshi Y, Haranaga S, Tasato D, Nakamura H, Ihama Y, Haron A, L Cash H, Higa F, Hokama A, Ogawa K, Fujita J. Acquired Immune-deficiency Syndrome with Focal Onset of Mycobacterium avium Infection Displaying a Histological/Genetic Pattern of Disseminated Mycobacteria. *Intern Med* 51(21):3089-3094. 2012.
9. 健山正男, 比嘉太, 藤田次郎: 我が国における AIDS 発症動向 - 「いきなり AIDS」の問題, *日本医事新報*, 4676, 25-30, 2013
10. Hibiya K, Tateyama M, Niimi M, Teruya H, Karimata Y, Hirai J, Tokeshi Y, Haranaga S, Tasato D, Nakamura H, Ihama Y, Haron A, L Cash H, Higa F, Hokama A, Ogawa K, Fujita J, Acquired Immune-deficiency Syndrome with Focal Onset of Mycobacterium avium Infection Displaying a Histological/ Genetic Pattern of Disseminated Mycobacteria, *Intern Med.*, 51(21): 3089-3094, 2012

( 学会発表 )

1. ○金子典代, 塩野徳史, 健山正男, 山本政弘, 鬼塚哲郎, 内海眞, 伊藤俊弘, 岩橋恒太, 市川誠一: MSM 向けインターネット横断調査に続く追跡パネル調査法の妥当性の検討, 第 27 回日本エイズ学会学術集会・総

- 会,熊本市,2013
2. ○牧園裕也,荒木順子,石田敏彦,太田貴,金城健,後藤大輔,伊藤俊広,内海眞,鬼塚哲郎,山本政弘,健山正男,塩野徳史,金子典代,市川誠一:MSM 向けエイズ対策としてのコミュニティセンターの意義と妥当性の検討,第27回日本エイズ学会学術集会・総会,熊本市,2013
  3. 健山正男,田里大輔,仲村秀太,仲松正司,宮城一也,原永修作,比嘉太,藤田次郎:HIVに関連した神経認知障害の臨床的検討,第86回日本感染症学会総会・学術講演抄録,86:326,2012
  4. 健山正男,比嘉太,田里大輔,宮城一也,原永修作,藤田次郎:行政と連携し集団予防内服により2次感染を抑制できた劇症型髄膜炎菌性肺血症症例,第60回日本化学療法学会学術集会プログラム・抄録集,60:287,2012
  5. 前城達次,田中照久,平田哲生,田里大輔,比嘉太,健山正男,金城福則,藤田次郎:HIV/HBV重複感染症におけるTenofovir及びEmtricitabineによる抗HBV効果の検討,第86回日本感染症学会総会・学術講演抄録,86:437,2012
  6. 田里大輔,健山正男,仲村秀太,古堅誠,宮城一也,原永修作,屋良さとみ,比嘉太,藤田次郎:AIDS患者に発症した非結核性抗酸菌症5例の検討,第87回日本結核病学会総会講演集,87:309,2012
  7. 田里大輔,健山正男,仲村秀太,狩俣洋介,仲松正司,金城武士,古堅誠,宮城一也,前城達次,原永修作,屋良さとみ,比嘉太,藤田次郎,赤痢アメーバ大腸炎・肝膿瘍に腸結核および肝結核を合併したAIDSの1例,第82回日本感染症学会西日本地方会学術集会プログラム・講演抄録集,225,2012
  8. 山腰晃治,田里大輔,健山正男,仲村秀太,狩俣洋介,仲松正司,金城武士,古堅誠,宮城一也,原永修作,屋良さとみ,比嘉太,藤田次郎:HIV感染症に合併した治療に難渋した陰部単純疱疹(HSV-1)の1例,第82回日本感染症学会西日本地方会学術集会プログラム・講演抄録集,227,2012
  9. 狩俣洋介,比嘉太,平井潤,仲村秀太,田里大輔,仲松正司,玉寄真紀,金城武士,宮城一也,原永修作,健山正男,藤田次郎,ヒト・メタニューモウイルス感染症に合併した肺炎24例の臨床的検討,第82回日本感染症学会西日本地方会学術集会プログラム・講演抄録集,288,2012
  10. 新里彰,宮城一也,稲嶺盛史,田里大輔,金城武士,玉寄真紀,原永修作,比嘉太,健山正男,藤田次郎:インフルエンザ肺炎との鑑別を要したサイトメガロ、ニューモシスチス合併肺炎の1症例,第69回日本呼吸器学会・日本結核病学会九州支部秋季学術講演会プログラム・講演抄録,119,2012
  11. 仲村秀太,健山正男,田里大輔,前田サオリ,宮城京子,原永修作,比嘉太,藤田次郎:当院HIV感染者における骨代謝以上の有病率とその危険因子に関する検討-第2報-,第26回日本エイズ学会学術集会・総会プログラム・抄録集,14:455,2012
  12. 仲里愛,富永大介,健山正男,田里大輔,仲村秀太,宮城京子,前田サオリ,原永修作,比嘉太,石内勝吾,藤田次郎:HANDにおける前頭葉機能障害と精神症状の関連,第26回日本エイズ学会学術集会・総会プログラム・抄録集,14:409,2012
  13. 仲里愛,健山正男:HIV関連神経認知障害(HAND)診断の実際と今後の展開,第26回日本エイズ学会学術集会・総会プログラム・抄録集,14:199,2012
  14. 健山正男,井濱容子,深沢真希,田里大輔,仲村秀太,仲里愛,原永修作,宮城一也,比嘉太,藤田次郎,宮崎哲次,宮城京子,前田サオリ:沖縄県の法医解剖症

例における HIV 感染率の前方視的検討。

第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会プログラム・抄録集, 14: 412, 2012

15. 椎野禎一郎, 服部純子, 瀧永博之, 吉田繁, 上田敦久, 近藤真規子, 貞升健志, 藤井毅, 横幕能行, 上田幹夫, 田邊嘉也, 南留美, 健山正男, 杉浦瓦: 国内感染者集団の大規模塩基配列解析 3: 希少サブタイプとサブタイプ間組換え体の動向, 第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会プログラム・抄録集, 14: 211, 2012

16. 服部純子, 瀧永博之, 渡邊大, 長島真美, 貞升健志, 近藤真規子, 南留美, 吉田繁, 森治代, 内田和江, 椎野禎一郎, 加藤真吾, 千葉仁志, 佐藤典宏, 伊藤俊広, 佐藤武幸, 上田敦久, 石ヶ坪良明, 古賀一郎, 太田康男, 山元泰之, 福武勝幸, 古賀道子, 岩本愛吉, 西澤雅子, 岡慎一, 伊部史朗, 松田昌和, 林田庸総, 横幕能行, 上田幹夫, 大屋正義, 田邊嘉也, 白阪琢磨, 小島洋子, 藤井輝久, 高田昇, 山元政弘, 松下修三, 藤田次郎, 健山正男, 杉浦瓦: 新規 HIV/AIDS 診断症例における薬剤耐性 HIV の動向, 第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会プログラム・抄録集, 14: 245, 2012

17. 西島健, 高野操, 石坂美千代, 瀧永博之, 菊池嘉, 遠藤知之, 堀場昌英, 金田暁, 鯉淵智彦, 内藤俊夫, 吉田正樹, 立川夏夫, 横幕能行, 松下修三, 健山正男, 田邊嘉也, 満屋裕明, 岡慎一: 初回治療でアタザナビル/リトナビルを固定しエブリ

コムとツルバダを無作為割付するオープンラベル多施設臨床試験: ETstudy96 週結果。第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会プログラム・抄録集, 14: 213, 2012

18. 前田サオリ, 宮城京子, 健山正男, 石川章子, 田里大輔, 仲村秀太, 石郷岡美穂, 大城市子, 吉本なるよ, 新江裕貴, 諸見牧子, 仲里愛, 下地孝子, 藤田次郎: 定期受診が遵守できない患者の要因の検討, 第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会プログラム・抄録集, 14: 361, 2012

19. 宮城京子, 前田サオリ, 健山正男, 石川章子, 田里大輔, 仲村秀太, 石郷岡美穂, 大城市子, 吉本なるよ, 新江裕貴, 諸見牧子, 仲里愛, 下地孝子, 藤田次郎: 沖縄県におけるコーディネーターナースの活動状況, 第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会プログラム・抄録集, 14: 373, 2012

20. 仲村秀太, 健山正男, 田里大輔, 平井潤, 宮城一也, 狩俣洋介, 金城武士, 玉寄真紀, 仲松正司, 古堅誠, 原永修作, 比嘉太, 藤田次郎: S 状結腸穿孔から右大腿部筋膜間膿瘍を併発した一例, 第 82 回日本感染症学会西日本地方会学術集会プログラム・講演抄録, 244, 2012

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

無し

2. 実用新案登録

無し

厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策政策研究事業  
男性同性間のHIV感染予防対策とその介入効果の評価に関する研究

MSM及びゲイ・バイセクシュアル男性を対象とした地域間比較(1)  
東海地域のゲイ・バイセクシュアル男性を対象とする無料HIV検査会の受検者質問紙調査

研究分担者：金子典代（名古屋市立大学看護学部 准教授）、本間隆之（山梨県立看護大学）  
研究協力者：石田敏彦、藤浦裕二（ANGEL LIFE NAGOYA）、市川誠一（名古屋市立大学看護学部）

研究要旨

本研究班では、各地域のMSMの予防行動の実態把握とゲイCBOが実施する介入評価のために様々な調査手法を開発し、実施してきた。2014年度は、2010年度から2013年度にかけて開発したGCQアンケートシステムを用いて首都圏で新宿二丁目の20代を中心とする若年ゲイバー顧客を対象とする調査を実施した。次年度以降は地域を拡大して、GCQを実施予定である。

東海地域（名古屋市）ではゲイ・バイセクシュアル男性を対象とする啓発イベントNLGRおよび無料HIV検査会が2001年から継続されている。本報告では、無料HIV検査会会場の受検者に対する質問紙調査、HIV検査会と同日に開催されたゲイ・バイセクシュアル男性、セクシュアルマイノリティ向けの啓発イベントNLGR来場者に対する質問紙調査を行った。無料HIV検査会のMSM受検者のコンドーム使用ステージは、特定相手と維持期にあるものの割合は39.4%、その場限りの相手における維持期の割合は50.4%であった。生涯で初めてHIV検査を受検するものの割合は検査会の回数を重ねるごとに減少してきており、検査会を定期的な検査として位置づけているものも多いことが考えられる。今後は、HIV感染リスクがありながら定期的な検査経験がない受検者が増加するような広報や介入が必要である。

A. 研究目的

本研究班では、各地域のMSMの予防行動の実態把握とゲイCBOが実施する啓発活動を評価するために様々な調査手法を開発し、実施してきた。本研究課題では、東北、首都圏、東海、近畿、中・四国、福岡、沖縄地域のMSMを対象に、従来の横断調査で観察してきた予防行動、検査行動、CBOの啓発資材等の認知を把握することに加え、コミュニティ内での規範、コミュニティ感覚、国内外の移動とそれに伴う性行動の項目を加えて評価することとした。

2014年度は、2010年度から2013年度にかけて開発したGCQアンケートシステムを用いて東京都の新宿二丁目の20代を中心とする

若年ゲイバー顧客を対象とする調査を実施した（本間隆之、他：MSM及びゲイ・バイセクシュアル男性を対象とした地域間比較(2)の報告参照）。次年度以降は、他の地域について同様の調査を実施する予定である。

東海地域ではゲイ・バイセクシュアル男性を対象とする啓発イベントNLGRおよび同時に行われる無料HIV検査会が2001年に始まり、2002年からはCBO・ANGEL LIFE NAGOYAと当研究班の前身の研究班が協働して実施し、2008年からは無料HIV検査会が名古屋市事業となり国立病院機構名古屋医療センターが中心となって実施している。本報告では、ゲイ・バイセクシュアル男性を対象とする啓発イベントNLGR+2014と同時開催の無料HIV検査会

において質問紙調査を実施し、受検者の検査行動や予防行動を含む性行動、予防資材への接触の実態を分析した。

## B. 研究方法

本研究班の介入地域である東海地域のゲイ・バイセクシュアル男性を対象とする無料 HIV 検査会(5/31、6/1 に実施)において受検者に受検行動・性行動等の質問紙調査を実施した。検査会場で検査のオリエンテーション説明の後、アンケート協力を口頭にて依頼し、検査会場(採血前)にて、無記名自記式の受検者アンケート用紙を手渡しで配布した。採血後にアンケートブースにて回答してもらった。

質問項目は基礎属性、過去の受検経験、今回の検査会の情報の入手、性行動、東海地域の MSM を対象に活動する CBO・ANGEL LIFE NAGOYA(以下、ALN)の資材の認知、コミュニティセンターの認知や来訪経験の有無であった。検査会の受検者アンケートの結果については、基礎集計を算出し、また予防行動と関連要因の検討のために、対象者を MSM に限定し、性行為相手別のコンドーム使用行動ステージ別に分析を行った。

本研究は名古屋市立大学看護学部倫理委員会より承認を得て実施した(承認番号 14025-2)。

## C. 結果

### 1. 各調査における回答回収状況

名古屋市内で実施した無料 HIV 検査会において 471 件の有効回答を得た。また同時に開催されたゲイ・バイセクシュアル男性対象の啓発イベント NLGR+2014 の会場において、来場者から 282 件の有効回答を得た。

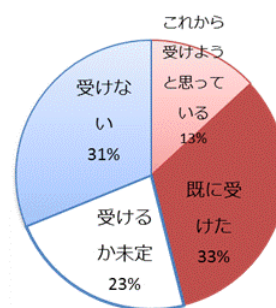
### 2. 検査会受検者の基礎属性

無料 HIV 検査会受検者アンケート回答者 471 件のうち MSM は 445 件、非 MSM は 26 件で、基礎属性、受検行動等について表 1 に示した。

年齢は 20-30 歳代のものが過半数を占め、全体の 74.6% を占めた。居住地は名古屋市在住者が 31.6%、同市を除く愛知県在住者が 31.8% で、愛知県内在住者が 63.4% であった。性指向はゲイ、バイセクシュアルが合わせて 96% であった。生涯に HIV 検査を受けたことがあるものは、全体の 78.8% で、MSM 受検者の 80.2% に比して非 MSM 受検者では 53.8% と低い( $p < 0.001$ )。検査を受ける理由は、「他の人に感染させたくないから」が最も高く 44.2% であり、次いで「ただ単に知りたいから」が 37.2%、「定期的に検査を受けているから」が 36.3% であった。「定期的に受けているから」は MSM 受検者が 37.5% で非 MSM 受検者 15.4% に比べて高く、「ただ単に知りたいから」は逆に MSM 受検者 35.5% で非 MSM 受検者 65.4% に比して低いことが示された。

なお、検査日と同日に検査会場近くで開催された池田公園でのゲイ・バイセクシュアル男性向けのイベントにおいて、検査を受検するかを尋ねたところ、回答者 282 名のうち「受けない」と回答したものが 31%、「受けるか未定」と回答したものが 23% であった(図 1)。

図1 NLGR+イベント会場の来場者調査 (N=282)  
今回の中区役所でのHIV検査を受けますか？



### 3. MSM 受検者の性行動、商業施設利用、予防資材の認知

MSM 受検者(445 名)の性行動および商業施設の利用、予防介入への接触について表 2 に示した。過去 6 か月間のアナルセックス経験は 96.6% で、コンドーム常用率は特定相手と

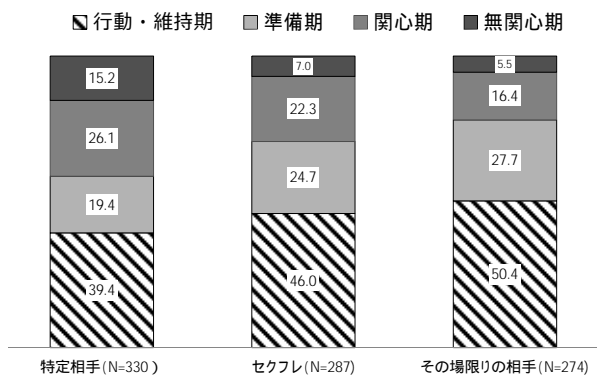
で 39.2%、友達やセクフレとで 46.0%、その場限りの相手とで 50.4%であった。過去 6 か月の商業施設利用はバーが 65.8%で、次いでゲイナイト 41.6%であった。

#### 4. MSM 受検者における性行為相手別のコンドーム使用行動ステージ分布

MSM のコンドーム使用行動の実態をより明確化するため、性行為相手別のコンドーム使用行動の分析を行った。特定相手、セクフレの相手、その場限りの相手別にコンドーム使用行動を無関心期、関心期、準備期、行動・維持期の 4 ステージのグループに分類した。ステージ分類には、過去 6 か月の当該相手とのコンドーム使用行動と当該相手との今後のコンドーム使用の意図のデータを用いた。

特定相手との行動ステージについては、330 名の該当者のうち、39.4%が行動・維持期にあり、セクフレ（287 名）とは行動・維持期にあるものが 46%であり、その場限りの相手（274 名）については 50.4%であった。一方、無関心期の割合は、特定相手とのステージにおいて 15.2%で、セクフレ（7.0%）、その場限り相手（5.5%）より高かった（図 2）。

図2 相手別コンドーム使用ステージの分布



#### 5. MSM の受検者における相手別のコンドーム使用行動ステージ分布と関連要因の検討

特定相手、その場限りの相手のコンドーム使用のステージと関連要因を検討するため、

ステージと基礎属性、検査行動、知識、陽性者の身近さ、過去 6 か月の商業施設利用、ゲイ CBO の活動認知とのクロス集計を行った。

特定相手とのコンドーム使用のステージ分類による結果を表 3-1、表 3-2 に示した。検査受検の理由「他の人に感染させたくないから」、「恋人と一緒に受けることにしたから」、「コンドームを使わないアナルセックスをしたから」、過去 6 か月の性感染症罹患の不安、過去 6 か月のゲイショップの利用に関連が見られた。

その場限りの相手とのコンドーム使用のステージ分類の結果を表 4-1、表 4-2 に示した。検査受検の理由「定期的に検査を受けているから」、「友達と一緒に受けるから」、「コンドームを使わないオーラルセックスをしたから」、「コンドームを使わないアナルセックスをしたから」、「特定相手とのコンドーム使用ステージ」、「セクフレとのコンドーム使用のステージ」との間に有意な関連が見られた。

行動・維持期ステージの MSM は、相手が特定相手、セクフレ、その場限りの相手にかかわらずコンドーム使用ステージは行動・維持期であり、また準備期、関心期のものも、どの相手の場合でも同様の行動ステージにあることが示された。

#### D. 考察

名古屋市の無料検査会において、受検者調査を実施し 471 名の有効回答を得た。またそのうち、445 名が MSM であった。

今回の無料 HIV 検査会受検者では、生涯受検経験割合が 78.8%であった。過去の調査結果と合わせると検査会の回数を重ねるごとに生涯で初めて HIV 検査を受検するものの割合は減少してきており、検査会を定期的な検査と位置づけているものも多いことが考えられる。しかし、検査会と同時に開催されたゲイ・バイセクシュアル男性をはじめとするセクシュアルマイノリティ対象の大型イベント

NLGR の来場者への質問紙調査では、約半数が検査会を受検しない/未定であること、また東海地域ではAIDS発症でHIV感染が判明する報告割合が未だ高い状況にあることを考慮すると、今後の取組としてHIV感染のリスクがありながら定期的な検査経験のない受検者が増加する介入が必要と考える。

## E. 結論

東海地域のゲイ・バイセクシュアル男性を対象とする啓発イベント会場および無料 HIV 検査会会場において質問紙調査を実施した。無料 HIV 検査会受検者の生涯受検経験割合は78.8%で、特に MSM 受検者では80.2%と高かった。一方で、啓発イベント会場来場者の約半数は検査会を受検しない/未定であると回答していた。HIV 感染リスクがありながら定期的な検査経験のない受検者が増加する取り組みが必要である。

MSM 受検者のコンドーム使用ステージが行動・維持期の割合は、特定相手との場合は39.4%でその場限りの相手(50.4%)より低かった。

## F. 発表論文等

### 著書

- 1) 金子典代：MPH の取得とエイズ予防研究の10年、MPH (マスター・オブ・パブリックヘルス) 留学へのパスポート：世界を目指すヘルスプロフェッション、公益財団法人日米医学医療交流財団編 (分担執筆)、181-197、はる書房、東京、2014。

### 論文

- 1) Mayumi Imahashi, Taisuke Izumi, Dai Watanabe, Junji Imamura, Kazuhiro Matsuoka, Hirotaka Ode, Takashi Masaoka, Kei Sato, Noriyo Kaneko, Seiichi Ichikawa, Yoshio Koyanagi, Akifumi Takaori-Kondo, Makoto Utsumi,

Yoshiyuki Yokomaku, Takuma Shirasaka, Wataru Sugiura, Yasumasa Iwatani, Tomoki Naoe: Lack of Association between Intact/Deletion Polymorphisms of the APOBEC3B Gene and HIV-1 Risk, PLoS One, 2014 Mar 25;9(3):e92861. doi: 10.1371/journal.pone.0092861, eCollection 2014.

- 2) 瀧川ゆき, 金子典代, 市川誠一：若年女性における過去と現在の性感染症予防行動と情報入手状況の比較, 日本ウーマンズヘルス学会誌, 13 (1), 53-62, 2014.

### 学会発表 (国内)

- 1) 荒木順子, 佐久間久弘, 木南拓也, 岩橋恒太, 大島岳, 柴田恵, 阿部甚兵, 金子典代, 塩野徳史, 市川誠一：MSM を対象とした情報の集約・発信のハブ的装置としてのコミュニティセンターakta, 第28回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪市, 2014.
- 2) 岩橋恒太, 高野操, 大島岳, 阿部甚兵, 柴田恵, 矢島嵩, 加藤悠二, 佐久間久弘, 大木幸子, 塩野徳史, 金子典代, 市川誠一, 生島嗣, 荒木順子：首都圏居住のMSMを対象とした、HIV抗体検査普及のためのウェブコンテンツ「あんしん HIV 検査リサーチ」の構成とその検討, 第28回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪市, 2014.
- 3) 宮田良, 塩野徳史, 市川誠一, 金子典代：セックスワーカー女性の実態調査 - インターネットを用いた全国規模のアンケート調査より-, 第28回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪市, 2014

### 学会発表 (国外)

- 1) J. Koerner, S. Ichikawa, N. Kaneko, S. Shiono, I. Kai: An internet survey investigating the HIV information needs and travel related risk behaviors of English speaking foreign gay and bisexual men in Japan, the 20th

International AIDS Conference,  
Melbourne, Australia, July, 2014

- 2) K. Iwahashi, S. Ichikawa, S. Shiono, N. Kaneko, J. Koerner, Y. Ikushima, J. Araki, K. Shibata, T. Kinami, M. Takano, S. Oka, S. Kimura: The strategic research ' We can do it! 2010 ' campaign to promote testing behaviour among MSM in the Tokyo region, the 20th International AIDS Conference, Melbourne, Australia, July, 2014



表1 無料HIV検査会(2014年)のMSMおよび非MSM受検者の基礎属性・受検行動について

	性指向群				合計	カイ二乗 検定	
	非MSM・不明		MSM				
<b>年齢10区分</b>							
10歳代	1	4.0%	12	2.8%	13	2.9%	.819
20歳代	8	32.0%	169	39.9%	177	39.4%	
30歳代	11	44.0%	147	34.7%	158	35.2%	
40歳代	4	16.0%	86	20.3%	90	20.0%	
50歳代	1	4.0%	10	2.4%	11	2.4%	
<b>居住地</b>							
名古屋	11	42.3%	138	31.0%	149	31.6%	.511
愛知	4	15.4%	146	32.8%	150	31.8%	
岐阜県	3	11.5%	40	9.0%	43	9.1%	
三重県	2	7.7%	25	5.6%	27	5.7%	
静岡県	2	7.7%	20	4.5%	22	4.7%	
その他	4	15.4%	76	17.1%	80	17.0%	
<b>性別</b>							
男	9	34.6%	440	99.3%	449	95.7%	.000
女	16	61.5%	1	.2%	17	3.6%	
その他	1	3.8%	2	.5%	3	.6%	
<b>結婚</b>							
はい	4	16.0%	4	.9%	8	1.7%	.000
いいえ	21	84.0%	440	99.1%	461	98.3%	
<b>健康保険</b>							
国民健康保険	9	34.6%	124	28.0%	133	28.4%	.027
職場の健康保険	10	38.5%	275	62.1%	285	60.8%	
被扶養者の健康保険	5	19.2%	32	7.2%	37	7.9%	
加入していない	2	7.7%	12	2.7%	14	3.0%	
<b>性的指向</b>							
ゲイ	5	19.2%	384	86.5%	389	82.8%	.000
bisexual	5	19.2%	57	12.8%	62	13.2%	
lesbian	3	11.5%	0	.0%	3	.6%	
hetero	6	23.1%	0	.0%	6	1.3%	
わからない	6	23.1%	1	.2%	7	1.5%	
その他	1	3.8%	2	.5%	3	.6%	
<b>生涯の受検経験</b>							
ない	12	46.2%	88	19.8%	100	21.2%	.001
ある	14	53.8%	357	80.2%	371	78.8%	
<b>定期的検査(受検経験有の中で)</b>							
定期的に受けている	5	38.5%	202	56.6%	207	55.9%	.196
定期的に受けていない	8	61.5%	155	43.4%	163	44.1%	
<b>受検の決定</b>							
自分で決めた	22	84.6%	390	87.8%	412	87.7%	.627
人から誘われた	4	15.4%	54	12.2%	58	12.3%	
<b>検査受検理由</b>							
感染可能性があるから	9	34.6%	116	26.1%	125	26.5%	.337
他の人に感染させたくないから	12	46.2%	196	44.0%	208	44.2%	
定期的に検査を受けているから	4	15.4%	167	37.5%	171	36.3%	.022
情報に触れて自分のことが心配になったから	3	11.5%	52	11.7%	55	11.7%	.982
友達と一緒に受けることにしたから	7	26.9%	72	16.2%	79	16.8%	.154
恋人と一緒に受けることにしたから	1	3.8%	38	8.5%	39	8.3%	.399
コンドームを使わないオーラルセックスをしたから	5	19.2%	112	25.2%	117	24.8%	.496
コンドームを使わないアナルセックスをしたから	0	.0%	89	20.0%	89	18.9%	.008
体調に変化があり、感染の不安を感じたから	0	.0%	14	3.1%	14	3.0%	1.000
性感染症にかかったから	0	.0%	5	1.1%	5	1.1%	1.000
新しい恋人ができたから	1	3.8%	36	8.1%	37	7.9%	.711
身近な人の感染がわかったから	3	11.5%	17	3.8%	20	4.2%	.091
ただ単に知りたいから	17	65.4%	158	35.5%	175	37.2%	.003
その他	1	3.8%	5	1.1%	6	1.3%	.290
<b>知人のHIV感染者の存在</b>							
いる	7	26.9%	165	37.2%	172	36.7%	.009
いると思う	1	3.8%	80	18.1%	81	17.3%	
いないと思う	6	23.1%	76	17.2%	82	17.5%	
いない	0	.0%	32	7.2%	32	6.8%	
わからない	12	46.2%	90	20.3%	102	21.7%	
<b>過去6か月のHIVや性感染症の不安</b>							
よくあった	1	4.2%	7	1.6%	8	1.7%	.058
時々あった	4	16.7%	148	33.3%	152	32.4%	
あまりなかった	8	33.3%	183	41.1%	191	40.7%	
全くなかった	11	45.8%	107	24.0%	118	25.2%	
<b>HIVや性感染症についての相談相手</b>							
相談できる相手や場所を知っている	9	37.5%	167	37.7%	176	37.7%	.375
相談できる相手はいるが場所は知らない	7	29.2%	72	16.3%	79	16.9%	
相談できる相手は知らないが場所は知っている	4	16.7%	92	20.8%	96	20.6%	
両方知らない	4	16.7%	112	25.3%	116	24.8%	

表2 MSMの受検者における性行動、商業施設の利用、予防介入への接触

a 性行動			b 商業施設の利用、予防介入への接触		
	N	%		N	%
過去6か月の男性とのアナルセックス			過去6か月の商業施設の利用		
ない	15	3.4	ゲイバー・ピアンバー	293	65.8
ある	428	96.6	ゲイナイト	185	41.6
合計	443	100.0	ゲイショップ	140	31.5
特定相手とのコンドーム使用			有料ハッテン場	195	43.8
常用	130	39.2	野外系ハッテン場	43	9.7
使うことが多かった	75	22.6	発展場で有名な銭湯等	95	21.3
五分五分	43	13.0	全て利用無	51	11.5
使わないことが多かった	38	11.4	過去6か月のゲイ向けサイト利用		
使わなかった	46	13.9	P C 出会い系サイト掲示板	140	31.5
合計	332	100.0	携帯出会い系サイト	151	33.9
友達やセフレとのコンドーム使用			Mixi	78	17.5
常用	132	46.0	ゲイ向けsns	107	24.0
使うことが多かった	77	26.8	位置情報つき出会い系サイト	337	75.7
五分五分	37	12.9	全て利用無	34	7.6
使わないことが多かった	23	8.0	活動認知1 ALNのWEBサイト		
使わなかった	18	6.3	見た	91	20.8
合計	287	100.0	認知のみ	132	30.2
その場限り相手とのコンドーム使用			知らない	214	49.0
常用	138	50.4	活動認知2 ALNの配布するコンドーム		
使うことが多かった	60	21.9	受け取った	143	32.7
五分五分	25	9.1	知っているが受け取ったことはない	82	18.8
使わないことが多かった	29	10.6	知らない	212	48.5
使わなかった	22	8.0	活動認知3 コミュニティペーパー-HANA		
合計	274	100.0	読んだ	103	23.6
特定相手とのコンドーム使用意図			知っているけれど読んだことはない	89	20.4
毎回使いたい	244	56.9	知らない	245	56.1
出来るだけ使いたい	119	27.7	活動認知4 コミュニティセンターrise		
決めていない	45	10.5	行った	100	23.0
使いたくない	21	4.9	知っているのみ行ったことはない	154	35.4
合計	429	100.0	知らない	181	41.6
友達セフレとのコンドーム使用意図			NLGR+2014に行くか		
毎回使いたい	298	70.3	すでに行ってきた	185	42.0
出来るだけ使いたい	95	22.4	これから行く予定	216	49.0
決めていない	24	5.7	行かない	40	9.1
使いたくない	7	1.7			
合計	424	100.0			
その場限りとのコンドーム使用意図					
毎回使いたい	340	80.4			
出来るだけ使いたい	63	14.9			
決めていない	18	4.3			
使いたくない	2	.5			
合計	423	100.0			

表 3-1 特定相手とのコンドーム使用の行動ステージと関連要因（基礎属性、受検行動）

	特定相手とのアナルセックス時のコンドーム使用ステージ								合計	カイ二乗 検定	
	行動期・維持期 N = 130		準備期 N = 64		関心期 N = 86		無関心期 N = 50				
年齢10区分											
10歳代	1	.8%	1	1.7%	3	3.6%	2	4.2%	7	2.2%	.969
20歳代	53	43.8%	24	40.0%	37	44.0%	18	37.5%	132	42.2%	
30歳代	43	35.5%	21	35.0%	25	29.8%	19	39.6%	108	34.5%	
40歳代	20	16.5%	12	20.0%	16	19.0%	8	16.7%	56	17.9%	
50歳代	4	3.3%	2	3.3%	3	3.6%	1	2.1%	10	3.2%	
居住地											
名古屋	43	33.1%	16	25.0%	25	29.1%	19	38.0%	103	31.2%	.170
愛知	41	31.5%	21	32.8%	27	31.4%	16	32.0%	105	31.8%	
岐阜県	10	7.7%	11	17.2%	7	8.1%	6	12.0%	34	10.3%	
三重県	8	6.2%	4	6.3%	2	2.3%	5	10.0%	19	5.8%	
静岡県	4	3.1%	3	4.7%	5	5.8%	3	6.0%	15	4.5%	
その他	24	18.5%	9	14.1%	20	23.3%	1	2.0%	54	16.4%	
結婚											
はい	1	.8%	1	1.6%	1	1.2%	1	2.0%	4	1.2%	.912
いいえ	128	99.2%	63	98.4%	85	98.8%	49	98.0%	325	98.8%	
健康保険											
国民健康保険	39	30.2%	22	34.4%	26	30.6%	15	30.0%	102	31.1%	.823
職場の健康保険	77	59.7%	37	57.8%	50	58.8%	28	56.0%	192	58.5%	
被扶養者の健康保険	11	8.5%	2	3.1%	7	8.2%	6	12.0%	26	7.9%	
加入していない	2	1.6%	3	4.7%	2	2.4%	1	2.0%	8	2.4%	
性的指向											
ゲイ	121	93.1%	53	82.8%	70	81.4%	43	87.8%	287	87.2%	.069
bisexual	9	6.9%	11	17.2%	15	17.4%	5	10.2%	40	12.2%	
わからない	0	.0%	0	.0%	1	1.2%	0	.0%	1	.3%	
その他	0	.0%	0	.0%	0	.0%	1	2.0%	1	.3%	
生涯の受検経験											
ない	22	16.9%	16	25.0%	16	18.6%	8	16.0%	62	18.8%	.538
ある	108	83.1%	48	75.0%	70	81.4%	42	84.0%	268	81.2%	
定期的検査											
定期的に受けている	64	59.8%	23	46.9%	37	52.9%	24	57.1%	148	55.2%	.477
定期的に受けていない	43	40.2%	26	53.1%	33	47.1%	18	42.9%	120	44.8%	
受検の決定											
自分で決めた	112	86.2%	57	89.1%	80	93.0%	43	86.0%	292	88.5%	.431
人から誘われた	18	13.8%	7	10.9%	6	7.0%	7	14.0%	38	11.5%	
感染可能性があるから	35	26.9%	22	34.4%	22	25.6%	13	26.0%	92	27.9%	.633
他の人に感染させたくないから	59	45.4%	30	46.9%	39	45.3%	34	68.0%	162	49.1%	.037
定期的に検査を受けているから	52	40.0%	15	23.4%	32	37.2%	21	42.0%	120	36.4%	.108
情報に触れて自分のことが心配になったから	19	14.6%	8	12.5%	12	14.0%	2	4.0%	41	12.4%	.259
友達と一緒に受けることにしたから	17	13.1%	11	17.2%	17	19.8%	6	12.0%	51	15.5%	.495
恋人と一緒に受けることにしたから	6	4.6%	5	7.8%	6	7.0%	13	26.0%	30	9.1%	.000
コンドームを使わないオーラルセックスをしたから	27	20.8%	14	21.9%	27	31.4%	16	32.0%	84	25.5%	.198
コンドームを使わないアナルセックスをしたから	5	3.8%	24	37.5%	29	33.7%	19	38.0%	77	23.3%	.000
体調に変化があり、感染の不安を感じたから	4	3.1%	5	7.8%	3	3.5%	0	.0%	12	3.6%	.158
性感染症にかかったから	2	1.5%	0	.0%	0	.0%	1	2.0%	3	.9%	.456
新しい恋人ができたから	13	10.0%	5	7.8%	6	7.0%	5	10.0%	29	8.8%	.860
身近な人の感染がわかったから	6	4.6%	4	6.3%	3	3.5%	3	6.0%	16	4.8%	.855
ただ単に知りたから	47	36.2%	20	31.3%	30	34.9%	12	24.0%	109	33.0%	.450
その他	3	2.3%	1	1.6%	0	.0%	0	.0%	4	1.2%	.386

表 3-2 特定相手とのコンドーム使用の行動ステージと関連要因(知識、予防介入認知)

	特定相手とのアナルセックス時のコンドーム使用ステージ								合計	カイ二乗 検定	
	行動期・維持期 N = 130		準備期 N = 64		関心期 N = 86		無関心期 N = 50				
知識-HIV即日検査では偽陽性あり											
正解	62	47.7%	34	54.0%	42	48.8%	28	57.1%	166	50.6%	.607
不正解	8	6.2%	7	11.1%	5	5.8%	3	6.1%	23	7.0%	
わからない	60	46.2%	22	34.9%	39	45.3%	18	36.7%	139	42.4%	
知人のHIV感染者の存在											
いる	52	40.0%	21	33.3%	32	37.2%	20	40.0%	125	38.0%	.711
いると思う	25	19.2%	8	12.7%	16	18.6%	7	14.0%	56	17.0%	
いないと思う	20	15.4%	12	19.0%	16	18.6%	8	16.0%	56	17.0%	
いない	11	8.5%	7	11.1%	2	2.3%	3	6.0%	23	7.0%	
わからない	22	16.9%	15	23.8%	20	23.3%	12	24.0%	69	21.0%	
過去6か月のHIVや性感染症の不安											
よくあった	3	2.3%	0	.0%	1	1.2%	2	4.0%	6	1.8%	.000
時々あった	36	27.7%	36	56.3%	43	50.0%	10	20.0%	125	37.9%	
あまりなかった	59	45.4%	17	26.6%	32	37.2%	23	46.0%	131	39.7%	
全くなかった	32	24.6%	11	17.2%	10	11.6%	15	30.0%	68	20.6%	
HIVや性感染症についての相談相手											
相談できる相手や場所を知っている	44	33.8%	19	30.2%	34	39.5%	26	52.0%	123	37.4%	0.264
相談できる相手はいるが場所は知らない	20	15.4%	13	20.6%	13	15.1%	5	10.0%	51	15.5%	
相談できる相手はいないが場所は知っている	23	17.7%	16	25.4%	17	19.8%	10	20.0%	66	20.1%	
両方知らない	43	33.1%	15	23.8%	22	25.6%	9	18.0%	89	27.1%	
セックスフレンドとのゴム使用ステージ											
行動期・維持期	96	87.3%	12	21.4%	7	10.0%	5	15.6%	120	44.8%	.000
準備期	9	8.2%	41	73.2%	15	21.4%	4	12.5%	69	25.7%	
関心期	5	4.5%	3	5.4%	45	64.3%	7	21.9%	60	22.4%	
無関心期	0	.0%	0	.0%	3	4.3%	16	50.0%	19	7.1%	
その場限りの相手とのゴム使用ステージ											
行動期維持期	89	89.9%	12	24.0%	17	24.6%	9	28.1%	127	50.8%	.000
準備期	8	8.1%	35	70.0%	18	26.1%	7	21.9%	68	27.2%	
関心期	2	2.0%	3	6.0%	31	44.9%	6	18.8%	42	16.8%	
無関心期	0	.0%	0	.0%	3	4.3%	10	31.3%	13	5.2%	
過去6か月の商業施設の利用											
ゲイバー・ビアンバー	96	73.8%	39	60.9%	55	64.0%	29	58.0%	219	66.4%	.117
ゲイナイト	66	50.8%	24	37.5%	41	47.7%	18	36.0%	149	45.2%	.166
ゲイショップ	54	41.5%	15	23.4%	23	26.7%	15	30.0%	107	32.4%	.034
有料ハッテン場	54	41.5%	36	56.3%	44	51.2%	21	42.0%	155	47.0%	.183
野外系ハッテン場	15	11.5%	4	6.3%	10	11.6%	8	16.0%	37	11.2%	.430
発展場で有名な銭湯等	26	20.0%	15	23.4%	19	22.1%	15	30.0%	75	22.7%	.553
全て利用無	9	6.9%	7	10.9%	7	8.1%	11	22.0%	34	10.3%	.024
活動認知1 ALNのWEBサイト											
見た	25	19.4%	17	26.6%	12	14.6%	8	16.3%	62	19.1%	.272
認知のみ	48	37.2%	16	25.0%	23	28.0%	15	30.6%	102	31.5%	
知らない	56	43.4%	31	48.4%	47	57.3%	26	53.1%	160	49.4%	
活動認知2 ALNの配布するコンドーム											
受け取った	43	33.3%	28	43.8%	22	26.8%	10	20.4%	103	31.8%	.086
知っているが受け取ったことはない	25	19.4%	7	10.9%	15	18.3%	14	28.6%	61	18.8%	
知らない	61	47.3%	29	45.3%	45	54.9%	25	51.0%	160	49.4%	
活動認知3 コミュニティペーパー-HANA											
読んだ	35	27.1%	17	26.6%	11	13.4%	14	28.6%	77	23.8%	.276
知っているけれど読んだことはない	27	20.9%	13	20.3%	19	23.2%	7	14.3%	66	20.4%	
知らない	67	51.9%	34	53.1%	52	63.4%	28	57.1%	181	55.9%	
活動認知4 コミュニティセンターrise											
行った	27	21.1%	16	25.4%	16	19.5%	11	22.4%	70	21.7%	.923
知っているのみ行ったことはない	47	36.7%	24	38.1%	27	32.9%	17	34.7%	115	35.7%	
知らない	54	42.2%	23	36.5%	39	47.6%	21	42.9%	137	42.5%	
NLGR+2014に行くか											
すでに行ってきた	54	41.9%	21	32.8%	40	47.1%	18	36.0%	133	40.5%	.630
これから行く予定	62	48.1%	38	59.4%	38	44.7%	27	54.0%	165	50.3%	
行かない	13	10.1%	5	7.8%	7	8.2%	5	10.0%	30	9.1%	

表 4-1 その場限りの相手とのコンドーム使用の行動ステージと関連要因（基礎属性、受検行動）

	その場限り相手とのコンドーム使用の行動ステージ								合計	カイ二乗検 定	
	行動期・維持期		準備期		関心期		無関心期				
	N = 138	N = 76	N = 45	N = 15							
年齢10区分											
10歳代	2	1.5%	4	5.4%	1	2.4%	0	.0%	7	2.7%	.234
20歳代	50	38.5%	31	41.9%	17	40.5%	3	20.0%	101	38.7%	
30歳代	49	37.7%	20	27.0%	16	38.1%	10	66.7%	95	36.4%	
40歳代	26	20.0%	15	20.3%	8	19.0%	1	6.7%	50	19.2%	
50歳代	3	2.3%	4	5.4%	0	.0%	1	6.7%	8	3.1%	
居住地											
名古屋	43	31.2%	19	24.7%	13	28.9%	4	26.7%	79	28.7%	.925
愛知	41	29.7%	27	35.1%	14	31.1%	5	33.3%	87	31.6%	
岐阜県	12	8.7%	10	13.0%	5	11.1%	1	6.7%	28	10.2%	
三重県	10	7.2%	3	3.9%	2	4.4%	2	13.3%	17	6.2%	
静岡県	7	5.1%	1	1.3%	3	6.7%	1	6.7%	12	4.4%	
その他	25	18.1%	17	22.1%	8	17.8%	2	13.3%	52	18.9%	
結婚											
はい	1	.7%	3	3.9%	1	2.2%	0	.0%	5	1.8%	.380
いいえ	136	99.3%	74	96.1%	44	97.8%	15	100.0%	269	98.2%	
健康保険											
国民健康保険	39	28.5%	26	34.2%	15	33.3%	3	20.0%	83	30.4%	.610
職場の健康保険	82	59.9%	45	59.2%	25	55.6%	12	80.0%	164	60.1%	
被扶養者の健康保険	12	8.8%	2	2.6%	4	8.9%	0	.0%	18	6.6%	
加入していない	4	2.9%	3	3.9%	1	2.2%	0	.0%	8	2.9%	
性的指向											
ゲイ	120	87.0%	63	81.8%	36	80.0%	13	86.7%	232	84.4%	.371
bisexual	18	13.0%	14	18.2%	8	17.8%	2	13.3%	42	15.3%	
わからない	0	.0%	0	.0%	1	2.2%	0	.0%	1	.4%	
生涯の受検経験											
ない	21	15.2%	20	26.0%	5	11.1%	2	13.3%	48	17.5%	.122
ある	117	84.8%	57	74.0%	40	88.9%	13	86.7%	227	82.5%	
定期的な検査の受検											
定期的に受けている	70	60.3%	30	53.6%	17	42.5%	9	69.2%	126	56.0%	.179
定期的に受けていない	46	39.7%	26	46.4%	23	57.5%	4	30.8%	99	44.0%	
受検の決定											
自分で決めた	121	87.7%	69	89.6%	44	97.8%	13	86.7%	247	89.8%	.264
人から誘われた	17	12.3%	8	10.4%	1	2.2%	2	13.3%	28	10.2%	
検査の受検理由											
自分が感染している可能性があるから	38	27.5%	25	32.5%	17	37.8%	5	33.3%	85	30.9%	.602
他の人に感染させたくないから	66	47.8%	34	44.2%	28	62.2%	10	66.7%	138	50.2%	.129
定期的に検査を受けているから	56	40.6%	19	24.7%	20	44.4%	9	60.0%	104	37.8%	.018
情報に触れて自分のことが心配になったから	19	13.8%	15	19.5%	4	8.9%	0	.0%	38	13.8%	.145
友達と一緒に受けることにしたから	15	10.9%	18	23.4%	11	24.4%	1	6.7%	45	16.4%	.029
恋人と一緒に受けることにしたから	6	4.3%	6	7.8%	2	4.4%	0	.0%	14	5.1%	.539
コンドームを使わないオーラルセックスをしたから	26	18.8%	25	32.5%	17	37.8%	4	26.7%	72	26.2%	.036
コンドームを使わないアナルセックスをしたから	11	8.0%	33	42.9%	16	35.6%	7	46.7%	67	24.4%	.000
体調に変化があり、感染の不安を感じたから	4	2.9%	6	7.8%	3	6.7%	0	.0%	13	4.7%	.290
性感染症にかかったから	1	.7%	2	2.6%	0	.0%	1	6.7%	4	1.5%	.193
新しい恋人ができたから	10	7.2%	6	7.8%	2	4.4%	0	.0%	18	6.5%	.641
身近な人の感染がわかったから	6	4.3%	3	3.9%	2	4.4%	2	13.3%	13	4.7%	.451
ただ単に知りたいから	46	33.3%	33	42.9%	13	28.9%	3	20.0%	95	34.5%	.214
その他	2	1.4%	1	1.3%	0	.0%	0	.0%	3	1.1%	.836

表 4-2 その場限りの相手とのコンドーム使用の行動ステージと関連要因(知識、予防介入認知)

	その場限り相手とのコンドーム使用の行動ステージ				合計	カイニ乗検 定
	行動期・維持期 N = 138	準備期 N = 76	関心期 N = 45	無関心期 N = 15		
知識-HIV即日検査では偽陽性あり						
正解	68 49.6%	38 50.0%	22 48.9%	8 53.3%	136 49.8%	.804
不正解	8 5.8%	7 9.2%	6 13.3%	1 6.7%	22 8.1%	
わからない	61 44.5%	31 40.8%	17 37.8%	6 40.0%	115 42.1%	
知人のHIV感染者の存在						
いる	56 40.6%	24 31.6%	19 42.2%	8 53.3%	107 39.1%	.409
いると思う	24 17.4%	15 19.7%	9 20.0%	0 .0%	48 17.5%	
いないと思う	26 18.8%	12 15.8%	7 15.6%	2 13.3%	47 17.2%	
いない	9 6.5%	8 10.5%	1 2.2%	3 20.0%	21 7.7%	
わからない	23 16.7%	17 22.4%	9 20.0%	2 13.3%	51 18.6%	
過去6か月のHIVや性感染症の不安						
よくあった	3 2.2%	0 .0%	1 2.2%	1 6.7%	5 1.8%	.135
時々あった	48 34.8%	37 48.7%	25 55.6%	4 26.7%	114 41.6%	
あまりなかった	60 43.5%	30 39.5%	14 31.1%	6 40.0%	110 40.1%	
全くなかった	27 19.6%	9 11.8%	5 11.1%	4 26.7%	45 16.4%	
HIVや性感染症についての相談相手						
相談できる相手や場所を知っている	49 35.5%	25 32.9%	15 33.3%	7 46.7%	96 35.0%	.632
相談できる相手はいるが場所は知らない	19 13.8%	10 13.2%	11 24.4%	1 6.7%	41 15.0%	
相談できる相手はいるが場所は知らない	29 21.0%	21 27.6%	9 20.0%	2 13.3%	61 22.3%	
両方知らない	41 29.7%	20 26.3%	10 22.2%	5 33.3%	76 27.7%	
過去6か月の商業施設の利用						
ゲイバー・ピアンバー	102 73.9%	50 64.9%	28 62.2%	8 53.3%	188 68.4%	.192
ゲイナイト	66 47.8%	32 41.6%	25 55.6%	5 33.3%	128 46.5%	.336
ゲイショップ	55 39.9%	20 26.0%	12 26.7%	5 33.3%	92 33.5%	.144
有料ハッテン場	73 52.9%	51 66.2%	25 55.6%	11 73.3%	160 58.2%	.159
野外系ハッテン場	17 12.3%	11 14.3%	5 11.1%	2 13.3%	35 12.7%	.960
発展場で有名な銭湯等	28 20.3%	20 26.0%	11 24.4%	6 40.0%	65 23.6%	.343
全て利用無	8 5.8%	4 5.2%	4 8.9%	2 13.3%	18 6.5%	.596
活動認知1 ALNのWEBサイト						
見た	29 21.3%	19 25.0%	5 11.6%	3 20.0%	56 20.7%	.377
認知のみ	50 36.8%	21 27.6%	12 27.9%	5 33.3%	88 32.6%	
知らない	57 41.9%	36 47.4%	26 60.5%	7 46.7%	126 46.7%	
活動認知2 ALNの配布するコンドーム						
受け取った	45 33.1%	27 35.5%	13 30.2%	3 20.0%	88 32.6%	.321
知っているが受け取ったことはない	30 22.1%	14 18.4%	4 9.3%	5 33.3%	53 19.6%	
知らない	61 44.9%	35 46.1%	26 60.5%	7 46.7%	129 47.8%	
活動認知3 コミュニティペーパー-HANA						
読んだ	36 26.5%	19 25.0%	10 23.3%	3 20.0%	68 25.2%	.975
知っているけれど読んだことはない	26 19.1%	17 22.4%	11 25.6%	3 20.0%	57 21.1%	
知らない	74 54.4%	40 52.6%	22 51.2%	9 60.0%	145 53.7%	
活動認知4コミュニティセンターrise						
行った	31 23.0%	15 20.0%	12 27.9%	2 13.3%	60 22.4%	.517
知っているのみ行ったことはない	51 37.8%	28 37.3%	14 32.6%	3 20.0%	96 35.8%	
知らない	53 39.3%	32 42.7%	17 39.5%	10 66.7%	112 41.8%	
NLGR+2014に行くか						
すでに行ってきた	61 44.5%	31 40.3%	18 40.9%	3 20.0%	113 41.4%	.507
これから行く予定	62 45.3%	41 53.2%	22 50.0%	11 73.3%	136 49.8%	
行かない	14 10.2%	5 6.5%	4 9.1%	1 6.7%	24 8.8%	
特定相手とのゴム使用ステージ						
行動期維持期	89 70.1%	8 11.8%	2 4.8%	0 .0%	99 39.6%	.000
準備期	12 9.4%	35 51.5%	3 7.1%	0 .0%	50 20.0%	
関心期	17 13.4%	18 26.5%	31 73.8%	3 23.1%	69 27.6%	
無関心期	9 7.1%	7 10.3%	6 14.3%	10 76.9%	32 12.8%	
セフレとのゴム使用ステージ						
行動期維持期	113 86.3%	8 11.9%	0 .0%	0 .0%	121 48.0%	.000
準備期	9 6.9%	44 65.7%	2 4.9%	0 .0%	55 21.8%	
関心期	9 6.9%	13 19.4%	34 82.9%	1 7.7%	57 22.6%	
無関心期	0 .0%	2 3.0%	5 12.2%	12 92.3%	19 7.5%	

厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策政策研究事業  
男性同性間のHIV感染予防対策とその介入効果の評価に関する研究

MSM 及びゲイ・バイセクシュアル男性を対象とした地域間比較(2)  
～ Community-Based Organization による HIV 予防啓発活動のプログラム評価～

研究分担者：本間隆之(山梨県立大学看護学部 講師)、金子典代(名古屋市立大学看護学部)  
研究協力者：荒木順子(公益財団法人エイズ予防財団/特定非営利活動法人 akta)、岩橋恒太  
(特定非営利活動法人 akta)、佐久間久弘、木南拓也(公益財団法人エイズ予防  
財団/特定非営利活動法人 akta)、柴田恵、阿部甚兵、大島岳(特定非営利活動  
法人 akta)、市川誠一(名古屋市立大学看護学部)

### 研究要旨

本研究班では、平成 23 年度から 3 年にかけて各地域の MSM の予防行動の実態把握とゲイ CBO が実施する介入評価のためのインターネット横断調査システムである Gay Community based Quest(以下、GCQ アンケートと表記)を開発するとともに、Community-Based Organization(CBO) が実施しているアウトリーチ活動を、プログラムとして記述することにより評価軸を検討してきた。

本年度は、新宿二丁目のある首都圏地域において、20 代を中心とする若年ゲイバー顧客の HIV 感染予防行動の実態、地域間移動と移動先での性行動の実態を明らかにするとともに、CBO による HIV 予防啓発プログラムの認知と受け入れ、コミュニティ感覚に関する評価を、GCQ アンケートシステムを用いて実施した。新宿二丁目の CBO である akta がアウトリーチにより関係性が構築できている介入店舗利用者の回答と、現在までアウトリーチを実施していない店舗利用者の回答を比較した。HIV 感染予防行動に有意な差はみられなかったが、友達や知り合いに HIV に感染している人がいるかという認知、コミュニティに関する安心感や愛着といったコミュニティ感覚に有意差が見られた。

#### A. 研究目的

これまでのロジックモデルを活用したプログラム評価研究から、CBO は新宿二丁目を中心としたゲイ・バイセクシュアル男性を対象に、HIV/AIDS の予防啓発情報(メッセージ)を伝えるために、新宿二丁目の文化や価値観を尊重し、自分たちと同じ仲間による活動だと感じてもらうことによって、“ピア性”のあるメッセージが受け入れられるというモデルを基に活動を展開していることが明らかになっている。

本研究ではプログラム評価の成果に基づき、若年ゲイバー顧客の HIV 感染予防行動の

実態、地域間移動と移動先での性行動の実態、CBO が想定する予防啓発メッセージが伝わる基盤となる「文化や価値観の尊重」及び「コミュニティ感覚」というコンセプトが、CBO が介入している対象に存在するか、存在するとすればどの程度かを確認することを目的として調査を実施した。

#### B. 研究方法

##### 調査実施

CBO の介入地域である新宿二丁目の商業施設を利用するゲイ・バイセクシュアル男性を対象に、オンラインで回答する質問票調査を

行った。参加者のリクルートは、協力が得られた店舗において、調査実施を告知するポスターを掲示するとともに、調査サイトへのリンクである QR コードを記したカードを配布した。調査サイトへのリンクはカードにのみ記載し、インターネット等でリンクを掲示し参加者を募集することは行わなかった。配布した店舗は、これまで CBO によるアウトリーチ活動で啓発資材等を配布していた店舗のうち、若い人が多く利用する店舗とした（介入実施店舗）。さらに、これまで CBO によるアウトリーチを行っていない店舗 2 店に対して、今回初めて調査ポスターとカード配布への協力を依頼して配布を行った（介入未実施店舗）。調査期間の終盤には、回答参加者を増やすためにアウトリーチ実施店舗において、CBO スタッフや店舗スタッフが店舗利用者に対してカードを手渡し、調査参加の呼びかけを行った。

回答は対象が保有する携帯端末等からインターネット上の質問サイトへアクセスしてもらい、回答するものとし、トップページにおいて回答することにより調査趣旨を理解し、参加することに同意したものとみなす旨、説明を行った。調査期間は平成 27 年 2 月から 3 月末とした。なお、本研究の研究計画については名古屋市立大学看護学部倫理委員会より承認を得て実施した（承認番号 14025-2）。

### 質問項目

年齢、新宿二丁目を訪れる頻度、HIV 感染予防行動、地域間移動と移動先での性行動、CBO による HIV 予防啓発プログラムの認知と受け入れ、新宿二丁目に対する愛着などを含むコミュニティ感覚に関して、選択形式で尋ねた。

### 分析方法

質問項目ごとに記述集計を行った。介入実施店舗の回答者群と未介入店舗の回答者群に

分け、割合をカイ二乗検定で比較した。検定の実施にあたっては適宜多肢選択を 2 区分することによって、検定を行った。

## C. 研究結果

### 調査参加者の属性

調査参加者は 20 歳代が 64.9% であり、20 歳代を中心とした調査目的に沿った参加者であった。CBO の介入地域である新宿二丁目を訪れる頻度は、月に 1 回以下が 26.4% であるのに対して、1 週間に一回程度以上訪れると回答した人は 57.4% と半数以上が比較的頻回に当該地域を訪れていることが分かった。過去 6 か月以内に利用した施設は、調査サイトであったバーの他には、ゲイ向け出会いアプリ（71.6%）を利用している人が多くいる。また、男性限定のクラブ（38.5%）や有料のハッテン場（31.1%）の利用は 4 割以下であり、商業施設の種類によって利用者の特性が異なる可能性があり、調査実施サイトによって調査参加者の特性が異なることが推察される。

### HIV 感染予防行動

生涯の HIV 抗体検査受検割合は 75.7%、過去 1 年間の同受検割合は 54.1% であった。過去 1 年間に受検した場所は、保健所（51.3%）が最も多かった。今回の調査では郵送検査を利用した人はいなかった。

一番最近のセックスをする前に、コンドームを使いたいと思っていた（55.4%）相手とコンドーム使用について意思を確認した（54.1%）アナルセックスでコンドームを使った（58.1%）と 5 割強の人が、コンドームを使った予防行動に積極的な認知を持ち、行動をしていた。

### 地域間移動と移動先での性行動

国内や海外の旅行先でセックス相手と出会うために使用したものである、ゲイ向けアプリ



が56.8%、男性限定のバーが35.1%であった。

一方、海外の旅行先でコンドームを使わないアナルセックスをしたことがある人は6.8%であった。

### CBO 活動の認知

首都圏における CBO の活動拠点であるコミュニティセンターakta という場所を知っている人は66.9%と多くの人を知っているが、行ったことがある人は全体の44.6%であった。

akta が実施した「Safer Sex キャンペーン」のポスター画像を提示し、見たことがあるか尋ねたところ、見たことがあると回答した人は45.9%と半数以下であった。

akta が月刊で発行しているフリーペーパーakta monthly paper を読んだことがある人は56.1%である一方で、見かけたことはあるが読んだことはない人も14.9%いた。

### CBO 活動の受け入れ

「そう思う」と「ややそう思う」を合計すると、akta の活動は、特別な人がやっているのではなく自分の仲間がやっている活動だと感じる(54.1%)、akta のメッセージは自分へのメッセージだと感じる(48.0%)、akta のメッセージはHIV や性感染症に対して前向きで話しやすい雰囲気を感じる(53.4%)、新宿二丁目の雰囲気に溶け込んだ活動をしている(60.1%)とおおむね半数近くは、akta の活動コンセプトの通りに認知しており、akta の活動に共感する(60.8%)という状況であった。

### 新宿二丁目に対するコミュニティ感覚

新宿二丁目というコミュニティを仮定して、コミュニティ意識を尋ねたところ、「そう思う」と「ややそう思う」を合計すると、安心感のようなものを感じる(68.2%)、誇りや愛着のようなものを感じる(61.5%)、ここで

しか得られないものがあると思う(79.1%)のように感じており、コミュニティを基盤とした介入の有効性の前提となるコミュニティ感覚があることが確認された。

さらに、新宿二丁目のために何かできることがあれば参加したい(63.5%)、HIV や性感染症の予防活動に、何らかの形で参加や協力をしたいと思う(55.4%)、新宿二丁目にはHIV や性感染症の予防活動は必要だと思う(85.8%)と、新宿二丁目というコミュニティに対する貢献したいという思いや、HIV 及び性感染症の予防に対する想いを持っていることが明らかとなった。

### 介入店舗利用客と未介入店舗利用客の比較

akta によるアウトリーチを実施している店舗を利用していた回答者と、アウトリーチ未実施の店舗を利用していた回答者を比較した。

アウトリーチ実施店舗では、友達や知り合いにHIVに感染している人がいるあるいはいると思うと回答した人が70.7%と有意に多かった( $p=0.005$ )。

予防行動では、HIV 抗体検査の生涯受検経験および過去1年の受検経験ともに有意差は見られなかった。コンドームの使用意図及び行動に関しても、有意差は見られなかった。

コミュニティセンターakta に行ったことがある人は、介入店舗群が52.6%に対して未介入店舗群では15.6%と介入店舗群での認知が有意に高かった( $p<0.001$ )。同様にSafer Sex キャンペーンの認知も53.4%に対して18.8%と介入店舗群で有意に高かった。

akta の活動に対する受け入れでは、「新宿二丁目の雰囲気に溶け込んだ活動をしている」のみが36.2%に対して21.9%と介入店舗群で有意に高かった( $p=0.011$ )。

新宿二丁目に対するコミュニティ意識では、安心感のようなものを感じる( $p=0.038$ )、誇りとか愛着のようなものを感じる( $p=0.020$ )、

新宿二丁目でしか得られないものがあると思う ( $p < 0.001$ ) が、いずれも介入店舗群で有意に高い結果であった。HIV について話をすることへのタブー感は有意差が見られなかった。

#### D. 考察

アウトリーチ活動のプログラム評価を実施し、活動をモデル化した研究の結果を活用し、測定項目を起案することによって、コミュニティを基盤とした活動をアウトカム評価だけによらないプロセス評価を実現することが可能になった。また、CBO がアウトリーチしているゲイバーに加え、これまでにアウトリーチ活動を行っていない店舗の協力を得ることが出来、介入実施店舗と介入未実施店舗の利用者を比較することが可能となった。

#### 調査参加者の属性

調査参加者は 20 歳代が 64.9% であり、20 歳代を中心とした調査目的に沿った参加者であった若い層をとらえることができた。過去 6 か月以内に利用した施設では、男性限定のクラブ (38.5%) や有料のハッテン場 (31.1%) の利用は 4 割以下であり、商業施設の種類によって異なる利用者の特性や価値観に合わせた介入を展開する必要性が示唆された。

#### 新宿二丁目に対するコミュニティ感覚

CBO が介入の基盤とする新宿二丁目というコミュニティに関するコミュニティ意識を尋ねたところ、安心感のようなものを感じる (68.3%)、ほこりや愛着のようなものを感じる (61.5%)、ここでしか得られないものがあると思う (79.1%) と感じている人が多くおり、新宿二丁目という一つのコミュニティを持っていることがわかった。

これにより、コミュニティをより良くしたい大切にしたいという意識のもと、仲間に対する信頼や価値観に基づき CBO がそのコミュニティの一員としてふるまうことにより信頼

を得て、公共的な目的での活動を支援する感情が起こると考えられる。CBO がアウトリーチ活動を行っている店舗と未実施店舗の間では、コミュニティセンター akta の認知や啓発資料の認知、Web サイトの認知に有意な差が見られ、また友人・知人に HIV 陽性者がいるの回答も有意な差異が見られ、前者が高い結果であった。

しかし、新宿二丁目のために何かできることがあれば参加したい、HIV や性感染症の予防活動に、何らかの形で参加や協力をしたいと思う、新宿二丁目 HIV や性感染症の予防活動は必要だと思うといった、態度に関する質問について、介入実施店舗と未実施店舗の利用者の回答に有意差は認められなかった。今回の調査では、協力が得られた未実施店舗は 2 店舗で、そのため調査参加者数が少なかった。今後、サンプルサイズを増やす工夫をして、検証を重ねる必要がある。

#### E. 結論

新宿二丁目のある首都圏地域において、20 代を中心とする若年ゲイバー顧客を対象に、HIV 感染予防行動、地域間移動と移動先での性行動、CBO による HIV 予防啓発プログラムの認知と受け入れ、コミュニティ感覚に関する評価を、GCQ アンケートシステムを用いて実施した。

新宿二丁目の CBO である akta がアウトリーチにより関係性が構築できている介入店舗利用者の回答と、現在までアウトリーチを実施していない店舗利用者の回答を比較したところ、HIV 感染予防行動に有意な差はみられなかったが、コミュニティセンター akta の認知や啓発資料の認知、Web サイトの認知、友達や知り合いに HIV に感染している人がいる、コミュニティに関する安心感や愛着といったコミュニティ感覚に有意差が見られた。

表1. 属性と検査受検経験(介入群別集計)

	介入実施店舗 (n=116)		介入未実施店舗 (n=32)		全体 (n=148)		介入実施店舗と未実施店舗の比較 (カイ2乗検定による) p値
	n	%	n	%	n	%	
<b>年齢(5歳階級)</b>							0.175
24歳以下	42	(36.2%)	16	(50.0%)	58	(39.2%)	「29歳以下」と「30歳以上」を比較
25-29歳	30	(25.9%)	8	(25.0%)	38	(25.7%)	
30-34歳	22	(19.0%)	4	(12.5%)	26	(17.6%)	
35-39歳	7	(6.0%)	3	(9.4%)	10	(6.8%)	
40歳以上	15	(12.9%)	1	(3.1%)	16	(10.8%)	
<b>あなたはここ2,3カ月の間にどの程度新宿二丁目を訪れましたか。</b>							0.172
月1回以下	28	(24.1%)	11	(34.4%)	39	(26.4%)	「一週間に1回以上」とそれ以外を比較
2,3週間に1回程度	18	(15.5%)	6	(18.8%)	24	(16.2%)	
1週間に1回程度	38	(32.8%)	8	(25.0%)	46	(31.1%)	
1週間に2回以上	32	(27.6%)	7	(21.9%)	39	(26.4%)	
<b>過去6か月以内に利用した施設(複数回答)</b>							
バー(男性限定)	106	(91.4%)	23	(71.9%)	129	(87.2%)	0.003
クラブ(男性限定)	49	(42.2%)	8	(25.0%)	57	(38.5%)	0.076
ゲイショップ	50	(43.1%)	10	(31.3%)	60	(40.5%)	0.227
出会い系サイト	31	(26.7%)	6	(18.8%)	37	(25.0%)	0.356
エロ系SNS	18	(15.5%)	6	(18.8%)	24	(16.2%)	0.660
ゲイ向け出会いアプリ	82	(70.7%)	24	(75.0%)	106	(71.6%)	0.632
FacebookやTwitter等のSNS	75	(64.7%)	17	(53.1%)	92	(62.2%)	0.234
ゲイ向けサークル	15	(12.9%)	1	(3.1%)	16	(10.8%)	0.114
ゲイ向け合コン	12	(10.3%)	2	(6.3%)	14	(9.5%)	0.483
ゲイの乱バ	9	(7.8%)	1	(3.1%)	10	(6.8%)	0.355
有料のハッテン場	38	(32.8%)	8	(25.0%)	46	(31.1%)	0.401
ゲイが集まることで有名な銭湯・プールなどの施設	25	(21.6%)	7	(21.9%)	32	(21.6%)	0.969
野外のハッテン場	13	(11.2%)	0	(0.0%)	13	(8.8%)	0.047
いずれもない	2	(1.7%)	0	(0.0%)	2	(1.4%)	
<b>過去6ヵ月間に友達や知り合いとHIVやエイズについて話したことがありますか？</b>							0.782
ある	72	(62.1%)	19	(59.4%)	91	(61.5%)	「ある」とそれ以外を比較
ない	41	(35.3%)	12	(37.5%)	53	(35.8%)	
友達や知り合いいない	3	(2.6%)	1	(3.1%)	4	(2.7%)	
<b>過去6ヵ月間に彼氏や恋人とHIVやエイズについて話したことがありますか？</b>							0.568
ある	35	(30.2%)	8	(25.0%)	43	(29.1%)	「ある」とそれ以外を比較
ない	41	(35.3%)	14	(43.8%)	55	(37.2%)	
彼氏恋人いない	40	(34.5%)	10	(31.3%)	50	(33.8%)	
<b>あなたの友達や知り合いにHIV(エイズ)に感染している人はいると思いますか？</b>							0.005
いる	68	(58.6%)	8	(25.0%)	76	(51.4%)	「いる+いると思う」とそれ以外を比較
いると思う	14	(12.1%)	6	(18.8%)	20	(13.5%)	
いないと思う	17	(14.7%)	9	(28.1%)	26	(17.6%)	
いない	3	(2.6%)	2	(6.3%)	5	(3.4%)	
わからない	14	(12.1%)	7	(21.9%)	21	(14.2%)	
<b>あなたはこれまでにHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことはありますか？</b>							0.134
ある	91	(78.4%)	21	(65.6%)	112	(75.7%)	
ない	25	(21.6%)	11	(34.4%)	36	(24.3%)	
<b>過去1年間の受検経験</b>							0.357
過去1年間に受検あり	65	(56.0%)	15	(46.9%)	80	(54.1%)	「過去1年間に受検あり」とそれ以外を比較
受検せず	45	(38.8%)	14	(43.8%)	59	(39.9%)	
1年以上前に陽性を確認	6	(5.2%)	3	(9.4%)	9	(6.1%)	
<b>過去1年の受検経験がある人のうち受検した場所(複数回答)</b>							
南新宿検査相談所	17	(26.2%)	1	(6.7%)	18	(22.5%)	0.103
保健所	30	(46.2%)	11	(73.3%)	41	(51.3%)	0.058
臨時検査	10	(15.4%)	0	(0.0%)	10	(12.5%)	0.104
病院や診療所	18	(27.7%)	2	(13.3%)	20	(25.0%)	0.247
郵送検査	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	
その他	1	(1.5%)	2	(13.3%)	3	(3.8%)	0.030

表2. HIV感染予防行動

	介入実施 店舗 (n=116)		介入未実施 店舗 (n=32)		全体 (n=148)		介入実施店舗と未実施店 舗の比較 (カイ2乗検定による) p値
	n	%	n	%	n	%	
<b>これまでに男性とセックスをしたことがありますか？</b>							0.598
ある	115	(99.1%)	32	(100.0%)	147	(99.3%)	
ない	1	(0.9%)	0	(0.0%)	1	(0.7%)	
<b>これまでに男性とアナルセックスをしたことがありますか？</b>							0.929
ある	112	(96.6%)	31	(96.9%)	143	(96.6%)	
ない	4	(3.4%)	1	(3.1%)	5	(3.4%)	
<b>過去6ヵ月間に、コンドームを買ったことがありますか？*</b>							0.006
ある	45	(40.2%)	21	(67.7%)	66	(44.6%)	
ない	67	(59.8%)	10	(32.3%)	77	(52.0%)	
<b>一番最近にアナルセックスをしたのはいつですか？*</b>							0.195
過去6か月以内	77	(68.8%)	25	(80.6%)	102	(68.9%)	「過去6か月以内」とそれ以外を比較
1年以内	12	(10.7%)	3	(9.7%)	15	(10.1%)	
1年以上前	19	(17.0%)	3	(9.7%)	22	(14.9%)	
覚えていない	4	(3.6%)	0	(0.0%)	4	(2.7%)	
<b>そのときの相手は次のうちどれにあてはまりますか？*</b>							0.227
彼氏や恋人	34	(30.4%)	6	(19.4%)	40	(27.0%)	「彼氏や恋人」とそれ以外を比較
友達やセクフレ	41	(36.6%)	14	(45.2%)	55	(37.2%)	
その場限りの相手	37	(33.0%)	11	(35.5%)	48	(32.4%)	
その他	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	
<b>そのときのアナルセックスのポジションはどれをしましたか？*</b>							
タチ	33	(29.5%)	6	(19.4%)	39	(26.4%)	
ウケ	48	(42.9%)	11	(35.5%)	59	(39.9%)	
タチウケ両方	29	(25.9%)	14	(45.2%)	43	(29.1%)	
覚えていない	2	(1.8%)	0	(0.0%)	2	(1.4%)	
<b>一番最近のセックスをする前に、あなたはコンドームを使いたいと思っていましたか？*</b>							0.466
はい	66	(58.9%)	16	(51.6%)	82	(55.4%)	「はい」とそれ以外を比較
いいえ	20	(17.9%)	6	(19.4%)	26	(17.6%)	
相手次第	18	(16.1%)	5	(16.1%)	23	(15.5%)	
特に考えていなかった	8	(7.1%)	2	(6.5%)	10	(6.8%)	
わからない	0	(0.0%)	2	(6.5%)	2	(1.4%)	
<b>一番最近の相手とコンドームの使用についての意思を確認しましたか？*</b>							0.172
はい	66	(58.9%)	14	(45.2%)	80	(54.1%)	「はい」とそれ以外を比較
いいえ	39	(34.8%)	15	(48.4%)	54	(36.5%)	
わからない	7	(6.3%)	2	(6.5%)	9	(6.1%)	
<b>一番最近のアナルセックスで、コンドームを使いましたか？*</b>							0.496
使った	69	(61.6%)	17	(54.8%)	86	(58.1%)	「使った」とそれ以外を比較
使わなかった	37	(33.0%)	13	(41.9%)	50	(33.8%)	
覚えていない	6	(5.4%)	1	(3.2%)	7	(4.7%)	
<b>一番最近の相手がHIV(エイズ)に感染しているか、セックスする前に知っていましたか？*</b>							0.227
知っていた	34	(30.4%)	6	(19.4%)	40	(27.0%)	「知っていた」とそれ以外を比較
知らなかった	38	(33.9%)	10	(32.3%)	48	(32.4%)	
わからない	40	(35.7%)	15	(48.4%)	55	(37.2%)	
<b>海外の旅行先で、コンドームを使わないアナルセックスをしたことはありますか？*</b>							0.508
はい	7	(6.3%)	3	(9.7%)	10	(6.8%)	「はい」とそれ以外を比較
いいえ	99	(88.4%)	21	(67.7%)	120	(81.1%)	
わからない	6	(5.4%)	7	(22.6%)	13	(8.8%)	
<b>国内や海外の旅行先でセックス相手と出会うために使用したものはありますか？*(複数回答)</b>							
1 バー(男性限定)	43	(38.4%)	9	(29.0%)	52	(35.1%)	0.348
2 クラブ(男性限定)	29	(25.9%)	2	(6.5%)	31	(20.9%)	0.021
3 出会い系サイト	24	(21.4%)	3	(9.7%)	27	(18.2%)	0.142
4 エロ系SNS(HuGs や男子寮など)	18	(16.1%)	1	(3.2%)	19	(12.8%)	0.064
5 ゲイ向けアプリ	68	(60.7%)	16	(51.6%)	84	(56.8%)	0.384
6 FacebookやTwitter等のSNS	28	(25.0%)	6	(19.4%)	34	(23.0%)	0.521
7 有料のハッテン場	31	(27.7%)	3	(9.7%)	34	(23.0%)	0.039
8 ゲイが集まる銭湯・プールなどの施設	15	(13.4%)	1	(3.2%)	16	(10.8%)	0.114
9 野外のハッテン場	7	(6.3%)	1	(3.2%)	8	(5.4%)	0.519
10 いずれもない	24	(21.4%)	10	(32.3%)	34	(23.0%)	0.209

\*分母は生涯の男性とのアナルセックスの経験者

表3. CBO活動の認知

	介入実施 店舗 (n=116)		介入未実施 店舗 (n=32)		全体 (n=148)		介入実施店舗と未実施店 舗の比較 (カイ2乗検定による) p値
	n	%	n	%	n	%	
<b>新宿2丁目にある「コミュニティセンターakta」という場所を、知っていますか？</b>							
知っていて、行ったことがある	61	(52.6%)	5	(15.6%)	66	(44.6%)	行ったことがあるとそれ以外 を比較
知っていて、行ってみたい	12	(10.3%)	4	(12.5%)	16	(10.8%)	
知っているが、行ってみようと思わない	13	(11.2%)	4	(12.5%)	17	(11.5%)	
名前は聞いたことがあるが、何か知らない	14	(12.1%)	6	(18.8%)	20	(13.5%)	
知らない	16	(13.8%)	13	(40.6%)	29	(19.6%)	
<b>aktaが作っているヤローページを読んだことがありますか？</b>							
読んだことがあり今後も読みたい	39	(33.6%)	3	(9.4%)	42	(28.4%)	
読んだことがあり、見かけたら読む	25	(21.6%)	4	(12.5%)	29	(19.6%)	
読んだことがあるが、今後読もうとは思わない	3	(2.6%)	2	(6.3%)	5	(3.4%)	
見かけたことはあるが読んだことはない	16	(13.8%)	4	(12.5%)	20	(13.5%)	
知らない	33	(28.4%)	19	(59.4%)	52	(35.1%)	
<b>aktaのキャンペーン (Safersexキャンペーンのロゴ) を見たことがありますか？</b>							
見たことがある	62	(53.4%)	6	(18.8%)	68	(45.9%)	<0.001
見たことがない	54	(46.6%)	26	(81.3%)	80	(54.1%)	
<b>aktaが発行しているフリーペーパーakta monthly paperを読んだことがありますか？</b>							
読んだことがあり今後も読みたい	49	(42.2%)	4	(12.5%)	53	(35.8%)	
読んだことがあり、見かけたら読む	26	(22.4%)	2	(6.3%)	28	(18.9%)	
読んだことがあるが、今後読もうとは思わない	1	(0.9%)	1	(3.1%)	2	(1.4%)	
見かけたことはあるが読んだことはない	18	(15.5%)	4	(12.5%)	22	(14.9%)	
知らない	22	(19.0%)	21	(65.6%)	43	(29.1%)	
<b>新宿2丁目でコンドームなどを配布しているデリバリーボーイズを見かけたことがありますか？</b>							
参加したことがある	16	(13.8%)	2	(6.3%)	18	(12.2%)	
見かけたことがある	71	(61.2%)	11	(34.4%)	82	(55.4%)	
見たことがない	16	(13.8%)	5	(15.6%)	21	(14.2%)	
知らない	13	(11.2%)	14	(43.8%)	27	(18.2%)	
<b>aktaが運営している下のWEBサイトをみたことがありますか？</b>							
見たことがある	59	(50.9%)	8	(25.0%)	67	(45.3%)	0.009
見たことがない	57	(49.1%)	24	(75.0%)	81	(54.7%)	

表4. コミュニティにおけるCBO活動の受け入れ(介入群別集計)

	介入実施 店舗 (n=116)		介入未実施 店舗 (n=32)		全体 (n=148)		介入実施店舗と未実施店 舗の比較 (カイ2乗検定による) p値
	n	%	n	%	n	%	
<b>aktaの活動は、特別な人がやっているのではなく、自分の仲間がやっている活動だと感じる。</b>							0.357
そう思う	45	(38.8%)	11	(34.4%)	56	(37.8%)	「そう思う+ややそう思う」と それ以外を比較
ややそう思う	20	(17.2%)	4	(12.5%)	24	(16.2%)	
どちらともいえない	15	(12.9%)	2	(6.3%)	17	(11.5%)	
あまりそう思わない	14	(12.1%)	0	(0.0%)	14	(9.5%)	
そう思わない	6	(5.2%)	2	(6.3%)	8	(5.4%)	
aktaの活動を知らない	16	(13.8%)	13	(40.6%)	29	(19.6%)	
<b>aktaのメッセージは、自分への(私への)メッセージだと感じる。</b>							0.347
そう思う	27	(23.3%)	6	(18.8%)	33	(22.3%)	「そう思う+ややそう思う」と それ以外を比較
ややそう思う	31	(26.7%)	7	(21.9%)	38	(25.7%)	
どちらともいえない	23	(19.8%)	4	(12.5%)	27	(18.2%)	
あまりそう思わない	11	(9.5%)	0	(0.0%)	11	(7.4%)	
そう思わない	4	(3.4%)	2	(6.3%)	6	(4.1%)	
aktaの活動を知らない	20	(17.2%)	13	(40.6%)	33	(22.3%)	
<b>aktaからのメッセージは、HIVや性感染症に対して前向きで話しやすい雰囲気を感じる。</b>							0.217
そう思う	32	(27.6%)	7	(21.9%)	39	(26.4%)	「そう思う+ややそう思う」と それ以外を比較
ややそう思う	33	(28.4%)	7	(21.9%)	40	(27.0%)	
どちらともいえない	22	(19.0%)	2	(6.3%)	24	(16.2%)	
あまりそう思わない	8	(6.9%)	1	(3.1%)	9	(6.1%)	
そう思わない	1	(0.9%)	2	(6.3%)	3	(2.0%)	
aktaの活動を知らない	20	(17.2%)	13	(40.6%)	33	(22.3%)	
<b>aktaは、新宿二丁目の雰囲気になじめた活動をしていると思う。</b>							0.011
そう思う	42	(36.2%)	7	(21.9%)	49	(33.1%)	「そう思う+ややそう思う」と それ以外を比較
ややそう思う	34	(29.3%)	6	(18.8%)	40	(27.0%)	
どちらともいえない	17	(14.7%)	5	(15.6%)	22	(14.9%)	
あまりそう思わない	3	(2.6%)	0	(0.0%)	3	(2.0%)	
そう思わない	0	(0.0%)	2	(6.3%)	2	(1.4%)	
aktaの活動を知らない	20	(17.2%)	12	(37.5%)	32	(21.6%)	
<b>aktaの活動に共感する。</b>							0.157
そう思う	45	(38.8%)	8	(25.0%)	53	(35.8%)	「そう思う+ややそう思う」と それ以外を比較
ややそう思う	29	(25.0%)	8	(25.0%)	37	(25.0%)	
どちらともいえない	20	(17.2%)	1	(3.1%)	21	(14.2%)	
あまりそう思わない	4	(3.4%)	1	(3.1%)	5	(3.4%)	
そう思わない	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	
aktaの活動を知らない	18	(15.5%)	14	(43.8%)	32	(21.6%)	

表5. コミュニティ感覚に関する項目(介入別集計)

	介入実施 店舗 (n=116)		介入未実施 店舗 (n=32)		全体 (n=148)		介入実施店舗と未実施店 舗の比較 (カイ2乗検定による) p値
	n	%	n	%	n	%	
<b>新宿二丁目にいると、安心感のようなものを感じる。</b>							0.038
そう思う	46	(39.7%)	9	(28.1%)	55	(37.2%)	「そう思う+ややそう思う」と それ以外
ややそう思う	38	(32.8%)	8	(25.0%)	46	(31.1%)	
どちらともいえない	24	(20.7%)	4	(12.5%)	28	(18.9%)	
あまりそう思わない	6	(5.2%)	2	(6.3%)	8	(5.4%)	
そう思わない	2	(1.7%)	9	(28.1%)	11	(7.4%)	
<b>新宿二丁目に、誇りとか愛着のようなものを感じる。</b>							0.020
そう思う	31	(26.7%)	10	(31.3%)	41	(27.7%)	「そう思う+ややそう思う」と それ以外
ややそう思う	46	(39.7%)	4	(12.5%)	50	(33.8%)	
どちらともいえない	26	(22.4%)	5	(15.6%)	31	(20.9%)	
あまりそう思わない	9	(7.8%)	2	(6.3%)	11	(7.4%)	
そう思わない	4	(3.4%)	11	(34.4%)	15	(10.1%)	
<b>新宿二丁目でしか得られないものがあると思う。</b>							<0.001
そう思う	67	(57.8%)	13	(40.6%)	80	(54.1%)	「そう思う+ややそう思う」と それ以外
ややそう思う	33	(28.4%)	4	(12.5%)	37	(25.0%)	
どちらともいえない	7	(6.0%)	5	(15.6%)	12	(8.1%)	
あまりそう思わない	5	(4.3%)	2	(6.3%)	7	(4.7%)	
そう思わない	4	(3.4%)	8	(25.0%)	12	(8.1%)	
<b>新宿二丁目のために何か私ができることがあれば参加や協力をしたいと思う。</b>							0.168
そう思う	35	(30.2%)	9	(28.1%)	44	(29.7%)	「そう思う+ややそう思う」と それ以外を比較
ややそう思う	42	(36.2%)	8	(25.0%)	50	(33.8%)	
どちらともいえない	23	(19.8%)	9	(28.1%)	32	(21.6%)	
あまりそう思わない	9	(7.8%)	5	(15.6%)	14	(9.5%)	
そう思わない	7	(6.0%)	1	(3.1%)	8	(5.4%)	
<b>新宿二丁目でのHIV(エイズ)や性感染症の予防活動に、自分も何らかの形で参加や協力をしたいと思う。</b>							0.273
そう思う	29	(25.0%)	6	(18.8%)	35	(23.6%)	「そう思う+ややそう思う」と それ以外を比較
ややそう思う	38	(32.8%)	9	(28.1%)	47	(31.8%)	
どちらともいえない	29	(25.0%)	12	(37.5%)	41	(27.7%)	
あまりそう思わない	9	(7.8%)	4	(12.5%)	13	(8.8%)	
そう思わない	11	(9.5%)	1	(3.1%)	12	(8.1%)	
<b>新宿二丁目では、HIV(エイズ)について話をするに、タブー感(ためらい)がある。</b>							0.462
そう思う	13	(11.2%)	9	(28.1%)	22	(14.9%)	「そう思う+ややそう思う」と それ以外を比較
ややそう思う	26	(22.4%)	4	(12.5%)	30	(20.3%)	
どちらともいえない	28	(24.1%)	7	(21.9%)	35	(23.6%)	
あまりそう思わない	25	(21.6%)	5	(15.6%)	30	(20.3%)	
そう思わない	24	(20.7%)	7	(21.9%)	31	(20.9%)	
<b>新宿二丁目でのHIV(エイズ)や性感染症の予防活動は必要だと思う。</b>							0.404
そう思う	83	(71.6%)	20	(62.5%)	103	(69.6%)	「そう思う+ややそう思う」と それ以外を比較
ややそう思う	18	(15.5%)	6	(18.8%)	24	(16.2%)	
どちらともいえない	8	(6.9%)	6	(18.8%)	14	(9.5%)	
あまりそう思わない	4	(3.4%)	0	(0.0%)	4	(2.7%)	
そう思わない	3	(2.6%)	0	(0.0%)	3	(2.0%)	

厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策政策研究事業  
男性同性間のHIV感染予防対策とその介入効果の評価に関する研究

商業施設を利用しはじめる若年層 MSM を対象とした予防啓発介入の開発と効果評価  
-初性交時周辺に焦点をあてた予防介入-

研究分担者：鬼塚哲郎（京都産業大学文化学部/MASH 大阪）

研究協力者：塩野徳史（名古屋市立大学看護学部/MASH 大阪）、後藤大輔、町登志雄、  
宮田 良（公益財団法人エイズ予防財団/MASH 大阪）、大畑泰次郎、  
伴仲昭彦（MASH 大阪）、新山賢、岡崎好晃(HaaT えひめ）、  
大山治彦（四国学院大学社会福祉学部/HaaT えひめ）、  
松本健二（大阪市保健所感染症対策監）、  
半羽宏之（大阪市健康局医務監兼保健所感染症対策課長）、  
安井典子、細井舞子（大阪市保健所感染症対策課）、  
永井仁美（大阪府健康医療部保健医療室医療対策課長）

#### 研究要旨

本研究は初性交時周辺に焦点をあて、商業施設を利用しはじめる若年層 MSM を対象とした新たな啓発介入を開発し、その効果評価を目的としている。啓発介入はCBOと協働で開発し、コミュニティベース調査と大阪市・大阪府と協力し保健所等でHIV抗体検査を受検する人を対象とした質問紙調査によって評価することとした。初年度は啓発介入プロジェクトを発足し、新型啓発介入に展開・評価するための基礎資料を得ることを目的として上記の2つの調査を実施した。

8月、イベント参加者を対象にインターネットを利用したコミュニティベース調査を行い、近畿在住MSM 484人の回答を得た。初および最近の性交時の予防行動の関連要因では最近の性交時のコンドーム使用意図(4.68倍、95%CI: 2.10-10.44)が最も強く、次いで初性交時のコンドーム使用意図(4.06倍、95%CI: 1.97-8.37)も関連していた。また初めて話したゲイ男性との性交割合は78.4%-86.7%と極めて高いことから、初性交時周辺に焦点をあてた介入は妥当である。コンドーム使用に影響する要因としては、コンドーム使用意図があると使用割合も高く(初性交時の使用割合: 意図あり61.1%、意図なし15.3%)、使用意図を醸成する啓発が有用と考えられた。

初年度はMASH大阪、HaaTえひめと協働して「やる!プロジェクト」を開発、総数7,298セット配布した。この介入は商業施設を利用しはじめる若年層MSMを24歳以下の若年層と仮定し、基礎的な知識や情報を普及し予防ネットワークを形成することを目的とした。本研究では連続横断調査デザインを用いて啓発介入の効果評価を実施している。連続横断調査(2014年8月、2015年1月)の回答者は基本属性に有意差はみられず、ほぼ同じ属性の集団であったため比較可能な集団であった。初年度の資材認知割合は2.7%から10.2%に上昇した( $p<0.01$ )。先行研究に比べるとやや浸透度が低く、本介入の規模が小さかった可能性もあるが、新型啓発介入のベースラインとなる。

啓発介入の副次的指標となるMSM受検者の動向については、大阪市3保健福祉センターは33人~54人、大阪府13(4月以降12)保健所15人~35人、chot CAST なんば90人~144人で、概ね減少傾向であった。次年度以降、新型啓発介入としてインターネットを活用した「やる!プロジェクト」が浸透した場合にはMSMにおける受検行動が促進され、MSM受検者数の増加が期待される。



## A. 研究目的

### 1 研究背景

#### 1) 大阪地域の MSM における感染動向

厚生労働省エイズ動向委員会の報告によれば、大阪を含む近畿地域の 2013 年新規 HIV 感染者数は、男性同性間性的接触によるものが 161 人で 2012 年 (119 人) に比べ増加している。また新規 AIDS 患者数では 49 人であり、2012 年 (43 人) に比べやや増加している。先行研究による近畿地域の MSM 割合を用いて罹患率でも HIV 罹患率 43.1 (2012 年) から 58.3 (2013 年) に、AIDS 罹患率 15.6 (2012 年) から 17.8 (2013 年) とともに増加している。

MSM 出生年代別にみた先行研究では AIDS 罹患率の推移は 1950 年代生まれ以外のいずれの年代でも増加傾向であった。近年では 1970 年代生まれや 1980 年代生まれでは感染拡大傾向は抑制されつつあるものの、出生年代層が若い群の方がより高く相対的に MSM 集団における感染拡大が示唆されている。地域別にみても 2011 年に東海、九州などの地方地域とともに近畿地域の MSM でも東京都と同等の感染状況となっている。

特にゲイ向け商業施設利用者はリスクの高い集団であると考えられ、過去 6 ヶ月間のコンドーム使用状況や性感染症の既往が非利用群に比べ利用群で高く、リスク状況が依然持続している可能性があることも示されている。コミュニティベースの調査結果からも、24 歳以下及び 45 歳以上の MSM では受検行動、コンドーム使用行動が他年代に比べ極めて低い。一方で、MSM における初交年齢が 20 歳前後であることから 24 歳以下の若年時には性行動が活発化する時期と考えられ、商業施設を利用する若年層 MSM に適した介入モデルが必要である。

#### 2) 大阪地域 MSM 対象の予防啓発介入

##### (1) 平成 26 年度の活動内容

平成 25 年度 MASH 大阪は個人・グループ

レベルの予防啓発プログラムとして「ドロップインセンター dista」の運営、「STI 勉強会-性の健康教室」若年層ネットワーク構築支援プログラム STEP」を展開してきた。コミュニティレベルの予防啓発プログラムとして若年層 MSM 向けに「コミュニティペーパー SaL+」を、中高年層 MSM 向けに「季刊誌南界堂通信」を発行してきた。インターネット利用者向けには「コミュニティポータルサイト dista.b」「Safer Sex Info.-セクシュアルヘルス応援サイト」によって情報を発信してきた。また二次予防(受検促進)関連プログラムとして「クリニック検査キャンペーン」クリニックで HIV&梅毒検査受けてみるキャンペーン」の仕組みづくりや広報を担い、保健師や検査担当者を対象として MSM にとって安心できる検査環境の構築を目的に「プロフェッショナルミーティング (PM)」を開催し「大阪府の検査場面における MSM への対応の研修会」に関わってきた。ゲイバー・ハッテン場・クラブイベント・インターネットの 4 ベニューにそれぞれ相応した方法を開発し、これら 10 プログラム(研修会を除く)を継続的に実施することで、予防規範を浸透させ予防行動を一部促進させつつあることなどが先行研究で示唆されており、成果があったと考えられる。

一方で近年「コミュニティペーパー SaL+」はターゲット層である若年層 MSM の認知率の低下などから訴求対象が固定化されていることが示されており、コンドーム使用行動も若年層では他年齢層と比べ低いままであった。と二次予防(受検促進)関連プログラムについても行政担当者との関係構築は進んできたが、過去 1 年間の受検割合は 30% 前後で横ばいであり、大阪地域の現状を省みると大きな成果が得られているとは言えない。これらから MASH 大阪は 10 年以上続けてきた活動の方向性や意義を改めて確認する必要性が出てきた。

先行研究で大阪地域の商業施設利用者には常に流入してくる MSM が存在することが明ら

かとなっている。移り変わるコミュニティに対応するために、MASH 大阪は当事者性を活かし、新規流入者を巻き込むことやコミュニティのキーパーソンと協働することで柔軟な活動を展開してきた。定例会議等で検討した結果、認知率の低下は活動に対する柔軟性の喪失を示している可能性があり、それはマンパワー不足や介入アイデアの不足によるものが大きいと思われた。例えば、制度化された組織運営によって固定化したスタッフの当事者性が消失しつつあることも考えられ、コミュニティの雰囲気の内包したプログラム構築および運営が難しくなっていると考えられた。それは当事者を含むCBO (Community-based organization)の存在意義にも関わる。

そこで平成 26 年度は継続してきた 10 プログラムのうち「STI 勉強会-性の健康教室」や「若年層ネットワーク構築支援プログラム STEP」を個別のプログラムではなく「ドロップインセンターdista」に組み入れ不定期に開催することとし、「コミュニティポータルサイト dista.b」「Safer Sex Info.-セクシュアルヘルス応援サイト」を「ドロップインセンターdista」のホームページとして位置づけを見直した。また訴求対象が固定化されている「コミュニティペーパーSaL+」を休刊とし、中高年層 MSM 向け「季刊誌南界堂通信」を継続することにした。また「プロフェッショナルミーティング (PM)」によって行政担当者との関係構築が進んだとの認識と「クリニック検査キャンペーン」「クリニックで HIV&梅毒検査受けてみるキャンペーン」などの検査事業が大阪府によって事業化されたことを鑑み、広報のみを担うこととし、MASH 大阪の主たるプログラムと別に考えることとした。

そうして 10 プログラムを一旦 2 プログラムに減らし、大阪地域の商業施設利用者に常に流入してくる MSM の中でも、ゲイ・ツーリス

ムと言われる中国・四国地域在住の MSM を対象とした介入として、HaaT えひめと協働し「ゲイコミュニティペーパー ファイト！四国地方版」の発刊を支援した。各プログラムのアウトカムを以下の表 1 に示す。

表 1 2014 年 4 月～2015 年 1 月までの  
MASH 大阪活動実績

プログラム名	アウトカム
Community Center dista 2014 年 2 月から 2015 年 1 月まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来場者数累計 8,489 人</li> <li>・月平均 707 人</li> <li>・日平均 29 人</li> <li>・新規利用率 8.6% (2014 年 2 月) ~ 2.7% (2015 年 1 月)</li> </ul>
季刊誌 南界堂通信 2015 年 2 月時点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7号 ゲイ向け商業施設 197 軒、郵送 40 ヶ所に 3,033 部配布</li> <li>・8号 ゲイ向け商業施設 200 軒、郵送 39 ヶ所に 2,966 部配布</li> <li>・9号 ゲイ向け商業施設 189 軒、郵送 39 ヶ所に 2,822 部配布</li> </ul>
ゲイコミュニティペーパー ファイト！ 四国地方版 2015 年 2 月時点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5号 ゲイ向け商業施設 54 軒、2 イベントに 2,000 部配布</li> <li>・6号 ゲイ向け商業施設 54 軒、1 イベントに 1,950 部配布</li> <li>・7号 ゲイ向け商業施設 54 軒に 1,700 部配布</li> </ul>

南界堂通信プログラムでは、培ったネットワークを活用してゲイバースタッフを巻き込んで、「ドロップインセンターdista」で茶会も開催した(参加者数 47 名:うち推定新規割合 25%以上)。平成 26 年度は 3 プログラムを展開しつつ、大阪府や大阪市などの地方行政の検査事業と協働して「クリニック検査キャンペーン」「dista でちえっくん」などの広報を実施した。

## (2) 平成 26 年度の運営体制

これまで MASH 大阪は毎月 1 回の定例会議を設けており、その中で各プログラムの進捗状況の共有と承認を行ってきた。各プログラムは予算ベースで分かれており、プログラム毎の会議が個別に開催され運営されてきた。こ

の体制は各プログラムスタッフがほぼ重複している場合や少人数の場合には迅速で効率的な運営となるが、同時にスタッフ間で得られる情報量に格差が生まれ、活動への意識や態度・ミッションにズレが生じることが課題となった。定例会議でも以下のような意見交換があった。

「今までの体制では、MASH 大阪のスタッフがコミュニティセンターを運営しているように感じられ、コミュニティの人々を巻き込んでいくことが難しい面があった。今後は、コミュニティの人たちで *dista* を主体的に運営できる仕組みに変えていく方がコミュニティの人々のメリットになり、MASH 大阪のミッションにも沿う。コミュニティの人をいかに運営に巻き込んでいけるか課題となる。

これまでの体制では、コンシェルジュの役割として 対人サービス、 備品管理、 来場者記録の管理、 相談対応を行っており、*dista* 利用時の利便性が確保されるなど一定の成果が得られている。しかし、カウンターを設置すると、接客する側、される側になることあり、コミュニティの人が主体的に運営できているかどうか疑問が残る。(定例会議議事録より抜粋)」

またこれまでの定例会議は各プログラムの進捗確認が主となり、会議参加者が運営自体にコミットすることが難しいという課題もあった。これは会議に参加する当事者の意見を反映する場が極めて少ないということであり、マンパワー不足を助長するだけでなく、ミッションとの整合性の確認や各プログラム間の連携構築が不十分となる危険性を孕んでいる。

そこで平成 26 年 7 月以降、コミュニティの当事者自身が「コミュニティにおけるセクシュアルヘルスを増進」させるといったミッションに立ち返り、MASH 大阪の活動全体を見

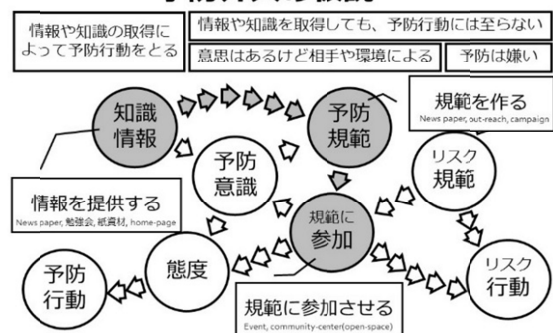
直し、現行 10 プログラムからコミュニティとの関係構築に重要な役割をもつ 2 プログラムのみとした。

そして意思決定の方法としてプログラム毎の会議は設けず、定例会議に一元化し、全てを同時に検討することとした。可能な限り迅速・柔軟に対応していくため、定例会議の頻度を月 2 回に増やし公開性とした。

また会議議事録もメールマガジンで公開することとした。検討される情報の中には誤解を招きやすいこともあるため、掲載の可否については全体会議内で吟味し、メールマガジンで議事録を公開する前に会議参加者が確認する。また会議に参加しなかったメールマガジン読者から疑義や質問があった場合には、次回の会議で共有し再度検討することとした。

### (3) 介入方法の仮説

#### 背景：商業施設利用者への介入 予防介入の仮説



図は MASH 大阪の介入方法の仮説を示した。これまでの活動において MASH 大阪は、ゲイコミュニティの中でも感染リスクが高いゲイ向け商業施設利用層(大阪の商業施設に流入する層)を介入対象の中心として考えてきた。

平成 26 年度は定例会議において対象をさらにセグメント化し、情報や知識の取得によって予防行動をとる層と情報や知識を取得しても予防行動には至らない層を想定した。そして情報や知識を取得しても予防行動には至らない層を、予防意思はあるものの相手や環境によって行動を変化させる場合と予防の

意思がない場合に分類し、各々が規範を形成し、あるいは参加することによって、個人の中で予防行動とリスク行動が同時期に、その状況に応じて生じていると考えた。

これまでコミュニティベースの調査によって明らかにされたコンドーム使用行動が著変なく一定の割合が横ばいであった背景には、コミュニティにおける予防規範やネットワークが固定化されたものではなく、可逆的・流動的なものであることが関連しているように思われる。また、出生年代別の HIV 罹患率が若年層における感染拡大を示していることや、若年層における生涯 HIV 抗体検査受検経験は他の年代に比べて低くとどまっていることの背景には、従来の予防介入によって醸成した HIV 感染に対する予防意識や予防行動が、対象となった世代に限定されており、世代間で引き継がれていない可能性を示唆している。

したがって戦略的に予防行動を促進するためには、従来の予防介入によって醸成した HIV 感染に対する予防意識といったコミュニティの規範やネットワークに、より多くの人々が参加することによって、集団をとりまく環境そのものを変容させ、予防規範やネットワークとのつながりを強く密にしていくことで、コミュニティ全体の予防行動を促進させることが重要であると考えた。

その方法として、当事者目線で作成されたニュースペーパー・紙資材・ホームページや、当事者参加型の勉強会によって「情報を提供する(第1段階)」、ネットワークを構築する継続的なアウトリーチや予防・セーフアセックスを想起させるキャンペーンによって「予防規範を作る(第2段階)」、イベントやオープンスペースのあるコミュニティセンターに自発的に来場することで対象自身が「規範に参加する(第3段階)」といった段階を準備し、それぞれのプログラムが全て連動している状態を目指した。

## 2 研究目的

大阪地域の MSM の感染動向や MASH 大阪の予防介入の仮説を背景に、本研究ではエイズ対策としての予防介入に活かすため、商業施設に新たに流入してくる層(利用しはじめる層)の特性を明らかにしようとした。必然的に若年層 MSM が主な対象となると考えられるが、先行研究では日本の MSM の初性交経験は平均 20 歳前後であることが多数報告されており、初性交時周辺に焦点をあてた予防介入を開発することが必要となる。一方で、ゲイ向け商業施設を利用する若年層では、性行為に至る経路(出会いのツール)がインターネットの台頭によって複雑化しており、従来の資材配布などの予防介入方法では対象をリーチすることが困難となっており、新たな予防介入方法を開発する必要性も言われている。

しかしゲイ・バイセクシュアル男性における初性交時の相手との関係性やその時点での予防行動について明らかにされている研究はほとんどない。薬物使用の契機は相手との関係性やそのときの精神状態が大きく影響していることが言われており、初性交時の相手との関係性や予防に関する状況もその後の性行為における予防行動や意識、感染リスク行動にも影響している可能性が考えられる。

そこで本研究では、男性との初性交時の状況とその後の性行動との関連を明らかにし、商業施設を利用しはじめる若年層 MSM を対象に新規介入方法を開発し連続横断研究デザインを用いて効果を実証することを目的とした。

初年度は初性交時の状況を明らかにし、若年層 MSM を対象とした従来型啓発介入を実施し、得られたデータを基に評価指標を確立することを目的とした。また得られたデータを基に平成 27 年度に新規介入を開発・実施し効果を従来型啓発介入と比較し検証し、平成 28 年度には新規開発介入の持続性評価と他地域への応用を図ることとした。

## B. 研究方法

### 1 初性交時周辺に焦点をあてた予防介入「やる!プロジェクト」の開発と試行

本研究では MASH 大阪と協働し、商業施設を利用しはじめる若年層 MSM を 24 歳以下の若年層と仮定して、これまでの経験と予防介入の仮説に従って、予防や性感染症の情報を普及し予防ネットワークを形成することを目的とした「やる!プロジェクト」を展開した。これは情報を掲載したポストカード・コンドーム(1~2 個)・ローション(40g)をセットにして配布するプロジェクトであり、仮説の第 1 段階にあたる。若年層に訴求力を高める工夫として 1 種類のポストカードに 1 つの情報のみを掲載し、片面には商業施設やゲイコミュニティの間で人気の高いイラストレーターやキーパーソンを起用した。そして、ゲイ向けクラブイベントや dista 来場者、若年層向けイベントなど若年層が集まる場所で配布した。いろいろな種類のポストカードを混ぜて配布することで長期間にわたり情報を補完的に配布することとした(従来型啓発介入)。

研究デザインとして平成 26 年 8 月から平成 27 年 1 月までの 6 ヶ月間配布し、全てのセットに下記のロゴマークを貼り付け、その認知によって訴求力を測ることとした。



### 2 コミュニティベース調査

#### 1) 調査方法

初性交時の状況を明らかにし、展開した従来型啓発介入における訴求性を示すベースラ

インを得るために、コミュニティベース質問紙調査(GCQ アンケート)を実施した。本調査は先行研究によって開発された手法であり、ゲイ向けクラブイベントなどの当事者に近い商業施設をシードにし、インターネットを用いて回答する仕組みとなっている。質問の内容は基本属性、検査行動、性行動(初性交時、一番最近の性交時、過去 6 ヶ月間の性交時)、性感染症既往歴、HIV に関する対話経験、啓発介入への接触状況など 60 問であり、第 1 回目の調査は従来型啓発介入が展開され配布される前の平成 26 年 7 月 31 日から 8 月 17 日までの 18 日間、第 2 回目は配布が終了する時期にあわせ平成 26 年 12 月 12 日から平成 27 年 1 月 13 日の 32 日間実施した。

また中国・四国地域では HaaT えひめと協働し、地域差の動向を把握する目的で同様の調査を平成 26 年 7 月 31 日から 9 月 30 日までの 62 日間実施した。

#### 2) 分析方法

得られたすべての回答のうち、近畿地域に居住する MSM およびゲイ・バイセクシュアル男性を分析対象とした。年齢を 24 歳以下、25 歳-29 歳、30-34 歳、35-39 歳、40-44 歳、45 歳以上の 6 区分の年齢層に分類した。

まず横断調査回答者となった集団を比較し、集団の特性の差異を明らかにし、研究デザインの妥当性を検討するために、第 1 回目と第 2 回目の調査回答者の属性・検査行動・性行動・啓発介入への接触状況についてカイ 2 乗検定を用いて分析した。

次に初性交時の状況を明らかにするために、分析項目に無回答であったものを除き、近畿地域在住の MSM で過去 6 ヶ月間に性交経験をもつ回答者を対象に、コンドーム使用状況別に性交時の状況を比較した。初性交時と一番最近の性交時のコンドーム使用については、選択肢を使った、使わなかった、覚えていないとし、使ったと回答したものを使用、その

他を不使用と分類した。初性交時のコンドーム使用状況と初性交時の状況についてクロス集計を行い、カイ2乗検定を用いて有意差を明らかにした。有意差のあった項目と年齢層について多変量解析を行った。多変量解析においては多重ロジスティック回帰分析強制投入法を用いた。初性交時の状況とその後の性行動との関連を明らかにすることを目的に同様の方法で、初および一番最近の性交時のコンドーム使用状況についても分析を試みた。初および一番最近の性交時のコンドーム使用状況は両時点で使用であったものを使用、両時点で不使用もしくはいずれかで不使用であったものを不使用と分類した。

その他分析に際して以下のように項目を分類した。

表2 質問項目の分類

質問項目	分析項目
Q セックスした時、コンドームについてどのように思っていましたか？	
使いたいと思っていた	意図あり
使いたいと思っていなかった 相手に合わせようと思っていた（相手次第） わからない 覚えていない	意図なし
Q セックスした時、コンドームをつけられる自信はありましたか？	
とても自信があった	自信あり
やや自信はあった	やや自信あり
あまり自信はなかった まったく自信はなかった 使いたいと思っていなかった わからない 覚えていない	自信なし
Q セックスした時、あなたはお酒を飲んで酔っていましたか？	
とても酔っていた やや酔っていた	酔っていた
まったく酔っていなかった	酔っていない
お酒を飲んでいなかった 覚えていない	飲んでいなかった /覚えていない

質問項目	分析項目
Q セックスした時、使用したものはありますか？（あてはまるものすべて✓）	
ぼっき薬(バイアグラなど) ラッシュ 5MEO-DIPT(ゴメオフォクシ-) スピード・エクスタシー(MDMAなど) その他のセックスドラッグ(合ドラや威哥王など) 脱法ハーブ 静脈注射のドラッグ 違法ドラッグ(マリファナ・コカイン等) いずれも使用していない 覚えていない	いずれか使用したものを「ドラッグ併用」  いずれも使用していない/ 覚えていないを「なし」

最後に近畿地域の MSM における性行為に関する動向を把握することを目的に、初性交の時期によって10年以上前であったもの(以下、10年以上前群)と10年未満(~9年以内)であったもの(以下、10年未満群)の性交時の状況について、カイ2乗検定を用いて比較した。

データの集計および統計処理には IBM SPSS Statistics 19 を用いた。統計的有意水準は5%未満とした。

表3 本研究における分析目的一覧

分析	分析の目的
近畿地域における調査回答者の比較	横断調査回答者となった集団を比較し、集団の特性の差異を明らかにし、研究デザインの妥当性を検討する
初性交時のコンドーム使用状況と初性交時の状況	初性交時の状況を明らかにする
初および一番最近の性交時のコンドーム使用状況と性交時の状況	初性交時の状況とその後の性行動との関連を明らかにする
初性交の時期(10年以上前・10年未満)別の性交時の状況	近畿地域の MSM における性行為に関する動向別を把握する

なお、本調査は名古屋市立大学看護学部研究倫理委員会より実施の承認を得ている。(2014年8月26日改定、ID番号14025-2)







報などに変更することによって、大阪府や大阪市、岡山県などの地方行政との連携が可能となり、検査情報と本研究班で作成した情報を、配布先の雰囲気に合わせて混ぜて配布した。

## 2 コミュニティベース調査

本研究では近畿地域において従来型啓発介入の前後に2回、中国・四国地域では従来型啓発介入の開始後に1回実施した。概要を以下の表4に示す。

表4 コミュニティベース調査の概要

調査	地域 (協働 CBO)	実施期間	回答者数
調査1	近畿 (MASH 大阪)	平成26年 7月31日から 8月17日	991人
調査2	近畿 (MASH 大阪)	平成26年 12月12日から 平成27年 1月13日	478人
調査3	中国・四国 (HaaT えひめ)	平成26年 7月31日から 9月30日	239人

本研究ではそれぞれの調査について年齢層別の状況を集計し付表10-1から付表10-4、付表11-1から付表11-4、付表12-1から付表12-4に示した。

調査1では991人の回答を得た。そのうち重複回答を除く、近畿地域在住のゲイ・バイセクシュアル男性およびMSMは602人であった(有効回答率60.7%)。分析対象となった602人の年齢層は24歳以下139人(23.1%)、25-29歳200人(33.2%)、30-34歳115人(19.1%)、35-39歳82人(13.6%)、40-44歳40人(6.6%)、45歳以上は26人(4.3%)であった。居住地は大阪府が最も多く65.8%、次いで兵庫県18.8%、京都府が7.3%であった。HIV性感染症の既往については全体で4.3%であり、35-39歳が最も高く6.1%であった。[付表10-1から付表10-4]

調査2では478人の回答を得た。そのうち重複回答を除く、近畿地域在住のゲイ・バイ

セクシュアル男性およびMSMは236人であった(有効回答率49.4%)。分析対象となった236人の年齢層は24歳以下66人(28.0%)、25-29歳60人(25.4%)、30-34歳53人(22.5%)、35-39歳26人(11.0%)、40-44歳22人(9.3%)、45歳以上は9人(3.8%)であった。居住地は大阪府が最も多く63.1%、次いで兵庫県22.5%、京都府が9.3%であった。HIV性感染症の既往については全体で3.0%であり、30-34歳が最も高く9.4%であった。[付表11-1から付表11-4]

調査3では239人の回答を得た。そのうち中国・四国地域在住のゲイ・バイセクシュアル男性およびMSMは213人であった(回答率89.1%)。分析対象となった213人の年齢層は24歳以下27人(12.7%)、25-29歳41人(19.2%)、30-34歳38人(17.8%)、35-39歳42人(19.7%)、40-44歳39人(18.3%)、45歳以上は26人(12.2%)であった。居住地は愛媛県が最も多く40.8%、次いで香川県32.9%、岡山県が9.9%であった。HIV性感染症の既往については全体で4.2%であり、45歳以上が最も高く7.7%であった。[付表12-1から付表12-4]

ここでは近畿地域の結果を中心に、研究目的や啓発介入にとって重要と思われる部分を報告する。

### 1) 近畿地域における調査回答者の比較

(付表1、付表2、付表3)

基本属性について調査1回答者と調査2回答者を比較すると、居住形態では一人暮らしの割合が調査1で46.8%、調査2で52.5%(以下同順)、同性のパートナーもしくは友人との同居割合が12.6%と8.5%、家族等との同居割合が40.5%と39.0%であり有意差はみられなかった( $p=0.15$ )。現在の職業ではいずれの調査でも正規雇用割合が最も高く57.6%と54.7%であった( $p=0.10$ )。スマートフォン

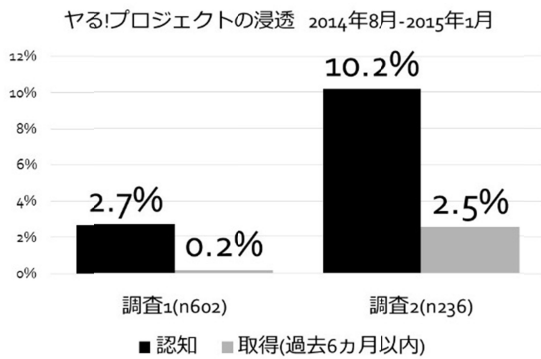
所持率は極めて高く 96.0%と 93.2%であった( $p=0.09$ )。

生涯受検割合は 62.8%と 67.8%で有意差はみられない( $p=0.17$ )。一方で、コンドーム使用意図については調査 1(67.1%)に比べ調査 2(50.0%)では低かった( $p<0.01$ )。またコンドームをいつも持っている割合は調査 1(41.5%)に比べ調査 2(50.0%)では高かった( $p=0.04$ )。過去 6 ヶ月間のアナルセックスの相手人数が 2 人-3 人の割合は調査 1(27.8%)に比べ調査 2(39.4%)では高かった( $p<0.01$ )。

本研究で開発した「やる!プロジェクト」の認知割合は調査 1(2.7%)に比べ調査 2(10.2%)では高かった( $p<0.01$ )。また取得割合も調査 1(0.2%)に比べ調査 2(2.5%)では高かった( $p<0.01$ )。[図 1]

各調査における「やる!プロジェクト」の認知と検査行動および予防行動、感染リスク行動とのクロス集計結果を付表 3 に示した。

図1 啓発介入の効果評価-base line data-



2) 初性交時の予防行動に関連する要因

(付表 4、付表 5、付表 7、付表 8)

初性交時の状況を明らかにするために、分析項目に無回答であったものを除き、近畿地域在住の MSM で過去 6 ヶ月間に性交経験をもつ回答者を対象に、初性交時のコンドーム使用状況別に性交時の状況を比較した。

他のゲイ男性と直接出会って初めて話した平均年齢は年齢層別に異なり、24 歳以下の若

年層では平均  $17.6 \pm 2.2$  歳と 45 歳以上の高齢層の平均  $23.3 \pm 6.4$  歳に比べ若かった。また初めて男性とセックスした年齢も同様の傾向であり、24 歳以下の若年層では平均  $18.1 \pm 2.5$  歳であった。[付表 4]

本調査では「初めて直接話した他のゲイ男性と出会った場所や方法」「初めてセックスした男性と出会った場所や方法」「最近セックスした男性と出会った場所や方法」についても尋ねており、年齢層別に集計し付表 8 に示した。またまとめたものを図 2 から図 7 に示した。

図2 セックスした相手と出会った場所や方法

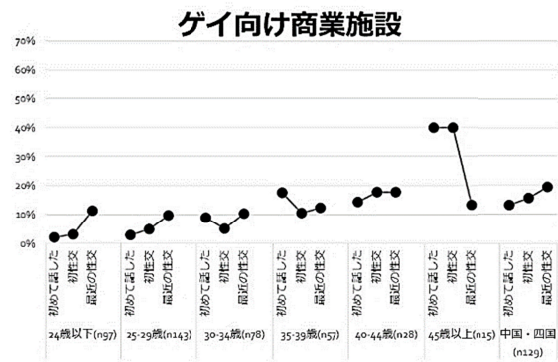


図3 セックスした相手と出会った場所や方法

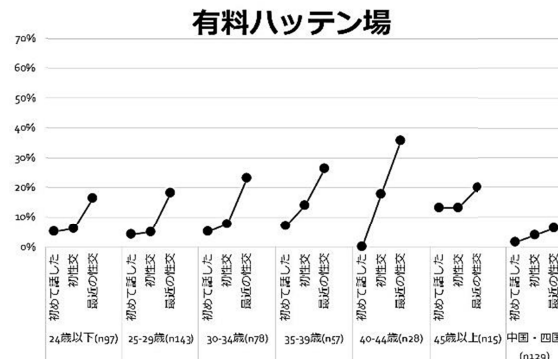


図4 セックスした相手と出会った場所や方法

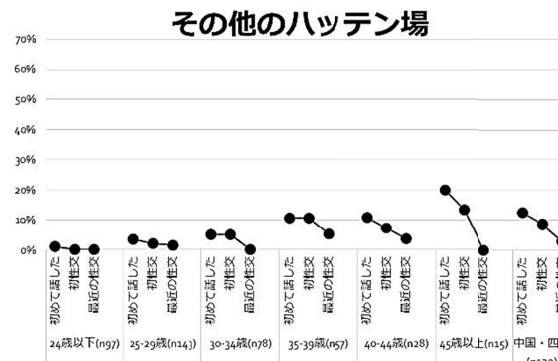


図5 セックスした相手と出会った場所や方法

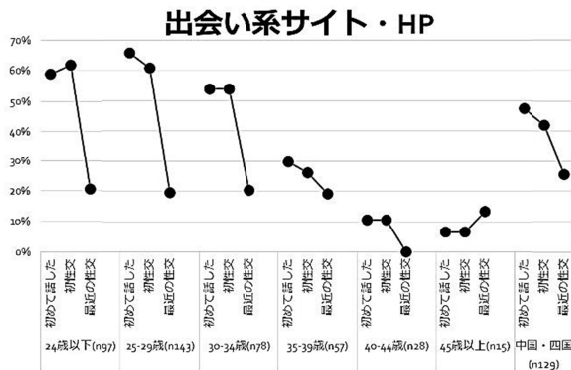


図6 セックスした相手と出会った場所や方法

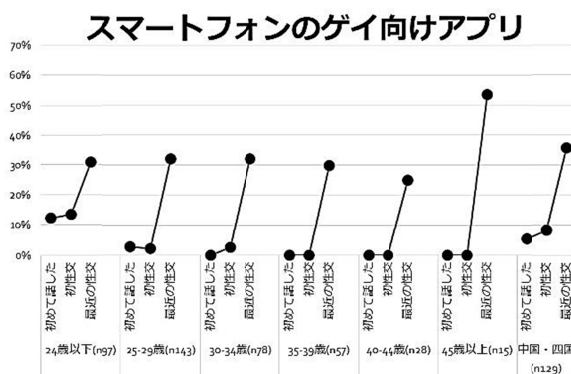


図7 セックスした相手と出会った場所や方法

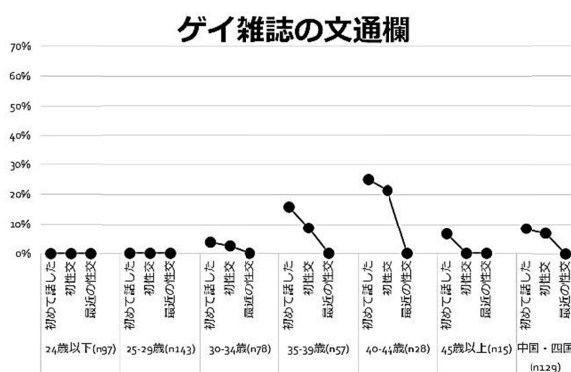
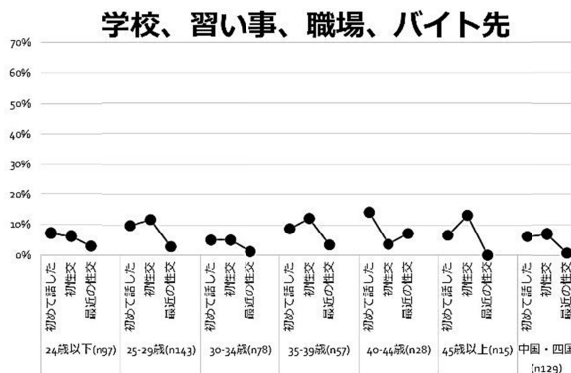


図8 セックスした相手と出会った場所や方法



出会った場所や方法は、年齢層によって異なり、34歳以下では初めて話した相手やセックスした相手との出会いは出会い系サイトなどが高い割合であり、初めて話した相手で53.8%(30-34歳層)-65.7%(25-29歳層)、初めてセックスした相手で53.8%(30-34歳層)-61.9%(24歳以下層)であった。一方で最近セックスした相手との出会いはいずれの年齢層でもスマートフォンのゲイ向けアプリが高く25.0%(40-44歳層)-53.3%(45歳以上層)であった。次いで有料のハッテン場が16.5%(24歳以下層)-35.7%(40-44歳層)であった。

また初めて話したゲイ男性とセックス(キスやフェラチオ、アナルセックス等)をした割合は78.4%(24歳以下層)-86.7%(45歳以上層)と極めて高かった。逆に一番最近にセックスした相手が、初めてセックスした男性と同じ人であった割合は0.0%(45歳以上層)-8.8%(35-39歳層)と極めて低かった。

[付表8、図2から図7]

また中国・四国地域においても同様の分析を実施した。中国・四国地域在住のゲイ・バイセクシュアル男性およびMSM(n=129)では、出会い系サイトなどで知り合い(47.3%)、初めてのセックスの相手とも出会い系サイトなど(41.9%)が多かった。また最近のセックスの相手との出会いはスマートフォンのゲイ向けアプリ(35.7%)が高く、次いで出会い系サイト(25.6%)、ゲイバー(15.5%)であった。

[付表8]

調査1の回答者を対象とし、年齢層を加えた多重ロジスティック回帰分析強制投入法の結果、初セックス時のコンドーム使用状況に最も強く関連していたのは初セックス時のコンドーム使用意図であり「意図あり」は「意図なし」の4.37倍(95%信頼区間:2.54-7.50)のodds比であった。次いでコンドーム使用への自信であり、「自信あり」は「自信なし」の3.52倍(95%信頼区間:2.01-6.18)のodds比

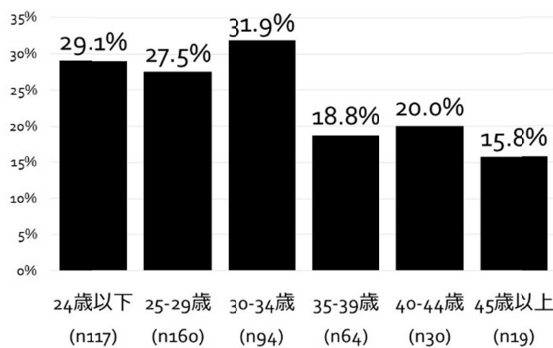
であり、「やや自信あり」は「自信なし」の 2.21 倍 (95%信頼区間: 1.19-4.10) の odds 比であった。[付表 7]

### 3) 初および最近の性交時の予防行動に関連する要因(付表 6、付表 7)

初性交時の状況とその後の性行動との関連を明らかにすることを目的に、初および一番最近の性交時のコンドーム使用状況についても分析を試みた。

初めてのセックス時と一番最近のセックス時の2時点で両方コンドームを使用していた割合は全体では 26.7% であり、年齢層別に有意差はみられなかった ( $p=0.35$ )。[付表 6、図 9]

**図9 初および最近のセックス時のコンドーム使用-両方使用割合-**



年齢層を加えた多重ロジスティック回帰分析強制投入法の結果、初および最近のセックス時のコンドーム使用状況に最も強く関連していたのは最近のセックス時のコンドーム使用意図であり「意図あり」は「意図なし」の 4.68 倍 (95%信頼区間: 2.10-10.44) の odds 比であった。次いで初セックス時のコンドーム使用意図であり、「意図あり」は「意図なし」の 4.06 倍 (95%信頼区間: 1.97-8.37) の odds 比であった。コンドーム使用への自信も関連しており、「自信あり」は「自信なし」の 3.40 倍 (95%信頼区間: 1.71-6.73) の odds 比であった。[付表 7]

### 4) 初性交の時期別分析(付表 4、付表 9)

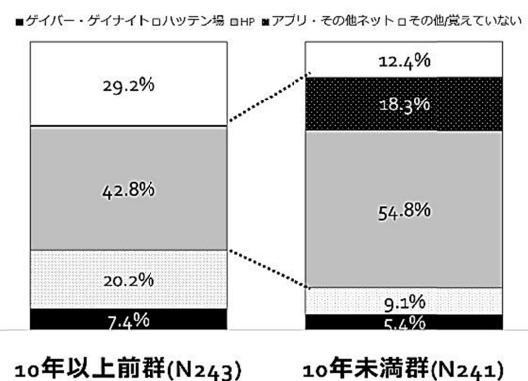
近畿地域在住の MSM で過去 6 ヶ月間に性交

経験をもつ回答者 (n=484) のうち、初めて男性とセックス時期が 3 年以内であったものは 15.7%、4 年~6 年前であったものは 18.6%、7 年~9 年前であったものは 15.5%、10 年以上前であったものは 50.2% であった。30-34 歳層 (2.1%) や 40-44 歳層 (6.7%) でも 3 年以内に男性と初めてセックスしたものがいた。[付表 4]

近畿地域の MSM における性行為に関する動向を把握することを目的に、初性交の時期によって 10 年以上前であったものと 10 年未満であったものの性交時の状況について、カイ 2 乗検定を用いた結果を付表 9 に示した。男性との初セックスが 10 年以上前群は 30-34 歳層が 30.5%、25-29 歳層が 26.3%、35-39 歳層が 23.5% であった。10 年未満群は 24 歳以下の層が 47.3%、25-29 歳層が 39.8% であった。

初めてセックスした男性と出会った場所や方法について、10 年以上前群では HP (ホームページなどの掲示板) が最も高く 42.8%、次いでハッテン場 20.2% であった。10 年未満群でも HP が最も高く 54.8% であるが、次いでスマートフォンのアプリが 18.3%、ハッテン場が 9.1% であり有意差がみられた ( $p<0.01$ )。[付表 9、図 10]

**図10 初セックスの相手と出会った場所等**



初めてセックスした時の複数での性行為経験があったものは、10 年以上前群で 2.5%、10 年未満群で 6.2% であり有意差がみられた ( $p=0.04$ )。また性交時のドラッグ併用経験は、10 年以上前群で 6.6%、10 年未満群で 2.1%

であり有意差がみられた( $p=0.01$ )。

初めてセックスした時のコンドーム使用意図については、10年未満群が63.5%であり、10年以上前群44.9%に比べて高かった( $p<0.01$ )。また初めてセックスした時のコンドーム使用への自信について自信があると回答したのも、10年未満群が33.6%であり、10年以上前群25.1%に比べて高かった( $p<0.01$ )。さらに初めてセックスした時のコンドーム使用割合も、10年未満群が50.2%であり、10年以上前群30.0%に比べて高かった( $p<0.01$ )。

[付表9、図11、図12、図13]

図11 初セックス時のコンドーム使用意図

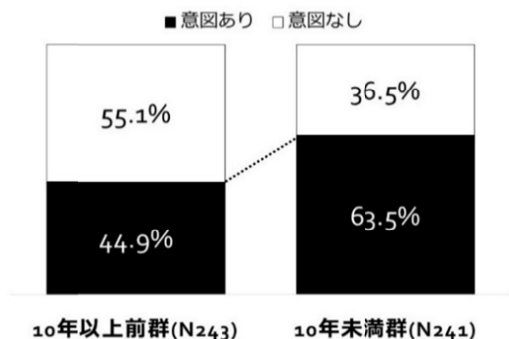


図12 初セックス時のコンドーム使用への自信

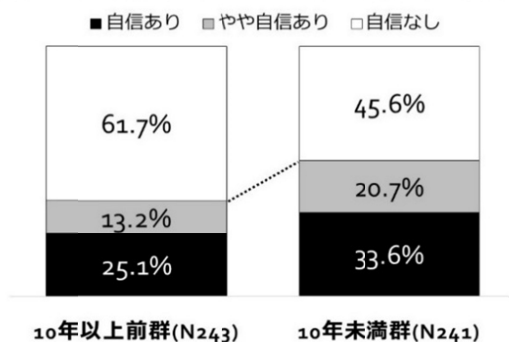
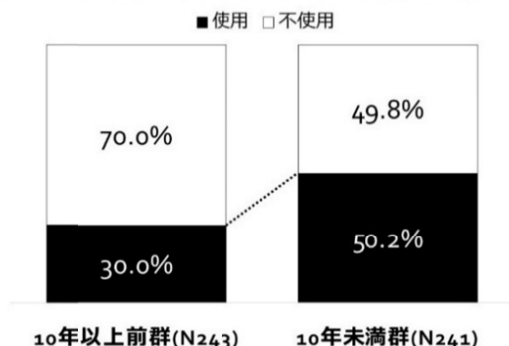


図13 初セックス時のコンドーム使用状況



一方で最近のセックス時のコンドーム使用意図は、10年未満群66.8%、10年以上前群64.6%と有意差はみられなかった( $p=0.61$ )。コンドーム使用割合も、10年未満群48.5%、10年以上前群48.1%と有意差はみられなかった( $p=0.93$ )。[付表9、図14、図15]

図14 最近のセックス時のコンドーム使用意図

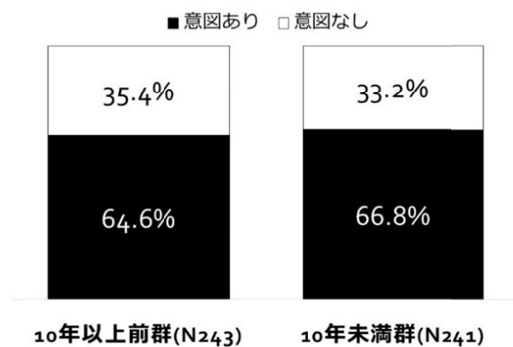
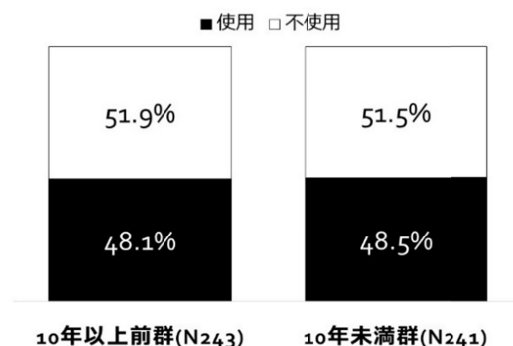


図15 最近のセックス時のコンドーム使用状況



### 3 HIV抗体検査受検者を対象とした調査

大阪市・大阪府が保健所等でHIV抗体検査を受検する人を対象に質問紙調査を行っており、本研究では大阪市3保健福祉センター・chot CAST なんばは2013年10月から2014年9月までの回答を、大阪府13保健所については2014年1月から2014年9月までの回答を分析した(4月以降は12)。調査の概要を表5に示した。回収率は大阪市3保健福祉センター:57.9%から60.4%、大阪府13(4月以降12)保健所:85.0%から88.1%、chot CAST なんば:95.2%から97.9%であった。ここではMSM受検者の動向に焦点をあてて分析した結果を報告する。

表5 保健所等受検者調査の概要

	受検者数	回収数	回収率
大阪市(3保健福祉センター)			
10-12月	1,343	790	58.8%
1-3月	1,236	739	59.8%
4-6月	1,334	806	60.4%
7-9月	1,196	692	57.9%
大阪府(*13保健所)			
10-12月	未実施	未実施	未実施
1-3月	940	828	88.1%
4-6月	858	729	85.0%
7-9月	759	662	87.2%
chot CAST なんば			
10-12月	1,892	1,809	95.6%
1-3月	1,920	1,847	96.2%
4-6月	1,952	1,859	95.2%
7-9月	1,840	1,802	97.9%

\*枚方保健所については2014年1月～3月まで

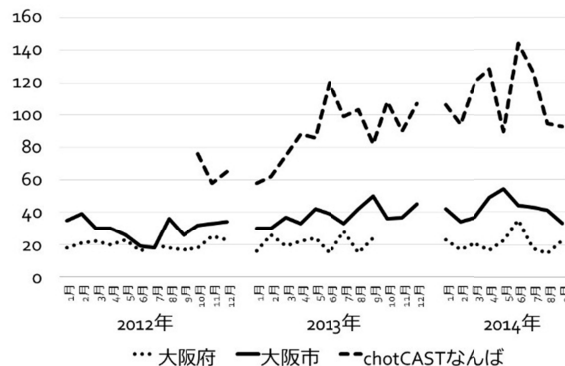
検査の満足度は、「話し方・言葉づかい」についてとても満足だった割合は70.4%(chot CAST なんば)～75.0%(大阪府)、「質問しやすい雰囲気」については68.0%(大阪市)～72.8%(大阪府)、「安心できる雰囲気」については66.0%(大阪市)～70.9%(大阪府)、「プライバシー保護」については60.5%(大阪市)～66.5%(大阪府)であった。[付表15-4]

各施設別の結果を付表19-1から付表19-4に示した。

1) 大阪府内のMSM受検者数の推移(付表13)

2013年10月から2014年9月までのMSM受検者数は大阪市3保健福祉センターでは33人(9月)から54人(5月)、大阪府13(4月以降12)保健所では15人(8月)から35人(6月)、chot CAST なんばでは90人(11月、5月)から144人(6月)であった。各月の受検者数に占めるMSM受検者割合は大阪市3保健福祉センターで14.2%(12月)から20.5%(5月)、大阪府13(4月以降12)保健所で6.5%(8月)から13.2%(6月)、chot CAST なんばで14.8%(12月)から23.1%(4月)であった。2012年1月から2014年9月までのMSM受検者数の推移を図16に示した。

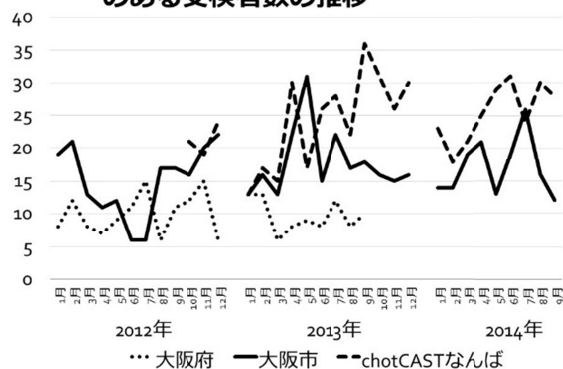
図16 MSM受検者数の推移



2) 大阪市内の金銭授受に伴う性交経験者の推移(付表14)

2013年10月から2014年9月までに過去6ヵ月間にお金をもらった性交経験があったものは大阪市3保健福祉センターでは12人(9月)から26人(7月)、chot CAST なんばでは18人(2月)から31人(10月、6月)であった。各月の受検者数に占める割合は大阪市3保健福祉センターで4.9%(5月)から10.1%(7月)、chot CAST なんばで3.1%(2月)から5.3%(11月、8月)であった。大阪府13(4月以降12)保健所では質問項目を設けていなかった。[図17]

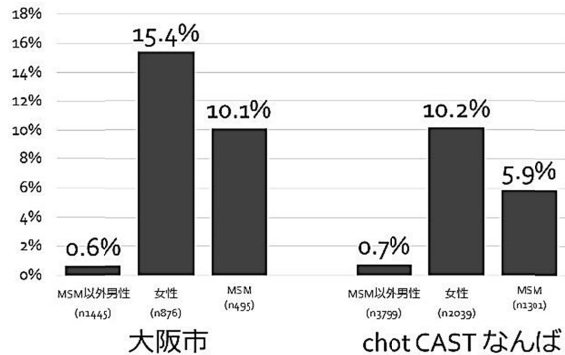
図17 過去6ヵ月間にお金をもらった性交経験のある受検者数の推移



MSM以外の男性、女性、MSMの性的指向別にみた金銭を金銭授受に伴う性交経験を有する割合は、過去6ヵ月間にお金をもらった性交経験のある受検者割合はMSM以外男性で0.6%(大阪市)0.7%(chot CAST なんば)、女性で15.4%(大阪市)10.2%(chot CAST なん

ば)、MSMで10.1%(大阪市)5.9%(chot CAST なんば)であった。[図 18]

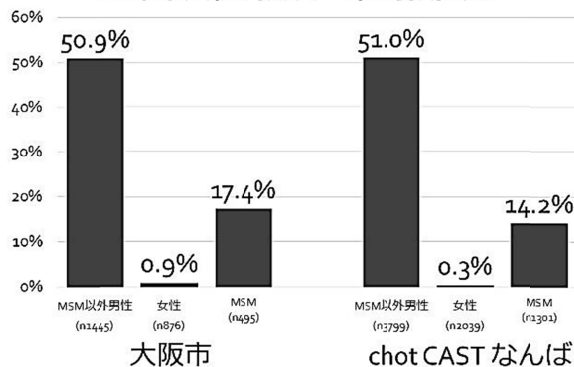
**図18 過去6カ月間にお金をもらった性交経験のある受検者割合 -性的指向別-**



過去6カ月間にお金をはらった性交経験のある受検者割合はMSM以外男性で50.9%(大阪市)51.0%(chot CAST なんば)、女性で0.9%(大阪市)0.3%(chot CAST なんば)、MSMで17.4%(大阪市)14.2%(chot CAST なんば)であった。

[図 19]

**図19 過去6カ月間にお金を払った性交経験のある受検者割合 -性的指向別-**



### 3) 広報資材の認知(付表 18)

MSM以外の男性、女性、MSMの性的指向別にみた集計表を付表 15-1 から付表 15-4、および付表 16、付表 17 に示した。そして性的指向別・四半期別にみた広報資材・ホームページ(HP)の認知割合を付表 18 に示した。

MSM 受検者のうち大阪市 3 保健福祉センターでは、大阪市 HP が最も高く 36.7%(4-6 月)から 41.5%(10-12 月)、次いで HIV 検査・相談マップが 21.1%(4-6 月)から 27.4%(7-9

月)、エイズのはなしが 21.1%(4-6 月)から 28.3%(1-3 月)であった。dista は 9.4%(7-9 月)から 18.4%(4-6 月)であり、南界堂通信は 2.6%(7-9 月)から 4.4%(1-3 月)であった。

同様に大阪府 13(4 月以降 12)保健所では、HIV 検査・相談マップが最も高く 44.6%(7-9 月)から 54.1%(1-3 月)、次いで保健所ホームページが 41.3%(4-6 月)から 52.5%(1-3 月)であった。dista は 6.7%(4-6 月)から 14.8%(1-3 月)であり、南界堂通信は 1.6%(1-3 月)から 2.7%(4-6 月)であった。

同様に chot CAST なんばでは、chot CAST なんばが最も高く 41.7%(4-6 月)から 46.9%(10-12 月)、次いで HIV 検査・相談マップが 38.4%(10-12 月)から 43.9%(4-6 月)であった。dista は 10.5%(7-9 月)から 16.6%(1-3 月)であり、南界堂通信は 0.3%(4-6 月)から 1.9%(7-9 月)であった。

### 4) MSM における年齢層別分析(付表 20)

MSM 受検者の特性を把握することを目的に、2013 年 10 月～2014 年 9 月までの回答者のうち MSM について、年齢層別にクロス集計を行った。MSM 受検者のうち大阪市保健福祉センター受検者は 24.9%、大阪府保健所受検者は 9.2%、chot CAST なんば受検者は 66.0%であった。居住地は 83.6%が大阪府在住であり、年齢層による差異はみられなかった( $p=0.63$ )。

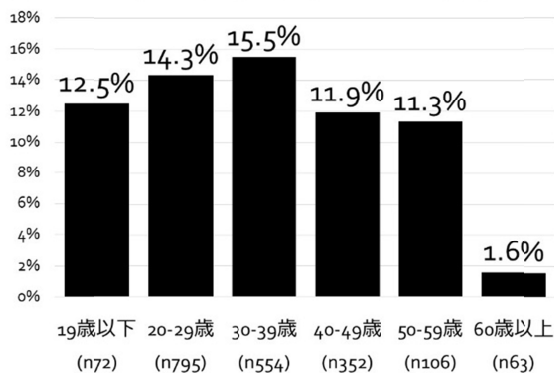
今回の検査を除く生涯の受検経験は全体で 70.5%と極めて高かった。年齢層別には 19 歳以下で 31.9%、20-29 歳で 62.6%と他の年齢層に比べ低かった( $p<0.01$ )。また今回の受検では 1 人で来た人の割合が高く全体で 70.6%であった。年齢層別に差異がみられ、友達などと来た割合が 19 歳以下で 25.0%、20-29 歳では 11.8%と他の年齢層に比べ高かった( $p<0.01$ )。同時に受検動機に関して人から勧められたと回答する割合も年齢層によって異なり、19 歳以下で 34.7%、20-29 歳

では 14.7% と他の年齢層に比べ高かった ( $p < 0.01$ )。

検査の満足度については「プライバシー保護」が年齢層によって異なり、年齢層が高いほどとても満足であると回答する割合が低かった ( $p < 0.01$ )。その他は年齢層による差異はみられず、「とても満足」「やや満足」を加えて 90% 以上の満足度であった。

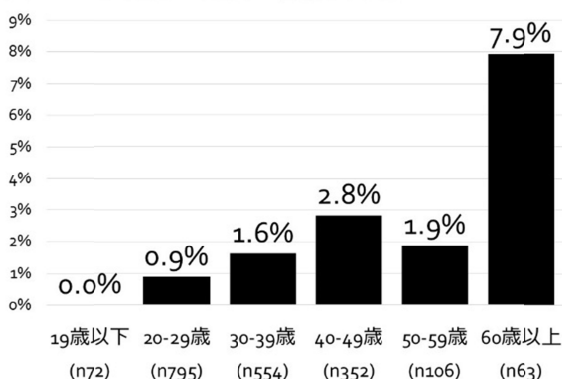
MASH 大阪が展開している MSM 向けの啓発資料の認知についてはコミュニティセンター dista の認知は全体で 13.6% であり、30-39 歳層が最も高く 15.5%、次いで 20-29 歳層 14.3%、19 歳以下 12.5% であった ( $p = 0.05$ )。 [図 20]

図20 コミュニティセンターdistaの認知



また季刊誌南界堂通信は全体で 1.7% であったが、年齢層によって異なり 60 歳以上で最も高く 7.9%、次いで 40-49 歳層で 2.8% であった ( $p < 0.01$ )。 [図 21]

図21 季刊誌 南界堂通信の認知



なお、本分析結果は速報として大阪府・大阪市に還元しており、以下の対策会議等で一

部引用されている。大阪府エイズ対策審議会医療体制推進部会(平成 26 年 8 月 7 日)、大阪府エイズ対策審議会(平成 27 年 2 月 9 日)、大阪市エイズ対策評価委員会作業班会議(平成 26 年 7 月 31 日、平成 27 年 2 月 24 日)、同性愛者等における HIV 感染症対策のための研修会および報告会(平成 27 年 1 月 30 日)。

## D. 考察

### 1. ゲイコミュニティと予防行動

#### 1) 初性交時の状況と予防行動の関連

本研究では 8 月、クラブイベント参加者を対象にインターネットを利用した第 1 次基礎調査を行い、484 人の近畿在住 MSM について分析した。初および最近の性交時の予防行動に関連する要因として、最近のセックス時のコンドーム使用意図(4.68 倍、95% 信頼区間: 2.10-10.44)が強く関連していたばかりでなく、初セックス時のコンドーム使用意図(4.06 倍、95% 信頼区間: 1.97-8.37)も関連していたことや、初めて話したゲイ男性とセックスした割合は 78.4%-86.7% と極めて高いことから、初性交時周辺に焦点をあてることは妥当と考えられる。

出会った場所や方法は、34 歳以下では初めて話した相手やセックスした相手との出会いは出会い系サイトなどが高い割合であり、初めて話した相手で 53.8%-65.7%、初めてセックスした相手で 53.8%-61.9% であったことは今後の啓発介入の方向性としてインターネットを活用する必要性があることを示している。一方で最近セックスした相手との出会いはいずれの年齢層でもスマートフォンのゲイ向けアプリが 25.0%-53.3%、有料のハッテン場が 16.5%-35.7% であったことからゲイ向け商業施設やスマートフォンを活用して啓発介入を行う場合には基礎的な知識や情報だけではなく、予防行動を促進させるメッセージや規範に訴えかけるような取り組みが必要となるだろう。ただし本調査はイン



ターネットを活用したものであり、回答者の偏りとしてネット親和性が高い可能性もあり、結果の解釈には限界がある。

またコンドーム使用に影響する要因としては、初めてのセックスではコンドーム使用意図があると使用割合も高く(意図あり 61.1%、意図なし 15.3%)、使用意図を醸成する啓発が有用と考えられた。この結果は先行研究や健康行動理論でも明らかとなっており、本調査でも同様の結果を得た。

ゲイ向け商業施設を利用しはじめる若年層 MSM を 24 歳以下の若年層と仮定して、これまでの経験と予防介入の仮説に従って、予防や性感染症の情報を普及し予防ネットワークを形成することを目的とした「やる!プロジェクト」を開発した。対象層は特に性行動が活発化する年齢層とも重なることも踏まえ、基礎的な知識や情報を普及し行動変容を促進することを目指した。今年度は、主に商業施設を利用しはじめる場合にその入り口となると考えられたイベント等で配布した。しかしながら調査結果では初性交の相手との出会いはインターネットを活用する場合が最も高く、次年度の新型啓発介入ではインターネットを活用し、配布物と連動させた啓発介入を構築する必要がある。

## 2) 連続横断調査による効果評価

連続横断調査の属性は年齢、居住地、居住形態、職業などに有意差はみられずほぼ同じ属性の集団であったと言える。予防行動のうち検査行動についても有意差はなく、62.8% (調査 1)と 67.8% (調査 2)であり先行研究と同等であった。コンドーム使用意図は有意差がみられ調査 1の方が調査 2に比べ高い割合であり、過去 6 ヶ月間の相手人数も多いことから、調査 1の集団は予防意識が高い集団である可能性もあるが、コンドーム携帯割合は調査 1の方が調査 2に比べ低く、コンドーム常用割合もほぼ同じであったことから断定は

できない。そのため本報告では連続横断調査として比較可能な集団であると考えた。

初年度「やる!プロジェクト」の資材は近畿地域で 8 月~1 月まで総数 6,548 セット、ゲイ向けイベント(3 イベント)やゲイ向け商業施設(178 軒)に配布した。その結果、資材認知割合は 2.7%から 10.2%に上昇し( $p<0.01$ )、取得率割合 0.2%から 2.5%に上昇した( $p<0.01$ )。この結果は従来型啓発介入としての結果であり、先行研究に比べるとやや浸透度が低く、本プロジェクトの規模が小さかった可能性もあるが、次年度の新型啓発介入のベースラインとなる。

一方で開発した資材は、すでに大阪府、大阪市、岡山県などの地方行政の予算で部分的に事業化されており、汎用性の高いものであることを示している。ゲイコミュニティの中で予防ネットワークや規範を構築し醸成していくためには長い時間がかかる可能性があり、その点においてプログラムの持続性は重要である。

## 3) 啓発介入に関する経年評価

初性交の時期別分析では、初性交が 10 年以上前であったものと 10 年未満であったものを比較した。その結果、初性交時の状況としてコンドーム使用意図やコンドームへの自信、コンドーム使用が 10 年未満群で有意に高かった。大阪地域では MASH 大阪が 1999 年ごろから啓発介入を展開しており 10 年以上経過する。コミュニティペーパーやコンドームアウトリーチは 2002 年以降開始されたプロジェクトであり、コミュニティセンターもこのころ開設された。1970 年代生まれの MSM で訴求効果があったことが先行研究で報告されていることを考慮すると、初性交の時期による差異は啓発介入の効果であることも考えられる。特に 10 年以上前群で初性交と最近性交のコンドーム使用意図ありの割合は 44.9%から 64.6%に上昇、コンドーム使用割合も

30.0%から48.1%に上昇しており、啓発介入を継続し10年でコンドーム使用行動を約18%上昇させたとも考えられる。

一方で初性交時に複数性交の経験や飲酒状況では10年未満群の方が高いことも示されており、感染リスクの状況そのものは依然高いと言える。限界はあるものの、本結果からは近畿地域のMSMでは予防意識が醸成されている可能性が示唆された。

本研究では中国・四国地域でも近畿地域と同様の調査を実施した。HaaT えひめは、愛媛県、岡山県など中国・四国地方の自治体と連携してMSMの検査促進を図る広報資材の商業施設への配布を行った。次年度の研究3で効果評価する。

## 2 HIV 抗体検査受検者を対象とした調査から

### 1) 大阪地域のMSM受検者の動向

本研究では啓発介入に効果があった場合には、MSMにおける検査行動が促進されることとなり、保健所等のHIV抗体検査を利用するMSMが増加することが考えられるため、副次項目の指標とする目的で、大阪市・大阪府の実施するHIV抗体検査の受検者を対象とした無記名自記式質問紙調査を集計・分析し、MSM受検者の動向を把握することとした。

MSM受検者の割合は、先行研究と同様の傾向を示しており大阪市保健福祉センター14.2%～20.5%、大阪府保健所6.5%～13.2%、chot CAST なんば15.8%～23.1%であった。受検者数でみると大阪市保健福祉センターは33人～54人、大阪府保健所15人～35人、chot CAST なんば90人～144人であった。大阪市のMSM受検者数を経年的にみると2013年は2014年5月まで緩やかに増加していたが、6月から減少に転じ、減少傾向が続いている。大阪府は観測を始めた当初から低値で横這いである。chot CAST なんばは2014年6月まで増加していたが2014年7月に減少に転じた。全体的に大阪府内のMSM受検者数

は減少傾向であるが、HIV新規感染者数やAIDS新規患者数の報告は減少しているとは言えないため、今後も早期発見・早期治療につながる検査行動の促進は重要であると言える。

初年度に「やる!プロジェクト」を開発したため受検者対象の調査で認知を把握することはできなかったが、MASH大阪の実施にしている現行の活動をモデルとして把握した。

### 2) MSM向け啓発介入の効果評価

MASH大阪が展開しているMSM向けの啓発介入として「コミュニティセンターdista」と「刊誌南界堂通信」の認知によって効果評価した。コミュニティセンターdistaの認知は全体で13.6%であり、若年層で認知は高かった(30-39歳15.5%、20-29歳層14.3%、19歳以下12.5%)。季刊誌南界堂通信は全体で1.7%であり、中高年層の認知が高かった(60歳以上7.9%、40-49歳2.8%)。MASH大阪の介入はおのおの年齢層に焦点をあてており、その点では介入対象に適した介入を行っていると言える。しかしMSM受検者における全体および年齢層の認知割合は低く、訴求力が高いとは言えない。受検者の認知はインターネットやホームページなどが高く、コミュニティベースの調査結果からも性行動の出会いに関してインターネットを活用している状況から、今後はインターネットを活用することが有効である可能性もある。一方で保健所のホームページやHIV検査・相談MAPなどのインターネットの活用は検査場所や日時を調べる際に活用する可能性もあり、啓発介入が検査行動を促進したかどうかは明らかではない。

MSM受検者で今回の検査を除く生涯の受検経験は全体で70.5%と極めて高かったが、19歳以下(31.9%)や20-29歳(62.6%)では他の年齢層に比べ低かった。この年齢層は性行動の相手人数が多く、ゲイ向け商業施設利用も頻度が高いことからCDCの基準で言うと半年

に1回の受検行動が推奨される。次年度以降、新型啓発介入としてインターネットを活用した「やる!プロジェクト」が浸透した場合にはMSMにおける受検行動が促進され、MSM受検者数の増加が期待される。

## E. 結論

本研究は初性交時周辺に焦点をあて、商業施設を利用しはじめる若年層MSMを対象とした新たな啓発介入を開発し、その効果評価を目的としている。初年度は啓発介入プロジェクトを発足し、新型啓発介入に展開・評価するための基礎資料を得ることを目的としてコミュニティベース調査と大阪市・大阪府と協力し保健所等でHIV抗体検査を受検する人を対象とした質問紙調査を実施した。

MASH大阪、HaaTえひめと協働して「やる!プロジェクト」を開発し、8月から1月までの6ヵ月間で総数7,298セット(近畿地域6,548セット、中・四国地域750セット)配布した。このプロジェクトは商業施設を利用しはじめる若年層MSMを24歳以下の若年層と仮定し、基礎的な知識や情報を普及し予防ネットワークを形成することを目的とした。

連続横断調査を用いて従来型啓発介入の効果評価を実施した。連続横断調査(2014年8月、2015年1月)の回答者は基本属性に有意差はみられず、ほぼ同じ属性の集団であったため比較可能な集団であった。初年度の資料認知割合は2.7%から10.2%に上昇し( $p<0.01$ )、先行研究に比べるとやや浸透度が低く、本介入の規模が小さかった可能性もあるが、次年度の新型啓発介入のベースラインとなると考えられる。

コミュニティベース調査の結果から次年度の新型啓発介入を構築するために重要な基礎資料を得た。初および最近の性交時の出会い方やコンドーム使用に影響する要因が使用意図であったことを踏まえて、インターネットを活用した介入を実施する予定である。

啓発介入の副次的指標となる大阪地域におけるMSM受検者の動向は概ね減少傾向であった。次年度以降は特に大阪府、大阪市の保健所の中で定点を定め、焦点化された啓発介入を実施する。初年度は新型啓発介入の効果評価として、定点保健所のMSM受検者数の動向を把握可能な体制を構築しベースラインを得た。

また初性交の時期別分析から10年未満群でコンドーム使用割合や使用意図が有意に高く、近畿地域のMSMで予防意識が醸成されている可能性が示唆された。一方で複数性交や飲酒は10年未満群の方が高いことも示されており、MSMにおける感染リスクは依然高いと言える。

## F. 発表論文等

### 1. 論文

なし

### 2. 学会発表(国内)

- 1) 大畑泰次郎, 伴仲昭彦, 田中信雄, 後藤大輔, 尾崎拓治, 野崎丈晴, 塩野徳史, 市川誠一, 鬼塚哲郎: 地方自治体とNGOの協働による中高年MSM層を対象としたHIV予防啓発定期刊行物の発行および発行を促進した要因, 第28回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, 2014年12月
- 2) 川畑拓也, 森治代, 小島洋子, 後藤大輔, 町登志雄, 鬼塚哲郎, 塩野徳史, 市川誠一, 岳中美江, 岩佐厚, 亀岡博, 菅野展史, 杉本賢治, 高田昌彦, 田端運久, 中村幸生, 古林敬一: 診療所を窓口としたMSM向け検査キャンペーン(2013年度), 第28回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, 2014年12月
- 3) 岩橋恒太, 高野操, 大島岳, 阿部甚兵, 柴田恵, 矢島嵩, 加藤悠二, 佐久間久弘, 大木幸子, 塩野徳史, 金子典代, 市川誠一, 生島嗣, 荒木順子: 首都圏居住のMSMを対象とした、HIV抗体検査普及のためのウェ

- ブコンテンツ「あんしん HIV 検査サーチ」の構成とその検討, 第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, 2014 年 12 月
- 4) 荒木順子, 佐久間久弘, 木南拓也, 岩橋恒太, 大島岳, 柴田恵, 阿部甚兵, 塩野徳史, 金子典代, 市川誠一: MSM を対象とした情報の集約・発信のハブ的装置としてのコミュニティセンターakta, 第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, 2014 年 12 月
  - 5) 宮田良, 塩野徳史, 市川誠一, 金子典代: セックスワーカー女性の実態調査-インターネットを用いた全国規模のアンケート調査より-, 第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, 2014 年 12 月
  - 6) 塩野徳史: HIV 抗体検査受検者の特性-8 都府県の保健所受検者調査の結果から-(HIV 検査の体制-早期発見と早期治療に向けて), 第 28 回日本エイズ学会学術集会・総

会, 大阪, 2014 年 12 月

### 3. 学会発表 ( 国外 )

- 1) J. Koerner, S. Ichikawa, N. Kaneko, S. Shiono, I. Kai: An internet survey investigating the HIV information needs and travel related risk behaviors of English speaking foreign gay and bisexual men in Japan, the 20th International AIDS Conference, Melbourne, Australia, July 2014
- 2) K. Iwahashi, S. Ichikawa, S. Shiono, N. Kaneko, J. Koerner, Y. Ikushima, J. Araki, K. Shibata, T. Kinami, M. Takano, S. Oka, S. Kimura: The strategic research 'We can do it! 2010' campaign to promote testing behaviour among MSM in the Tokyo region, the 20th International AIDS Conference, Melbourne, Australia, July, 2014

付表 1 近畿地域における調査別分析 基本属性・検査行動・性意識

	調査1 n=602		調査2 n=236		合計 n=838		Pearson カイ2乗
<b>年齢層</b>							
24歳以下	139	23.1%	66	28.0%	205	24.5%	0.13
25-29歳	200	33.2%	60	25.4%	260	31.0%	
30-34歳	115	19.1%	53	22.5%	168	20.0%	
35-39歳	82	13.6%	26	11.0%	108	12.9%	
40-44歳	40	6.6%	22	9.3%	62	7.4%	
45歳以上	26	4.3%	9	3.8%	35	4.2%	
<b>居住形態</b>							
1人暮らし	282	46.8%	124	52.5%	406	48.4%	0.15
同性のパートナー・友達	76	12.6%	20	8.5%	96	11.5%	
親・家族・異性・その他	244	40.5%	92	39.0%	336	40.1%	
<b>あなたの現在の職業として、もっとも近いのは次のどれですか？</b>							
正規雇用	347	57.6%	129	54.7%	476	56.8%	0.10
非正規雇用	62	10.3%	27	11.4%	89	10.6%	
パートタイマー	9	1.5%	0	0.0%	9	1.1%	
アルバイト	60	10.0%	24	10.2%	84	10.0%	
経営者	30	5.0%	6	2.5%	36	4.3%	
学生	62	10.3%	37	15.7%	99	11.8%	
その他	32	5.3%	13	5.5%	45	5.4%	
<b>あなたはスマートフォンを持っていますか？</b>							
持っている	578	96.0%	220	93.2%	798	95.2%	0.09
持っていない	24	4.0%	16	6.8%	40	4.8%	
<b>「やる！プロジェクト」で配布されている資料を知っていますか？</b>							
知っている	16	2.7%	24	10.2%	40	4.8%	<b>&lt;0.01</b>
知らない	586	97.3%	212	89.8%	798	95.2%	
<b>「やる！プロジェクト」で配布されている資料をもらったことがありますか？</b>							
もらったことはない	601	99.8%	230	97.5%	831	99.2%	<b>&lt;0.01</b>
過去6ヵ月以内にもらった	1	0.2%	6	2.5%	7	0.8%	
<b>これまでにHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことはありますか？</b>							
ある	378	62.8%	160	67.8%	538	64.2%	0.17
ない	224	37.2%	76	32.2%	300	35.8%	
<b>これまでに何回HIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか？*</b>							
1回だけ	138	36.5%	66	41.3%	204	37.9%	0.66
2回	74	19.6%	30	18.8%	104	19.3%	
3回	54	14.3%	24	15.0%	78	14.5%	
4回以上	112	29.6%	40	25.0%	152	28.3%	
<b>過去6ヶ月間にHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことはありますか？</b>							
ない	451	74.9%	169	71.6%	620	74.0%	0.33
ある	151	25.1%	67	28.4%	218	26.0%	
<b>過去6ヵ月間を振り返ってコンドームについてどのように思っていましたか？</b>							
意図なし	198	32.9%	118	50.0%	316	37.7%	<b>&lt;0.01</b>
意図あり	404	67.1%	118	50.0%	522	62.3%	
<b>過去6ヵ月間に、コンドームをすぐ使えるよういつも身近に持っていましたか？</b>							
いつも持っていた	250	41.5%	118	50.0%	368	43.9%	<b>0.04</b>
時々持っていた	144	23.9%	56	23.7%	200	23.9%	
持っていなかった	208	34.6%	62	26.3%	270	32.2%	
<b>過去6ヵ月間に男性とアナルセックスをしましたか？</b>							
はい	388	64.5%	165	69.9%	553	66.0%	0.13
いいえ	214	35.5%	71	30.1%	285	34.0%	

\* 生涯にHIV抗体検査受検経験のある人を対象として分析したため総数が異なる。

\* 調査1は近畿地域で平成26年7月に、調査2は同年12月に実施した調査を示す。(付表2も同じ)

付表2 近畿地域における調査別分析 性交時の予防行動

	調査1 n=388		調査2 n=165		合計 n=553		Pearson カイ2乗
過去6ヵ月間に全部で何人とアナルセックスをしましたか？							
1人	121	31.2%	27	16.4%	148	26.8%	<b>&lt;0.01</b>
2人-3人	108	27.8%	65	39.4%	173	31.3%	
4人以上	159	41.0%	73	44.2%	232	42.0%	
過去6ヵ月間にアナルセックスをどのくらいしましたか？							
月に数回	331	85.3%	139	84.2%	470	85.0%	0.56
週1回程度	40	10.3%	21	12.7%	61	11.0%	
週2回以上	17	4.4%	5	3.0%	22	4.0%	
過去6ヵ月間の併用品							
なし	334	86.1%	143	86.7%	477	86.3%	0.20
ぼっき薬のみ	22	5.7%	14	8.5%	36	6.5%	
ドラッグ併用	32	8.2%	8	4.8%	40	7.2%	
過去6ヵ月間のコンドーム使用状況							
非常用	216	55.7%	97	58.8%	313	56.6%	0.50
常用	172	44.3%	68	41.2%	240	43.4%	

付表3 やる!プロジェクト認知別分析

	調査1「やる!プロジェクト」				合計 n=602	Pearson カイ2乗	調査2「やる!プロジェクト」				合計 n=236	Pearson カイ2乗		
	知っている n=16		知らない n=586				知っている n=24		知らない n=212					
これまでにHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことはありますか？														
ある	15	93.8%	363	61.9%	378	62.8%	<b>0.01</b>	19	79.2%	141	66.5%	160	67.8%	0.21
ない	1	6.3%	223	38.1%	224	37.2%		5	20.8%	71	33.5%	76	32.2%	
過去6ヶ月間にHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことはありますか？														
ない	9	56.3%	442	75.4%	451	74.9%	0.08	17	70.8%	152	71.7%	169	71.6%	0.93
ある	7	43.8%	144	24.6%	151	25.1%	7	29.2%	60	28.3%	67	28.4%		
過去6ヵ月間を振り返ってコンドームについてどのよう思っていましたか？														
意図なし	4	25.0%	194	33.1%	198	32.9%	0.50	10	41.7%	108	50.9%	118	50.0%	0.39
意図あり	12	75.0%	392	66.9%	404	67.1%	14	58.3%	104	49.1%	118	50.0%		
過去6ヵ月間に、コンドームをすぐに使えるよういつも身近に持っていましたか？														
いつも持っていた	8	50.0%	242	41.3%	250	41.5%	0.40	14	58.3%	104	49.1%	118	50.0%	0.51
時々持っていた	5	31.3%	139	23.7%	144	23.9%	6	25.0%	50	23.6%	56	23.7%		
持っていなかった	3	18.8%	205	35.0%	208	34.6%	4	16.7%	58	27.4%	62	26.3%		
過去6ヵ月間に男性とアナルセックスをしましたか？														
はい	12	75.0%	376	64.2%	388	64.5%	0.37	18	75.0%	147	69.3%	165	69.9%	0.57
いいえ	4	25.0%	210	35.8%	214	35.5%	6	25.0%	65	30.7%	71	30.1%		
過去6ヵ月間に全部で何人とアナルセックスをしましたか？*														
1人	7	58.3%	114	30.3%	121	31.2%	<b>0.04</b>	1	5.6%	26	17.7%	27	16.4%	0.36
2人-3人	4	33.3%	104	27.7%	108	27.8%		7	38.9%	58	39.5%	65	39.4%	
4人以上	1	8.3%	158	42.0%	159	41.0%		10	55.6%	63	42.9%	73	44.2%	
過去6ヵ月間にアナルセックスをどのくらいしましたか？*														
月に数回	11	91.7%	320	85.1%	331	85.3%	0.72	17	94.4%	122	83.0%	139	84.2%	0.43
週1回程度	1	8.3%	39	10.4%	40	10.3%	1	5.6%	20	13.6%	21	12.7%		
週2回以上	0	0.0%	17	4.5%	17	4.4%	0	0.0%	5	3.4%	5	3.0%		
過去6ヵ月間の併用品*														
なし	11	91.7%	323	85.9%	334	86.1%	0.54	16	88.9%	127	86.4%	143	86.7%	0.89
ぼっき薬のみ	1	8.3%	21	5.6%	22	5.7%	1	5.6%	13	8.8%	14	8.5%		
ドラッグ併用	0	0.0%	32	8.5%	32	8.2%	1	5.6%	7	4.8%	8	4.8%		
過去6ヵ月間のコンドーム使用状況*														
非常用	5	41.7%	211	56.1%	216	55.7%	0.32	11	61.1%	86	58.5%	97	58.8%	0.83
常用	7	58.3%	165	43.9%	172	44.3%	7	38.9%	61	41.5%	68	41.2%		

\* 過去6ヵ月間に男性とのアナルセックス経験のある人を対象として分析したため総数が異なる。

付表 4 近畿地域在住の過去 6 ヶ月間に性交経験をもつゲイ・バイ男性及び MSM(n=484) 基本属性

	年齢層						合計 n=484	Pearson カイ2乗
	24歳以下 n=117	25-29歳 n=160	30-34歳 n=94	35-39歳 n=64	40-44歳 n=30	45歳以上 n=19		
他のゲイ男性と直接会って初めて話したのは何歳のときですか？*								
平均年齢	17.6	18.2	19.3	20.5	22.9	23.3		
標準偏差	2.2	2.9	3.1	4.0	6.1	6.4		
最少年齢-最高年齢	(12-23)	(10-25)	(10-26)	(15-30)	(16-42)	(17-37)		
初めて男性とセックスしたのは何歳のときですか？*								
平均値	18.1	18.3	19.7	21.0	23.4	23.0		
標準偏差	2.5	3.4	3.9	4.4	7.1	5.9		
最少年齢-最高年齢	(12-23)	(6-27)	(6-30)	(11-32)	(12-42)	(17-37)		
居住形態								
1人暮らし	45 38.5%	70 43.8%	50 53.2%	40 62.5%	14 46.7%	8 42.1%	227 46.9%	0.09
同性のパートナー・友達	12 10.3%	20 12.5%	12 12.8%	7 10.9%	5 16.7%	4 21.1%	60 12.4%	
親・家族・異性・その他	60 51.3%	70 43.8%	32 34.0%	17 26.6%	11 36.7%	7 36.8%	197 40.7%	
性的指向								
ゲイ	97 82.9%	143 89.4%	78 83.0%	57 89.1%	28 93.3%	15 78.9%	418 86.4%	0.62
バイ	15 12.8%	15 9.4%	11 11.7%	5 7.8%	2 6.7%	3 15.8%	51 10.5%	
その他	5 4.3%	2 1.3%	5 5.3%	2 3.1%	0 0.0%	1 5.3%	15 3.1%	
一番最近にセックスした相手はどれにあてはまりますか？								
彼氏や恋人	31 26.5%	51 31.9%	23 24.5%	21 32.8%	9 30.0%	5 26.3%	140 28.9%	0.46
友達やセクフレ	36 30.8%	51 31.9%	31 33.0%	15 23.4%	4 13.3%	5 26.3%	142 29.3%	
その場限りの相手	49 41.9%	58 36.3%	39 41.5%	26 40.6%	17 56.7%	9 47.4%	198 40.9%	
その他	1 0.9%	0 0.0%	1 1.1%	2 3.1%	0 0.0%	0 0.0%	4 0.8%	
男性との初性交は何年前？								
3年以内	54 46.2%	18 11.3%	2 2.1%	0 0.0%	2 6.7%	0 0.0%	76 15.7%	<0.01
4年～6年前	46 39.3%	33 20.6%	8 8.5%	3 4.7%	0 0.0%	0 0.0%	90 18.6%	
7年～9年前	14 12.0%	45 28.1%	10 10.6%	4 6.3%	2 6.7%	0 0.0%	75 15.5%	
10年以上前	3 2.6%	64 40.0%	74 78.7%	57 89.1%	26 86.7%	19 100%	243 50.2%	

\*無効回答は除いて集計したため累計は異なる。

付表5 近畿地域在住の過去6ヵ月間に性交経験をもつゲイ・バイ男性及びMSM(n=484)  
初セックス時のコンドーム使用状況別分析

	総数	初セックス時のコンドーム使用状況				Pearson カイ2乗
		不使用		使用		
	484	290	59.9%	194	40.1%	
<b>年齢層</b>						
24歳以下	117	62	53.0%	55	47.0%	0.08
25-29歳	160	92	57.5%	68	42.5%	
30-34歳	94	55	58.5%	39	41.5%	
35-39歳	64	44	68.8%	20	31.3%	
40-44歳	30	22	73.3%	8	26.7%	
45歳以上	19	15	78.9%	4	21.1%	
<b>居住形態</b>						
1人暮らし	227	142	62.6%	85	37.4%	0.08
同性のパートナー・友達	60	41	68.3%	19	31.7%	
親・家族・異性・その他	197	107	54.3%	90	45.7%	
<b>初めて男性とセックスした時、コンドームについてどのように思っていましたか？</b>						
意図なし	222	188	84.7%	34	15.3%	< 0.01
意図あり	262	102	38.9%	160	61.1%	
<b>初めて男性とセックスした時、コンドームをつけられる自信はありましたか？</b>						
自信なし	260	206	79.2%	54	20.8%	< 0.01
やや自信あり	82	38	46.3%	44	53.7%	
自信あり	142	46	32.4%	96	67.6%	
<b>初めてセックスした男性とはどこで出会いましたか？</b>						
ゲイバー・ゲイナイト	31	17	54.8%	14	45.2%	0.02
ハッテン場	71	40	56.3%	31	43.7%	
HP	236	136	57.6%	100	42.4%	
アプリ・その他ネット	45	22	48.9%	23	51.1%	
その他/覚えていない	101	75	74.3%	26	25.7%	
<b>初めて男性とセックスした時、複数の人とセックス(乱交や3Pなど)をしましたか？</b>						
いいえ・覚えていない	463	285	61.6%	178	38.4%	< 0.01
はい	21	5	23.8%	16	76.2%	
<b>初めて男性とセックスした時、あなたはお酒を飲んで酔っていましたか？</b>						
飲んでいなかった/覚えていない	347	214	61.7%	133	38.3%	0.39
酔っていない	84	45	53.6%	39	46.4%	
酔っていた	53	31	58.5%	22	41.5%	
<b>初めて男性とセックスした時の併用品</b>						
なし	463	277	59.8%	186	40.2%	0.85
ドラッグ併用	21	13	61.9%	8	38.1%	



付表6 近畿地域在住の過去6ヵ月間に性交経験をもつゲイ・バイ男性及びMSM(n=484)  
初および最近のセックス時のコンドーム使用状況別分析

	総数	初および最近のセックス時のコンドーム使用状況				Pearson カイ2乗
		不使用		使用		
	484	355	73.3%	129	26.7%	
<b>年齢層</b>						
24歳以下	117	83	70.9%	34	29.1%	0.35
25-29歳	160	116	72.5%	44	27.5%	
30-34歳	94	64	68.1%	30	31.9%	
35-39歳	64	52	81.3%	12	18.8%	
40-44歳	30	24	80.0%	6	20.0%	
45歳以上	19	16	84.2%	3	15.8%	
<b>居住形態</b>						
1人暮らし	227	166	73.1%	61	26.9%	0.15
同性のパートナー・友達	60	50	83.3%	10	16.7%	
親・家族・異性・その他	197	139	70.6%	58	29.4%	
初めて男性とセックスした時、コンドームについてどのように思っていましたか？						
意図なし	222	207	93.2%	15	6.8%	<0.01
意図あり	262	148	56.5%	114	43.5%	
初めて男性とセックスした時、コンドームをつけられる自信はありましたか？						
自信なし	260	233	89.6%	27	10.4%	<0.01
やや自信あり	82	55	67.1%	27	32.9%	
自信あり	142	67	47.2%	75	52.8%	
初めてセックスした男性とはどこで出会いましたか？						
ゲイバー・ゲイナイト	31	18	58.1%	13	41.9%	0.03
ハッテン場	71	52	73.2%	19	26.8%	
HP	236	169	71.6%	67	28.4%	
アプリ・その他ネット	45	31	68.9%	14	31.1%	
その他/覚えていない	101	85	84.2%	16	15.8%	
初めて男性とセックスした時、複数の人とセックス(乱交や3Pなど)をしましたか？						
いいえ・覚えていない	463	349	75.4%	114	24.6%	<0.01
はい	21	6	28.6%	15	71.4%	
初めて男性とセックスした時、あなたはお酒を飲んで酔っていましたか？						
飲んでいなかった/覚えていない	347	262	75.5%	85	24.5%	0.17
酔っていない	84	55	65.5%	29	34.5%	
酔っていた	53	38	71.7%	15	28.3%	
初めて男性とセックスした時の併用品						
なし	463	338	73.0%	125	27.0%	0.42
ドラッグ併用	21	17	81.0%	4	19.0%	
一番最近にセックスした相手はどれにあてはまりますか？						
彼氏や恋人	140	109	77.9%	31	22.1%	0.27
友達やセクフレ	142	103	72.5%	39	27.5%	
その場限りの相手	198	139	70.2%	59	29.8%	
その他	4	4	100.0%	0	.0%	
一番最近にセックスした相手は、初めてセックスした男性と同じ人ですか？						
はい	24	13	54.2%	11	45.8%	0.03
いいえ	460	342	74.3%	118	25.7%	
一番最近にセックスした時、コンドームについてどのように思っていましたか？						
意図なし	166	154	92.8%	12	7.2%	<0.01
意図あり	318	201	63.2%	117	36.8%	
一番最近にセックスした時、コンドームをつけられる自信はありましたか？						
自信なし	143	128	89.5%	15	10.5%	<0.01
やや自信あり	97	78	80.4%	19	19.6%	
自信あり	244	149	61.1%	95	38.9%	
一番最近にセックスした相手とはどこで出会いましたか？						
ゲイバー・ゲイナイト	44	28	63.6%	16	36.4%	0.36
ハッテン場	111	80	72.1%	31	27.9%	
HP	87	61	70.1%	26	29.9%	
アプリ・その他ネット	186	144	77.4%	42	22.6%	
その他/覚えていない	56	42	75.0%	14	25.0%	

付表7 近畿地域在住の過去6ヵ月間に性交経験をもつゲイ・バイ男性及びMSM(n=484)  
セックス時のコンドーム使用状況に関連する要因-ロジスティック回帰分析結果-

	初セックス時のコンドーム使用状況*1					初および最近のセックス時のコンドーム使用状況*2					
	調整odds	95%信頼区間			有意確率	調整odds	95%信頼区間			有意確率	
		下限	-	上限			下限	-	上限		
年齢層											
	24歳以下	ref.				ref.					
	25-29歳	1.10	0.62	-	1.96	0.75	1.19	0.62	-	2.28	0.60
	30-34歳	0.77	0.40	-	1.48	0.44	1.16	0.56	-	2.39	0.70
	35-39歳	0.47	0.21	-	1.02	0.06	0.54	0.22	-	1.31	0.17
	40-44歳	0.37	0.12	-	1.12	0.08	0.50	0.14	-	1.79	0.29
	45歳以上	0.63	0.16	-	2.52	0.52	1.05	0.22	-	5.10	0.95
初めて男性とセックスした時、コンドームについてどのように思っていましたか？											
	意図なし	ref.				ref.					
	意図あり	4.37	2.54	-	7.50	<0.01	4.06	1.97	-	8.37	<0.01
初めて男性とセックスした時、コンドームをつけられる自信はありましたか？											
	自信なし	ref.				ref.					
	やや自信あり	2.21	1.19	-	4.10	0.01	1.90	0.90	-	4.02	0.09
	自信あり	3.52	2.01	-	6.18	<0.01	3.40	1.71	-	6.73	<0.01
初めてセックスした男性とはどこで出会いましたか？											
	ゲイバー・ゲイナイト	ref.				ref.				0.94	
	ハッテン場	1.98	0.64	-	6.15	0.24	1.05	0.32	-	3.47	0.94
	HP	1.10	0.37	-	3.22	0.87	1.00	0.32	-	3.10	1.00
	アプリ・その他ネット	1.18	0.34	-	4.11	0.80	0.85	0.23	-	3.19	0.81
	その他/覚えていない	0.97	0.32	-	3.00	0.96	0.76	0.22	-	2.57	0.66
初めて男性とセックスした時、複数の人とセックス(乱交や3Pなど)をしましたか？											
	いいえ・覚えていない	ref.				ref.					
	はい	2.95	0.82	-	10.69	0.10	3.54	0.97	-	12.89	0.05
一番最近にセックスした相手は、初めてセックスした男性と同じ人ですか？											
	はい					ref.					
	いいえ					0.68	0.20	-	2.31	0.54	
一番最近にセックスした時、コンドームについてどのように思っていましたか？											
	意図なし					ref.					
	意図あり					4.68	2.10	-	10.44	<0.01	
一番最近にセックスした時、コンドームをつけられる自信はありましたか？											
	自信なし					ref.				0.93	
	やや自信あり					1.00	0.40	-	2.52	1.00	
	自信あり					1.12	0.49	-	2.55	0.78	

\*1 初セックス時のコンドーム使用を1 不使用を0として、単回帰分析で有意差のあった項目と年齢を強制投入した。

\*2 初セックス時および一番最近のセックス時の両方でコンドーム使用を1 両方不使用、またはいずれかで不使用であった人を0として、単回帰分析で有意差のあった項目と年齢を強制投入した。

付表 8 年齢層別 初性交と最近の性交相手と出会った場所や方法

	近畿							Pearson カイ2乗	中国・四国 合計 n=129
	24歳以下	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45歳以上	合計		
	n=97	n=143	n=78	n=57	n=28	n=15	n=418		
初めて話したゲイ男性とはどこで出会いましたか？									
ゲイバー	1	2	7	6	4	6	26	<0.01	14
ゲイナイト	1	1	0	2	0	0	4		2
ゲイショップ	0	1	0	2	0	0	3		1
出会い系サイト・HP	57	94	42	17	3	1	214		61
エロ系SNS	3	6	1	1	0	0	11		3
twitter	1	2	0	1	0	0	4		0
スマートフォンのゲイ向けアプリ	12	4	0	0	0	0	16		7
ゲイ向けサークル	4	2	3	0	0	0	9		0
ゲイ向け合コン	0	1	1	0	0	0	2		0
有料ハッテン場	5	6	4	4	2	2	21		2
野外ハッテン場	0	0	1	3	0	0	6		4
銭湯・プール・映画館など	1	5	3	3	1	3	16		12
ゲイ雑誌の文通欄	0	0	3	9	7	1	20		11
学校、習い事	6	13	2	3	4	1	29		6
職場、バイト先	1	1	2	2	0	0	6		2
その他	2	3	7	1	6	1	20		1
覚えていない	3	2	2	3	1	0	11		3
初めてセックスした男性とはどこで出会いましたか？									
ゲイバー	1	5	4	3	4	6	23	<0.01	19
ゲイナイト	2	2	0	2	1	0	7		0
ゲイショップ	0	0	0	1	0	0	1		1
出会い系サイト・HP	60	87	42	15	3	1	208		54
エロ系SNS	2	7	0	1	0	0	10		2
twitter	1	0	0	1	0	0	2		1
スマートフォンのゲイ向けアプリ	13	3	2	0	0	0	18		11
ゲイ向けサークル	1	0	3	0	0	0	4		0
ゲイ向け合コン	1	1	1	1	0	0	4		1
有料ハッテン場	6	7	6	8	5	2	34		5
野外ハッテン場	0	0	2	3	2	1	8		3
銭湯・プール・映画館など	0	3	2	3	0	1	9		8
ゲイ雑誌の文通欄	0	0	2	5	6	0	13		9
学校、習い事	5	17	3	5	1	2	33		7
職場、バイト先	1	0	1	2	0	0	4		2
その他	3	7	7	3	6	2	28		3
覚えていない	1	4	3	4	0	0	12		3
一番最近にセックスした相手とはどこで出会いましたか？									
ゲイバー	7	10	5	2	5	2	31	0.06	20
ゲイナイト	3	4	1	2	0	0	10		4
ゲイショップ	1	0	2	3	0	0	6		1
出会い系サイト・HP	20	28	16	11	0	2	77		33
エロ系SNS	2	6	2	1	0	0	11		4
twitter	8	6	1	1	0	0	16		4
スマートフォンのゲイ向けアプリ	30	46	25	17	7	8	133		46
ゲイ向けサークル	0	3	2	0	1	0	6		0
ゲイ向け合コン	1	2	1	0	0	0	4		0
ゲイの乱パ	0	0	1	0	2	0	3		0
有料ハッテン場	16	26	18	15	10	3	88		8
野外ハッテン場	0	1	0	1	1	0	3		2
銭湯・プール・映画館など	0	1	0	2	0	0	3		2
学校、習い事	2	2	0	1	0	0	5		1
職場、バイト先	1	2	1	1	2	0	7		0
その他	3	5	0	0	0	0	8		2
覚えていない	3	1	3	0	0	0	7		2
初めて話したゲイ男性とセックス(キスやフェラチオ、アナルセックス等)をしたことがありますか？									
ある	76	117	64	46	22	13	338	0.96	105
ない	21	26	14	11	6	2	80		24
一番最近にセックスした相手は、初めてセックスした男性と同じ人ですか？									
はい	6	5	4	5	2	0	22	0.62	9
いいえ	91	138	74	52	26	15	396		120

付表9 近畿地域在住の過去6ヵ月間に性交経験をもつゲイ・バイ男性及びMSM(n=484)  
初セックスの時期別分析

	男性との初性交は何年前?				合計		Pearson カイ2乗
	10年以上前 n=243		10年未満 n=241		n=484		
<b>年齢層</b>							
24歳以下	3	1.2%	114	47.3%	117	24.2%	<b>&lt;0.01</b>
25-29歳	64	26.3%	96	39.8%	160	33.1%	
30-34歳	74	30.5%	20	8.3%	94	19.4%	
35-39歳	57	23.5%	7	2.9%	64	13.2%	
40-44歳	26	10.7%	4	1.7%	30	6.2%	
45歳以上	19	7.8%	0	0.0%	19	3.9%	
<b>初めて男性とセックスした時、コンドームについてどのように思っていましたか?</b>							
意図なし	134	55.1%	88	36.5%	222	45.9%	<b>&lt;0.01</b>
意図あり	109	44.9%	153	63.5%	262	54.1%	
<b>初めて男性とセックスした時、コンドームをつけられる自信はありましたか?</b>							
自信なし	150	61.7%	110	45.6%	260	53.7%	<b>&lt;0.01</b>
やや自信あり	32	13.2%	50	20.7%	82	16.9%	
自信あり	61	25.1%	81	33.6%	142	29.3%	
<b>初めて男性とセックスした時、コンドームをつけられる自信はありましたか?(再掲)</b>							
自信なし	150	61.7%	110	45.6%	260	53.7%	<b>&lt;0.01</b>
自信あり	93	38.3%	131	54.4%	224	46.3%	
<b>初めてセックスした男性とはどこで出会いましたか?</b>							
ゲイバー・ゲイナイト	18	7.4%	13	5.4%	31	6.4%	<b>&lt;0.01</b>
ハッテン場	49	20.2%	22	9.1%	71	14.7%	
HP	104	42.8%	132	54.8%	236	48.8%	
アプリ・その他ネット	1	0.4%	44	18.3%	45	9.3%	
その他/覚えていない	71	29.2%	30	12.4%	101	20.9%	
<b>初めてセックスした男性とはどこで出会いましたか?(再掲)</b>							
その他	176	72.4%	206	85.5%	382	78.9%	<b>&lt;0.01</b>
ゲイ向け商業施設	67	27.6%	35	14.5%	102	21.1%	
<b>初セックス時のコンドーム使用</b>							
不使用	170	70.0%	120	49.8%	290	59.9%	<b>&lt;0.01</b>
使用	73	30.0%	121	50.2%	194	40.1%	
<b>初めて男性とセックスした時、複数の人とセックス(乱交や3Pなど)をしましたか?</b>							
いいえ・覚えていない	237	97.5%	226	93.8%	463	95.7%	<b>0.04</b>
はい	6	2.5%	15	6.2%	21	4.3%	
<b>初めて男性とセックスした時、あなたはお酒を飲んで酔っていましたか?</b>							
飲んでいなかった/覚えていない	169	69.5%	178	73.9%	347	71.7%	<b>0.04</b>
酔っていない	52	21.4%	32	13.3%	84	17.4%	
酔っていた	22	9.1%	31	12.9%	53	11.0%	
<b>初めて男性とセックスした時の併用品</b>							
なし	227	93.4%	236	97.9%	463	95.7%	<b>0.01</b>
ドラッグ併用	16	6.6%	5	2.1%	21	4.3%	
<b>一番最近にセックスした時、コンドームについてどのように思っていましたか?</b>							
意図なし	86	35.4%	80	33.2%	166	34.3%	0.61
意図あり	157	64.6%	161	66.8%	318	65.7%	
<b>一番最近のコンドーム使用</b>							
不使用	126	51.9%	124	51.5%	250	51.7%	0.93
使用	117	48.1%	117	48.5%	234	48.3%	

付表 10-1 【近畿地域 調査 1】年齢層別-居住地・基本属性・検査行動・性感染症既往

	年齢層												合計 n=602	Pearson カイ2乗	
	24歳以下 n=139		25-29歳 n=200		30-34歳 n=115		35-39歳 n=82		40-44歳 n=40		45歳以上 n=26				
<b>居住地</b>															
滋賀県	3	2.2%	5	2.5%	2	1.7%	2	2.4%	3	7.5%	1	3.8%	16	2.7%	0.48
京都府	13	9.4%	12	6.0%	6	5.2%	8	9.8%	4	10.0%	1	3.8%	44	7.3%	
大阪府	84	60.4%	140	70.0%	75	65.2%	53	64.6%	26	65.0%	18	69.2%	396	65.8%	
兵庫県	32	23.0%	29	14.5%	22	19.1%	17	20.7%	7	17.5%	6	23.1%	113	18.8%	
奈良県	4	2.9%	9	4.5%	9	7.8%	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	23	3.8%	
和歌山県	3	2.2%	5	2.5%	1	0.9%	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	10	1.7%	
<b>居住形態</b>															
1人暮らし	57	41.0%	87	43.5%	63	54.8%	47	57.3%	19	47.5%	9	34.6%	282	46.8%	0.07
同性のパートナー・友達	13	9.4%	26	13.0%	15	13.0%	9	11.0%	7	17.5%	6	23.1%	76	12.6%	
親・家族・異性・その他	69	49.6%	87	43.5%	37	32.2%	26	31.7%	14	35.0%	11	42.3%	244	40.5%	
<b>あなたの現在の職業として、もっとも近いのは次のどれですか？</b>															
正規雇用	45	32.4%	121	60.5%	75	65.2%	65	79.3%	29	72.5%	12	46.2%	347	57.6%	<0.01
非正規雇用	15	10.8%	20	10.0%	16	13.9%	3	3.7%	3	7.5%	5	19.2%	62	10.3%	
パートタイマー	1	0.7%	3	1.5%	1	0.9%	1	1.2%	1	2.5%	2	7.7%	9	1.5%	
アルバイト	20	14.4%	29	14.5%	8	7.0%	2	2.4%	1	2.5%	0	0.0%	60	10.0%	
経営者	2	1.4%	9	4.5%	7	6.1%	5	6.1%	5	12.5%	2	7.7%	30	5.0%	
学生	48	34.5%	9	4.5%	4	3.5%	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	62	10.3%	
その他	8	5.8%	9	4.5%	4	3.5%	5	6.1%	1	2.5%	5	19.2%	32	5.3%	
<b>あなたはスマートフォンを持っていますか？</b>															
持っている	138	99.3%	198	99.0%	110	95.7%	77	93.9%	34	85.0%	21	80.8%	578	96.0%	<0.01
持っていない	1	0.7%	2	1.0%	5	4.3%	5	6.1%	6	15.0%	5	19.2%	24	4.0%	
<b>性的指向</b>															
ゲイ	110	79.1%	169	84.5%	90	78.3%	72	87.8%	38	95.0%	20	76.9%	499	82.9%	0.34
バイ	19	13.7%	21	10.5%	15	13.0%	6	7.3%	2	5.0%	3	11.5%	66	11.0%	
その他	10	7.2%	10	5.0%	10	8.7%	4	4.9%	0	0.0%	3	11.5%	37	6.1%	
<b>これまでにHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことはありますか？</b>															
ある	62	44.6%	122	61.0%	87	75.7%	63	76.8%	27	67.5%	17	65.4%	378	62.8%	<0.01
ない	77	55.4%	78	39.0%	28	24.3%	19	23.2%	13	32.5%	9	34.6%	224	37.2%	
<b>これまでに何回HIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか？*1</b>															
1回だけ	35	56.5%	44	36.1%	31	35.6%	19	30.2%	5	18.5%	4	23.5%	138	36.5%	0.01
2回	13	21.0%	29	23.8%	11	12.6%	10	15.9%	8	29.6%	3	17.6%	74	19.6%	
3回	8	12.9%	18	14.8%	11	12.6%	9	14.3%	5	18.5%	3	17.6%	54	14.3%	
4回以上	6	9.7%	31	25.4%	34	39.1%	25	39.7%	9	33.3%	7	41.2%	112	29.6%	
<b>過去1年間にHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことはありますか？*1</b>															
ある	43	69.4%	73	59.8%	44	50.6%	34	54.0%	10	37.0%	6	35.3%	210	55.6%	0.30
ない	16	25.8%	39	32.0%	38	43.7%	26	41.3%	15	55.6%	10	58.8%	144	38.1%	
1年以上前に陽性と確認	2	3.2%	7	5.7%	3	3.4%	2	3.2%	2	7.4%	1	5.9%	17	4.5%	
答えたくない	1	1.6%	3	2.5%	2	2.3%	1	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	7	1.9%	
<b>過去6ヶ月間にHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことはありますか？*1</b>															
ある	27	43.5%	49	40.2%	34	39.1%	28	44.4%	8	29.6%	5	29.4%	151	39.9%	0.99
ない	30	48.4%	62	50.8%	47	54.0%	31	49.2%	17	63.0%	11	64.7%	198	52.4%	
6ヵ月以上前に陽性と確認	4	6.5%	8	6.6%	4	4.6%	3	4.8%	2	7.4%	1	5.9%	22	5.8%	
答えたくない	1	1.6%	3	2.5%	2	2.3%	1	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	7	1.9%	
<b>性感染症既往(複数回答)</b>															
梅毒	9	6.5%	9	4.5%	12	10.4%	11	13.4%	9	22.5%	5	19.2%	55	9.1%	<0.01
A型肝炎	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%	1	1.2%	0	0.0%	1	3.8%	3	0.5%	
B型肝炎	8	5.8%	11	5.5%	11	9.6%	10	12.2%	4	10.0%	2	7.7%	46	7.6%	0.38
C型肝炎	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%	2	2.4%	1	2.5%	0	0.0%	4	0.7%	
クラミジア	6	4.3%	13	6.5%	12	10.4%	15	18.3%	6	15.0%	3	11.5%	55	9.1%	0.01
尖圭コンジローマ	1	0.7%	7	3.5%	7	6.1%	3	3.7%	5	12.5%	3	11.5%	26	4.3%	
淋病	3	2.2%	12	6.0%	5	4.3%	5	6.1%	5	12.5%	7	26.9%	37	6.1%	<0.01
HIV感染症	4	2.9%	9	4.5%	5	4.3%	5	6.1%	2	5.0%	1	3.8%	26	4.3%	
赤痢アメーバ	1	0.7%	0	0.0%	3	2.6%	1	1.2%	2	5.0%	1	3.8%	8	1.3%	0.08
毛じらみ	20	14.4%	51	25.5%	42	36.5%	30	36.6%	18	45.0%	15	57.7%	176	29.2%	
性器ヘルペス	3	2.2%	3	1.5%	3	2.6%	2	2.4%	1	2.5%	2	7.7%	14	2.3%	0.55
その他	2	1.4%	1	0.5%	2	1.7%	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	6	1.0%	
いずれもない	100	71.9%	120	60.0%	56	48.7%	38	46.3%	15	37.5%	7	26.9%	336	55.8%	<0.01

\*1 生涯にHIV抗体検査受検経験のある人(n=378)を対象として分析したため総数が異なる。

付表 10-2 【近畿地域 調査 1】年齢層別-過去 6 カ月間の商業施設利用、過去 6 カ月間の対話経験

	年齢層						合計 n=602	Pearson カイ2乗
	24歳以下 n=139	25-29歳 n=200	30-34歳 n=115	35-39歳 n=82	40-44歳 n=40	45歳以上 n=26		
過去6カ月間に、出会い系サイト/掲示板をどのくらい利用しましたか？								
よく利用した(毎週1回以上)	40 28.8%	44 22.0%	26 22.6%	21 25.6%	10 25.0%	5 19.2%	146 24.3%	0.40
まあまあ利用した	28 20.1%	55 27.5%	29 25.2%	17 20.7%	10 25.0%	3 11.5%	142 23.6%	
あまり利用しなかった(半年に2回以下)	21 15.1%	40 20.0%	19 16.5%	13 15.9%	12 30.0%	7 26.9%	112 18.6%	
全く利用しなかった	50 36.0%	61 30.5%	41 35.7%	31 37.8%	8 20.0%	11 42.3%	202 33.6%	
過去6カ月間に、位置情報のあるゲイ向けアプリ(GrindrやJack'd等)をどのくらい利用しましたか？								
よく利用した(毎週1回以上)	98 70.5%	129 64.5%	75 65.2%	57 69.5%	26 65.0%	11 42.3%	396 65.8%	0.05
まあまあ利用した	24 17.3%	37 18.5%	24 20.9%	17 20.7%	6 15.0%	5 19.2%	113 18.8%	
あまり利用しなかった(半年に2回以下)	5 3.6%	7 3.5%	3 2.6%	4 4.9%	2 5.0%	5 19.2%	26 4.3%	
全く利用しなかった	12 8.6%	27 13.5%	13 11.3%	4 4.9%	6 15.0%	5 19.2%	67 11.1%	
過去6カ月間に、掲示板やゲイ向けアプリで出会った相手とセックス(キスやフェラチオ、アナルセックス等)をしたことがありますか。								
ある	100 71.9%	134 67.0%	74 64.3%	43 52.4%	22 55.0%	12 46.2%	385 64.0%	0.01
ない	39 28.1%	66 33.0%	41 35.7%	39 47.6%	18 45.0%	14 53.8%	217 36.0%	
過去6カ月間に、大阪にあるゲイバーにどのくらい行きましたか？								
よく利用した(毎週1回以上)	18 12.9%	18 9.0%	15 13.0%	4 4.9%	4 10.0%	0 0.0%	59 9.8%	0.17
まあまあ利用した	45 32.4%	54 27.0%	29 25.2%	25 30.5%	11 27.5%	6 23.1%	170 28.2%	
あまり利用しなかった(半年に2回以下)	45 32.4%	61 30.5%	27 23.5%	22 26.8%	9 22.5%	8 30.8%	172 28.6%	
全く利用しなかった	31 22.3%	67 33.5%	44 38.3%	31 37.8%	16 40.0%	12 46.2%	201 33.4%	
過去6カ月間に、大阪のゲイナイトにどのくらい行きましたか？								
よく利用した(毎週1回以上)	6 4.3%	8 4.0%	5 4.3%	1 1.2%	1 2.5%	0 0.0%	21 3.5%	0.68
まあまあ利用した	26 18.7%	31 15.5%	22 19.1%	13 15.9%	6 15.0%	1 3.8%	99 16.4%	
あまり利用しなかった(半年に2回以下)	49 35.3%	70 35.0%	40 34.8%	25 30.5%	17 42.5%	8 30.8%	209 34.7%	
全く利用しなかった	58 41.7%	91 45.5%	48 41.7%	43 52.4%	16 40.0%	17 65.4%	273 45.3%	
過去6カ月間に、大阪にある有料のハッテン場にどのくらい行きましたか？								
よく利用した(毎週1回以上)	4 2.9%	8 4.0%	5 4.3%	3 3.7%	2 5.0%	1 3.8%	23 3.8%	0.82
まあまあ利用した	40 28.8%	43 21.5%	30 26.1%	16 19.5%	11 27.5%	5 19.2%	145 24.1%	
あまり利用しなかった(半年に2回以下)	25 18.0%	33 16.5%	25 21.7%	16 19.5%	10 25.0%	3 11.5%	112 18.6%	
全く利用しなかった	70 50.4%	116 58.0%	55 47.8%	47 57.3%	17 42.5%	17 65.4%	322 53.5%	
過去6カ月間に、親や兄弟姉妹などの家族とHIVやエイズについて話したことがありますか？								
ある	12 8.6%	19 9.5%	9 7.8%	10 12.2%	1 2.5%	2 7.7%	53 8.8%	0.58
ない	111 79.9%	158 79.0%	99 86.1%	67 81.7%	35 87.5%	20 76.9%	490 81.4%	
家族はいない	16 11.5%	23 11.5%	7 6.1%	5 6.1%	4 10.0%	4 15.4%	59 9.8%	
過去6カ月間に、彼氏や恋人とHIVやエイズについて話したことがありますか？								
ある	37 26.6%	52 26.0%	30 26.1%	26 31.7%	9 22.5%	7 26.9%	161 26.7%	0.61
ない	60 43.2%	86 43.0%	49 42.6%	40 48.8%	14 35.0%	13 50.0%	262 43.5%	
恋人はいなかった	42 30.2%	62 31.0%	36 31.3%	16 19.5%	17 42.5%	6 23.1%	179 29.7%	
過去6カ月間に、友達や知り合いとHIVやエイズについて話したことがありますか？								
ある	69 49.6%	104 52.0%	54 47.0%	46 56.1%	21 52.5%	9 34.6%	303 50.3%	0.54
ない	63 45.3%	89 44.5%	58 50.4%	35 42.7%	17 42.5%	17 65.4%	279 46.3%	
友達はいなかった	7 5.0%	7 3.5%	3 2.6%	1 1.2%	2 5.0%	0 0.0%	20 3.3%	

付表 10-3 【近畿地域 調査1】年齢層別-過去6ヵ月間の性行動

	年齢層						合計 n=602	Pearson カイ2乗							
	24歳以下 n=139	25-29歳 n=200	30-34歳 n=115	35-39歳 n=82	40-44歳 n=40	45歳以上 n=26									
過去6ヵ月間を振り返ってコンドームについてどのように思っていましたか？															
意図なし	49	35.3%	70	35.0%	35	30.4%	23	28.0%	10	25.0%	11	42.3%	198	32.9%	0.53
意図あり	90	64.7%	130	65.0%	80	69.6%	59	72.0%	30	75.0%	15	57.7%	404	67.1%	
過去6ヵ月間に、コンドームをすぐに使えるよういつも身近に持っていましたか？															
いつも持っていた	50	36.0%	81	40.5%	47	40.9%	37	45.1%	22	55.0%	13	50.0%	250	41.5%	0.28
時々持っていた	33	23.7%	45	22.5%	35	30.4%	20	24.4%	8	20.0%	3	11.5%	144	23.9%	
持っていなかった	56	40.3%	74	37.0%	33	28.7%	25	30.5%	10	25.0%	10	38.5%	208	34.6%	
過去6ヵ月間に男性とアナルセックスをしましたか？															
はい	88	63.3%	140	70.0%	78	67.8%	45	54.9%	25	62.5%	12	46.2%	388	64.5%	<b>0.02</b>
いいえ	42	30.2%	48	24.0%	33	28.7%	35	42.7%	15	37.5%	14	53.8%	187	31.1%	
生涯なし	9	6.5%	12	6.0%	4	3.5%	2	2.4%	0	0.0%	0	0.0%	27	4.5%	
過去6ヵ月間に全部で何人とアナルセックスをしましたか？*2															
1人	25	28.4%	46	32.9%	28	35.9%	11	24.4%	7	28.0%	4	33.3%	121	31.2%	0.90
2人	13	14.8%	20	14.3%	7	9.0%	8	17.8%	4	16.0%	2	16.7%	54	13.9%	
3人	13	14.8%	18	12.9%	14	17.9%	5	11.1%	3	12.0%	1	8.3%	54	13.9%	
4人	7	8.0%	11	7.9%	2	2.6%	4	8.9%	1	4.0%	0	0.0%	25	6.4%	
5人	9	10.2%	6	4.3%	3	3.8%	3	6.7%	1	4.0%	0	0.0%	22	5.7%	
6人以上	21	23.9%	39	27.9%	24	30.8%	14	31.1%	9	36.0%	5	41.7%	112	28.9%	
過去6ヵ月間にアナルセックスをどのくらいしましたか？*2															
月に1回程度以下	48	54.5%	69	49.3%	43	55.1%	24	53.3%	15	60.0%	5	41.7%	204	52.6%	0.49
月に2~3回	29	33.0%	48	34.3%	25	32.1%	16	35.6%	7	28.0%	2	16.7%	127	32.7%	
週1回程度	10	11.4%	15	10.7%	7	9.0%	2	4.4%	3	12.0%	3	25.0%	40	10.3%	
週2~4回	0	0.0%	7	5.0%	3	3.8%	2	4.4%	0	0.0%	2	16.7%	14	3.6%	
週5回以上	1	1.1%	1	0.7%	0	0.0%	1	2.2%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.8%	
過去6ヵ月間に、使用したものはありますか？(複数回答)*2															
水溶性ローション(潤滑剤)	84	95.5%	129	92.1%	73	93.6%	42	93.3%	23	92.0%	11	91.7%	362	93.3%	0.96
ハンドクリーム	0	0.0%	3	2.1%	0	0.0%	2	4.4%	0	0.0%	0	0.0%	5	1.3%	0.22
ぼっき薬(パイアグラなど)	2	2.3%	11	7.9%	4	5.1%	2	4.4%	7	28.0%	5	41.7%	31	8.0%	<b>&lt;0.01</b>
ラッシュ	4	4.5%	11	7.9%	5	6.4%	5	11.1%	1	4.0%	0	0.0%	26	6.7%	0.62
5MEO-DIPT(ゴメオ、フォクシー)	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%	0.88
スピード・エクスタシー(MDMAなど)	0	0.0%	3	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.8%	0.37
その他のセックスドラッグ	1	1.1%	2	1.4%	3	3.8%	2	4.4%	1	4.0%	0	0.0%	9	2.3%	0.65
脱法ハーブ	0	0.0%	1	0.7%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.5%	0.87
静脈注射のドラッグ	1	1.1%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.5%	0.90
違法ドラッグ(マリファナ・コカイン等)	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.0%	0	0.0%	2	0.5%	0.21
いずれも使用していない	3	3.4%	5	3.6%	5	6.4%	2	4.4%	0	0.0%	0	0.0%	15	3.9%	0.70
過去6ヵ月間の併用品(再掲)*2															
なし	82	93.2%	120	85.7%	70	89.7%	38	84.4%	17	68.0%	7	58.3%	334	86.1%	<b>&lt;0.01</b>
ぼっき薬のみ	2	2.3%	7	5.0%	2	2.6%	1	2.2%	5	20.0%	5	41.7%	22	5.7%	
ドラッグ併用	4	4.5%	13	9.3%	6	7.7%	6	13.3%	3	12.0%	0	0.0%	32	8.2%	
過去6ヵ月間にアナルセックスをした相手(複数回答)*2															
彼氏や恋人	29	33.0%	57	40.7%	29	37.2%	13	28.9%	7	28.0%	3	25.0%	138	35.6%	0.54
友達やセクフレ	39	44.3%	61	43.6%	34	43.6%	22	48.9%	5	20.0%	5	41.7%	166	42.8%	0.29
その場限り・その他	48	54.5%	65	46.4%	41	52.6%	23	51.1%	18	72.0%	8	66.7%	203	52.3%	0.22
過去6ヵ月間のコンドーム使用状況*2															
非常用	55	62.5%	79	56.4%	44	56.4%	24	53.3%	8	32.0%	6	50.0%	216	55.7%	0.18
常用	33	37.5%	61	43.6%	34	43.6%	21	46.7%	17	68.0%	6	50.0%	172	44.3%	
彼氏や恋人などの相手のコンドーム使用状況*3															
非常用	20	69.0%	34	59.6%	17	58.6%	8	61.5%	2	28.6%	2	66.7%	83	60.1%	0.56
常用	9	31.0%	23	40.4%	12	41.4%	5	38.5%	5	71.4%	1	33.3%	55	39.9%	
友達やセクフレなどの相手とのコンドーム使用状況*4															
非常用	29	74.4%	33	54.1%	18	52.9%	14	63.6%	2	40.0%	1	20.0%	97	58.4%	0.11
常用	10	25.6%	28	45.9%	16	47.1%	8	36.4%	3	60.0%	4	80.0%	69	41.6%	
その場限りの相手とのコンドーム使用状況*5															
非常用	22	45.8%	26	40.0%	21	51.2%	6	26.1%	5	27.8%	5	62.5%	85	41.9%	0.21
常用	26	54.2%	39	60.0%	20	48.8%	17	73.9%	13	72.2%	3	37.5%	118	58.1%	

\*2 過去6ヵ月間に男性との性交経験のある人(n=388)を対象として分析したため総数が異なる。

\*3 過去6ヵ月間に彼氏や恋人などの相手との性交経験のある人(n=138)を対象として分析したため総数が異なる。

\*4 過去6ヵ月間に友達やセクフレなどの相手との性交経験のある人(n=166)を対象として分析したため総数が異なる。

\*5 過去6ヵ月間にその場限りの相手との性交経験のある人(n=203)を対象として分析したため総数が異なる。

付表 10-4 【近畿地域 調査1】年齢層別-CBO 活動の認知

	年齢層										合計 n=602	Pearson カイ2乗			
	24歳以下 n=139		25-29歳 n=200		30-34歳 n=115		35-39歳 n=82		40-44歳 n=40				45歳以上 n=26		
大阪のコミュニティセンターdista(ディスタ)を知っていますか？															
知っている	48	34.5%	82	41.0%	60	52.2%	40	48.8%	25	62.5%	7	26.9%	262	43.5%	<b>&lt;0.01</b>
知らない	91	65.5%	118	59.0%	55	47.8%	42	51.2%	15	37.5%	19	73.1%	340	56.5%	
合計	139	100.0%	200	100.0%	115	100.0%	82	100.0%	40	100.0%	26	100.0%	602	100.0%	
これまでにdista(ディスタ)に行ったことがありますか？															
過去6ヵ月以内に行った	14	10.1%	15	7.5%	9	7.8%	5	6.1%	2	5.0%	1	3.8%	46	7.6%	<b>0.01</b>
過去6ヵ月より以前に行った	14	10.1%	27	13.5%	23	20.0%	14	17.1%	12	30.0%	5	19.2%	95	15.8%	
行ったことはない	20	14.4%	40	20.0%	28	24.3%	21	25.6%	11	27.5%	1	3.8%	121	20.1%	
知らない	91	65.5%	118	59.0%	55	47.8%	42	51.2%	15	37.5%	19	73.1%	340	56.5%	
合計	139	100.0%	200	100.0%	115	100.0%	82	100.0%	40	100.0%	26	100.0%	602	100.0%	
distaにはどのような目的で行きましたか？															
待ち合わせ	17	60.7%	16	38.1%	12	37.5%	7	36.8%	3	21.4%	2	33.3%	57	40.4%	0.20
待ち合わせ・友達	19	67.9%	21	50.0%	17	53.1%	7	36.8%	3	21.4%	2	33.3%	69	48.9%	0.07
ゲイバーやイベントのことを知りたくて	4	14.3%	5	11.9%	6	18.8%	4	21.1%	4	28.6%	2	33.3%	25	17.7%	0.62
性感染症のことを知りたくて	0	0.0%	3	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	2.1%	0.20
HIVやエイズのことを知りたくて	0	0.0%	3	7.1%	0	0.0%	1	5.3%	0	0.0%	0	0.0%	4	2.8%	0.35
友達を作るため	1	3.6%	7	16.7%	0	0.0%	2	10.5%	1	7.1%	0	0.0%	11	7.8%	0.12
相談をしたくて	0	0.0%	3	7.1%	0	0.0%	1	5.3%	0	0.0%	0	0.0%	4	2.8%	0.35
イベントや展覧会に来た	5	17.9%	17	40.5%	12	37.5%	5	26.3%	7	50.0%	2	33.3%	48	34.0%	0.28
その他	5	17.9%	8	19.0%	9	28.1%	3	15.8%	3	21.4%	3	50.0%	31	22.0%	0.50
合計	28	100.0%	42	100.0%	32	100.0%	19	100.0%	14	100.0%	6	100.0%	141	100.0%	
南界堂通信を知っていますか？															
知っている	4	2.9%	9	4.5%	11	9.6%	9	11.0%	7	17.5%	3	11.5%	43	7.1%	<b>0.01</b>
知らない	135	97.1%	191	95.5%	104	90.4%	73	89.0%	33	82.5%	23	88.5%	559	92.9%	
合計	139	100.0%	200	100.0%	115	100.0%	82	100.0%	40	100.0%	26	100.0%	602	100.0%	
これまでに南界堂通信を読んだことがありますか？															
過去6ヵ月以内を読んだ	1	0.7%	4	2.0%	5	4.3%	6	7.3%	5	12.5%	2	7.7%	23	3.8%	<b>0.02</b>
過去6ヵ月より以前を読んだ	0	0.0%	2	1.0%	3	2.6%	1	1.2%	2	5.0%	1	3.8%	9	1.5%	
読んだことはない	3	2.2%	3	1.5%	3	2.6%	2	2.4%	0	0.0%	0	0.0%	11	1.8%	
知らない	135	97.1%	191	95.5%	104	90.4%	73	89.0%	33	82.5%	23	88.5%	559	92.9%	
合計	139	100.0%	200	100.0%	115	100.0%	82	100.0%	40	100.0%	26	100.0%	602	100.0%	
南界堂通信を読んでみてどう思いましたか？															
とても面白かった	0	0.0%	1	16.7%	2	25.0%	2	28.6%	2	28.6%	0	0.0%	7	21.9%	0.93
まあまあ面白かった	1	100.0%	4	66.7%	5	62.5%	4	57.1%	3	42.9%	2	66.7%	19	59.4%	
どちらでもない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	1	14.3%	1	33.3%	3	9.4%	
あまり面白くなかった	0	0.0%	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	2	6.3%	
全く面白くなかった	0	0.0%	0	0.0%	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%	
合計	1	100.0%	6	100.0%	8	100.0%	7	100.0%	7	100.0%	3	100.0%	32	100.0%	
ゲイコミュニティペーパーFight!!を知っていますか？															
知っている	14	10.1%	18	9.0%	7	6.1%	4	4.9%	2	5.0%	4	15.4%	49	8.1%	0.41
知らない	125	89.9%	182	91.0%	108	93.9%	78	95.1%	38	95.0%	22	84.6%	553	91.9%	
合計	139	100.0%	200	100.0%	115	100.0%	82	100.0%	40	100.0%	26	100.0%	602	100.0%	
これまでにゲイコミュニティペーパーFight!!を読んだことがありますか？															
過去6ヵ月以内を読んだ	4	2.9%	5	2.5%	3	2.6%	2	2.4%	1	2.5%	3	11.5%	18	3.0%	0.52
過去6ヵ月より以前を読んだ	3	2.2%	5	2.5%	2	1.7%	1	1.2%	1	2.5%	1	3.8%	13	2.2%	
読んだことはない	7	5.0%	8	4.0%	2	1.7%	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	18	3.0%	
知らない	125	89.9%	182	91.0%	108	93.9%	78	95.1%	38	95.0%	22	84.6%	553	91.9%	
合計	139	100.0%	200	100.0%	115	100.0%	82	100.0%	40	100.0%	26	100.0%	602	100.0%	
「やる！プロジェクト」で配布されている資料を知っていますか？															
知っている	2	1.4%	2	1.0%	6	5.2%	3	3.7%	2	5.0%	1	3.8%	16	2.7%	0.21
知らない	137	98.6%	198	99.0%	109	94.8%	79	96.3%	38	95.0%	25	96.2%	586	97.3%	
合計	139	100.0%	200	100.0%	115	100.0%	82	100.0%	40	100.0%	26	100.0%	602	100.0%	
これまでに「やる！プロジェクト」で配布されている資料をもらったことがありますか？															
過去6ヵ月以内にもらった	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	0.09
過去6ヵ月より以前にもらった	1	0.7%	1	0.5%	1	0.9%	3	3.7%	2	5.0%	1	3.8%	9	1.5%	
もらったことはない	1	0.7%	1	0.5%	4	3.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	1.0%	
知らない	137	98.6%	198	99.0%	109	94.8%	79	96.3%	38	95.0%	25	96.2%	586	97.3%	
合計	139	100.0%	200	100.0%	115	100.0%	82	100.0%	40	100.0%	26	100.0%	602	100.0%	



付表 11-1 【近畿地域 調査 2】年齢層別-居住地・基本属性・検査行動・性感染症既往

	年齢層						合計 n=236	Pearson カイ2乗							
	24歳以下 n=66	25-29歳 n=60	30-34歳 n=53	35-39歳 n=26	40-44歳 n=22	45歳以上 n=9									
<b>居住地</b>															
滋賀県	1	1.5%	2	3.3%	2	3.8%	0	0.0%	1	4.5%	0	0.0%	6	2.5%	<b>0.01</b>
京都府	3	4.5%	8	13.3%	6	11.3%	2	7.7%	3	13.6%	0	0.0%	22	9.3%	
大阪府	47	71.2%	37	61.7%	30	56.6%	16	61.5%	14	63.6%	5	55.6%	149	63.1%	
兵庫県	14	21.2%	13	21.7%	13	24.5%	8	30.8%	2	9.1%	3	33.3%	53	22.5%	
奈良県	1	1.5%	0	0.0%	2	3.8%	0	0.0%	2	9.1%	0	0.0%	5	2.1%	
和歌山県	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	11.1%	1	0.4%	
<b>居住形態</b>															
1人暮らし	27	40.9%	25	41.7%	35	66.0%	19	73.1%	12	54.5%	6	66.7%	124	52.5%	<b>0.01</b>
同性のパートナー・友達	5	7.6%	6	10.0%	5	9.4%	2	7.7%	0	0.0%	2	22.2%	20	8.5%	
親・家族・異性・その他	34	51.5%	29	48.3%	13	24.5%	5	19.2%	10	45.5%	1	11.1%	92	39.0%	
<b>あなたの現在の職業として、もっとも近いのは次のどれですか？</b>															
正規雇用	20	30.3%	35	58.3%	32	60.4%	22	84.6%	16	72.7%	4	44.4%	129	54.7%	<b>&lt;0.01</b>
非正規雇用	3	4.5%	6	10.0%	10	18.9%	2	7.7%	4	18.2%	2	22.2%	27	11.4%	
パートタイマー	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
アルバイト	13	19.7%	8	13.3%	2	3.8%	1	3.8%	0	0.0%	0	0.0%	24	10.2%	
経営者	0	0.0%	2	3.3%	0	0.0%	1	3.8%	2	9.1%	1	11.1%	6	2.5%	
学生	29	43.9%	7	11.7%	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	37	15.7%	
その他	1	1.5%	2	3.3%	8	15.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	22.2%	13	5.5%	
<b>あなたはスマートフォンを持っていますか？</b>															
持っている	66	100.0%	59	98.3%	52	98.1%	18	69.2%	19	86.4%	6	66.7%	220	93.2%	<b>&lt;0.01</b>
持っていない	0	0.0%	1	1.7%	1	1.9%	8	30.8%	3	13.6%	3	33.3%	16	6.8%	
<b>性的指向</b>															
ゲイ	52	78.8%	42	70.0%	40	75.5%	22	84.6%	19	86.4%	8	88.9%	183	77.5%	0.55
バイ	12	18.2%	12	20.0%	11	20.8%	3	11.5%	1	4.5%	1	11.1%	40	16.9%	
その他	2	3.0%	6	10.0%	2	3.8%	1	3.8%	2	9.1%	0	0.0%	13	5.5%	
<b>これまでにHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことはありますか？</b>															
ある	39	59.1%	40	66.7%	36	67.9%	19	73.1%	19	86.4%	7	77.8%	160	67.8%	0.26
ない	27	40.9%	20	33.3%	17	32.1%	7	26.9%	3	13.6%	2	22.2%	76	32.2%	
<b>これまでに何回HIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか？*1</b>															
1回だけ	19	48.7%	19	47.5%	17	47.2%	5	26.3%	6	31.6%	0	0.0%	66	41.3%	0.11
2回	9	23.1%	2	5.0%	7	19.4%	4	21.1%	5	26.3%	3	42.9%	30	18.8%	
3回	5	12.8%	9	22.5%	5	13.9%	2	10.5%	1	5.3%	2	28.6%	24	15.0%	
4回以上	6	15.4%	10	25.0%	7	19.4%	8	42.1%	7	36.8%	2	28.6%	40	25.0%	
<b>過去1年間にHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことはありますか？*1</b>															
ある	30	76.9%	29	72.5%	18	50.0%	14	73.7%	5	26.3%	3	42.9%	99	61.9%	<b>&lt;0.01</b>
ない	9	23.1%	8	20.0%	12	33.3%	3	15.8%	13	68.4%	4	57.1%	49	30.6%	
1年以上前に陽性と確認	0	0.0%	3	7.5%	4	11.1%	2	10.5%	0	0.0%	0	0.0%	9	5.6%	
答えたくない	0	0.0%	0	0.0%	2	5.6%	0	0.0%	1	5.3%	0	0.0%	3	1.9%	
<b>過去6ヶ月間にHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことはありますか？*1</b>															
ある	23	59.0%	16	40.0%	11	30.6%	11	57.9%	4	21.1%	2	28.6%	67	41.9%	0.07
ない	16	41.0%	21	52.5%	21	58.3%	8	42.1%	14	73.7%	5	71.4%	85	53.1%	
6ヵ月以上前に陽性と確認	0	0.0%	2	5.0%	4	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	3.8%	
答えたくない	0	0.0%	1	2.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.3%	0	0.0%	2	1.3%	
<b>性感染症既往(複数回答)</b>															
梅毒	5	7.6%	3	5.0%	8	15.1%	1	3.8%	2	9.1%	1	11.1%	20	8.5%	0.44
A型肝炎	1	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%	
B型肝炎	0	0.0%	3	5.0%	1	1.9%	4	15.4%	1	4.5%	3	33.3%	12	5.1%	<b>&lt;0.01</b>
C型肝炎	0	0.0%	0	0.0%	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%	
クラミジア	2	3.0%	4	6.7%	2	3.8%	2	7.7%	5	22.7%	2	22.2%	17	7.2%	<b>0.02</b>
尖圭コンジローマ	2	3.0%	3	5.0%	6	11.3%	1	3.8%	3	13.6%	1	11.1%	16	6.8%	
淋病	3	4.5%	0	0.0%	1	1.9%	4	15.4%	3	13.6%	1	11.1%	12	5.1%	<b>0.01</b>
HIV感染症	0	0.0%	1	1.7%	5	9.4%	1	3.8%	0	0.0%	0	0.0%	7	3.0%	
赤痢アメーバ	0	0.0%	0	0.0%	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	11.1%	2	0.8%	<b>0.02</b>
毛じらみ	6	9.1%	11	18.3%	13	24.5%	7	26.9%	11	50.0%	5	55.6%	53	22.5%	
性器ヘルペス	1	1.5%	0	0.0%	3	5.7%	1	3.8%	1	4.5%	1	11.1%	7	3.0%	0.31
その他	0	0.0%	0	0.0%	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%	
いずれもない	50	75.8%	41	68.3%	31	58.5%	14	53.8%	7	31.8%	1	11.1%	144	61.0%	<b>&lt;0.01</b>

\*1 生涯にHIV抗体検査受検経験のある人(n=160)を対象として分析したため総数が異なる。

付表 11-2 【近畿地域 調査 2】年齢層別-過去 6 カ月間の商業施設利用、過去 6 カ月間の対話経験

	年齢層						合計 n=236	Pearson カイ2乗
	24歳以下 n=66	25-29歳 n=60	30-34歳 n=53	35-39歳 n=26	40-44歳 n=22	45歳以上 n=9		
過去6カ月間に、出会い系サイト/掲示板をどのくらい利用しましたか？								
よく利用した(毎週1回以上)	17 25.8%	19 31.7%	9 17.0%	9 34.6%	5 22.7%	0 0.0%	59 25.0%	0.55
まあまあ利用した	18 27.3%	21 35.0%	16 30.2%	6 23.1%	8 36.4%	2 22.2%	71 30.1%	
あまり利用しなかった(半年に2回以下)	12 18.2%	5 8.3%	10 18.9%	4 15.4%	2 9.1%	2 22.2%	35 14.8%	
全く利用しなかった	19 28.8%	15 25.0%	18 34.0%	7 26.9%	7 31.8%	5 55.6%	71 30.1%	
過去6カ月間に、位置情報のあるゲイ向けアプリ(GrindrやJack'd等)をどのくらい利用しましたか？								
よく利用した(毎週1回以上)	49 74.2%	41 68.3%	33 62.3%	19 73.1%	17 77.3%	5 55.6%	164 69.5%	0.40
まあまあ利用した	13 19.7%	10 16.7%	10 18.9%	4 15.4%	1 4.5%	2 22.2%	40 16.9%	
あまり利用しなかった(半年に2回以下)	2 3.0%	3 5.0%	5 9.4%	2 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	12 5.1%	
全く利用しなかった	2 3.0%	6 10.0%	5 9.4%	1 3.8%	4 18.2%	2 22.2%	20 8.5%	
過去6カ月間に、掲示板やゲイ向けアプリで出会った相手とセックス(キスやフェラチオ、アナルセックス等)をしたことがありますか。								
ある	53 80.3%	43 71.7%	38 71.7%	13 50.0%	10 45.5%	4 44.4%	161 68.2%	0.01
ない	13 19.7%	17 28.3%	15 28.3%	13 50.0%	12 54.5%	5 55.6%	75 31.8%	
過去6カ月間に、大阪にあるゲイバーにどのくらい行きましたか？								
よく利用した(毎週1回以上)	5 7.6%	5 8.3%	4 7.5%	2 7.7%	2 9.1%	1 11.1%	19 8.1%	0.88
まあまあ利用した	26 39.4%	14 23.3%	17 32.1%	5 19.2%	8 36.4%	3 33.3%	73 30.9%	
あまり利用しなかった(半年に2回以下)	16 24.2%	23 38.3%	17 32.1%	7 26.9%	6 27.3%	2 22.2%	71 30.1%	
全く利用しなかった	19 28.8%	18 30.0%	15 28.3%	12 46.2%	6 27.3%	3 33.3%	73 30.9%	
過去6カ月間に、大阪のゲイナイトにどのくらい行きましたか？								
よく利用した(毎週1回以上)	1 1.5%	3 5.0%	0 0.0%	2 7.7%	1 4.5%	1 11.1%	8 3.4%	0.61
まあまあ利用した	14 21.2%	10 16.7%	9 17.0%	2 7.7%	1 4.5%	1 11.1%	37 15.7%	
あまり利用しなかった(半年に2回以下)	26 39.4%	21 35.0%	26 49.1%	11 42.3%	10 45.5%	3 33.3%	97 41.1%	
全く利用しなかった	25 37.9%	26 43.3%	18 34.0%	11 42.3%	10 45.5%	4 44.4%	94 39.8%	
過去6カ月間に、大阪にある有料のハッデン場にどのくらい行きましたか？								
よく利用した(毎週1回以上)	4 6.1%	1 1.7%	0 0.0%	5 19.2%	3 13.6%	1 11.1%	14 5.9%	0.02
まあまあ利用した	14 21.2%	20 33.3%	18 34.0%	6 23.1%	8 36.4%	1 11.1%	67 28.4%	
あまり利用しなかった(半年に2回以下)	17 25.8%	15 25.0%	11 20.8%	4 15.4%	0 0.0%	4 44.4%	51 21.6%	
全く利用しなかった	31 47.0%	24 40.0%	24 45.3%	11 42.3%	11 50.0%	3 33.3%	104 44.1%	
過去6カ月間に、親や兄弟姉妹などの家族とHIVやエイズについて話したことがありますか？								
ある	8 12.1%	6 10.0%	4 7.5%	2 7.7%	2 9.1%	0 0.0%	22 9.3%	0.83
ない	53 80.3%	47 78.3%	43 81.1%	20 76.9%	20 90.9%	8 88.9%	191 80.9%	
家族はいない	5 7.6%	7 11.7%	6 11.3%	4 15.4%	0 0.0%	1 11.1%	23 9.7%	
過去6カ月間に、彼氏や恋人とHIVやエイズについて話したことがありますか？								
ある	19 28.8%	15 25.0%	10 18.9%	1 3.8%	4 18.2%	0 0.0%	49 20.8%	0.13
ない	22 33.3%	23 38.3%	26 49.1%	12 46.2%	13 59.1%	5 55.6%	101 42.8%	
恋人はいなかった	25 37.9%	22 36.7%	17 32.1%	13 50.0%	5 22.7%	4 44.4%	86 36.4%	
過去6カ月間に、友達や知り合いとHIVやエイズについて話したことがありますか？								
ある	33 50.0%	28 46.7%	25 47.2%	11 42.3%	6 27.3%	5 55.6%	108 45.8%	0.74
ない	29 43.9%	28 46.7%	26 49.1%	12 46.2%	15 68.2%	3 33.3%	113 47.9%	
友達はいなかった	4 6.1%	4 6.7%	2 3.8%	3 11.5%	1 4.5%	1 11.1%	15 6.4%	

付表 11-3 【近畿地域 調査 2】年齢層別-過去 6 カ月間の性行動

	年齢層						合計 n=236	Pearson カイ2乗							
	24歳以下 n=66	25-29歳 n=60	30-34歳 n=53	35-39歳 n=26	40-44歳 n=22	45歳以上 n=9									
過去6ヵ月間を振り返ってコンドームについてどのように思っていましたか？															
意図なし	37	56.1%	30	50.0%	23	43.4%	16	61.5%	9	40.9%	3	33.3%	118	50.0%	0.42
意図あり	29	43.9%	30	50.0%	30	56.6%	10	38.5%	13	59.1%	6	66.7%	118	50.0%	
過去6ヵ月間に、コンドームをすぐに使えるよういつも身近に持っていましたか？															
いつも持っていた	29	43.9%	30	50.0%	30	56.6%	10	38.5%	13	59.1%	6	66.7%	118	50.0%	0.34
時々持っていた	18	27.3%	10	16.7%	15	28.3%	6	23.1%	5	22.7%	2	22.2%	56	23.7%	
持っていなかった	19	28.8%	20	33.3%	8	15.1%	10	38.5%	4	18.2%	1	11.1%	62	26.3%	
過去6ヵ月間に男性とアナルセックスをしましたか？															
はい	45	68.2%	44	73.3%	38	71.7%	19	73.1%	15	68.2%	4	44.4%	165	69.9%	0.46
いいえ	18	27.3%	13	21.7%	15	28.3%	7	26.9%	7	31.8%	5	55.6%	65	27.5%	
生涯なし	3	4.5%	3	5.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	2.5%	
過去6ヵ月間に全部で何人とアナルセックスをしましたか？*2															
1人	9	20.0%	5	11.4%	8	21.1%	3	15.8%	2	13.3%	0	0.0%	27	16.4%	0.86
2人	9	20.0%	12	27.3%	7	18.4%	4	21.1%	3	20.0%	1	25.0%	36	21.8%	
3人	6	13.3%	7	15.9%	10	26.3%	5	26.3%	1	6.7%	0	0.0%	29	17.6%	
4人	2	4.4%	1	2.3%	1	2.6%	0	0.0%	1	6.7%	0	0.0%	5	3.0%	
5人	3	6.7%	0	0.0%	1	2.6%	1	5.3%	0	0.0%	0	0.0%	5	3.0%	
6人以上	16	35.6%	19	43.2%	11	28.9%	6	31.6%	8	53.3%	3	75.0%	63	38.2%	
過去6ヵ月間にアナルセックスをどのくらいしましたか？*2															
月に1回程度以下	22	48.9%	26	59.1%	24	63.2%	13	68.4%	8	53.3%	2	50.0%	95	57.6%	0.18
月に2~3回	16	35.6%	10	22.7%	10	26.3%	2	10.5%	6	40.0%	0	0.0%	44	26.7%	
週1回程度	6	13.3%	7	15.9%	2	5.3%	4	21.1%	0	0.0%	2	50.0%	21	12.7%	
週2~4回	1	2.2%	0	0.0%	2	5.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.8%	
週5回以上	0	0.0%	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%	0	0.0%	2	1.2%	
過去6ヵ月間に、使用したものはありますか？(複数回答)*2															
水溶性ローション(潤滑剤)	43	95.6%	44	100.0%	36	94.7%	19	100.0%	14	93.3%	4	100.0%	160	97.0%	0.59
ハンドクリーム	1	2.2%	2	4.5%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	2.4%	0.88
ぼっき薬(バイアグラなど)	3	6.7%	2	4.5%	6	15.8%	3	15.8%	1	6.7%	2	50.0%	17	10.3%	<b>0.05</b>
ラッシュ	2	4.4%	0	0.0%	3	7.9%	2	10.5%	0	0.0%	0	0.0%	7	4.2%	0.32
5MEO-DIPT(ゴメオ、フォクシー)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-
スピード・エクスタシー(MDMAなど)	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	0.64
その他のセックスドラッグ	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	1	5.3%	1	6.7%	0	0.0%	3	1.8%	0.40
脱法ハーブ	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	0.64
静脈注射のドラッグ	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	0.64
違法ドラッグ(マリファナ・コカイン等)	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	0.64
いずれも使用していない	2	4.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%	0	0.0%	3	1.8%	0.34
過去6ヵ月間の併用品(再掲)*2															
なし	41	91.1%	42	95.5%	30	78.9%	15	78.9%	13	86.7%	2	50.0%	143	86.7%	0.08
ぼっき薬のみ	2	4.4%	2	4.5%	5	13.2%	2	10.5%	1	6.7%	2	50.0%	14	8.5%	
ドラッグ併用	2	4.4%	0	0.0%	3	7.9%	2	10.5%	1	6.7%	0	0.0%	8	4.8%	
過去6ヵ月間にアナルセックスをした相手(複数回答)*2															
彼氏や恋人	20	44.4%	15	34.1%	11	28.9%	3	15.8%	3	20.0%	0	0.0%	52	31.5%	0.12
友達やセフレ	22	48.9%	20	45.5%	22	57.9%	12	63.2%	7	46.7%	3	75.0%	86	52.1%	0.63
その場限り・その他	22	48.9%	25	56.8%	19	50.0%	11	57.9%	9	60.0%	2	50.0%	88	53.3%	0.95
過去6ヵ月間のコンドーム使用状況*2															
非常用	31	68.9%	24	54.5%	25	65.8%	9	47.4%	6	40.0%	2	50.0%	97	58.8%	0.28
常用	14	31.1%	20	45.5%	13	34.2%	10	52.6%	9	60.0%	2	50.0%	68	41.2%	
彼氏や恋人などの相手のコンドーム使用状況*3															
非常用	16	80.0%	8	53.3%	7	63.6%	0	0.0%	2	66.7%	0	0.0%	33	63.5%	0.08
常用	4	20.0%	7	46.7%	4	36.4%	3	100.0%	1	33.3%	0	0.0%	19	36.5%	
友達やセフレなどの相手とのコンドーム使用状況*4															
非常用	15	68.2%	14	70.0%	14	63.6%	8	66.7%	4	57.1%	1	33.3%	56	65.1%	0.87
常用	7	31.8%	6	30.0%	8	36.4%	4	33.3%	3	42.9%	2	66.7%	30	34.9%	
その場限りの相手とのコンドーム使用状況*5															
非常用	12	54.5%	10	40.0%	12	63.2%	5	45.5%	3	33.3%	1	50.0%	43	48.9%	0.62
常用	10	45.5%	15	60.0%	7	36.8%	6	54.5%	6	66.7%	1	50.0%	45	51.1%	

\*2 過去6ヵ月間に男性との性交経験のある人(n=165)を対象として分析したため総数が異なる。

\*3 過去6ヵ月間に彼氏や恋人などの相手との性交経験のある人(n=52)を対象として分析したため総数が異なる。

\*4 過去6ヵ月間に友達やセフレなどの相手との性交経験のある人(n=86)を対象として分析したため総数が異なる。

\*5 過去6ヵ月間にその場限りの相手との性交経験のある人(n=88)を対象として分析したため総数が異なる。

付表 11-4 【近畿地域 調査 2】年齢層別-CBO 活動の認知

	年齢層						合計 n=236	Pearson カイ2乗							
	24歳以下 n=66	25-29歳 n=60	30-34歳 n=53	35-39歳 n=26	40-44歳 n=22	45歳以上 n=9									
大阪のコミュニティセンターdista(ディスタ)を知っていますか？															
知っている	17	25.8%	25	41.7%	32	60.4%	17	65.4%	14	63.6%	5	55.6%	110	46.6%	<b>&lt;0.01</b>
知らない	49	74.2%	35	58.3%	21	39.6%	9	34.6%	8	36.4%	4	44.4%	126	53.4%	
合計	66	100.0%	60	100.0%	53	100.0%	26	100.0%	22	100.0%	9	100.0%	236	100.0%	
これまでにdista(ディスタ)に行ったことがありますか？															
過去6か月以内に行った	9	13.6%	0	0.0%	6	11.3%	3	11.5%	1	4.5%	1	11.1%	20	8.5%	<b>&lt;0.01</b>
過去6か月より以前に行った	4	6.1%	11	18.3%	12	22.6%	8	30.8%	6	27.3%	2	22.2%	43	18.2%	
行ったことはない	4	6.1%	14	23.3%	14	26.4%	6	23.1%	7	31.8%	2	22.2%	47	19.9%	
知らない	49	74.2%	35	58.3%	21	39.6%	9	34.6%	8	36.4%	4	44.4%	126	53.4%	
合計	66	100.0%	60	100.0%	53	100.0%	26	100.0%	22	100.0%	9	100.0%	236	100.0%	
distaにはどのような目的で行きましたか？															
待ち合わせ	5	38.5%	3	27.3%	7	38.9%	3	27.3%	1	14.3%	1	33.3%	20	31.7%	0.87
待ち合わせ・友達	5	38.5%	3	27.3%	8	44.4%	3	27.3%	1	14.3%	1	33.3%	21	33.3%	0.75
ゲイバーやイベントのことを知りたくて	3	23.1%	3	27.3%	2	11.1%	2	18.2%	2	28.6%	0	0.0%	12	19.0%	0.78
性感染症のことを知りたくて	1	7.7%	1	9.1%	2	11.1%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	5	7.9%	0.87
HIVやエイズのことを知りたくて	1	7.7%	2	18.2%	2	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	7.9%	0.60
友達を作るため	2	15.4%	2	18.2%	4	22.2%	1	9.1%	0	0.0%	1	33.3%	10	15.9%	0.70
相談をしたくて	1	7.7%	2	18.2%	3	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	9.5%	0.51
イベントや展覧会に来た	5	38.5%	4	36.4%	13	72.2%	5	45.5%	4	57.1%	1	33.3%	32	50.8%	0.35
その他	0	0.0%	0	0.0%	1	5.6%	2	18.2%	1	14.3%	2	66.7%	6	9.5%	<b>0.01</b>
合計	13	100.0%	11	100.0%	18	100.0%	11	100.0%	7	100.0%	3	100.0%	63	100.0%	
南界堂通信を知っていますか？															
知っている	4	6.1%	4	6.7%	8	15.1%	4	15.4%	4	18.2%	4	44.4%	28	11.9%	<b>0.01</b>
知らない	62	93.9%	56	93.3%	45	84.9%	22	84.6%	18	81.8%	5	55.6%	208	88.1%	
合計	66	100.0%	60	100.0%	53	100.0%	26	100.0%	22	100.0%	9	100.0%	236	100.0%	
これまでに南界堂通信を読んだことがありますか？															
過去6か月以内を読んだ	1	1.5%	2	3.3%	5	9.4%	2	7.7%	1	4.5%	3	33.3%	14	5.9%	<b>0.01</b>
過去6か月より以前に読んだ	0	0.0%	0	0.0%	1	1.9%	1	3.8%	2	9.1%	1	11.1%	5	2.1%	
読んだことはない	3	4.5%	2	3.3%	2	3.8%	1	3.8%	1	4.5%	0	0.0%	9	3.8%	
知らない	62	93.9%	56	93.3%	45	84.9%	22	84.6%	18	81.8%	5	55.6%	208	88.1%	
合計	66	100.0%	60	100.0%	53	100.0%	26	100.0%	22	100.0%	9	100.0%	236	100.0%	
南界堂通信を読んでみてどう思いましたか？															
とても面白かった	0	0.0%	0	0.0%	1	16.7%	1	33.3%	1	33.3%	0	0.0%	3	15.8%	0.79
まあまあ面白かった	0	0.0%	1	50.0%	3	50.0%	2	66.7%	2	66.7%	3	75.0%	11	57.9%	
どちらでもない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
あまり面白くなかった	1	100.0%	1	50.0%	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	4	21.1%	
全く面白くなかった	0	0.0%	0	0.0%	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.3%	
合計	1	100.0%	2	100.0%	6	100.0%	3	100.0%	3	100.0%	4	100.0%	19	100.0%	
ゲイコミュニティペーパーFight!!を知っていますか？															
知っている	4	6.1%	6	10.0%	2	3.8%	2	7.7%	3	13.6%	1	11.1%	18	7.6%	0.68
知らない	62	93.9%	54	90.0%	51	96.2%	24	92.3%	19	86.4%	8	88.9%	218	92.4%	
合計	66	100.0%	60	100.0%	53	100.0%	26	100.0%	22	100.0%	9	100.0%	236	100.0%	
これまでにゲイコミュニティペーパーFight!!を読んだことがありますか？															
過去6か月以内を読んだ	1	1.5%	0	0.0%	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.8%	0.63
過去6か月より以前に読んだ	1	1.5%	4	6.7%	0	0.0%	2	7.7%	2	9.1%	0	0.0%	9	3.8%	
読んだことはない	2	3.0%	2	3.3%	1	1.9%	0	0.0%	1	4.5%	1	11.1%	7	3.0%	
知らない	62	93.9%	54	90.0%	51	96.2%	24	92.3%	19	86.4%	8	88.9%	218	92.4%	
合計	66	100.0%	60	100.0%	53	100.0%	26	100.0%	22	100.0%	9	100.0%	236	100.0%	
「やる！プロジェクト」で配布されている資料を知っていますか？															
知っている	8	12.1%	6	10.0%	4	7.5%	1	3.8%	5	22.7%	0	0.0%	24	10.2%	0.25
知らない	58	87.9%	54	90.0%	49	92.5%	25	96.2%	17	77.3%	9	100.0%	212	89.8%	
合計	66	100.0%	60	100.0%	53	100.0%	26	100.0%	22	100.0%	9	100.0%	236	100.0%	
これまでに「やる！プロジェクト」で配布されている資料をもらったことがありますか？															
過去6か月以内にもらった	2	3.0%	1	1.7%	1	1.9%	0	0.0%	2	9.1%	0	0.0%	6	2.5%	0.56
過去6か月より以前にもらった	3	4.5%	2	3.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	2.1%	
もらったことはない	3	4.5%	3	5.0%	3	5.7%	1	3.8%	3	13.6%	0	0.0%	13	5.5%	
知らない	58	87.9%	54	90.0%	49	92.5%	25	96.2%	17	77.3%	9	100.0%	212	89.8%	
合計	66	100.0%	60	100.0%	53	100.0%	26	100.0%	22	100.0%	9	100.0%	236	100.0%	

付表 12-1 【中国・四国地域 調査3】年齢層別-居住地・基本属性・検査行動・性感染症既往

	年齢層										合計 n=213	Pearson カイ2乗			
	24歳以下 n=27		25-29歳 n=41		30-34歳 n=38		35-39歳 n=42		40-44歳 n=39				45歳以上 n=26		
<b>居住地</b>															
鳥取県	2	7.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.4%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.4%	<b>0.02</b>
島根県	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.8%	2	0.9%	
岡山県	3	11.1%	8	19.5%	4	10.5%	2	4.8%	3	7.7%	1	3.8%	21	9.9%	
広島県	1	3.7%	2	4.9%	2	5.3%	6	14.3%	1	2.6%	0	0.0%	12	5.6%	
山口県	1	3.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%	
徳島県	0	0.0%	3	7.3%	4	10.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.8%	8	3.8%	
香川県	10	37.0%	17	41.5%	11	28.9%	14	33.3%	10	25.6%	8	30.8%	70	32.9%	
愛媛県	10	37.0%	10	24.4%	12	31.6%	18	42.9%	23	59.0%	14	53.8%	87	40.8%	
高知県	0	0.0%	1	2.4%	4	10.5%	1	2.4%	2	5.1%	1	3.8%	9	4.2%	
<b>居住形態</b>															
1人暮らし	13	48.1%	19	46.3%	19	50.0%	21	50.0%	13	33.3%	6	23.1%	91	42.7%	0.44
同性のパートナー・友達	4	14.8%	5	12.2%	3	7.9%	4	9.5%	3	7.7%	4	15.4%	23	10.8%	
親・家族・異性・その他	10	37.0%	17	41.5%	16	42.1%	17	40.5%	23	59.0%	16	61.5%	99	46.5%	
<b>あなたの現在の職業として、もっとも近いのは次のどれですか？</b>															
正規雇用	3	11.1%	24	58.5%	26	68.4%	32	76.2%	29	74.4%	11	42.3%	125	58.7%	<b>&lt;0.01</b>
非正規雇用	1	3.7%	5	12.2%	3	7.9%	5	11.9%	2	5.1%	2	7.7%	18	8.5%	
パートタイマー	0	0.0%	2	4.9%	2	5.3%	1	2.4%	0	0.0%	0	0.0%	5	2.3%	
アルバイト	4	14.8%	3	7.3%	1	2.6%	0	0.0%	1	2.6%	1	3.8%	10	4.7%	
経営者	0	0.0%	0	0.0%	2	5.3%	2	4.8%	2	5.1%	6	23.1%	12	5.6%	
学生	18	66.7%	4	9.8%	2	5.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	24	11.3%	
その他	1	3.7%	3	7.3%	2	5.3%	2	4.8%	5	12.8%	6	23.1%	19	8.9%	
<b>あなたはスマートフォンを持っていますか？</b>															
持っている	27	100.0%	40	97.6%	37	97.4%	41	97.6%	32	82.1%	17	65.4%	194	91.1%	<b>&lt;0.01</b>
持っていない	0	0.0%	1	2.4%	1	2.6%	1	2.4%	7	17.9%	9	34.6%	19	8.9%	
<b>性的指向</b>															
ゲイ	14	51.9%	34	82.9%	30	78.9%	31	73.8%	26	66.7%	19	73.1%	154	72.3%	0.09
バイ	7	25.9%	6	14.6%	7	18.4%	8	19.0%	11	28.2%	5	19.2%	44	20.7%	
その他	6	22.2%	1	2.4%	1	2.6%	3	7.1%	2	5.1%	2	7.7%	15	7.0%	
<b>これまでにHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことはありますか？</b>															
ある	7	25.9%	23	56.1%	18	47.4%	30	71.4%	18	46.2%	15	57.7%	111	52.1%	<b>0.01</b>
ない	20	74.1%	18	43.9%	20	52.6%	12	28.6%	21	53.8%	11	42.3%	102	47.9%	
<b>これまでに何回HIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか？*1</b>															
1回だけ	3	42.9%	11	47.8%	6	33.3%	9	30.0%	4	22.2%	6	40.0%	39	35.1%	0.72
2回	3	42.9%	8	34.8%	4	22.2%	6	20.0%	4	22.2%	3	20.0%	28	25.2%	
3回	0	0.0%	1	4.3%	2	11.1%	3	10.0%	2	11.1%	2	13.3%	10	9.0%	
4回以上	1	14.3%	3	13.0%	6	33.3%	12	40.0%	8	44.4%	4	26.7%	34	30.6%	
<b>過去1年間にHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことはありますか？*1</b>															
ある	6	85.7%	8	34.8%	9	50.0%	16	53.3%	11	61.1%	6	40.0%	56	50.5%	0.80
ない	1	14.3%	13	56.5%	7	38.9%	11	36.7%	6	33.3%	7	46.7%	45	40.5%	
1年以上前に陽性と確認	0	0.0%	1	4.3%	2	11.1%	2	6.7%	1	5.6%	1	6.7%	7	6.3%	
答えたくない	0	0.0%	1	4.3%	0	0.0%	1	3.3%	0	0.0%	1	6.7%	3	2.7%	
<b>過去6ヶ月間にHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことはありますか？*1</b>															
ある	5	71.4%	6	26.1%	5	27.8%	12	40.0%	6	33.3%	4	26.7%	38	34.2%	0.71
ない	2	28.6%	15	65.2%	11	61.1%	14	46.7%	11	61.1%	9	60.0%	62	55.9%	
6ヵ月以上前に陽性と確認	0	0.0%	1	4.3%	2	11.1%	2	6.7%	1	5.6%	2	13.3%	8	7.2%	
答えたくない	0	0.0%	1	4.3%	0	0.0%	2	6.7%	0	0.0%	0	0.0%	3	2.7%	
<b>性感染症既往(複数回答)</b>															
梅毒	3	11.1%	2	4.9%	4	10.5%	3	7.1%	8	20.5%	6	23.1%	26	12.2%	0.13
A型肝炎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	4.8%	0	0.0%	1	3.8%	3	1.4%	
B型肝炎	0	0.0%	4	9.8%	3	7.9%	5	11.9%	3	7.7%	0	0.0%	15	7.0%	0.30
C型肝炎	0	0.0%	1	2.4%	1	2.6%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	3	1.4%	
クラミジア	0	0.0%	0	0.0%	3	7.9%	6	14.3%	4	10.3%	1	3.8%	14	6.6%	0.07
尖圭コンジローマ	0	0.0%	2	4.9%	2	5.3%	2	4.8%	5	12.8%	0	0.0%	11	5.2%	
淋病	1	3.7%	0	0.0%	2	5.3%	3	7.1%	8	20.5%	4	15.4%	18	8.5%	<b>0.01</b>
HIV感染症	0	0.0%	1	2.4%	2	5.3%	2	4.8%	2	5.1%	2	7.7%	9	4.2%	
赤痢アメーバ	0	0.0%	1	2.4%	1	2.6%	1	2.4%	1	2.6%	2	7.7%	6	2.8%	0.68
毛じらみ	1	3.7%	4	9.8%	5	13.2%	10	23.8%	7	17.9%	10	38.5%	37	17.4%	
性器ヘルペス	0	0.0%	0	0.0%	2	5.3%	1	2.4%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.4%	0.28
その他	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	2	0.9%	
いずれもない	24	88.9%	31	75.6%	26	68.4%	24	57.1%	21	53.8%	14	53.8%	140	65.7%	<b>0.02</b>

\*1 生涯にHIV抗体検査受検経験のある人(n=111)を対象として分析したため総数が異なる。

付表 12-2 【中国・四国地域 調査3】年齢層別-過去6カ月間の商業施設利用、過去6カ月間の対話経験

	年齢層						合計 n=213	Pearson カイ2乗
	24歳以下 n=27	25-29歳 n=41	30-34歳 n=38	35-39歳 n=42	40-44歳 n=39	45歳以上 n=26		
過去6カ月間に、出会い系サイト/掲示板をどのくらい利用しましたか？								
よく利用した(毎週1回以上)	6 22.2%	9 22.0%	7 18.4%	7 16.7%	11 28.2%	6 23.1%	46 21.6%	0.73
まあまあ利用した	7 25.9%	7 17.1%	12 31.6%	13 31.0%	9 23.1%	11 42.3%	59 27.7%	
あまり利用しなかった(半年に2回以下)	7 25.9%	12 29.3%	6 15.8%	10 23.8%	11 28.2%	3 11.5%	49 23.0%	
全く利用しなかった	7 25.9%	13 31.7%	13 34.2%	12 28.6%	8 20.5%	6 23.1%	59 27.7%	
過去6カ月間に、位置情報のあるゲイ向けアプリ(GrindrやJack'd等)をどのくらい利用しましたか？								
よく利用した(毎週1回以上)	13 48.1%	28 68.3%	18 47.4%	25 59.5%	19 48.7%	9 34.6%	112 52.6%	0.11
まあまあ利用した	2 7.4%	4 9.8%	10 26.3%	5 11.9%	8 20.5%	4 15.4%	33 15.5%	
あまり利用しなかった(半年に2回以下)	1 3.7%	5 12.2%	3 7.9%	4 9.5%	3 7.7%	3 11.5%	19 8.9%	
全く利用しなかった	11 40.7%	4 9.8%	7 18.4%	8 19.0%	9 23.1%	10 38.5%	49 23.0%	
過去6カ月間に、掲示板やゲイ向けアプリで出会った相手とセックス(キスやフェラチオ、アナルセックス等)をしたことがありますか。								
ある	17 63.0%	22 53.7%	24 63.2%	27 64.3%	25 64.1%	20 76.9%	135 63.4%	0.59
ない	10 37.0%	19 46.3%	14 36.8%	15 35.7%	14 35.9%	6 23.1%	78 36.6%	
過去6カ月間に、大阪にあるゲイバーにどのくらい行きましたか？								
よく利用した(毎週1回以上)	0 0.0%	1 2.4%	0 0.0%	4 9.5%	0 0.0%	1 3.8%	6 2.8%	0.09
まあまあ利用した	1 3.7%	5 12.2%	4 10.5%	1 2.4%	3 7.7%	0 0.0%	14 6.6%	
あまり利用しなかった(半年に2回以下)	2 7.4%	8 19.5%	5 13.2%	11 26.2%	7 17.9%	7 26.9%	40 18.8%	
全く利用しなかった	24 88.9%	27 65.9%	29 76.3%	26 61.9%	29 74.4%	18 69.2%	153 71.8%	
過去6カ月間に、大阪のゲイナイトにどのくらい行きましたか？								
よく利用した(毎週1回以上)	0 0.0%	1 2.4%	0 0.0%	3 7.1%	0 0.0%	1 3.8%	5 2.3%	0.07
まあまあ利用した	0 0.0%	3 7.3%	1 2.6%	2 4.8%	3 7.7%	0 0.0%	9 4.2%	
あまり利用しなかった(半年に2回以下)	1 3.7%	0 0.0%	6 15.8%	5 11.9%	1 2.6%	1 3.8%	14 6.6%	
全く利用しなかった	26 96.3%	37 90.2%	31 81.6%	32 76.2%	35 89.7%	24 92.3%	185 86.9%	
過去6カ月間に、大阪にある有料のハッテン場にどのくらい行きましたか？								
よく利用した(毎週1回以上)	0 0.0%	1 2.4%	0 0.0%	2 4.8%	0 0.0%	1 3.8%	4 1.9%	0.61
まあまあ利用した	0 0.0%	3 7.3%	2 5.3%	3 7.1%	1 2.6%	0 0.0%	9 4.2%	
あまり利用しなかった(半年に2回以下)	2 7.4%	3 7.3%	4 10.5%	7 16.7%	3 7.7%	4 15.4%	23 10.8%	
全く利用しなかった	25 92.6%	34 82.9%	32 84.2%	30 71.4%	35 89.7%	21 80.8%	177 83.1%	
過去6カ月間に、親や兄弟姉妹などの家族とHIVやエイズについて話したことがありますか？								
ある	0 0.0%	7 17.1%	1 2.6%	9 21.4%	3 7.7%	0 0.0%	20 9.4%	<0.01
ない	19 70.4%	31 75.6%	33 86.8%	28 66.7%	33 84.6%	21 80.8%	165 77.5%	
家族はいない	8 29.6%	3 7.3%	4 10.5%	5 11.9%	3 7.7%	5 19.2%	28 13.1%	
過去6カ月間に、彼氏や恋人とHIVやエイズについて話したことがありますか？								
ある	5 18.5%	14 34.1%	7 18.4%	18 42.9%	7 17.9%	9 34.6%	60 28.2%	0.01
ない	12 44.4%	15 36.6%	23 60.5%	10 23.8%	25 64.1%	13 50.0%	98 46.0%	
恋人はいなかった	10 37.0%	12 29.3%	8 21.1%	14 33.3%	7 17.9%	4 15.4%	55 25.8%	
過去6カ月間に、友達や知り合いとHIVやエイズについて話したことがありますか？								
ある	12 44.4%	20 48.8%	12 31.6%	26 61.9%	15 38.5%	11 42.3%	96 45.1%	0.01
ない	12 44.4%	21 51.2%	26 68.4%	15 35.7%	24 61.5%	15 57.7%	113 53.1%	
友達はいなかった	3 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	4 1.9%	

付表 12-3 【中国・四国地域 調査3】年齢層別-過去6ヵ月間の性行動

	年齢層						合計 n=213	Pearson カイ2乗							
	24歳以下 n=27	25-29歳 n=41	30-34歳 n=38	35-39歳 n=42	40-44歳 n=39	45歳以上 n=26									
過去6ヵ月間を振り返ってコンドームについてどのように思っていましたか？															
意図なし	13	48.1%	15	36.6%	14	36.8%	13	31.0%	20	51.3%	13	50.0%	88	41.3%	0.36
意図あり	14	51.9%	26	63.4%	24	63.2%	29	69.0%	19	48.7%	13	50.0%	125	58.7%	
過去6ヵ月間に、コンドームをすぐに使えるよういつも身近に持っていましたか？															
いつも持っていた	10	37.0%	13	31.7%	18	47.4%	21	50.0%	15	38.5%	15	57.7%	92	43.2%	0.03
時々持っていた	3	11.1%	11	26.8%	7	18.4%	12	28.6%	16	41.0%	6	23.1%	55	25.8%	
持っていなかった	14	51.9%	17	41.5%	13	34.2%	9	21.4%	8	20.5%	5	19.2%	66	31.0%	
過去6ヵ月間に男性とアナルセックスをしましたか？															
はい	14	51.9%	24	58.5%	25	65.8%	26	61.9%	26	66.7%	18	69.2%	133	62.4%	0.01
いいえ	8	29.6%	17	41.5%	12	31.6%	16	38.1%	9	23.1%	8	30.8%	70	32.9%	
生涯なし	5	18.5%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	4	10.3%	0	0.0%	10	4.7%	
過去6ヵ月間に全部で何人とアナルセックスをしましたか？*2															
1人	6	42.9%	9	37.5%	10	40.0%	11	42.3%	10	38.5%	4	22.2%	50	37.6%	0.90
2人	1	7.1%	3	12.5%	6	24.0%	3	11.5%	5	19.2%	5	27.8%	23	17.3%	
3人	4	28.6%	7	29.2%	4	16.0%	4	15.4%	7	26.9%	5	27.8%	31	23.3%	
4人	0	0.0%	3	12.5%	2	8.0%	2	7.7%	2	7.7%	1	5.6%	10	7.5%	
5人	0	0.0%	1	4.2%	1	4.0%	2	7.7%	0	0.0%	0	0.0%	4	3.0%	
6人以上	3	21.4%	1	4.2%	2	8.0%	4	15.4%	2	7.7%	3	16.7%	15	11.3%	
過去6ヵ月間にアナルセックスをどのくらいしましたか？*2															
月に1回程度以下	9	64.3%	13	54.2%	18	72.0%	12	46.2%	16	61.5%	10	55.6%	78	58.6%	0.64
月に2~3回	3	21.4%	6	25.0%	4	16.0%	7	26.9%	7	26.9%	5	27.8%	32	24.1%	
週1回程度	1	7.1%	5	20.8%	2	8.0%	5	19.2%	0	0.0%	3	16.7%	16	12.0%	
週2~4回	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.8%	2	7.7%	0	0.0%	3	2.3%	
週5回以上	1	7.1%	0	0.0%	1	4.0%	1	3.8%	1	3.8%	0	0.0%	4	3.0%	
過去6ヵ月間に、使用したものはありますか？(複数回答)*2															
水溶性ローション(潤滑剤)	14	100.0%	24	100.0%	25	100.0%	23	88.5%	26	100.0%	18	100.0%	130	97.7%	0.03
ハンドクリーム	0	0.0%	1	4.2%	1	4.0%	0	0.0%	1	3.8%	0	0.0%	3	2.3%	
ぼっき薬(バイアグラなど)	2	14.3%	0	0.0%	3	12.0%	3	11.5%	5	19.2%	3	16.7%	16	12.0%	0.42
ラッシュ	1	7.1%	1	4.2%	1	4.0%	2	7.7%	1	3.8%	0	0.0%	6	4.5%	
5MEO-DIPT(ゴメオ、フォクシー)	1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.8%	1	3.8%	0	0.0%	3	2.3%	0.60
スピード・エクスタシー(MDMAなど)	1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.8%	1	3.8%	0	0.0%	3	2.3%	
その他のセックスドラッグ	2	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.8%	4	15.4%	0	0.0%	7	5.3%	0.04
脱法ハーブ	1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.8%	1	3.8%	0	0.0%	3	2.3%	
静脈注射のドラッグ	1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.8%	1	3.8%	0	0.0%	3	2.3%	0.60
違法ドラッグ(マリファナ・コカイン等)	1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.8%	1	3.8%	0	0.0%	3	2.3%	
いずれも使用していない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	11.5%	0	0.0%	0	0.0%	3	2.3%	0.03
過去6ヵ月間の併用品(再掲)*2															
なし	11	78.6%	23	95.8%	21	84.0%	22	84.6%	19	73.1%	15	83.3%	111	83.5%	0.42
ぼっき薬のみ	1	7.1%	0	0.0%	3	12.0%	2	7.7%	3	11.5%	3	16.7%	12	9.0%	
ドラッグ併用	2	14.3%	1	4.2%	1	4.0%	2	7.7%	4	15.4%	0	0.0%	10	7.5%	
過去6ヵ月間にアナルセックスをした相手(複数回答)*2															
彼氏や恋人	4	28.6%	13	54.2%	10	40.0%	10	38.5%	11	42.3%	4	22.2%	52	39.1%	0.39
友達やセクフレ	8	57.1%	9	37.5%	12	48.0%	14	53.8%	14	53.8%	7	38.9%	64	48.1%	
その場限り・その他	5	35.7%	8	33.3%	9	36.0%	8	30.8%	8	30.8%	10	55.6%	48	36.1%	
過去6ヵ月間のコンドーム使用状況*2															
非常用	7	50.0%	13	54.2%	12	48.0%	14	53.8%	19	73.1%	10	55.6%	75	56.4%	0.62
常用	7	50.0%	11	45.8%	13	52.0%	11	42.3%	7	26.9%	8	44.4%	57	42.9%	
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	
彼氏や恋人などの相手のコンドーム使用状況*3															
非常用	4	100.0%	7	53.8%	5	50.0%	7	70.0%	7	63.6%	4	100.0%	34	65.4%	0.29
常用	0	0.0%	6	46.2%	5	50.0%	3	30.0%	4	36.4%	0	0.0%	18	34.6%	
友達やセクフレなどの相手とのコンドーム使用状況*4															
非常用	3	37.5%	4	44.4%	4	33.3%	6	42.9%	8	57.1%	3	42.9%	28	43.8%	0.89
常用	5	62.5%	5	55.6%	8	66.7%	8	57.1%	6	42.9%	4	57.1%	36	56.3%	
その場限りの相手とのコンドーム使用状況*5															
非常用	2	40.0%	4	50.0%	5	55.6%	4	50.0%	6	75.0%	5	50.0%	26	54.2%	0.85
常用	3	60.0%	4	50.0%	4	44.4%	4	50.0%	2	25.0%	5	50.0%	22	45.8%	

\*2 過去6ヵ月間に男性との性交経験のある人(n=133)を対象として分析したため総数が異なる。

\*3 過去6ヵ月間に彼氏や恋人などの相手との性交経験のある人(n=52)を対象として分析したため総数が異なる。

\*4 過去6ヵ月間に友達やセクフレなどの相手との性交経験のある人(n=64)を対象として分析したため総数が異なる。

\*5 過去6ヵ月間にその場限りの相手との性交経験のある人(n=48)を対象として分析したため総数が異なる。

付表 12-4 【中国・四国地域 調査3】年齢層別-CBO 活動の認知

	年齢層						合計 n=213	Pearson カイ2乗
	24歳以下 n=27	25-29歳 n=41	30-34歳 n=38	35-39歳 n=42	40-44歳 n=39	45歳以上 n=26		
大阪のコミュニティセンターdista(ディスタ)を知っていますか？								
知っている	3 11.1%	8 19.5%	8 21.1%	3 7.1%	7 17.9%	5 19.2%	34 16.0%	0.50
知らない	24 88.9%	33 80.5%	30 78.9%	39 92.9%	32 82.1%	21 80.8%	179 84.0%	
合計	27 100.0%	41 100.0%	38 100.0%	42 100.0%	39 100.0%	26 100.0%	213 100.0%	
これまでにdista(ディスタ)に行ったことがありますか？								
過去6か月以内に行った	0 0.0%	3 7.3%	1 2.6%	1 2.4%	1 2.6%	0 0.0%	6 2.8%	0.31
過去6か月より以前に行った	0 0.0%	2 4.9%	5 13.2%	2 4.8%	2 5.1%	1 3.8%	12 5.6%	
行ったことはない	3 11.1%	3 7.3%	2 5.3%	0 0.0%	4 10.3%	4 15.4%	16 7.5%	
知らない	24 88.9%	33 80.5%	30 78.9%	39 92.9%	32 82.1%	21 80.8%	179 84.0%	
合計	27 100.0%	41 100.0%	38 100.0%	42 100.0%	39 100.0%	26 100.0%	213 100.0%	
distaにはどのような目的で行きましたか？								
待ち合わせ	-	-	-	-	-	-	-	
待ち合わせ・友達	-	-	-	-	-	-	-	
デイベーやイベントのことを知りたくて	-	-	-	-	-	-	-	
性感染症のことを知りたくて	-	-	-	-	-	-	-	
HIVやエイスのことを知りたくて	-	-	-	-	-	-	-	
友達を作るため	-	-	-	-	-	-	-	
相談をしたくて	-	-	-	-	-	-	-	
イベントや展覧会に来た	-	-	-	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	-	-	-	
合計	-	-	-	-	-	-	-	
南界堂通信を知っていますか？								
知っている	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.4%	1 2.6%	1 3.8%	3 1.4%	0.66
知らない	27 100.0%	41 100.0%	38 100.0%	41 97.6%	38 97.4%	25 96.2%	210 98.6%	
合計	27 100.0%	41 100.0%	38 100.0%	42 100.0%	39 100.0%	26 100.0%	213 100.0%	
これまでに南界堂通信を読んだことがありますか？								
過去6か月以内を読んだ	-	-	-	-	-	-	-	
過去6か月より以前を読んだ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.4%	1 2.6%	0 0.0%	2 0.9%	0.40
読んだことはない	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%	1 0.5%	
知らない	27 100.0%	41 100.0%	38 100.0%	41 97.6%	38 97.4%	25 96.2%	210 98.6%	
合計	27 100.0%	41 100.0%	38 100.0%	42 100.0%	39 100.0%	26 100.0%	213 100.0%	
南界堂通信を読んでみてどう思いましたか？								
とても面白かった	-	-	-	-	-	-	-	
まあまあ面白かった	-	-	-	-	-	-	-	
どちらでもない	-	-	-	-	-	-	-	
あまり面白くなかった	-	-	-	-	-	-	-	
全く面白くなかった	-	-	-	-	-	-	-	
合計	-	-	-	-	-	-	-	
ゲイコミュニティペーパーFight!!を知っていますか？								
知っている	7 25.9%	27 65.9%	22 57.9%	28 66.7%	20 51.3%	10 38.5%	114 53.5%	0.01
知らない	20 74.1%	14 34.1%	16 42.1%	14 33.3%	19 48.7%	16 61.5%	99 46.5%	
合計	27 100.0%	41 100.0%	38 100.0%	42 100.0%	39 100.0%	26 100.0%	213 100.0%	
これまでにゲイコミュニティペーパーFight!!を読んだことがありますか？								
過去6か月以内を読んだ	4 14.8%	18 43.9%	12 31.6%	22 52.4%	13 33.3%	4 15.4%	73 34.3%	0.01
過去6か月より以前を読んだ	1 3.7%	2 4.9%	4 10.5%	5 11.9%	6 15.4%	2 7.7%	20 9.4%	
読んだことはない	2 7.4%	7 17.1%	6 15.8%	1 2.4%	1 2.6%	4 15.4%	21 9.9%	
知らない	20 74.1%	14 34.1%	16 42.1%	14 33.3%	19 48.7%	16 61.5%	99 46.5%	
合計	27 100.0%	41 100.0%	38 100.0%	42 100.0%	39 100.0%	26 100.0%	213 100.0%	
「やる！プロジェクト」で配布されている資料を知っていますか？								
知っている	2 7.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.4%	1 2.6%	1 3.8%	5 2.3%	0.39
知らない	25 92.6%	41 100.0%	38 100.0%	41 97.6%	38 97.4%	25 96.2%	208 97.7%	
合計	27 100.0%	41 100.0%	38 100.0%	42 100.0%	39 100.0%	26 100.0%	213 100.0%	
これまでに「やる！プロジェクト」で配布されている資料をもらったことがありますか？								
過去6か月以内にもらった	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.9%	0.44
過去6か月より以前にもらった	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.6%	0 0.0%	1 0.5%	
もらったことはない	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%	2 0.9%	
知らない	25 92.6%	41 100.0%	38 100.0%	41 97.6%	38 97.4%	25 96.2%	208 97.7%	
合計	27 100.0%	41 100.0%	38 100.0%	42 100.0%	39 100.0%	26 100.0%	213 100.0%	



付表 13 大阪府・大阪市・chotCAST なんば別 性的指向 3 群の推移

	2011年	2012年												2013年												2014年												計	
		12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		10月
大阪市	N	316	216	226	201	174	144	106	111	217	196	173	178	184	2126	153	188	243	234	260	223	221	192	214	225	247	318	2718	256	237	246	287	264	255	257	239	196	2237	
	MSM以外の男性	137	91	98	79	76	62	47	54	97	95	84	79	76	938	77	88	120	118	123	115	102	84	93	117	115	141	1293	128	123	101	138	122	122	128	112	98	1072	
		43.4%	42.1%	43.4%	39.3%	43.7%	43.1%	44.3%	48.6%	44.7%	48.5%	48.6%	44.4%	41.3%	44.1%	50.3%	46.8%	49.4%	50.4%	47.3%	51.6%	46.2%	43.8%	43.5%	52.0%	46.6%	44.3%	47.6%	50.0%	51.9%	41.1%	48.1%	46.2%	47.8%	49.8%	46.9%	50.0%	47.9%	
	女性	120	79	84	86	62	49	35	34	76	68	54	59	68	754	40	66	77	79	83	66	78	59	56	64	73	110	851	79	64	89	72	71	67	67	66	54	629	
		38.0%	36.6%	37.2%	42.8%	35.6%	34.0%	33.0%	30.6%	35.0%	34.7%	31.2%	33.1%	37.0%	35.5%	26.1%	35.1%	31.7%	33.8%	31.9%	29.6%	35.3%	30.7%	26.2%	28.4%	29.6%	34.6%	31.3%	30.9%	27.0%	36.2%	25.1%	26.9%	26.3%	26.1%	27.6%	27.6%	28.1%	
	MSM	47	35	39	30	30	26	19	18	36	26	32	33	34	358	30	30	37	33	42	39	33	42	50	36	37	45	454	42	34	37	49	54	44	43	41	33	377	
		14.9%	16.2%	17.3%	14.9%	17.2%	18.1%	17.9%	16.2%	16.6%	13.3%	18.5%	18.5%	18.5%	16.8%	19.6%	16.0%	15.2%	14.1%	16.2%	17.5%	14.9%	21.9%	23.4%	16.0%	15.0%	14.2%	16.7%	16.4%	14.3%	15.0%	17.1%	20.5%	17.3%	16.7%	17.2%	16.8%	16.9%	
	不明	12	11	5	6	6	7	5	5	8	7	3	7	6	76	6	4	9	4	12	3	8	7	15	8	22	22	120	7	16	19	28	17	22	19	20	11	159	
		3.8%	5.1%	2.2%	3.0%	3.4%	4.9%	4.7%	4.5%	3.7%	3.6%	1.7%	3.9%	3.3%	3.6%	3.9%	2.1%	3.7%	1.7%	4.6%	1.3%	3.6%	3.6%	7.0%	3.6%	8.9%	6.9%	4.4%	2.7%	6.8%	7.7%	9.8%	6.4%	8.6%	7.4%	8.4%	5.6%	7.1%	
chotCASTなんば	N	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	457	407	461	1325	402	396	468	526	469	614	517	515	566	594	492	723	6282	610	585	652	554	568	737	674	565	563	5508	
	MSM以外の男性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	231	209	239	679	227	202	246	253	245	306	252	249	300	288	238	410	3216	326	315	331	287	301	364	357	291	291	2863	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.5%	51.4%	51.8%	51.2%	56.5%	51.0%	52.6%	48.1%	52.2%	49.8%	48.7%	48.3%	53.0%	48.5%	48.4%	56.7%	51.2%	53.4%	53.8%	50.8%	51.8%	53.0%	49.4%	53.0%	51.5%	51.7%	52.0%	
	女性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	139	127	138	404	109	124	139	176	136	177	159	154	163	170	133	194	1834	166	159	191	125	167	215	175	172	172	1542	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30.4%	31.2%	29.9%	30.5%	27.1%	31.3%	29.7%	33.5%	29.0%	28.8%	30.8%	29.9%	28.8%	28.6%	27.0%	26.8%	29.2%	27.2%	27.2%	29.3%	22.6%	29.4%	29.2%	26.0%	30.4%	30.6%	28.0%	
	MSM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	76	58	65	199	58	62	75	88	86	120	99	103	82	108	90	107	1078	106	94	120	128	90	144	126	95	93	996	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.6%	14.3%	14.1%	15.0%	14.4%	15.7%	16.0%	16.7%	18.3%	19.5%	19.1%	20.0%	14.5%	18.2%	18.3%	14.8%	17.2%	17.4%	16.1%	18.4%	23.1%	15.8%	19.5%	18.7%	16.8%	16.5%	18.1%	
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	13	19	43	8	8	8	9	2	11	7	9	21	28	31	12	154	12	17	10	14	10	14	16	7	7	107	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.4%	3.2%	4.1%	3.2%	2.0%	2.0%	1.7%	1.7%	0.4%	1.8%	1.4%	1.7%	3.7%	4.7%	6.3%	1.7%	2.5%	2.0%	2.9%	1.5%	2.5%	1.8%	1.9%	2.4%	1.2%	1.2%	1.9%	
大阪府	N	未実施	282	306	308	233	253	308	278	293	251	274	280	247	3313	188	275	248	213	232	214	251	243	234	未実施	未実施	未実施	2098	300	269	259	203	260	266	217	232	213	2219	
	MSM以外の男性	-	155	173	163	131	143	177	142	164	141	155	153	139	1836	105	146	126	121	115	99	130	136	133	-	-	-	1111	183	169	144	127	155	129	134	129	124	1294	
		-	55.0%	56.5%	52.9%	56.2%	56.5%	57.5%	51.1%	56.0%	56.2%	56.6%	54.6%	56.3%	55.4%	55.9%	53.1%	50.8%	56.8%	49.6%	46.3%	51.8%	56.0%	56.8%	-	-	-	53.0%	61.0%	62.8%	55.6%	62.6%	59.6%	48.5%	61.8%	55.6%	58.2%	58.3%	
	女性	-	101	104	119	77	78	108	111	100	86	97	97	80	1158	63	98	91	65	82	91	89	91	71	-	-	-	741	94	83	92	59	81	99	64	88	64	724	
		-	35.8%	34.0%	38.6%	33.0%	30.8%	35.1%	39.9%	34.1%	34.3%	35.4%	34.6%	32.4%	35.0%	33.5%	35.6%	36.7%	30.5%	35.3%	42.5%	35.5%	37.4%	30.3%	-	-	-	35.3%	31.3%	30.9%	35.5%	29.1%	31.2%	37.2%	29.5%	37.9%	30.0%	32.6%	
	MSM	-	18	21	22	20	23	16	20	18	17	18	25	23	241	16	26	19	22	24	15	28	15	24	-	-	-	189	23	17	21	17	23	35	18	15	23	192	
		-	6.4%	6.9%	7.1%	8.6%	9.1%	5.2%	7.2%	6.1%	6.8%	6.6%	8.9%	9.3%	7.3%	8.5%	9.5%	7.7%	10.3%	10.3%	7.0%	11.2%	6.2%	10.3%	-	-	-	9.0%	7.7%	6.3%	8.1%	8.4%	8.8%	13.2%	8.3%	6.5%	10.8%	8.7%	
	不明	-	8	8	4	5	9	7	5	11	7	4	5	5	78	4	5	12	5	11	9	4	1	6	-	-	-	57	0	0	2	0	1	3	1	0	2	9	
		-	2.8%	2.6%	1.3%	2.1%	3.6%	2.3%	1.8%	3.8%	2.8%	1.5%	1.8%	2.0%	2.4%	2.1%	1.8%	4.8%	2.3%	4.7%	4.2%	1.6%	0.4%	2.6%	-	-	-	2.7%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.4%	1.1%	0.5%	0.0%	0.9%	0.4%	



付表 15-1 大阪府・大阪市・chotCAST なんば別 性的指向 3 群別分析 基本属性

	大阪市				chot CAST なんば				大阪府			
	MSM以外の男性 n=1445	女性 n=876	MSM n=495	合計 n=2816	MSM以外の男性 n=3799	女性 n=2039	MSM n=1301	合計 n=7139	MSM以外の男性 n=1294	女性 n=724	MSM n=192	合計 n=2210
<b>年齢層</b>												
19歳以下	14 1.0%	43 4.9%	11 2.2%	68 2.4%	53 1.4%	86 4.2%	53 4.1%	192 2.7%	27 2.1%	61 8.4%	8 4.2%	96 4.3%
20-29歳	371 25.7%	424 48.4%	130 26.3%	925 32.8%	1393 36.7%	1173 57.5%	580 44.6%	3146 44.1%	415 32.1%	355 49.0%	85 44.3%	855 38.7%
30-39歳	444 30.7%	214 24.4%	154 31.1%	812 28.8%	1264 33.3%	564 27.7%	354 27.2%	2182 30.6%	369 28.5%	150 20.7%	46 24.0%	565 25.6%
40-49歳	306 21.2%	123 14.0%	117 23.6%	546 19.4%	735 19.3%	153 7.5%	210 16.1%	1098 15.4%	187 14.5%	79 10.9%	25 13.0%	291 13.2%
50-59歳	149 10.3%	42 4.8%	38 7.7%	229 8.1%	222 5.8%	22 1.1%	62 4.8%	306 4.3%	92 7.1%	11 1.5%	6 3.1%	109 4.9%
60歳以上	115 8.0%	10 1.1%	33 6.7%	158 5.6%	75 2.0%	10 0.5%	22 1.7%	107 1.5%	108 8.3%	8 1.1%	8 4.2%	124 5.6%
無回答	46 3.2%	20 2.3%	12 2.4%	78 2.8%	57 1.5%	31 1.5%	20 1.5%	108 1.5%	96 7.4%	60 8.3%	14 7.3%	170 7.7%
<b>居住ブロック</b>												
北海道ブロック					1 0.0%	1 0.0%	1 0.1%	3 0.0%				
東北ブロック	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%	1 0.0%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.0%				
関東ブロック	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.0%	8 0.2%	1 0.0%	5 0.4%	14 0.2%	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.0%
甲信越ブロック					0 0.0%	2 0.1%	1 0.1%	3 0.0%				
北陸ブロック					2 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.5%	1 0.0%
東海ブロック	2 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.1%	9 0.2%	1 0.0%	7 0.5%	17 0.2%				
近畿ブロック	1350 93.4%	839 95.8%	468 94.5%	2657 94.4%	3510 92.4%	1903 93.3%	1188 91.3%	6601 92.5%	1222 94.4%	695 96.0%	186 96.9%	2103 95.2%
中国ブロック	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%	1 0.0%	4 0.1%	3 0.1%	3 0.2%	10 0.1%	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.0%
四国ブロック					5 0.1%	0 0.0%	5 0.4%	10 0.1%	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.0%
九州ブロック	0 0.0%	0 0.0%	1 0.2%	1 0.0%	5 0.1%	1 0.0%	2 0.2%	8 0.1%				
沖縄ブロック					1 0.0%	0 0.0%	2 0.2%	3 0.0%				
その他	2 0.1%	1 0.1%	1 0.2%	4 0.1%	3 0.1%	2 0.1%	3 0.2%	8 0.1%	1 0.1%	2 0.3%	0 0.0%	3 0.1%
不明/無回答	90 6.2%	34 3.9%	25 5.1%	149 5.3%	250 6.6%	125 6.1%	84 6.5%	459 6.4%	68 5.3%	27 3.7%	5 2.6%	100 4.5%
<b>対象地域</b>												
大阪府内	1285 88.9%	798 91.1%	437 88.3%	2520 89.5%	3157 83.1%	1737 85.2%	1054 81.0%	5948 83.3%	1186 91.7%	683 94.3%	174 90.6%	2043 92.4%
それ以外(無回答含む)	160 11.1%	78 8.9%	58 11.7%	296 10.5%	642 16.9%	302 14.8%	247 19.0%	1191 16.7%	108 8.3%	41 5.7%	18 9.4%	167 7.6%
<b>あなたの出身国はどこですか？</b>												
日本	1420 98.3%	863 98.5%	484 97.8%	2767 98.3%	3722 98.0%	2002 98.2%	1242 95.5%	6966 97.6%				
海外	24 1.7%	11 1.3%	11 2.2%	46 1.6%	70 1.8%	33 1.6%	57 4.4%	160 2.2%				
無回答	1 0.1%	2 0.2%	0 0.0%	3 0.1%	7 0.2%	4 0.2%	2 0.2%	13 0.2%				
<b>今回を除いて、これまでにHIV検査(エイズ検査)を受けたことがありますか？</b>												
ある	691 47.8%	398 45.4%	376 76.0%	1465 52.0%	1501 39.5%	752 36.9%	908 69.8%	3161 44.3%	495 38.3%	257 35.5%	125 65.1%	877 39.7%
ない(今回初めて)	748 51.8%	477 54.5%	119 24.0%	1344 47.7%	2259 59.5%	1279 62.7%	387 29.7%	3925 55.0%	795 61.4%	465 64.2%	67 34.9%	1327 60.0%
無回答	6 0.4%	1 0.1%	0 0.0%	7 0.2%	39 1.0%	8 0.4%	6 0.5%	53 0.7%	4 0.3%	2 0.3%	0 0.0%	6 0.3%
<b>今回はどなたと来られましたか？</b>												
1人で来た	1326 91.8%	708 80.8%	457 92.3%	2491 88.5%	2470 65.0%	1039 51.0%	779 59.9%	4288 60.1%	1173 90.6%	562 77.6%	172 89.6%	1907 86.3%
家族・恋人	50 3.5%	70 8.0%	12 2.4%	132 4.7%	238 6.3%	277 13.6%	84 6.5%	599 8.4%	73 5.6%	98 13.5%	7 3.6%	178 8.1%
友達・その他	66 4.6%	97 11.1%	26 5.3%	189 6.7%	117 3.1%	210 10.3%	117 9.0%	444 6.2%	47 3.6%	63 8.7%	13 6.8%	123 5.6%
無回答	3 0.2%	1 0.1%	0 0.0%	4 0.1%	974 25.6%	513 25.2%	321 24.7%	1808 25.3%	1 0.1%	1 0.1%	0 0.0%	2 0.1%
<b>今回、あなたは自分で検査を受けようと思いましたが？</b>												
自分で受けようと思った	1268 87.8%	737 84.1%	452 91.3%	2457 87.3%	3295 86.7%	1677 82.2%	1142 87.8%	6114 85.6%	1145 88.5%	596 82.3%	171 89.1%	1912 86.5%
勧められた、または誘われた	170 11.8%	138 15.8%	41 8.3%	349 12.4%	500 13.2%	355 17.4%	158 12.1%	1013 14.2%	145 11.2%	126 17.4%	20 10.4%	291 13.2%
無回答	7 0.5%	1 0.1%	2 0.4%	10 0.4%	4 0.1%	7 0.3%	1 0.1%	12 0.2%	4 0.3%	2 0.3%	1 0.5%	7 0.3%
<b>NGO資料</b>												
見ていない	1400 96.9%	840 95.9%	377 76.2%	2617 92.9%	2995 78.8%	1599 78.4%	828 63.6%	5422 75.9%	1272 98.7%	705 97.6%	169 88.0%	2146 97.4%
見た	45 3.1%	36 4.1%	118 23.8%	199 7.1%	804 21.2%	440 21.6%	473 36.4%	1717 24.1%	17 1.3%	17 2.4%	23 12.0%	57 2.6%

\*項目なしを除いたため母数が異なる

付表 15-2 大阪府・大阪市・chotCAST なんば別 性的指向 3 群別分析 知識

	大阪市				chot CAST なんば				大阪府			
	MSM以外の男性	女性	MSM	合計	MSM以外の男性	女性	MSM	合計	MSM以外の男性	女性	MSM	合計
	n=1445	n=876	n=495	n=2816	n=3799	n=2039	n=1301	n=7139	n=1294	n=724	n=192	n=2210
1)通常のHIV検査では、感染から2～3ヶ月経過しないと感染しているかどうか分からない。												
正しい	1135 78.5%	675 77.1%	434 87.7%	2244 79.7%	3367 88.6%	1802 88.4%	1201 92.3%	6370 89.2%				
誤り	104 7.2%	55 6.3%	22 4.4%	181 6.4%	200 5.3%	95 4.7%	60 4.6%	355 5.0%				
わからない	171 11.8%	115 13.1%	36 7.3%	322 11.4%	193 5.1%	125 6.1%	35 2.7%	353 4.9%				
無回答	35 2.4%	31 3.5%	3 0.6%	69 2.5%	39 1.0%	17 0.8%	5 0.4%	61 0.9%				
2)HIV即日検査や郵送検査キットでは、検査結果を確認するため病院などで再度検査が必要になる場合がある。												
正しい	935 64.7%	522 59.6%	367 74.1%	1824 64.8%	2830 74.5%	1471 72.1%	1047 80.5%	5348 74.9%				
誤り	93 6.4%	71 8.1%	23 4.6%	187 6.6%	282 7.4%	146 7.2%	77 5.9%	505 7.1%				
わからない	364 25.2%	248 28.3%	97 19.6%	709 25.2%	641 16.9%	398 19.5%	171 13.1%	1210 16.9%				
無回答	53 3.7%	35 4.0%	8 1.6%	96 3.4%	46 1.2%	24 1.2%	6 0.5%	76 1.1%				
3) 性感染症に感染していると、HIVに感染しやすくなる。												
正しい	936 64.8%	529 60.4%	357 72.1%	1822 64.7%	2610 68.7%	1288 63.2%	947 72.8%	4845 67.9%				
誤り	150 10.4%	105 12.0%	47 9.5%	302 10.7%	379 10.0%	227 11.1%	122 9.4%	728 10.2%				
わからない	306 21.2%	202 23.1%	82 16.6%	590 21.0%	752 19.8%	501 24.6%	221 17.0%	1474 20.6%				
無回答	53 3.7%	40 4.6%	9 1.8%	102 3.6%	58 1.5%	23 1.1%	11 0.8%	92 1.3%				
4)HIVに感染したら必ずエイズを発症する。												
正しい	173 12.0%	128 14.6%	63 12.7%	364 12.9%	506 13.3%	257 12.6%	152 11.7%	915 12.8%	233 18.0%	127 17.5%	39 20.3%	399 18.1%
誤り	943 65.3%	528 60.3%	362 73.1%	1833 65.1%	2600 68.4%	1331 65.3%	969 74.5%	4900 68.6%	670 51.8%	375 51.8%	119 62.0%	1164 52.7%
わからない	273 18.9%	174 19.9%	57 11.5%	504 17.9%	614 16.2%	415 20.4%	161 12.4%	1190 16.7%	252 19.5%	150 20.7%	24 12.5%	426 19.3%
無回答	56 3.9%	46 5.3%	13 2.6%	115 4.1%	79 2.1%	36 1.8%	19 1.5%	134 1.9%	139 10.7%	72 9.9%	10 5.2%	221 10.0%
5)HIV感染症は医療の進歩で、服薬を継続することでエイズ発症をコントロールできる病気となった。												
正しい	1102 76.3%	631 72.0%	425 85.9%	2158 76.6%	3164 83.3%	1615 79.2%	1158 89.0%	5937 83.2%	934 72.2%	521 72.0%	160 83.3%	1615 73.1%
誤り	71 4.9%	37 4.2%	11 2.2%	119 4.2%	133 3.5%	80 3.9%	30 2.3%	243 3.4%	47 3.6%	20 2.8%	5 2.6%	72 3.3%
わからない	218 15.1%	171 19.5%	50 10.1%	439 15.6%	447 11.8%	317 15.5%	104 8.0%	868 12.2%	176 13.6%	111 15.3%	17 8.9%	304 13.8%
無回答	54 3.7%	37 4.2%	9 1.8%	100 3.6%	55 1.4%	27 1.3%	9 0.7%	91 1.3%	137 10.6%	72 9.9%	10 5.2%	219 9.9%
6)HIV感染により免疫が低下すると、さまざまな感染症や悪性腫瘍（がん）にかかりやすくなる。												
正しい	1065 73.7%	601 68.6%	380 76.8%	2046 72.7%	3068 80.8%	1622 79.5%	1117 85.9%	5807 81.3%				
誤り	75 5.2%	38 4.3%	29 5.9%	142 5.0%	166 4.4%	66 3.2%	48 3.7%	280 3.9%				
わからない	252 17.4%	198 22.6%	80 16.2%	530 18.8%	512 13.5%	326 16.0%	129 9.9%	967 13.5%				
無回答	53 3.7%	39 4.5%	6 1.2%	98 3.5%	53 1.4%	25 1.2%	7 0.5%	85 1.2%				

付表 15-3 大阪府・大阪市・chotCAST なんば別 性的指向 3 群別分析 知識

	大阪市				chot CAST なんば				大阪府			
	MSM以外の男性	女性	MSM	合計	MSM以外の男性	女性	MSM	合計	MSM以外の男性	女性	MSM	合計
	n=1445	n=876	n=495	n=2816	n=3799	n=2039	n=1301	n=7139	n=1294	n=724	n=192	n=2210
7)現在のHIV感染症の主な感染経路は性的接触である。												
正しい	1144 79.2%	698 79.7%	421 85.1%	2263 80.4%	3107 81.8%	1689 82.8%	1136 87.3%	5932 83.1%	924 71.4%	511 70.6%	159 82.8%	1594 72.1%
誤り	125 8.7%	63 7.2%	38 7.7%	226 8.0%	349 9.2%	162 7.9%	83 6.4%	594 8.3%	134 10.4%	76 10.5%	16 8.3%	226 10.2%
わからない	120 8.3%	75 8.6%	28 5.7%	223 7.9%	279 7.3%	162 7.9%	68 5.2%	509 7.1%	94 7.3%	63 8.7%	6 3.1%	163 7.4%
無回答	56 3.9%	40 4.6%	8 1.6%	104 3.7%	64 1.7%	26 1.3%	14 1.1%	104 1.5%	142 11.0%	74 10.2%	11 5.7%	227 10.3%
8)HIV検査では、感染して症状が全くない場合でも、精液や膣分泌液には感染源となるウイルスが含まれている。												
正しい	1062 73.5%	620 70.8%	429 86.7%	2111 75.0%	3003 79.0%	1623 79.6%	1099 84.5%	5725 80.2%				
誤り	56 3.9%	31 3.5%	15 3.0%	102 3.6%	162 4.3%	61 3.0%	37 2.8%	260 3.6%				
わからない	265 18.3%	185 21.1%	44 8.9%	494 17.5%	569 15.0%	326 16.0%	152 11.7%	1047 14.7%				
無回答	62 4.3%	40 4.6%	7 1.4%	109 3.9%	65 1.7%	29 1.4%	13 1.0%	107 1.5%				
9)HIV感染の予防はコンドーム使用がきわめて有効である。												
正しい	1288 89.1%	749 85.5%	463 93.5%	2500 88.8%	3543 93.3%	1854 90.9%	1233 94.8%	6630 92.9%	1075 83.1%	597 82.5%	170 88.5%	1842 83.3%
誤り	24 1.7%	24 2.7%	10 2.0%	58 2.1%	65 1.7%	37 1.8%	13 1.0%	115 1.6%	11 0.9%	9 1.2%	4 2.1%	24 1.1%
わからない	73 5.1%	63 7.2%	16 3.2%	152 5.4%	131 3.4%	122 6.0%	47 3.6%	300 4.2%	62 4.8%	45 6.2%	5 2.6%	112 5.1%
無回答	60 4.2%	40 4.6%	6 1.2%	106 3.8%	60 1.6%	26 1.3%	8 0.6%	94 1.3%	146 11.3%	73 10.1%	13 6.8%	232 10.5%
10)大阪府では昨年1年間の新規HIV感染者/エイズ患者の報告数は「2日に1人」の割合である。												
正しい	280 19.4%	148 16.9%	113 22.8%	541 19.2%	977 25.7%	445 21.8%	351 27.0%	1773 24.8%				
誤り	207 14.3%	120 13.7%	67 13.5%	394 14.0%	445 11.7%	249 12.2%	124 9.5%	818 11.5%				
わからない	896 62.0%	564 64.4%	309 62.4%	1769 62.8%	2316 61.0%	1321 64.8%	816 62.7%	4453 62.4%				
無回答	62 4.3%	44 5.0%	6 1.2%	112 4.0%	61 1.6%	24 1.2%	10 0.8%	95 1.3%				
11)平成20年以降、HIV検査を受けた人は減少している。												
正しい	242 16.7%	130 14.8%	103 20.8%	475 16.9%	625 16.5%	236 11.6%	238 18.3%	1099 15.4%				
誤り	421 29.1%	238 27.2%	140 28.3%	799 28.4%	1363 35.9%	735 36.0%	429 33.0%	2527 35.4%				
わからない	721 49.9%	467 53.3%	244 49.3%	1432 50.9%	1748 46.0%	1038 50.9%	619 47.6%	3405 47.7%				
無回答	61 4.2%	41 4.7%	8 1.6%	110 3.9%	63 1.7%	30 1.5%	15 1.2%	108 1.5%				

付表 15-4 大阪府・大阪市・chotCAST なんば別 性的指向 3 群別分析 受検の満足度

	大阪市				chot CAST なんば				大阪府			
	MSM以外の男性	女性	MSM	合計	MSM以外の男性	女性	MSM	合計	MSM以外の男性	女性	MSM	合計
	n=1445	n=876	n=495	n=2816	n=3799	n=2039	n=1301	n=7139	n=1294	n=724	n=192	n=2210
問25 検査満足度 2) 話し方・言葉づかい												
とても満足	965 66.8%	653 74.5%	366 73.9%	1984 70.5%	2597 68.4%	1509 74.0%	919 70.6%	5025 70.4%	947 73.2%	559 77.2%	152 79.2%	1658 75.0%
やや満足	136 9.4%	66 7.5%	67 13.5%	269 9.6%	868 22.8%	421 20.6%	297 22.8%	1586 22.2%	156 12.1%	69 9.5%	28 14.6%	253 11.4%
やや不満	3 0.2%	3 0.3%	3 0.6%	9 0.3%	95 2.5%	32 1.6%	34 2.6%	161 2.3%	10 0.8%	5 0.7%	2 1.0%	17 0.8%
とても不満	2 0.1%	3 0.3%	1 0.2%	6 0.2%	13 0.3%	10 0.5%	8 0.6%	31 0.4%	4 0.3%	4 0.6%	0 0.0%	8 0.4%
無回答	339 23.5%	151 17.2%	58 11.7%	548 19.5%	226 5.9%	67 3.3%	43 3.3%	336 4.7%	177 13.7%	87 12.0%	10 5.2%	274 12.4%
問25 検査満足度 3) 質問しやすい雰囲気												
とても満足	938 64.9%	631 72.0%	345 69.7%	1914 68.0%	2551 67.1%	1465 71.8%	886 68.1%	4902 68.7%	918 70.9%	545 75.3%	145 75.5%	1608 72.8%
やや満足	152 10.5%	85 9.7%	84 17.0%	321 11.4%	889 23.4%	442 21.7%	323 24.8%	1654 23.2%	173 13.4%	84 11.6%	32 16.7%	289 13.1%
やや不満	11 0.8%	6 0.7%	6 1.2%	23 0.8%	115 3.0%	51 2.5%	42 3.2%	208 2.9%	19 1.5%	5 0.7%	3 1.6%	27 1.2%
とても不満	2 0.1%	2 0.2%	3 0.6%	7 0.2%	15 0.4%	12 0.6%	6 0.5%	33 0.5%	5 0.4%	3 0.4%	0 0.0%	8 0.4%
無回答	342 23.7%	152 17.4%	57 11.5%	551 19.6%	229 6.0%	69 3.4%	44 3.4%	342 4.8%	179 13.8%	87 12.0%	12 6.3%	278 12.6%
問25 検査満足度 5) 安心できる雰囲気												
とても満足	909 62.9%	605 69.1%	345 69.7%	1859 66.0%	2489 65.5%	1362 66.8%	866 66.6%	4717 66.1%	907 70.1%	519 71.7%	141 73.4%	1567 70.9%
やや満足	168 11.6%	96 11.0%	77 15.6%	341 12.1%	942 24.8%	491 24.1%	328 25.2%	1761 24.7%	185 14.3%	97 13.4%	36 18.8%	318 14.4%
やや不満	23 1.6%	19 2.2%	12 2.4%	54 1.9%	128 3.4%	101 5.0%	53 4.1%	282 4.0%	21 1.6%	17 2.3%	2 1.0%	40 1.8%
とても不満	3 0.2%	2 0.2%	4 0.8%	9 0.3%	13 0.3%	16 0.8%	9 0.7%	38 0.5%	1 0.1%	4 0.6%	1 0.5%	6 0.3%
無回答	342 23.7%	154 17.6%	57 11.5%	553 19.6%	227 6.0%	69 3.4%	45 3.5%	341 4.8%	180 13.9%	87 12.0%	12 6.3%	279 12.6%
問25 検査満足度 4) プライバシー保護												
とても満足	842 58.3%	555 63.4%	308 62.2%	1705 60.5%	2456 64.6%	1324 64.9%	830 63.8%	4610 64.6%	858 66.3%	473 65.3%	139 72.4%	1470 66.5%
やや満足	181 12.5%	116 13.2%	88 17.8%	385 13.7%	881 23.2%	474 23.2%	325 25.0%	1680 23.5%	199 15.4%	116 16.0%	36 18.8%	351 15.9%
やや不満	66 4.6%	44 5.0%	29 5.9%	139 4.9%	196 5.2%	139 6.8%	83 6.4%	418 5.9%	43 3.3%	32 4.4%	3 1.6%	78 3.5%
とても不満	12 0.8%	10 1.1%	13 2.6%	35 1.2%	35 0.9%	30 1.5%	17 1.3%	82 1.1%	5 0.4%	13 1.8%	2 1.0%	20 0.9%
無回答	344 23.8%	151 17.2%	57 11.5%	552 19.6%	231 6.1%	72 3.5%	46 3.5%	349 4.9%	189 14.6%	90 12.4%	12 6.3%	291 13.2%

付表 16 大阪市・chotCAST なんば別 性的指向 3 群別分析 受検経験 -今回を除く受検経験をあつたものが対象-

	大阪市				chotCASTなんば											
	MSM以外の男 n=691		女性 n=398		MSM n=376		合計 n=1465		MSM以外の男 n=1501		女性 n=752		MSM n=908		合計 n=3161	
これまでのHIV検査受検場所-府外の保健所																
府外の保健所	226	32.7%	117	29.4%	137	36.4%	<b>480</b>	<b>32.8%</b>	236	15.7%	140	18.6%	191	21.0%	<b>567</b>	<b>17.9%</b>
府内の保健所	225	32.6%	122	30.7%	145	38.6%	<b>492</b>	<b>33.6%</b>	218	14.5%	98	13.0%	162	17.8%	<b>478</b>	<b>15.1%</b>
病院	99	14.3%	119	29.9%	87	23.1%	<b>305</b>	<b>20.8%</b>	198	13.2%	155	20.6%	156	17.2%	<b>509</b>	<b>16.1%</b>
郵送検査	6	0.9%	2	0.5%	3	0.8%	<b>11</b>	<b>0.8%</b>	16	1.1%	6	0.8%	13	1.4%	<b>35</b>	<b>1.1%</b>
検査イベント	10	1.4%	3	0.8%	24	6.4%	<b>37</b>	<b>2.5%</b>	19	1.3%	11	1.5%	45	5.0%	<b>75</b>	<b>2.4%</b>
今回を除いて、一番最近に受けたHIV検査（エイズ検査）はいつでしたか？																
過去1年間	237	34.3%	177	44.5%	190	50.5%	<b>604</b>	<b>41.2%</b>	608	40.5%	279	37.1%	438	48.2%	<b>1325</b>	<b>41.9%</b>
過去1～2年前	216	31.3%	103	25.9%	102	27.1%	<b>421</b>	<b>28.7%</b>	449	29.9%	238	31.6%	278	30.6%	<b>965</b>	<b>30.5%</b>
過去3年以上前	219	31.7%	113	28.4%	74	19.7%	<b>406</b>	<b>27.7%</b>	408	27.2%	226	30.1%	174	19.2%	<b>808</b>	<b>25.6%</b>
無回答	19	2.7%	5	1.3%	10	2.7%	<b>34</b>	<b>2.3%</b>	36	2.4%	9	1.2%	18	2.0%	<b>63</b>	<b>2.0%</b>
あなたは定期的に検査を受けていますか？																
はい	210	30.4%	161	40.5%	179	47.6%	<b>550</b>	<b>37.5%</b>	392	26.1%	226	30.1%	420	46.3%	<b>1038</b>	<b>32.8%</b>
いいえ	461	66.7%	226	56.8%	189	50.3%	<b>876</b>	<b>59.8%</b>	1071	71.4%	512	68.1%	467	51.4%	<b>2050</b>	<b>64.9%</b>
無回答	20	2.9%	11	2.8%	8	2.1%	<b>39</b>	<b>2.7%</b>	38	2.5%	14	1.9%	21	2.3%	<b>73</b>	<b>2.3%</b>
あなたは、以前にこの保健所（または検査機関）でHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか？																
ない	254	36.8%	180	45.2%	94	25.0%	<b>528</b>	<b>36.1%</b>	521	34.7%	349	46.4%	280	30.8%	<b>1150</b>	<b>36.4%</b>
2回	238	34.4%	124	31.2%	101	26.9%	<b>463</b>	<b>31.7%</b>	629	41.9%	241	32.0%	295	32.5%	<b>1165</b>	<b>36.9%</b>
3回以上	184	26.6%	90	22.6%	174	46.3%	<b>448</b>	<b>30.6%</b>	322	21.5%	154	20.5%	318	35.0%	<b>794</b>	<b>25.1%</b>
無回答	15	2.2%	4	1.0%	7	1.9%	<b>23</b>	<b>1.6%</b>	29	1.9%	8	1.1%	15	1.7%	<b>52</b>	<b>1.6%</b>

付表 17 大阪府・大阪市・chotCAST なんば受検者における HIV や検査、性感染症の知識正答-四半期別-

	大阪府全体												chotCASTなんば																						
	大阪府全体			大阪府全体			chotCASTなんば			大阪府全体			chotCASTなんば			大阪府全体			chotCASTなんば																
	2011年 12...	2012年	2013年	2014年	2011年 12...	2012年	2013年	2014年	2011年 12...	2012年	2013年	2014年	2011年 12...	2012年	2013年	2014年	2011年 12...	2012年	2013年	2014年															
	前	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	前	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月											
N	316	643	424	524	535	584	717	627	790	739	806	692	896	794	822	801	711	659	728		717	627	1325	1266	1609	1598	1809	1847	717	627					
HIV感染の予防はコンドーム使用がきわめて有効である。	n	259	537	357	461	460			661	623	657	570	815	710	749	742					703	593	550					1179		1628	1690	1681	1649		
%		82.0%	83.5%	84.2%	88.0%	86.0%			83.7%	84.3%	81.5%	82.4%	91.0%	89.4%	91.1%	92.6%					84.9%	81.3%	83.1%					89.0%		90.0%	91.5%	90.4%	91.5%		
通常のHIV検査では、感染から2〜3ヶ月経過しないと感染しているかどうか分からない。	n	225	450	329	399	422	475	565	488	605	579	570	499	764	649	677	683	590	542	633							1146	1101	1424	1382	1558	1627	1624	1578	
%		71.2%	70.0%	77.6%	76.1%	78.9%	81.3%	78.8%	77.8%	76.6%	78.3%	70.7%	72.1%	85.3%	81.7%	82.4%	85.3%	83.0%	82.2%	87.0%							86.5%	87.0%	88.5%	86.5%	86.1%	88.1%	87.4%	87.6%	
HIV即日検査や郵送検査キットでは、感染していても陽性（感染している）と結果が出ることもある。	n	137	248	179	216	225	264	313	269	431	362	403	367	354	306	362					782	765	1026	1037											
%		43.4%	38.6%	42.2%	41.2%	42.1%	45.2%	43.7%	42.9%	48.1%	45.6%	49.0%	45.8%	49.8%	46.4%	49.7%					59.0%	60.4%	63.8%	64.9%											
HIV即日検査や郵送検査キットでは、検査結果を確認するため病院などで再度検査が必要になる場合がある。	n	193	379	248	309	320	387	481	409	471	453	486	421	574	494	521	523	485	425	493					954	936	1237	1219	1280	1364	1396	1323			
%		61.1%	58.9%	58.5%	59.0%	59.8%	66.3%	67.1%	65.2%	59.6%	61.3%	60.3%	60.8%	64.1%	62.2%	63.4%	65.3%	68.2%	64.5%	67.7%					72.0%	73.9%	76.9%	76.3%	70.8%	73.8%	75.1%	73.4%			
性感染症に感染していると、HIVに感染しやすくなる。	n					381	451	389	463	451	489	426					485	451	480					869	1143	1103	1172	1210	1256	1218					
%						65.2%	62.9%	62.0%	58.6%	61.0%	60.7%	61.6%					68.2%	68.4%	65.9%					68.6%	71.0%	69.0%	64.8%	65.5%	67.6%	67.6%					
HIVに感染したら必ずエイズを発症する。	n								106	91	92	76									157	119	126					228	252	231	209				
%									13.4%	12.3%	11.4%	11.0%									19.0%	16.3%	19.0%					12.6%	13.6%	12.4%	11.6%				
HIV感染症は医療の進歩で、服薬を継続することでエイズ発症をコントロールできる病気となった。	n	212	425	303	364	375	435	502	441	568	542	569	488	676	592	618	609	542	504	577					617	508	494	1011	982	1267	1235	1440	1516	1546	1453
%		67.1%	66.1%	71.5%	69.5%	70.1%	74.5%	70.0%	70.3%	71.9%	73.3%	70.6%	70.5%	75.4%	74.6%	75.2%	76.0%	76.2%	76.5%	79.3%					74.5%	69.7%	74.6%	76.3%	77.6%	78.7%	77.3%	79.6%	82.1%	83.2%	80.6%
HIV感染により免疫が低下すると、さまざまな感染症や悪性腫瘍（がん）にかかりやすくなる。	n								546	500	543	468																1380	1487	1537	1423				
%									69.1%	67.7%	67.4%	67.6%																76.3%	80.5%	82.7%	79.0%				
現在のHIV感染症の主な感染経路は性的接触である。	n								597	569	587	521									598	527	472					1449	1508	1534	1460				
%									75.6%	77.0%	72.8%	75.3%									72.2%	72.3%	71.3%					80.1%	81.6%	82.5%	81.0%				
HIV検査では、感染して症状が全くない場合でも、精液や唾液には感染源となるウイルスが含まれている。	n								554	536	563	468																1348	1493	1473	1428				
%									70.1%	72.5%	69.9%	67.6%																74.5%	80.8%	79.2%	79.2%				
大阪府では昨年1年間の新規HIV感染者/エイズ患者の報告数は「2日に1人」の割合である。	n								148	129	133	133																395	441	442	500				
%									18.7%	17.5%	16.5%	19.2%																21.8%	23.9%	23.8%	27.7%				
平成20年以降、HIV検査を受けた人は減少している。	n								136	128	111	102																273	287	271	268				
%									17.2%	17.3%	13.8%	14.7%																15.1%	15.5%	14.6%	14.9%				



付表 18 大阪府・大阪市・chotCAST なんば受検者における性的指向 3 群別 広報認知-四半期別-

(複数回答)

	MSM以外男性				女性				MSM			
	2013年		2014年		2013年		2014年		2013年		2014年	
	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月
<b>大阪市</b>												
大阪市HP	38.9%	35.2%	38.7%	44.1%	32.4%	30.6%	32.4%	31.6%	41.5%	38.9%	36.7%	37.6%
大阪府HP(PC用)	18.0%	13.9%	15.2%	18.6%	12.6%	9.9%	12.9%	11.8%	13.6%	10.6%	15.6%	19.7%
大阪府HP(携帯用)	8.3%	9.7%	7.3%	8.6%	14.2%	14.2%	16.2%	16.0%	5.1%	3.5%	4.1%	8.5%
chotCASTなんば	3.2%	3.4%	2.6%	4.1%	4.5%	5.6%	4.3%	4.8%	11.0%	8.8%	10.2%	9.4%
季刊誌 南界堂通信	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	3.4%	4.4%	2.7%	2.6%
dista	0.5%	0.3%	0.3%	0.0%	0.4%	0.9%	0.5%	0.5%	14.4%	13.3%	18.4%	9.4%
HIV検査・相談マップ	13.1%	17.6%	15.4%	11.2%	23.1%	25.0%	20.0%	27.3%	22.9%	26.5%	21.1%	27.4%
おおさかエイズ情報NOW			1.0%	4.1%			2.4%	4.3%			1.4%	6.8%
HIVマップ	2.7%	4.5%	3.9%	3.0%	5.3%	5.6%	3.3%	4.8%	13.6%	8.8%	6.8%	12.8%
HIV検査啓発ポスター	2.7%	5.7%	5.5%	4.1%	4.9%	3.0%	5.2%	4.3%	11.9%	5.3%	6.8%	10.3%
エイズのはなし	9.4%	11.4%	10.7%	9.5%	11.3%	10.8%	15.2%	11.2%	25.4%	28.3%	21.1%	23.9%
エイズのはなし-高校生のあなたに	0.0%	2.0%	0.5%	0.0%	1.2%	2.2%	1.0%	1.1%	0.8%	1.8%	3.4%	1.7%
<b>大阪府</b>												
大阪市HP		1.6%	2.4%	2.3%		2.2%	2.9%	1.4%		0.0%	8.0%	5.4%
大阪府HP(PC用)		12.9%	16.8%	16.3%		12.3%	10.0%	11.1%		9.8%	10.7%	17.9%
大阪府HP(携帯用)		3.4%	5.6%	5.9%		7.8%	7.9%	8.3%		3.3%	10.7%	8.9%
chotCASTなんば		3.6%	4.4%	3.4%		2.6%	5.0%	3.7%		9.8%	8.0%	14.3%
季刊誌 南界堂通信		0.2%	0.0%	0.0%		0.0%	0.0%	0.5%		1.6%	2.7%	1.8%
dista		0.0%	0.2%	0.0%		0.4%	0.4%	0.5%		14.8%	6.7%	8.9%
HIV検査・相談マップ		27.8%	28.5%	31.5%		42.0%	28.0%	29.2%		54.1%	48.0%	44.6%
おおさかエイズ情報NOW			1.2%	2.6%			0.8%	5.1%			4.0%	0.0%
おおさかエイズ情報NOW-HP		3.8%	4.1%	5.2%		2.2%	4.6%	1.9%		1.6%	6.7%	3.6%
保健所ホームページ		43.1%	42.6%	41.1%		39.8%	40.2%	43.5%		52.5%	41.3%	46.4%
アイヤン		0.6%	1.0%	0.8%		0.7%	0.4%	2.3%		0.0%	1.3%	0.0%
大阪府くまカード		0.4%	0.2%	0.5%		0.7%	0.8%	0.5%		0.0%	0.0%	1.8%
<b>chot CAST なんば</b>												
大阪市HP	16.6%	16.0%	16.5%	18.2%	13.9%	16.1%	17.6%	17.5%	13.1%	14.4%	13.3%	13.7%
大阪府HP(PC用)	13.6%	13.6%	15.1%	14.9%	9.3%	9.5%	7.9%	7.9%	13.1%	10.0%	11.0%	11.8%
大阪府HP(携帯用)	5.9%	7.3%	9.1%	8.6%	9.1%	9.9%	11.2%	10.4%	8.5%	3.8%	6.6%	4.8%
chotCASTなんば	36.4%	38.8%	37.9%	37.4%	40.8%	40.5%	39.6%	38.5%	46.9%	41.9%	41.7%	43.0%
季刊誌 南界堂通信	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.6%	0.2%	0.0%	0.2%	1.0%	1.6%	0.3%	1.9%
dista	0.4%	0.4%	0.5%	0.4%	1.4%	0.4%	0.6%	0.2%	13.1%	16.6%	16.0%	10.5%
HIV検査・相談マップ	37.1%	35.9%	34.6%	30.4%	41.0%	42.1%	31.8%	33.5%	38.4%	40.0%	43.9%	38.9%
おおさかエイズ情報NOW			1.3%	2.6%			3.0%	1.7%			2.8%	2.5%
HIVマップ	7.5%	7.2%	7.1%	7.8%	5.4%	8.7%	5.7%	4.4%	15.4%	15.6%	17.4%	13.7%
HIV検査啓発ポスター	4.5%	5.1%	4.9%	5.0%	4.2%	7.4%	6.7%	5.4%	7.2%	5.9%	8.3%	8.6%
エイズのはなし	3.7%	2.8%	4.0%	2.4%	3.6%	2.5%	3.6%	2.5%	7.2%	6.3%	5.8%	4.8%
エイズのはなし-高校生のあなたに	0.7%	0.4%	0.7%	0.3%	0.6%	1.2%	0.2%	0.8%	1.0%	0.9%	0.6%	0.6%

付表 19-1 受検者における受検の満足度 【2013年10月 2014年9月】

	話し方・言葉づかいについて				質問しやすい雰囲気について			
	MSM以外の男性	女性	MSM	合計	MSM以外の男性	女性	MSM	合計
大阪市淀川区保健福祉センター								
とても満足	111 75.0%	134 80.2%	37 86.0%	<b>282 78.8%</b>	103 69.6%	127 76.0%	32 74.4%	<b>262 73.2%</b>
やや満足	16 10.8%	17 10.2%	6 14.0%	<b>39 10.9%</b>	23 15.5%	25 15.0%	10 23.3%	<b>58 16.2%</b>
やや不満	0 0.0%	2 1.2%	0 0.0%	<b>2 0.6%</b>	1 0.7%	2 1.2%	0 0.0%	<b>3 0.8%</b>
とても不満	0 0.0%	3 1.8%	0 0.0%	<b>3 0.8%</b>	0 0.0%	2 1.2%	1 2.3%	<b>3 0.8%</b>
無回答	21 14.2%	11 6.6%	0 0.0%	<b>32 8.9%</b>	21 14.2%	11 6.6%	0 0.0%	<b>32 8.9%</b>
合計	148 100.0%	167 100.0%	43 100.0%	<b>358 100.0%</b>	148 100.0%	167 100.0%	43 100.0%	<b>358 100.0%</b>
大阪市北区保健福祉センター								
とても満足	335 51.5%	244 63.5%	194 64.9%	<b>773 57.9%</b>	329 50.5%	226 58.9%	182 60.9%	<b>737 55.2%</b>
やや満足	85 13.1%	35 9.1%	52 17.4%	<b>172 12.9%</b>	84 12.9%	49 12.8%	60 20.1%	<b>193 14.5%</b>
やや不満	2 0.3%	1 0.3%	2 0.7%	<b>5 0.4%</b>	7 1.1%	4 1.0%	6 2.0%	<b>17 1.3%</b>
とても不満	1 0.2%	0 0.0%	1 0.3%	<b>2 0.1%</b>	1 0.2%	0 0.0%	1 0.3%	<b>2 0.1%</b>
無回答	228 35.0%	104 27.1%	50 16.7%	<b>382 28.6%</b>	230 35.3%	105 27.3%	50 16.7%	<b>385 28.9%</b>
合計	651 100.0%	384 100.0%	299 100.0%	<b>1334 100.0%</b>	651 100.0%	384 100.0%	299 100.0%	<b>1334 100.0%</b>
大阪市中央区保健福祉センター								
とても満足	519 80.3%	275 84.6%	135 88.2%	<b>929 82.7%</b>	506 78.3%	278 85.5%	131 85.6%	<b>915 81.4%</b>
やや満足	35 5.4%	14 4.3%	9 5.9%	<b>58 5.2%</b>	45 7.0%	11 3.4%	14 9.2%	<b>70 6.2%</b>
やや不満	1 0.2%	0 0.0%	1 0.7%	<b>2 0.2%</b>	3 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	<b>3 0.3%</b>
とても不満	1 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	<b>1 0.1%</b>	1 0.2%	0 0.0%	1 0.7%	<b>2 0.2%</b>
無回答	90 13.9%	36 11.1%	8 5.2%	<b>134 11.9%</b>	91 14.1%	36 11.1%	7 4.6%	<b>134 11.9%</b>
合計	646 100.0%	325 100.0%	153 100.0%	<b>1124 100.0%</b>	646 100.0%	325 100.0%	153 100.0%	<b>1124 100.0%</b>
大阪府泉佐野保健所								
とても満足	51 77.3%	34 85.0%	9 90.0%	<b>94 81.0%</b>	48 72.7%	34 85.0%	9 90.0%	<b>91 78.4%</b>
やや満足	11 16.7%	4 10.0%	1 10.0%	<b>16 13.8%</b>	13 19.7%	4 10.0%	1 10.0%	<b>18 15.5%</b>
やや不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>	1 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	<b>1 0.9%</b>
とても不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>
無回答	4 6.1%	2 5.0%	0 0.0%	<b>6 5.2%</b>	4 6.1%	2 5.0%	0 0.0%	<b>6 5.2%</b>
合計	66 100.0%	40 100.0%	10 100.0%	<b>116 100.0%</b>	66 100.0%	40 100.0%	10 100.0%	<b>116 100.0%</b>
大阪府八尾保健所								
とても満足	65 83.3%	47 90.4%	2 100.0%	<b>114 86.4%</b>	64 82.1%	45 86.5%	2 100.0%	<b>111 84.1%</b>
やや満足	4 5.1%	4 7.7%	0 0.0%	<b>8 6.1%</b>	5 6.4%	6 11.5%	0 0.0%	<b>11 8.3%</b>
やや不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>
とても不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>
無回答	9 11.5%	1 1.9%	0 0.0%	<b>10 7.6%</b>	9 11.5%	1 1.9%	0 0.0%	<b>10 7.6%</b>
合計	78 100.0%	52 100.0%	2 100.0%	<b>132 100.0%</b>	78 100.0%	52 100.0%	2 100.0%	<b>132 100.0%</b>
大阪府守口保健所								
とても満足	40 69.0%	20 80.0%	3 50.0%	<b>63 70.8%</b>	38 65.5%	20 80.0%	2 33.3%	<b>60 67.4%</b>
やや満足	9 15.5%	2 8.0%	2 33.3%	<b>13 14.6%</b>	9 15.5%	2 8.0%	3 50.0%	<b>14 15.7%</b>
やや不満	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	<b>1 1.1%</b>	2 3.4%	0 0.0%	1 16.7%	<b>3 3.4%</b>
とても不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>
無回答	9 15.5%	3 12.0%	0 0.0%	<b>12 13.5%</b>	9 15.5%	3 12.0%	0 0.0%	<b>12 13.5%</b>
合計	58 100.0%	25 100.0%	6 100.0%	<b>89 100.0%</b>	58 100.0%	25 100.0%	6 100.0%	<b>89 100.0%</b>
大阪府岸和田保健所								
とても満足	61 81.3%	34 85.0%	6 75.0%	<b>101 82.1%</b>	57 76.0%	36 90.0%	4 50.0%	<b>97 78.9%</b>
やや満足	10 13.3%	5 12.5%	2 25.0%	<b>17 13.8%</b>	13 17.3%	4 10.0%	4 50.0%	<b>21 17.1%</b>
やや不満	0 0.0%	1 2.5%	0 0.0%	<b>1 0.8%</b>	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	<b>1 0.8%</b>
とても不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>
無回答	4 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	<b>4 3.3%</b>	4 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	<b>4 3.3%</b>
合計	75 100.0%	40 100.0%	8 100.0%	<b>123 100.0%</b>	75 100.0%	40 100.0%	8 100.0%	<b>123 100.0%</b>
大阪府寝屋川保健所								
とても満足	55 80.9%	49 83.1%	7 87.5%	<b>111 82.2%</b>	53 77.9%	47 79.7%	8 100.0%	<b>108 80.0%</b>
やや満足	7 10.3%	2 3.4%	1 12.5%	<b>10 7.4%</b>	10 14.7%	5 8.5%	0 0.0%	<b>15 11.1%</b>
やや不満	1 1.5%	1 1.7%	0 0.0%	<b>2 1.5%</b>	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>
とても不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>
無回答	5 7.4%	7 11.9%	0 0.0%	<b>12 8.9%</b>	5 7.4%	7 11.9%	0 0.0%	<b>12 8.9%</b>
合計	68 100.0%	59 100.0%	8 100.0%	<b>135 100.0%</b>	68 100.0%	59 100.0%	8 100.0%	<b>135 100.0%</b>

付表 19-2 受検者における受検の満足度②【2013年10月 2014年9月】

	話し方・言葉づかいについて				質問しやすい雰囲気について			
	MSM以外の男性	女性	MSM	合計	MSM以外の男性	女性	MSM	合計
<b>大阪府吹田保健所</b>								
とても満足	74 68.5%	37 71.2%	6 75.0%	<b>117 69.6%</b>	67 62.0%	38 73.1%	5 62.5%	<b>110 65.5%</b>
やや満足	14 13.0%	8 15.4%	1 12.5%	<b>23 13.7%</b>	20 18.5%	7 13.5%	2 25.0%	<b>29 17.3%</b>
やや不満	1 0.9%	1 1.9%	0 0.0%	<b>2 1.2%</b>	2 1.9%	1 1.9%	0 0.0%	<b>3 1.8%</b>
とても不満	1 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	<b>1 0.6%</b>	1 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	<b>1 0.6%</b>
無回答	18 16.7%	6 11.5%	1 12.5%	<b>25 14.9%</b>	18 16.7%	6 11.5%	1 12.5%	<b>25 14.9%</b>
合計	<b>108 100.0%</b>	<b>52 100.0%</b>	<b>8 100.0%</b>	<b>168 100.0%</b>	<b>108 100.0%</b>	<b>52 100.0%</b>	<b>8 100.0%</b>	<b>168 100.0%</b>
<b>大阪府四条畷保健所</b>								
とても満足	44 84.6%	28 84.8%	7 87.5%	<b>79 84.9%</b>	42 80.8%	27 81.8%	6 75.0%	<b>75 80.6%</b>
やや満足	4 7.7%	3 9.1%	1 12.5%	<b>8 8.6%</b>	6 11.5%	4 12.1%	2 25.0%	<b>12 12.9%</b>
やや不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>
とても不満	1 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	<b>1 1.1%</b>	1 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	<b>1 1.1%</b>
無回答	3 5.8%	2 6.1%	0 0.0%	<b>5 5.4%</b>	3 5.8%	2 6.1%	0 0.0%	<b>5 5.4%</b>
合計	<b>52 100.0%</b>	<b>33 100.0%</b>	<b>8 100.0%</b>	<b>93 100.0%</b>	<b>52 100.0%</b>	<b>33 100.0%</b>	<b>8 100.0%</b>	<b>93 100.0%</b>
<b>大阪府枚方保健所</b>								
とても満足	27 71.1%	27 93.1%	5 100.0%	<b>59 81.9%</b>	27 71.1%	25 86.2%	5 100.0%	<b>57 79.2%</b>
やや満足	5 13.2%	1 3.4%	0 0.0%	<b>6 8.3%</b>	5 13.2%	3 10.3%	0 0.0%	<b>8 11.1%</b>
やや不満	0 0.0%	1 3.4%	0 0.0%	<b>1 1.4%</b>	0 0.0%	1 3.4%	0 0.0%	<b>1 1.4%</b>
とても不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>
無回答	6 15.8%	0 0.0%	0 0.0%	<b>6 8.3%</b>	6 15.8%	0 0.0%	0 0.0%	<b>6 8.3%</b>
合計	<b>38 100.0%</b>	<b>29 100.0%</b>	<b>5 100.0%</b>	<b>72 100.0%</b>	<b>38 100.0%</b>	<b>29 100.0%</b>	<b>5 100.0%</b>	<b>72 100.0%</b>
<b>大阪府藤井寺保健所</b>								
とても満足	139 73.5%	71 71.7%	28 75.7%	<b>238 73.2%</b>	135 71.4%	68 68.7%	25 67.6%	<b>228 70.2%</b>
やや満足	29 15.3%	10 10.1%	8 21.6%	<b>47 14.5%</b>	30 15.9%	13 13.1%	10 27.0%	<b>53 16.3%</b>
やや不満	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	<b>1 0.3%</b>	4 2.1%	1 1.0%	1 2.7%	<b>6 1.8%</b>
とても不満	0 0.0%	2 2.0%	0 0.0%	<b>2 0.6%</b>	0 0.0%	1 1.0%	0 0.0%	<b>1 0.3%</b>
無回答	20 10.6%	16 16.2%	1 2.7%	<b>37 11.4%</b>	20 10.6%	16 16.2%	1 2.7%	<b>37 11.4%</b>
合計	<b>189 100.0%</b>	<b>99 100.0%</b>	<b>37 100.0%</b>	<b>325 100.0%</b>	<b>189 100.0%</b>	<b>99 100.0%</b>	<b>37 100.0%</b>	<b>325 100.0%</b>
<b>大阪府茨木保健所</b>								
とても満足	286 74.1%	128 76.2%	65 84.4%	<b>479 75.9%</b>	287 74.4%	123 73.2%	66 85.7%	<b>476 75.4%</b>
やや満足	44 11.4%	20 11.9%	7 9.1%	<b>71 11.3%</b>	39 10.1%	23 13.7%	4 5.2%	<b>66 10.5%</b>
やや不満	5 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	<b>5 0.8%</b>	8 2.1%	2 1.2%	1 1.3%	<b>11 1.7%</b>
とても不満	2 0.5%	2 1.2%	0 0.0%	<b>4 0.6%</b>	2 0.5%	2 1.2%	0 0.0%	<b>4 0.6%</b>
無回答	49 12.7%	18 10.7%	5 6.5%	<b>72 11.4%</b>	50 13.0%	18 10.7%	6 7.8%	<b>74 11.7%</b>
合計	<b>386 100.0%</b>	<b>168 100.0%</b>	<b>77 100.0%</b>	<b>631 100.0%</b>	<b>386 100.0%</b>	<b>168 100.0%</b>	<b>77 100.0%</b>	<b>631 100.0%</b>
<b>大阪府富田林保健所</b>								
とても満足	28 71.8%	23 88.5%	6 75.0%	<b>57 78.1%</b>	29 74.4%	21 80.8%	7 87.5%	<b>57 78.1%</b>
やや満足	4 10.3%	0 0.0%	2 25.0%	<b>6 8.2%</b>	4 10.3%	3 11.5%	1 12.5%	<b>8 11.0%</b>
やや不満	1 2.6%	1 3.8%	0 0.0%	<b>2 2.7%</b>	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>
とても不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>
無回答	6 15.4%	2 7.7%	0 0.0%	<b>8 11.0%</b>	6 15.4%	2 7.7%	0 0.0%	<b>8 11.0%</b>
合計	<b>39 100.0%</b>	<b>26 100.0%</b>	<b>8 100.0%</b>	<b>73 100.0%</b>	<b>39 100.0%</b>	<b>26 100.0%</b>	<b>8 100.0%</b>	<b>73 100.0%</b>
<b>大阪府和泉保健所</b>								
とても満足	17 27.0%	17 35.4%	3 42.9%	<b>37 31.4%</b>	16 25.4%	18 37.5%	3 42.9%	<b>37 31.4%</b>
やや満足	7 11.1%	5 10.4%	1 14.3%	<b>13 11.0%</b>	6 9.5%	4 8.3%	1 14.3%	<b>11 9.3%</b>
やや不満	1 1.6%	0 0.0%	1 14.3%	<b>2 1.7%</b>	1 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	<b>1 0.8%</b>
とても不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>	1 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	<b>1 0.8%</b>
無回答	38 60.3%	26 54.2%	2 28.6%	<b>66 55.9%</b>	39 61.9%	26 54.2%	3 42.9%	<b>68 57.6%</b>
合計	<b>63 100.0%</b>	<b>48 100.0%</b>	<b>7 100.0%</b>	<b>118 100.0%</b>	<b>63 100.0%</b>	<b>48 100.0%</b>	<b>7 100.0%</b>	<b>118 100.0%</b>
<b>大阪府池田保健所</b>								
とても満足	60 81.1%	44 83.0%	5 62.5%	<b>109 80.7%</b>	55 74.3%	43 81.1%	3 37.5%	<b>101 74.8%</b>
やや満足	8 10.8%	5 9.4%	2 25.0%	<b>15 11.1%</b>	13 17.6%	6 11.3%	4 50.0%	<b>23 17.0%</b>
やや不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>
とても不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>
無回答	6 8.1%	4 7.5%	1 12.5%	<b>11 8.1%</b>	6 8.1%	4 7.5%	1 12.5%	<b>11 8.1%</b>
合計	<b>74 100.0%</b>	<b>53 100.0%</b>	<b>8 100.0%</b>	<b>135 100.0%</b>	<b>74 100.0%</b>	<b>53 100.0%</b>	<b>8 100.0%</b>	<b>135 100.0%</b>
<b>choiCASTなんば</b>								
とても満足	2597 68.4%	1509 74.0%	919 70.6%	<b>5025 70.4%</b>	2551 67.1%	1465 71.8%	886 68.1%	<b>4902 68.7%</b>
やや満足	868 22.8%	421 20.6%	297 22.8%	<b>1586 22.2%</b>	889 23.4%	442 21.7%	323 24.8%	<b>1654 23.2%</b>
やや不満	95 2.5%	32 1.6%	34 2.6%	<b>161 2.3%</b>	115 3.0%	51 2.5%	42 3.2%	<b>208 2.9%</b>
とても不満	13 0.3%	10 0.5%	8 0.6%	<b>31 0.4%</b>	15 0.4%	12 0.6%	6 0.5%	<b>33 0.5%</b>
無回答	226 5.9%	67 3.3%	43 3.3%	<b>336 4.7%</b>	229 6.0%	69 3.4%	44 3.4%	<b>342 4.8%</b>
合計	<b>3799 100.0%</b>	<b>2039 100.0%</b>	<b>1301 100.0%</b>	<b>7139 100.0%</b>	<b>3799 100.0%</b>	<b>2039 100.0%</b>	<b>1301 100.0%</b>	<b>7139 100.0%</b>

付表 19-3 受検者における受検の満足度③【2013年10月 2014年9月】

	安心できる雰囲気について				プライバシー保護について			
	MSM以外の男性	女性	MSM	合計	MSM以外の男性	女性	MSM	合計
大阪市淀川区保健福祉センター								
とても満足	100 67.6%	121 72.5%	34 79.1%	<b>255 71.2%</b>	89 60.1%	117 70.1%	33 76.7%	<b>239 66.8%</b>
やや満足	20 13.5%	26 15.6%	8 18.6%	<b>54 15.1%</b>	23 15.5%	26 15.6%	8 18.6%	<b>57 15.9%</b>
やや不満	6 4.1%	5 3.0%	0 0.0%	<b>11 3.1%</b>	13 8.8%	10 6.0%	0 0.0%	<b>23 6.4%</b>
とても不満	1 0.7%	2 1.2%	1 2.3%	<b>4 1.1%</b>	2 1.4%	3 1.8%	2 4.7%	<b>7 2.0%</b>
無回答	21 14.2%	13 7.8%	0 0.0%	<b>34 9.5%</b>	21 14.2%	11 6.6%	0 0.0%	<b>32 8.9%</b>
合計	148 100.0%	167 100.0%	43 100.0%	<b>358 100.0%</b>	148 100.0%	167 100.0%	43 100.0%	<b>358 100.0%</b>
大阪市北区保健福祉センター								
とても満足	319 49.0%	217 56.5%	182 60.9%	<b>718 53.8%</b>	295 45.3%	196 51.0%	166 55.5%	<b>657 49.3%</b>
やや満足	92 14.1%	51 13.3%	56 18.7%	<b>199 14.9%</b>	100 15.4%	62 16.1%	57 19.1%	<b>219 16.4%</b>
やや不満	11 1.7%	11 2.9%	9 3.0%	<b>31 2.3%</b>	21 3.2%	18 4.7%	21 7.0%	<b>60 4.5%</b>
とても不満	0 0.0%	0 0.0%	2 0.7%	<b>2 0.1%</b>	4 0.6%	4 1.0%	5 1.7%	<b>13 1.0%</b>
無回答	229 35.2%	105 27.3%	50 16.7%	<b>384 28.8%</b>	231 35.5%	104 27.1%	50 16.7%	<b>385 28.9%</b>
合計	651 100.0%	384 100.0%	299 100.0%	<b>1334 100.0%</b>	651 100.0%	384 100.0%	299 100.0%	<b>1334 100.0%</b>
大阪市中央区保健福祉センター								
とても満足	490 75.9%	267 82.2%	129 84.3%	<b>886 78.8%</b>	458 70.9%	242 74.5%	109 71.2%	<b>809 72.0%</b>
やや満足	56 8.7%	19 5.8%	13 8.5%	<b>88 7.8%</b>	58 9.0%	28 8.6%	23 15.0%	<b>109 9.7%</b>
やや不満	6 0.9%	3 0.9%	3 2.0%	<b>12 1.1%</b>	32 5.0%	16 4.9%	8 5.2%	<b>56 5.0%</b>
とても不満	2 0.3%	0 0.0%	1 0.7%	<b>3 0.3%</b>	6 0.9%	3 0.9%	6 3.9%	<b>15 1.3%</b>
無回答	92 14.2%	36 11.1%	7 4.6%	<b>135 12.0%</b>	92 14.2%	36 11.1%	7 4.6%	<b>135 12.0%</b>
合計	646 100.0%	325 100.0%	153 100.0%	<b>1124 100.0%</b>	646 100.0%	325 100.0%	153 100.0%	<b>1124 100.0%</b>
大阪府泉佐野保健所								
とても満足	46 69.7%	32 80.0%	9 90.0%	<b>87 75.0%</b>	42 63.6%	30 75.0%	10 100.0%	<b>82 70.7%</b>
やや満足	15 22.7%	5 12.5%	1 10.0%	<b>21 18.1%</b>	14 21.2%	6 15.0%	0 0.0%	<b>20 17.2%</b>
やや不満	1 1.5%	1 2.5%	0 0.0%	<b>2 1.7%</b>	4 6.1%	2 5.0%	0 0.0%	<b>6 5.2%</b>
とても不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>
無回答	4 6.1%	2 5.0%	0 0.0%	<b>6 5.2%</b>	6 9.1%	2 5.0%	0 0.0%	<b>8 6.9%</b>
合計	66 100.0%	40 100.0%	10 100.0%	<b>116 100.0%</b>	66 100.0%	40 100.0%	10 100.0%	<b>116 100.0%</b>
大阪府八尾保健所								
とても満足	63 80.8%	45 86.5%	2 100.0%	<b>110 83.3%</b>	54 69.2%	40 76.9%	2 100.0%	<b>96 72.7%</b>
やや満足	6 7.7%	6 11.5%	0 0.0%	<b>12 9.1%</b>	14 17.9%	9 17.3%	0 0.0%	<b>23 17.4%</b>
やや不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>	1 1.3%	2 3.8%	0 0.0%	<b>3 2.3%</b>
とても不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>
無回答	9 11.5%	1 1.9%	0 0.0%	<b>10 7.6%</b>	9 11.5%	1 1.9%	0 0.0%	<b>10 7.6%</b>
合計	78 100.0%	52 100.0%	2 100.0%	<b>132 100.0%</b>	78 100.0%	52 100.0%	2 100.0%	<b>132 100.0%</b>
大阪府守口保健所								
とても満足	38 65.5%	20 80.0%	3 50.0%	<b>61 68.5%</b>	37 63.8%	18 72.0%	3 50.0%	<b>58 65.2%</b>
やや満足	9 15.5%	2 8.0%	3 50.0%	<b>14 15.7%</b>	7 12.1%	3 12.0%	3 50.0%	<b>13 14.6%</b>
やや不満	2 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	<b>2 2.2%</b>	4 6.9%	1 4.0%	0 0.0%	<b>5 5.6%</b>
とても不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>
無回答	9 15.5%	3 12.0%	0 0.0%	<b>12 13.5%</b>	10 17.2%	3 12.0%	0 0.0%	<b>13 14.6%</b>
合計	58 100.0%	25 100.0%	6 100.0%	<b>89 100.0%</b>	58 100.0%	25 100.0%	6 100.0%	<b>89 100.0%</b>
大阪府岸和田保健所								
とても満足	59 78.7%	34 85.0%	5 62.5%	<b>98 79.7%</b>	58 77.3%	34 85.0%	7 87.5%	<b>99 80.5%</b>
やや満足	10 13.3%	5 12.5%	3 37.5%	<b>18 14.6%</b>	10 13.3%	2 5.0%	1 12.5%	<b>13 10.6%</b>
やや不満	2 2.7%	1 2.5%	0 0.0%	<b>3 2.4%</b>	2 2.7%	3 7.5%	0 0.0%	<b>5 4.1%</b>
とても不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>	1 1.3%	1 2.5%	0 0.0%	<b>2 1.6%</b>
無回答	4 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	<b>4 3.3%</b>	4 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	<b>4 3.3%</b>
合計	75 100.0%	40 100.0%	8 100.0%	<b>123 100.0%</b>	75 100.0%	40 100.0%	8 100.0%	<b>123 100.0%</b>
大阪府寝屋川保健所								
とても満足	49 72.1%	47 79.7%	6 75.0%	<b>102 75.6%</b>	49 72.1%	45 76.3%	5 62.5%	<b>99 73.3%</b>
やや満足	13 19.1%	5 8.5%	1 12.5%	<b>19 14.1%</b>	12 17.6%	5 8.5%	3 37.5%	<b>20 14.8%</b>
やや不満	1 1.5%	0 0.0%	1 12.5%	<b>2 1.5%</b>	2 2.9%	1 1.7%	0 0.0%	<b>3 2.2%</b>
とても不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>
無回答	5 7.4%	7 11.9%	0 0.0%	<b>12 8.9%</b>	5 7.4%	8 13.6%	0 0.0%	<b>13 9.6%</b>
合計	68 100.0%	59 100.0%	8 100.0%	<b>135 100.0%</b>	68 100.0%	59 100.0%	8 100.0%	<b>135 100.0%</b>

付表 19-4 受検者における受検の満足度④【2013年10月 2014年9月】

	安心できる雰囲気について				プライバシー保護について			
	MSM以外の男性	女性	MSM	合計	MSM以外の男性	女性	MSM	合計
<b>大阪府吹田保健所</b>								
とても満足	69 63.9%	39 75.0%	5 62.5%	<b>113 67.3%</b>	67 62.0%	32 61.5%	5 62.5%	<b>104 61.9%</b>
やや満足	19 17.6%	6 11.5%	2 25.0%	<b>27 16.1%</b>	16 14.8%	8 15.4%	2 25.0%	<b>26 15.5%</b>
やや不満	2 1.9%	1 1.9%	0 0.0%	<b>3 1.8%</b>	7 6.5%	4 7.7%	0 0.0%	<b>11 6.5%</b>
とても不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>	0 0.0%	2 3.8%	0 0.0%	<b>2 1.2%</b>
無回答	18 16.7%	6 11.5%	1 12.5%	<b>25 14.9%</b>	18 16.7%	6 11.5%	1 12.5%	<b>25 14.9%</b>
合計	<b>108 100.0%</b>	<b>52 100.0%</b>	<b>8 100.0%</b>	<b>168 100.0%</b>	<b>108 100.0%</b>	<b>52 100.0%</b>	<b>8 100.0%</b>	<b>168 100.0%</b>
<b>大阪府四条畷保健所</b>								
とても満足	44 84.6%	25 75.8%	7 87.5%	<b>76 81.7%</b>	44 84.6%	22 66.7%	7 87.5%	<b>73 78.5%</b>
やや満足	5 9.6%	6 18.2%	1 12.5%	<b>12 12.9%</b>	4 7.7%	7 21.2%	1 12.5%	<b>12 12.9%</b>
やや不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>	1 1.9%	2 6.1%	0 0.0%	<b>3 3.2%</b>
とても不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>
無回答	3 5.8%	2 6.1%	0 0.0%	<b>5 5.4%</b>	3 5.8%	2 6.1%	0 0.0%	<b>5 5.4%</b>
合計	<b>52 100.0%</b>	<b>33 100.0%</b>	<b>8 100.0%</b>	<b>93 100.0%</b>	<b>52 100.0%</b>	<b>33 100.0%</b>	<b>8 100.0%</b>	<b>93 100.0%</b>
<b>大阪府枚方保健所</b>								
とても満足	26 68.4%	24 82.8%	4 80.0%	<b>54 75.0%</b>	27 71.1%	20 69.0%	5 100.0%	<b>52 72.2%</b>
やや満足	6 15.8%	4 13.8%	1 20.0%	<b>11 15.3%</b>	4 10.5%	5 17.2%	0 0.0%	<b>9 12.5%</b>
やや不満	0 0.0%	1 3.4%	0 0.0%	<b>1 1.4%</b>	1 2.6%	4 13.8%	0 0.0%	<b>5 6.9%</b>
とても不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>
無回答	6 15.8%	0 0.0%	0 0.0%	<b>6 8.3%</b>	6 15.8%	0 0.0%	0 0.0%	<b>6 8.3%</b>
合計	<b>38 100.0%</b>	<b>29 100.0%</b>	<b>5 100.0%</b>	<b>72 100.0%</b>	<b>38 100.0%</b>	<b>29 100.0%</b>	<b>5 100.0%</b>	<b>72 100.0%</b>
<b>大阪府藤井寺保健所</b>								
とても満足	132 69.8%	60 60.6%	26 70.3%	<b>218 67.1%</b>	127 67.2%	56 56.6%	23 62.2%	<b>206 63.4%</b>
やや満足	35 18.5%	17 17.2%	9 24.3%	<b>61 18.8%</b>	35 18.5%	19 19.2%	12 32.4%	<b>66 20.3%</b>
やや不満	2 1.1%	5 5.1%	0 0.0%	<b>7 2.2%</b>	3 1.6%	6 6.1%	0 0.0%	<b>9 2.8%</b>
とても不満	0 0.0%	1 1.0%	0 0.0%	<b>1 0.3%</b>	2 1.1%	2 2.0%	0 0.0%	<b>4 1.2%</b>
無回答	20 10.6%	16 16.2%	2 5.4%	<b>38 11.7%</b>	22 11.6%	16 16.2%	2 5.4%	<b>40 12.3%</b>
合計	<b>189 100.0%</b>	<b>99 100.0%</b>	<b>37 100.0%</b>	<b>325 100.0%</b>	<b>189 100.0%</b>	<b>99 100.0%</b>	<b>37 100.0%</b>	<b>325 100.0%</b>
<b>大阪府茨木保健所</b>								
とても満足	280 72.5%	119 70.8%	62 80.5%	<b>461 73.1%</b>	262 67.9%	107 63.7%	60 77.9%	<b>429 68.0%</b>
やや満足	46 11.9%	23 13.7%	9 11.7%	<b>78 12.4%</b>	55 14.2%	37 22.0%	10 13.0%	<b>102 16.2%</b>
やや不満	8 2.1%	5 3.0%	1 1.3%	<b>14 2.2%</b>	13 3.4%	2 1.2%	2 2.6%	<b>17 2.7%</b>
とても不満	1 0.3%	3 1.8%	0 0.0%	<b>4 0.6%</b>	2 0.5%	4 2.4%	0 0.0%	<b>6 1.0%</b>
無回答	51 13.2%	18 10.7%	5 6.5%	<b>74 11.7%</b>	54 14.0%	18 10.7%	5 6.5%	<b>77 12.2%</b>
合計	<b>386 100.0%</b>	<b>168 100.0%</b>	<b>77 100.0%</b>	<b>631 100.0%</b>	<b>386 100.0%</b>	<b>168 100.0%</b>	<b>77 100.0%</b>	<b>631 100.0%</b>
<b>大阪府富田林保健所</b>								
とても満足	29 74.4%	18 69.2%	6 75.0%	<b>53 72.6%</b>	25 64.1%	17 65.4%	6 75.0%	<b>48 65.8%</b>
やや満足	3 7.7%	5 19.2%	1 12.5%	<b>9 12.3%</b>	5 12.8%	4 15.4%	1 12.5%	<b>10 13.7%</b>
やや不満	1 2.6%	1 3.8%	0 0.0%	<b>2 2.7%</b>	3 7.7%	2 7.7%	0 0.0%	<b>5 6.8%</b>
とても不満	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	<b>1 1.4%</b>	0 0.0%	1 3.8%	1 12.5%	<b>2 2.7%</b>
無回答	6 15.4%	2 7.7%	0 0.0%	<b>8 11.0%</b>	6 15.4%	2 7.7%	0 0.0%	<b>8 11.0%</b>
合計	<b>39 100.0%</b>	<b>26 100.0%</b>	<b>8 100.0%</b>	<b>73 100.0%</b>	<b>39 100.0%</b>	<b>26 100.0%</b>	<b>8 100.0%</b>	<b>73 100.0%</b>
<b>大阪府和泉保健所</b>								
とても満足	16 25.4%	19 39.6%	3 42.9%	<b>38 32.2%</b>	16 25.4%	16 33.3%	3 42.9%	<b>35 29.7%</b>
やや満足	7 11.1%	3 6.3%	1 14.3%	<b>11 9.3%</b>	7 11.1%	4 8.3%	0 0.0%	<b>11 9.3%</b>
やや不満	1 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	<b>1 0.8%</b>	1 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	<b>1 0.8%</b>
とても不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	<b>1 0.8%</b>
無回答	39 61.9%	26 54.2%	3 42.9%	<b>68 57.6%</b>	39 61.9%	28 58.3%	3 42.9%	<b>70 59.3%</b>
合計	<b>63 100.0%</b>	<b>48 100.0%</b>	<b>7 100.0%</b>	<b>118 100.0%</b>	<b>63 100.0%</b>	<b>48 100.0%</b>	<b>7 100.0%</b>	<b>118 100.0%</b>
<b>大阪府池田保健所</b>								
とても満足	56 75.7%	37 69.8%	3 37.5%	<b>96 71.1%</b>	50 67.6%	36 67.9%	3 37.5%	<b>89 65.9%</b>
やや満足	11 14.9%	10 18.9%	4 50.0%	<b>25 18.5%</b>	16 21.6%	7 13.2%	3 37.5%	<b>26 19.3%</b>
やや不満	1 1.4%	2 3.8%	0 0.0%	<b>3 2.2%</b>	1 1.4%	3 5.7%	1 12.5%	<b>5 3.7%</b>
とても不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>0 0.0%</b>	0 0.0%	3 5.7%	0 0.0%	<b>3 2.2%</b>
無回答	6 8.1%	4 7.5%	1 12.5%	<b>11 8.1%</b>	7 9.5%	4 7.5%	1 12.5%	<b>12 8.9%</b>
合計	<b>74 100.0%</b>	<b>53 100.0%</b>	<b>8 100.0%</b>	<b>135 100.0%</b>	<b>74 100.0%</b>	<b>53 100.0%</b>	<b>8 100.0%</b>	<b>135 100.0%</b>
<b>choiCASTなんば</b>								
とても満足	2489 65.5%	1362 66.8%	866 66.6%	<b>4717 66.1%</b>	2456 64.6%	1324 64.9%	830 63.8%	<b>4610 64.6%</b>
やや満足	942 24.8%	491 24.1%	328 25.2%	<b>1761 24.7%</b>	881 23.2%	474 23.2%	325 25.0%	<b>1680 23.5%</b>
やや不満	128 3.4%	101 5.0%	53 4.1%	<b>282 4.0%</b>	196 5.2%	139 6.8%	83 6.4%	<b>418 5.9%</b>
とても不満	13 0.3%	16 0.8%	9 0.7%	<b>38 0.5%</b>	35 0.9%	30 1.5%	17 1.3%	<b>82 1.1%</b>
無回答	227 6.0%	69 3.4%	45 3.5%	<b>341 4.8%</b>	231 6.1%	72 3.5%	46 3.5%	<b>349 4.9%</b>
合計	<b>3799 100.0%</b>	<b>2039 100.0%</b>	<b>1301 100.0%</b>	<b>7139 100.0%</b>	<b>3799 100.0%</b>	<b>2039 100.0%</b>	<b>1301 100.0%</b>	<b>7139 100.0%</b>

付表 20 MSM 受検者における年齢層別分析【2013 年 10 月 2014 年 9 月】

	年齢階級10歳区分						合計 n=1942	Pearson 2 による P値
	19歳以下 n=72	20-29歳 n=795	30-39歳 n=554	40-49歳 n=352	50-59歳 n=106	60歳以上 n=63		
行政区分								
大阪市	11 15.3%	130 16.4%	154 27.8%	117 33.2%	38 35.8%	33 52.4%	483 24.9%	<0.01
大阪府	8 11.1%	85 10.7%	46 8.3%	25 7.1%	6 5.7%	8 12.7%	178 9.2%	
chotCASTなんば	53 73.6%	580 73.0%	354 63.9%	210 59.7%	62 58.5%	22 34.9%	1281 66.0%	
今回を除いて、これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか？								
ある	23 31.9%	498 62.6%	437 78.9%	276 78.4%	88 83.0%	47 74.6%	1369 70.5%	<0.01
ない(今回初めて)	48 66.7%	294 37.0%	116 20.9%	75 21.3%	18 17.0%	16 25.4%	567 29.2%	
無回答	1 1.4%	3 0.4%	1 0.2%	1 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	6 0.3%	
今回はどなたと来られましたか？								
1人で来た	33 45.8%	512 64.4%	413 74.5%	270 76.7%	91 85.8%	52 82.5%	1371 70.6%	<0.01
家族・恋人	6 8.3%	55 6.9%	23 4.2%	16 4.5%	0 0.0%	1 1.6%	101 5.2%	
友達・その他	18 25.0%	94 11.8%	26 4.7%	11 3.1%	3 2.8%	3 4.8%	155 8.0%	
無回答	15 20.8%	134 16.9%	92 16.6%	55 15.6%	12 11.3%	7 11.1%	315 16.2%	
今回、あなたは自分で検査を受けようと思いましたが？								
自分で受けようと思った	47 65.3%	677 85.2%	509 91.9%	331 94.0%	99 93.4%	59 93.7%	1722 88.7%	<0.01
人から勧められた、または誘われた	25 34.7%	117 14.7%	43 7.8%	20 5.7%	7 6.6%	4 6.3%	216 11.1%	
無回答	0 0.0%	1 0.1%	2 0.4%	1 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	4 0.2%	
対象地域								
大阪府	57 79.2%	664 83.5%	463 83.6%	291 82.7%	94 88.7%	54 85.7%	1623 83.6%	0.63
大阪府以外の地域	15 20.8%	131 16.5%	91 16.4%	61 17.3%	12 11.3%	9 14.3%	319 16.4%	
問25 検査満足度 2) 話し方・言葉づかい								
とても満足	51 70.8%	591 74.3%	394 71.1%	251 71.3%	70 66.0%	41 65.1%	1398 72.0%	0.18
やや満足	14 19.4%	158 19.9%	115 20.8%	65 18.5%	24 22.6%	13 20.6%	389 20.0%	
やや不満	3 4.2%	9 1.1%	15 2.7%	7 2.0%	2 1.9%	2 3.2%	38 2.0%	
とても不満	1 1.4%	4 0.5%	0 0.0%	2 0.6%	1 0.9%	0 0.0%	8 0.4%	
無回答	3 4.2%	33 4.2%	30 5.4%	27 7.7%	9 8.5%	7 11.1%	109 5.6%	
問25 検査満足度 3) 質問しやすい雰囲気								
とても満足	51 70.8%	570 71.7%	371 67.0%	241 68.5%	70 66.0%	36 57.1%	1339 68.9%	0.20
やや満足	15 20.8%	171 21.5%	131 23.6%	75 21.3%	23 21.7%	18 28.6%	433 22.3%	
やや不満	3 4.2%	16 2.0%	19 3.4%	6 1.7%	5 4.7%	1 1.6%	50 2.6%	
とても不満	0 0.0%	4 0.5%	2 0.4%	3 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	9 0.5%	
無回答	3 4.2%	34 4.3%	31 5.6%	27 7.7%	8 7.5%	8 12.7%	111 5.7%	
問25 検査満足度 5) 安心できる雰囲気								
とても満足	49 68.1%	564 70.9%	365 65.9%	231 65.6%	70 66.0%	38 60.3%	1317 67.8%	0.20
やや満足	18 25.0%	168 21.1%	135 24.4%	74 21.0%	22 20.8%	17 27.0%	434 22.3%	
やや不満	2 2.8%	23 2.9%	20 3.6%	16 4.5%	5 4.7%	0 0.0%	66 3.4%	
とても不満	0 0.0%	7 0.9%	3 0.5%	2 0.6%	1 0.9%	0 0.0%	13 0.7%	
無回答	3 4.2%	33 4.2%	31 5.6%	29 8.2%	8 7.5%	8 12.7%	112 5.8%	
問25 検査満足度 4) プライバシー保護								
とても満足	52 72.2%	541 68.1%	339 61.2%	208 59.1%	65 61.3%	38 60.3%	1243 64.0%	<0.01
やや満足	14 19.4%	181 22.8%	133 24.0%	79 22.4%	20 18.9%	15 23.8%	442 22.8%	
やや不満	0 0.0%	30 3.8%	41 7.4%	29 8.2%	10 9.4%	2 3.2%	112 5.8%	
とても不満	2 2.8%	10 1.3%	10 1.8%	7 2.0%	3 2.8%	0 0.0%	32 1.6%	
無回答	4 5.6%	33 4.2%	31 5.6%	29 8.2%	8 7.5%	8 12.7%	113 5.8%	
季刊誌 南界堂通信(ロゴ画像)								
見ていない	72 100%	788 99.1%	545 98.4%	342 97.2%	104 98.1%	58 92.1%	1909 98.3%	<0.01
見た	0 0.0%	7 0.9%	9 1.6%	10 2.8%	2 1.9%	5 7.9%	33 1.7%	
コミュニティーセンター dista(ロゴ画像)								
見ていない	63 87.5%	681 85.7%	468 84.5%	310 88.1%	94 88.7%	62 98.4%	1678 86.4%	0.05
見た	9 12.5%	114 14.3%	86 15.5%	42 11.9%	12 11.3%	1 1.6%	264 13.6%	

・ 研究成果の刊行に関する一覧表・刊行物

著者	タイトル	雑誌名	巻号	ページ	出版年
Mayumi Imahashi, Taisuke Izumi, Dai Watanabe, Junji Imamura, Kazuhiro Matsuoka, Hirotaka Ode, Takashi Masaoka, Kei Sato, Noriyo Kaneko, Seiichi Ichikawa, Yoshio Koyanagi, Aki fumi Takaori-Kondo, Makoto Utsumi, Yoshiyuki Yokomaku, Takuma Shirasaka, Wataru Sugiura, Yasumasa Iwatani, Tomoki Nae	Lack of Association between Intact/Deletion Polymorphisms of the APOBEC3B Gene and HIV-1 Risk	PLOS ONE	DOI: 10.137 1/jour nal.po ne.	0092861	2014
Yasuharu Hidaka, Don Operario, Hiroyuki Tsuji, Mie Takenaka, Hirokazu Kimura, Mitsuhiro Kamakura, Seiichi Ichikawa	Prevalence of Sexual Victimization and Correlates of Forced Sex in Japanese Men Who Have Sex with Men	PLOS ONE	Vol. 9 Issue 5	E95675	2014
瀧瀬ゆき、 金子典代、 市川誠一	若年女性における過去と現在の 性感染症予防行動と情報入 手状況の比較	日本ウーマ ンズヘルス 学会誌 (別冊)	Vol.13	53-62	2014
松下修三、 市川誠一、 生島嗣、 木村哲、 荒木順子	座談会「治療が予防になる時代 のコミュニティセンター事業」	HIV 感染症 と AIDS の 治療(別冊)	5 巻 2 号	4-19	2014